講義科目名称：　基礎演習　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	2単位(60)	必修
担当教員			
柳澤　充・矢嶋　栄司・辻　志帆			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	[授業の目的]本学の建学の精神・教育目標に基づき、高校と大学の相違を、さまざまな観点から学び、円滑な移行を目指して初年次教育をおこなう。基礎演習Ｉにおいては、礼儀・挨拶、ボランティア活動、環境美化活動を理解し、積極的に取り組み、人間としての基礎的教養力と自律的実践能力を養う。基礎演習の導入として、高校のリメディアル教育、学問への動機づけ、コミュニケーション能力など、学習成果を保証するための学習方法や技術を総合的に学ぶ。[到達目標]１　礼儀･挨拶、ボランティア活動、環境美化活動を理解し、積極的に取り組むことができる。２　基礎演習における学習の基礎能力として、授業の受け方、図書館利用指導、レポート作成など学習スキルを身につける。３　昌賢祭の研究発表を通じて、問題解決能力、コミュニケーション能力を養う。
授業の概要	授業を、①建学の精神と実践教育、②学習統合、③進路･資格取得、④地域貢献、⑤心身の健康の５つのプログラムから構成し、建学の精神に則り、礼儀･挨拶、ボランティア活動、環境美化活動等に関する、人間としての基礎的能力教養力と自律的実践能力を学習するとともに、基礎的学習スキルを身につけることにより、読書力、問題解決能力、コミュニケーション能力を高め、学習統合の基礎を確立する。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回	建学の精神と実践教育プログラム①　　前期オリエンテーション：学長訓話、各教員からの伝達、諸連絡 【key words】 建学の精神 【授業概要】 建学の精神について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 学生ハンドブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予め学生ハンドブックや本学ホームページなどで建学の精神について学んでおくこと。
	第２回	建学の精神と実践プログラム②　委員会活動についてＩ（1，2年合同）、心身の健康プログラム①健康管理についてＩ（親睦スポーツ大会準備） 【key words】 委員会活動 【授業概要】 本学の委員会活動について説明し、各々の所属委員会を決定する。 【教科書ページ・参考文献】 学生ハンドブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 学生ハンドブックで予めどのような委員会があるのか理解しておくこと。所属委員会が決定したら、年間計画を立案し指定期日までに担任に提出すること。
	第３回	心身の健康プログラム②生活の充実についてＩ（防犯講座） 【key words】 防犯 【授業概要】 県警の方をお招きし、防犯について講義していただく。 【教科書ページ・参考文献】

		配布資料など 【課題・予習・復習・授業準備指示】 防犯講座の内容を理解し、常に意識し生活すること。
	第４回	学習統合プログラム①大学での授業の受け方Ⅰ（講義、演習、実習、実技、試験説明） 【key words】 授業の受け方 【授業概要】 授業の受け方は高校の時と違い、主体的に学ぶことであることを伝える。 【教科書ページ・参考文献】 学生ハンドブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義を踏まえ各授業に臨むこと。科目担当教員の指示に従い授業を受けること。
	第５回	進路、資格取得プログラム①個人面談についてⅠ（面談表、キャリアデザインノート作成） 【key words】 個人面談 【授業概要】 5月連休後に個人面談を行うため、その意義と目的を伝える。空き時間などに1人20～30分行うため各自の予定を確認する。 【教科書ページ・参考文献】 学生ハンドブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 短大に入学した各々の目的や目標を明確にし、その目的や目標を達成するために取り組むべきことを考えた上で面談に臨むこと。心配事や伝えておいた方が良いことがあれば面談時に申し出ること。
	第６回	建学の精神と実践プログラム③委員会活動についてⅡ 【key words】 委員会活動 【授業概要】 各委員会の活動進捗状況を確認し、今後の活動計画を確認する。各委員会から報告し短大全体で各委員会の活動を共有する。 【教科書ページ・参考文献】 学生ハンドブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各委員会で計画通りに活動を行うこと。
	第７回	地域貢献プログラム①地域とのかかわりⅠ（昌賢祭の意義と内容、2年生から1年生へ昌賢祭の意義・目的ほか説明）（1，2年合同） 【key words】 昌賢祭 【授業概要】 昌賢祭の目的・意義について2年生から1年生に伝達し、昌賢祭のイメージを持つ。 【教科書ページ・参考文献】 2年生からの配布資料など 【課題・予習・復習・授業準備指示】 2年生から伝えられたことを参考に、クラス発表の内容などを各々考えること。
	第８回	学習統合養成プログラム②レポートの作成Ⅰ（レポートと作文との違い） 【key words】 レポート作成 【授業概要】 レポート作成について講義する。 【教科書ページ・参考文献】 『知へのステップ』「レポート作成について」の項 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業を踏まえ課題を課す。指定期日までに提出すること。
	第９回	学習統合プログラム③レポートの作成Ⅱ（基本的な型や構成） 【key words】 レポート作成 【授業概要】 添削されたレポートを書きなおすための留意事項について講義する。 【教科書ページ・参考文献】 『知へのステップ』「レポート作成について」の項 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業を踏まえ課題を課す。指定期日までに提出すること。
	第１０回	学習統合プログラム④レポートの作成Ⅲ（レポート作成） 【key words】 レポート作成 【授業概要】 添削されたレポートを書きなおすための留意事項について講義する。 【教科書ページ・参考文献】 『知へのステップ』「レポート作成について」の項 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業を踏まえ課題を課す。指定期日までに提出すること。
	第１１回	建学の精神と実践プログラム④委員会活動についてⅢ 【key words】 委員会活動 【授業概要】 各委員会の活動進捗状況を確認し、今後の活動計画を確認する。各委員会から報告し短大全体で各委員会の活動を共有する。 【教科書ページ・参考文献】 学生ハンドブック

【課題・予習・復習・授業準備指示】
各委員会で計画通りに活動を行うこと。

第１２回　学習統合プログラム⑤コミュニケーション能力の向上に向けた取り組みⅠ（1，2年合同）
【key words】
コミュニケーション
【授業概要】
2年生が企画したレクリエーションを一緒に行うことで、1年生と2年生の交流を図り、対人関係の築き方を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料
【課題・予習・復習・授業準備指示】
2年生との交流を踏まえ、人と関わる仕事で大切なことは何かについて考え今後の学生生活を送ること。

第１３回　地域貢献プログラム②（地域とのかかわりⅡ（昌賢祭での資料収集）
【key words】
昌賢祭
【授業概要】
昌賢祭のクラス発表の内容を検討する
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
昌賢祭委員は実行委員会で話された内容を全体で共有するために準備しておくこと。各クラスは空き時間などを活用し準備を計画的に進めること。

第１４回　建学の精神と実践プログラム⑤委員会活動についてⅣ
【key words】
委員会活動
【授業概要】
各委員会の活動進捗状況を確認し、今後の活動計画を確認する。各委員会から報告し短大全体で各委員会の活動を共有する。
【教科書ページ・参考文献】
学生ハンドブック
【課題・予習・復習・授業準備指示】
各委員会で計画通りに活動を行うこと。

第１５回　前期総括　（まとめ）
【key words】
前期振り返り
【授業概要】
前期を振り返るために指定時間で作文を書く。
【教科書ページ・参考文献】
学生ハンドブック
【課題・予習・復習・授業準備指示】
作文を書くことで前期を振り返り、後期の学生生活につなげること。

第１６回　建学の精神と実践教育プログラム⑥　後期オリエンテーション：学長訓話、委員会活動についてⅤ（1，2年合同）
【key words】
建学の精神
【授業概要】
建学の精神について改めて理解する。後期の委員活動を確認する。
【教科書ページ・参考文献】
学生ハンドブック
【課題・予習・復習・授業準備指示】
各委員会の後期計画を確認し遂行すること。

第１７回　心身の健康プログラム③生活の充実についてⅢ（デートＤＶ防止）
【key words】
デートDV
【授業概要】
害ぐ講師を招き、デートDVについて理解する。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料　ワークシート
【課題・予習・復習・授業準備指示】
デートDVについて学んだことをワークシートに記入し指定日時までに担任に提出すること。講義で学んだことに関して相談等が生じた場合には、学内相談機関や紹介された相談機関に相談すること。

第１８回　地域貢献プログラム③地域とのかかわりⅣ（昌賢祭：テーマ策定、研究班編成）
【key words】
昌賢祭
【授業概要】
昌賢祭に関するテーマを決め、研究発表の段取りを考える。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業外にも昌賢祭委員を中心に適宜進めていくこと。

第１９回　地域貢献プログラム④地域とのかかわりⅤ（昌賢祭：各研究班調査資料収集）
【key words】
昌賢祭
【授業概要】
昌賢祭に関す研究発表に向けて準備する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業外にも昌賢祭委員を中心に適宜進めていくこと。

	第２０回	地域貢献プログラム⑤地域とのかかわりⅥ（昌賢祭：各研究班資料分析、発表検討） 【key words】 昌賢祭 【授業概要】 昌賢祭に関す研究発表に向けて準備する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業外にも昌賢祭委員を中心に適宜進めていくこと。
	第２１回	地域貢献プログラム⑥地域とのかかわりⅦ（昌賢祭：各研究班発表準備） 【key words】 昌賢祭 【授業概要】 昌賢祭に関す研究発表に向けて準備する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業外にも昌賢祭委員を中心に適宜進めていくこと。
	第２２回	地域貢献プログラム⑦地域とのかかわりⅧ（昌賢祭：各研究班発表） 【key words】 昌賢祭 【授業概要】 昌賢祭に関す研究発表に向けて準備する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業外にも昌賢祭委員を中心に適宜進めていくこと。
	第２３回	地域貢献プログラム⑧地域とのかかわりⅨ（昌賢祭：総括） 【key words】 昌賢祭 【授業概要】 昌賢祭の振り返りを行う。振り返りの作文を書く。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 作文は指定日時までに提出すること。
	第２４回	心身の健康プログラム④生活の充実についてⅣ（消費者被害防止） 【key words】 消費者被害防止 【授業概要】 外部講師をお招きし、消費者被害防止について講演していただく。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料　ワークシート 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講演で学んだことを、ワークシートにまとめ、指定日時までに担任に提出すること。
	第２５回	建学の精神と実践プログラム⑦委員会活動についてⅣ 【key words】 委員会活動 【授業概要】 各委員会の活動進捗状況を確認し、今後の活動計画を確認する。各委員会から報告し短大全体で各委員会の活動を共有する。 【教科書ページ・参考文献】 学生ハンドブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各委員会で計画通りに活動を行うこと。
	第２６回	建学の精神と実践プログラム⑧ボランティア、環境美化についてまとめⅠ（冬季休業中の諸注意） 【key words】 ボランティア、環境美化 【授業概要】 年間を通して、ボランティア活動や環境美化について各々や班でどのように取り組んできたのかを振り返る。 【教科書ページ・参考文献】 学生ハンドブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 2年次の学生生活をイメージし、日々のボランティアや環境美化に取り組むこと。
	第２７回	学習統合プログラム⑥コミュニケーション能力の向上に向けた取り組みⅡ　（1，2年合同） 【key words】 コミュニケーション 【授業概要】 2年生が企画したレクリエーションを一緒に行うことで、1年生と2年生の交流を図り、対人関係の築き方を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 2年生との交流を踏まえ、人と関わる仕事で大切なことは何かについて考え今後の学生生活を送ること。
	第２８回	進路、資格取得プログラム②進路を学ぶⅡ（トレーニングテスト） 【key words】 トレーニングテスト 【授業概要】

	業者による就職試験を意識したテストを行う 【教科書ページ・参考文献】 業者テスト 【課題・予習・復習・授業準備指示】 解説をよく読み復習すること。 第２９回　建学の精神と実践プログラム⑨委員会活動についてＶ 【授業概要】 各委員会の活動進捗状況を確認し、今後の活動計画を確認する。各委員会から報告し短大全体で各委員会の活動を共有する。 【教科書ページ・参考文献】 学生ハンドブック 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各委員会で計画通りに活動を行うこと。 第３０回　基礎演習Ｉの総括 【key words】 1年次の総括 【授業概要】 1年間を振り返り、作文にまとめる。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 作文は指定日時までに担任に提出すること。
受講生に関わる情報および受講のルール	１　基礎演習は本学の人間教育の要である。そのことに深く留意して取り組むこと。 ２　私語は慎み、出欠席の状況や受講態度等本学の学生にふさわしい態度で臨むこと。 ３　全体オリエンテーション等の学校行事は必ず出席すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	レポート準備や委員会活動等、授業外で取り組むことが多いため、計画的、積極的に取り組むこと。
オフィスアワー	各クラス担任に確認すること
評価方法	演習への取り組み内容（オリテン等の行事を含む）（60%）、提出物（40%）を総合して評価する。
教科書	鈴木利定・中田勝(著)『咸有一徳』中央法規、2002年。『基礎演習テキスト』群馬医療福祉大学、2012年。学習技術研究会『知へのステップ』くろしお出版　2002年
参考書	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　心理学理論と心理的支援　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	2単位(30)	福祉総合コース・選択
担当教員			
大島　由之			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	［授業の目標］ 　さまざまな領域の心理学を学びながら，社会福祉士をはじめとする対人援助職に必要となる「心の機能・はたらき」に関する知識，「心の状態・変化」を捉える視点，「心を安定に導き活性化する技術」を身につけるための第一歩となる基礎知識を得ること ［到達目標］ ①心理学理論に基づいた人間を理解する枠組みと，その理論に基づく援助技法に関する基礎知識を習得する ②一般的知識しての心理学と，人間の生活を支援する上で必要となる心理学に関する基礎知識を習得する ③人間の日常生活で生じる現象や，人の成長・発達，心の健康について，心理学の知識に基づいて解釈・説明できる
授業の概要	はじめて心理学を専門的に学ぶ講義として，性格・感情・知覚・学習・認知・社会・発達・臨床といった心理学の主要領域について，広く概説を行う。また，心理学の基礎的な知識の習得を通じて，対人援助職を目指す上で基本となる心理学的な観点からの人間理解・支援の方法について学ぶことを目指す。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　　科目オリエンテーション 【key words】 【授業概要】 科目の位置づけおよび，評価方法等の説明。講義方式の導入を兼ね，調べ学習の方法とフォーマット、評価基準の説明を行い、教科書の使い方のレクチャーを行う。その後，次回の内容である性格検査について実施予定。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料のみ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：講義内で配布・実施した性格検査の採点・図表化を行い、次回授業時に持参すること 第２回　　性格（パーソナリティ）：性格とは何か（類型論と特性論），性格の測定方法 【key words】 性格の理論（類型論と特性論）、測定法（質問紙法・投影法・作業検査法） 【授業概要】 心理学における性格（パーソナリティ）の理論と測定法について、受講生の実施したレポート課題を用いて解説予定。 【教科書ページ・参考文献】 pp12-20 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：「新生児微笑と社会的微笑」、「ハーロウのアカゲザルの実験」のいずれかについて、講義内の指示に沿って調べたものをA4用紙1枚以内にまとめ、次回授業時に持参すること。

第３回　感情：子ども～高齢者の感情の発達，対人援助場面における感情
【key words】
新生児微笑と社会的微笑・愛着・感情の生起（ジェームズ・ランゲ説／キャノン・バード説）

【授業概要】
心理学における感情（情動）の理論について、「乳幼児期の愛着」、「感情の生起に関する理論の歴史的変遷」を中心に解説を行う予定。

【教科書ページ・参考文献】
pp22-35
【課題・予習・復習・授業準備指示】

課題：配布された課題用紙に沿って、「接近-接近コンフリクト」と「回避-回避コンフリクト」、「接近-回避コンフリクト」の例を各3つずつ記入し、次回授業時に持参すること

第４回　欲求と動機づけ：「やる気」，「したいけどできない」葛藤と欲求不満，現実への適応と防衛機制
【key words】
マズローの欲求階層説・原因帰属と動機づけ・葛藤・防衛機制

【授業概要】
「～したい」に関する欲求・動機づけに関する諸理論と、それがなされない時の葛藤／欲求不満について、受講生のレポート課題を用いて解説を行う予定。

【教科書ページ・参考文献】
pp38-50
【課題・予習・復習・授業準備指示】

課題：配布された課題用紙に沿って、この利用者に生じた変化を教科書p51の図3-2を参考にしながら、防衛機制として捉え、それぞれを解釈し、次回授業時に持参すること。

第５回　感覚・知覚・認知：五感から入力された情報を私たちの脳はどのように理解しているか
【key words】
適刺激と刺激閾・知覚的体制化・社会的知覚・選択的注意

【授業概要】
人間の知覚・感覚に関する諸理論について，実例を体験しながら解説を行う予定。

【教科書ページ・参考文献】
pp52-62
【課題・予習・復習・授業準備指示】

課題：「洞察学習」・「観察学習」のいずれかについて、講義内の指示に沿って調べたものをA4用紙1枚以内にまとめ、次回授業時に持参すること。

第６回　学習：条件づけと様々な学習
【key words】
古典的条件づけ・オペラント条件づけ・試行錯誤学習・洞察学習・観察学習

【授業概要】
学習理論について、代表的な実験を紹介しつつ解説を行う予定。

【教科書ページ・参考文献】
pp64-69
【課題・予習・復習・授業準備指示】

課題：「エピソード記憶」・「意味記憶」・「手続き記憶」のいずれかについて、講義内の指示に沿って調べたものをA4用紙1枚以内にまとめ、次回授業時に持参すること。

第７回　記憶：記憶のメカニズムと種類
【key words】
記憶の種類と分類・維持／精緻化リハーサル・物忘れと認知症の差異

【授業概要】
記憶のメカニズムに関する心理学の諸理論について、実験を行いつつ解説する予定。

【教科書ページ・参考文献】
pp70-74
【課題・予習・復習・授業準備指示】

課題：「流動性知能」・「結晶性知能」のいずれかについて、講義内の指示に沿って調べたものをA4用紙1枚以内にまとめ、次回授業時に持参すること。

第８回　知能・創造性：人の知的能力をどのように理解するか
【key words】
知的能力・知能検査・認識の発達
【授業概要】
知的能力に関する諸理論とその発達に関するピアジェの認識発達について解説を行う予定。また、知能検査の実物を用いた演習を行う予定である。

【教科書ページ・参考文献】

pp76-87
【課題・予習・復習・授業準備指示】

課題：「ハロー効果」・「根本的な帰属の誤り」のいずれかについて、講義内の指示に沿って調べたものをA4用紙1枚以内にまとめ、次回授業時に持参すること。

第９回　人間関係と集団：対人関係と対人認知，集団の心理学
【key words】
対人認知・自己呈示と自己開示・集団の働き

【授業概要】
他者の存在が人間の心理に与える様々な影響について、映像教材などを用いながら解説を行う予定。
【教科書ページ・参考文献】
pp90-103
【課題・予習・復習・授業準備指示】

課題：配布された課題用紙に沿って、「自己紹介」の文面を作成し、次回授業時に持参すること。

第１０回　対人交流とコミュニケーション：関わりを科学する
【key words】
説得的コミュニケーション・面接法・アサーション

【授業概要】
コミュニケーションに関する心理学の諸理論について、カウンセリングや心理査定としての面接法の技法を紹介しつつ、解説を行う予定。

【教科書ページ・参考文献】
pp106-117
【課題・予習・復習・授業準備指示】

課題：配布された課題用紙に沿って、「人生の設計図」の図表を完成させ、次回授業時に持参すること。

第１１回　発達の概念：乳幼児から高齢者に至る発達段階と発達課題
【key words】
発達曲線・アタッチメント・アイデンティティ

【授業概要】
乳児から青年、高齢者にいたる生涯発達の過程の各段階における心理的特徴について解説を行う予定。
【教科書ページ・参考文献】
pp120-147
【課題・予習・復習・授業準備指示】

課題：配布された課題用紙に沿って、「自分が“ストレス”を感じた時に，ストレス解消のために行う具体的な行動」について10個前後を記入し、次回授業時に持参すること

第１２回　適応とストレス：ストレッサーとストレス反応，コーピング
【key words】
闘争-逃走反応・一般適応症候群・アパシー

【授業概要】
ストレッサーとストレス反応に関する理論と対処方略、不適応の結果としての諸症状について、受講生の作成したレポートを用いた演習と解説を行う予定。

【教科書ページ・参考文献】
pp150-171
【課題・予習・復習・授業準備指示】

課題：配布された課題用紙に沿って、対象者にどのような支援やかかわりが考えられるかを検討し、記入したものを次回授業時に持参すること

第１３回　面接・見立て・心理療法：援助技法として心理学を応用する
【key words】
心理査定と見立て・心理療法
【授業概要】
心理療法について、代表的な理論と実践について解説を行う予定。

【教科書ページ・参考文献】
pp174-200
【課題・予習・復習・授業準備指示】

課題：「前向健忘」・「逆向健忘」のいずれかについて、講義内の指示に沿って調べたものをA4用紙1枚以内にまとめ、次回授業時に持参すること。

第１４回　脳と心：高次脳機能障害とは何か
【key words】
高次脳機能障害・神経心理学的検査
【授業概要】
脳の機能とその損傷による高次脳機能障害について、広く解説を行う予定。

【教科書ページ・参考文献】

	pp202-211 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業準備指示：これまでに返却されたレポート等を次回持参すること 第１５回　まとめと振り返り 【key words】 心理学史、まとめ 【授業概要】 14回の講義について心理学の歴史に沿った振り返りと質問対応、復習を行う予定。 【教科書ページ・参考文献】 講義内で指示。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 特になし
受講生に関わる情報および受講のルール	［受講生に関わる情報］ ・初回のオリエンテーションに必ず出席すること。やむを得ない理由で欠席する場合は事前に担当教員に申し出ること。 ・課題として調べ学習や自分の考えをまとめるレポートの作成を求める機会が多いため、図書館，PC室／LL室の利用が可能なようにしておくこと。 ・講義内で上記の課題を教材として用いたグループワークを行う機会が多い点に留意すること。 ・教科書以外に、補助教材としてプリントを配布することが多いため、前述の課題とあわせて各自でA4版のフラットファイル等を用いて保管することが望ましい。 ［受講のルール］ ・教科書を毎回持参すること。 ・遅刻／欠席については大学のルールに則り，事務局に連絡すること。受講生への伝言等による連絡はトラブルを避けるため認めない。 ・事前に規定の方法で連絡があった欠席の場合のみ，配布資料の再配布を行う。 ・スマートフォンや携帯電話、タブレット端末などはマナーモードとした上で、机の上に置かないこと。また、各自の事情により、机上に置いておく必要がある場合には、各回の講義開始前に担当教員へ申し出ること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	・シャトルカード ・講義内での豆テスト
授業外時間にかかわる情報	・次回内容の予習にあたる「用語調べ」をほぼ毎回の講義で課題とするため，シラバスの記載内容や授業内での指示に留意すること。なおこの課題を用いて，講義内でグループワークを行う。これらへの積極的かつ真摯な取り組むを望む。 ・課題の作成等で困難を感じた際には、講義内で提示するオフィスアワー等を活用して質問／相談にくること。
オフィスアワー	初回で指示
評価方法	課題の提出：25%，課題内容／取り組みの評価：35%，定期試験：40%（詳細は初回講義時に説明を行う）
教科書	社会福祉士養成講座編集委員会（編）　新・社会福祉士養成講座2 心理学理論と心理的支援 第3版 中央法規（2015）
参考書	講義内で適宜紹介
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 ・福祉施設、教育機関の心理職 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　海外語学研修（カナダ）　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	1年次～2年次	2単位(60)	選択
担当教員			
田口　敦彦			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	[授業の目的] 海外研修を通じて国際社会に貢献する意欲を養い、様々な人と出会い交流し、文化や言葉の壁を越えた理解を深めながらコミュニケーション能力を身につける。また国際社会で活躍する医療福祉人材として、海外での様々な体験を通して世界を違う視点から見ることができるようになることを目的とする。本プログラムは参加者の英語能力を、面接授業、ワークショップ及びセミナーを通して向上させ、さらにカナダの歴史、文化、伝統等について学んだり、現地でのフィールドワークに携わったりしながら、カナダ独特の文化に触れ英語能力の更なる向上を目指していく。現地の学生やホームスティ先のホストファミリーとの交流により、英語によるコミュニケーション能力並びに異文化体験の機会を得る。
授業の概要	研修は、群馬医療福祉大学の協定・提携大学　カナダ・レジャイナ大学との間に企画された、誰もが参加しやすい語学学習(英語)に重点を置いたプログラムである。事前学習として訪問先の文化・社会等についての理解を深め、日常英会話についのコミュニケーション能力を高める。その後、本学の協定大学における11日間の研修プログラム(講義又フィールドワーク）を中心に実施し、帰国後、それらの講義、体験をもとに、まとめ・報告会を行う。　研修期間　平成31年8月28日～9月7日

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回	研修先の概要(1)オリエンテーション　海外研修プログラムについての概要　　申込書などの記入の仕方 グローバル人材海外研修を通じて、国際社会に貢献する意欲を養い、様々な人と出会い交流し、文化や言葉の壁を越えた理解を深めながらコミュニケーション能力を身につけることを理解する。海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)を熟読しておくこと。
	第２回	研修先の概要(2)　リジャイナ大学についての概要 訪問するレジャイナ大学の概要について理解するとともに、レジャイナ大学が提携するESL(English as a Second Language class)プログラムを確認する。海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)パスポートやETA取得をスムーズに行うため事前に外務省等のホームページを確認して置くこと。
	第３回	カナダ研究(1)　世界とカナダの関係について　文化、歴史、経済、習慣等について カナダの歴史、文化、伝統　自然等について学び、現地でのフィールドワークに活かせるよう知識、教養を身につける。海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)ネット、情報誌等でカナダの文化、歴史等を収集しておくこと。
	第４回	手続きガイダンス(1)　海外渡航に必要となる諸手続きについて パスポート、ETAの申請について 。さらに渡航前の健康管理と安全管理について確認する。また、リスクマネジメントを徹底し、病状悪化などの緊急時用の対応ができるよう安全管理について渡航前から学ぶ。海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)
	第５回	英語研修(1)　日常英会話　英語圏の生活に必要なこと　入国審査カードの書き方、入国審査での質問、機内での英会話 機内、出入国で使用する英語について学ぶ。さらに挨拶、日常会話について理解を深める。英単語学習及び日常的な英語フレーズを1つでも多く覚えられるよう努力すること。
	第6回	英語研修(2)　日常英会話　自文化を紹介する態度、言い回し 英語で自らの文化、習慣、伝統等を紹介する方法について学ぶ。またレジャイナ大学の学生と交流する機会があるので、レクリエーションプログラム等の計画を立てる。英単語学習及び日常的な英語フレーズを1つでも多く覚えられるよう努力すること。

	第7回	英語研修(3)　日常英会話　研修先でのコミュニケーション 研修時の日常で困ったことがないよう基本的なコミュニケーション方法等についてロールプレイを行いながら学ぶ。英単語学習及び日常的な英語フレーズを1つでも多く覚えられるよう努力すること。
	第8回	英語研修(4)　日常英会話　寮、ホームスティ　研修先での注意事項 研修時の日常で困ったことがないよう基本的なコミュニケーション方法等についてロールプレイを行いながら学ぶ。英単語学習及び日常的な英語フレーズを1つでも多く覚えられるよう努力すること。
	第9回	英語研修(5)　日常英会話　危機管理 研修時の日常で困ったことがないよう基本的なコミュニケーション方法等についてロールプレイを行いながら学ぶ。英単語学習及び日常的な英語フレーズを1つでも多く覚えられるよう努力すること。
	第10回	協定校での授業　会話、課外授業　　Meet with Program Team レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
	第11回	協定校での授業　会話、課外授業　　Welcome &Program Orientation レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
	第12回	協定校での授業　会話、課外授業　　Campus Orientation & Tour レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
	第13回	協定校での授業　会話、課外授業　Language Canada-at-aGlance ① レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
	第14回	協定校での授業　会話、課外授業　Language Canada-at-aGlance ② レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
	第15回	協定校での授業　会話、課外授業　Tour of the Royal Saskatchewan Museum レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
	第16回	協定校での授業　会話、課外授業　Language History ① レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
	第17回	協定校での授業　会話、課外授業　Language History ② レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
	第18回	協定校での授業　会話、課外授業　Farmer,s Market and Regina Down Town Tour レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
	第19回	協定校での授業　会話、課外授業　Language Culture ① レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
	第20回	協定校での授業　会話、課外授業　　Language Cu l ture② レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
	第21回	協定校での授業　会話、課外授業　　Tour of Sa s katoon & Western Development Museum レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
	第22回	協定校での授業　会話、課外授業　Language Sports ① レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
	第23回	協定校での授業　会話、課外授業　　Language Sports ② レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
	第24回	協定校での授業　会話、課外授業　Tour of the Royal Canadian Mounted Police & Government House レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
	第25回	協定校での授業　会話、課外授業　　Language Arts ① レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
	第26回	協定校での授業　会話、課外授業　　Language Arts ② レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
	第27回	協定校での授業　会話、課外授業　Kayaking on Wascana & Barbeque wiyh U of R students レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
	第28回	協定校での授業　会話、課外授業　Program Closing Ceremony レジャイナ大学　ESL(English as a Second Language class)プログラムへ参加し英語学習を深める。講義及びフィールドワークを実施する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
	第29回	研修成果　　レポート及び報告会プレゼンテーション準備 研修事業の成果報告会に向けて発表の準備及び研修前と研修後の意識変化について確認する。
	第30回	研修成果　報告会　（まとめとふりかえり） 研修成果　報告会　（まとめとふりかえり）

受講生に関わる情報および受講のルール	①研修への参加責任及び費用負担義務の所在が本人及び保護者であることを十分理解し、研修について保護者とよく話 し合い、同意を得る。 ②研修予定地の事情をよく調べ、研修機関のサポート内容などを確認しながら研修計画を作成する。 ③旅行保険等の加入など万全の準備をするほか、連絡体制についても明確にし、大学に伝える。 ④担当教員による事前・事後指導も評価の対象となるので、誠実な態度で指導を受ける。 ⑤国際情勢の急な変化によって研修実施が困難となる場合もあることに留意する。 ⑥小学校における英語必修化に伴い初等教育コースの学生は履修することが望ましい ⑦本講義は10人以上により開講する
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	渡航先の語学や会話を授業で受講しておくこと。また日常から海外のニュースを見聞きし、情報を得ておくことが必要である。旅券の取得、現地通貨などの準備、ツアーや航空券の手配、保険の申請などがある。
オフィスアワー	月曜日　5時限　（変更が生じた場合は適宜指示する）
評価方法	海外研修時において学生個人が定めた目的に対し、十分な学習経験を得ていると認められる活動に対し、単位を認める。 成績は、事前指導、事後指導への参加状況、研修中の活動記録(40%)、研修後報告書の課題(60%)をもとに評価する。原則として以下の条件を満たすこと。 ① 学内におけるガイダンス、事前・事後指導にすべて出席すること。 ② 事前に研修期間を通して学修・研究すべき課題を決め、事前レポートを提出すること。 ③ 滞在期間中に必要な学習活動を行うこと。 ④ 研修期間中の活動記録を提出すること。 ⑤ 帰国後、指定された時期までに報告書などの課題を提出すること。
教科書	担当教員が適宜指示する。
参考書	海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)　渡航先に関するガイドブック、新聞、海外ニュース、ネットなどによる最新の情報など
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　海外医療福祉研究（フィリピン）　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	1年次～2年次	2単位(60)	選択
担当教員			
田口　敦彦・小林　洋子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	海外研修を通じて国際社会に貢献する意欲を養い、様々な人と出会い交流し、文化や言葉の壁を越えた理解を深めながらコミュニケーション能力を身につける。また国際社会で活躍する医療福祉人材として、海外での様々な体験を通して世界を違う視点から見ることができるようになることを目的とする。このプログラムはフィリピンでの医療福祉事情の理解と臨床現場での実地体験を目的としたプログラムを組み込んでいる。医療・福祉施設（小児がん治療施設・リハビリデイケアセンター・障害者施設・病院)にて実地体験を経験し、国際的な視野、協調性、行動力、自主性といった能力を中心に培いながら、現地の学生との交流により、英語によるコミュニケーション能力並びに医療英語や英会話を含む英語能力の向上や異文化体験の機会をも得ることを目的とする。
授業の概要	研修は、群馬医療福祉大学の協定・提携大学　フィリピン・アレリアノ大学との間に企画された、誰もが参加しやすい医療福祉ボランティア学習に重点を置いたプログラムである。事前学習として訪問先の文化・社会等についての理解を深め、医療英語及び日常英会話についのコミュニケーション能力を高める。その後、本学の協定大学における8日間の研修プログラム(講義又フィールドワーク）を中心に実施し、帰国後、それらの講義、体験をもとに、まとめ・報告会を行う。 研修期間　平成32年3月15日～3月23日

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回	研修先の概要(1)オリエンテーション　海外研修プログラムについての概要　　申込書などの記入の仕方 グローバル人材海外研修を通じて、国際社会に貢献する意欲を養い、様々な人と出会い交流し、文化や言葉の壁を越えた理解を深めながらコミュニケーション能力を身につけることを理解する。海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)を熟読しておくこと。
	第２回	研修先の概要(2)　アレリアノ大学についての概要 訪問するアレリアノ大学の概要について理解するとともに、アレリアノ大学が提携する病院、福祉施設訪問プログラムを確認する。海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)パスポート取得をスムーズに行うため事前に外務省等のホームページを確認しておくこと。
	第３回	フィリピン研究(1)　世界とフィリピンの関係について　文化、歴史、経済、習慣等について フィリピンの歴史、文化、伝統　自然等について学び、現地でのフィールドワークに活かせるよう知識、教養を身につける。海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)ネット、情報誌等でフィリピンの文化、歴史等を収集しておくこと。
	第４回	手続きガイダンス(1)　海外渡航に必要となる諸手続きについて パスポート、ETAの申請について 。さらに渡航前の健康管理と安全管理について確認する。また、リスクマネジメントを徹底し、病状悪化などの緊急時用の対応ができるよう安全管理について渡航前から学ぶ。海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)
	第５回	医療福祉研修(1)　ボランティア先での注意事項 海外でボランティアを行う上での心構えや英語でのコミュニケーションまた英語以外でのコミュニケーションの方法等について理解する。レクリエーションの企画立案をグループごとに行う。レクリエーション企画について事前に自分たちができそうなことを事前に準備しておくこと。
	第6回	医療福祉研修(2)　ボランティア先でのレクリエーション企画について 海外でボランティアを行う上での心構えや英語でのコミュニケーションまた英語以外でのコミュニケーションの方法等について理解する。レクリエーションの企画立案をグループごとに行う。日本の文化を紹介するにはどのように行ったらよいのかを考えてみる。

	第7回	英語研修(1)　日常英会話　英語圏の生活に必要なこと　　入国審査カードの書き方、入国審査での質問、機内での英会話 機内、出入国で使用する英語について学ぶ。さらに挨拶、日常会話について理解を深める。英単語学習及び日常的な英語フレーズを1つでも多く覚えられるよう努力すること。
	第8回	英語研修(2)　日常英会話　自文化を紹介する態度、言い回し 研修時の日常で困ったことがないよう基本的なコミュニケーション方法等についてロールプレイを行いながら学ぶ。英単語学習及び日常的な英語フレーズを1つでも多く覚えられるよう努力すること。
	第9回	英語研修(3)　医療英語　　患者及び施設利用者とのコミュニケーション 研修時の日常で困ったことがないよう基本的なコミュニケーション方法等についてロールプレイを行いながら学ぶ。英単語学習及び日常的な英語フレーズを1つでも多く覚えられるよう努力すること。
	第10回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 アレリアノ大学　医療福祉研修プログラムへ参加し海外での実践活動・講義及びフィールドワークについて確認する。（プログラムの詳細は現地にて説明）
	第11回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 アレリアノ大学のキャンパス見学及び概要説明。現地大学生との交流を行う。
	第12回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 アレリアノ大学のキャンパス見学及び概要説明。現地大学生との交流を行う。
	第13回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 Esperanza Health Center and Lying In Clinicにて　健康診断　栄養管理　予防接種、体重モニタリング、について学ぶ。フィリピンの医療、福祉制度について事前に調査・学習しておくこと。
	第14回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 Esperanza Health Center and Lying In Clinicにて　健康診断　栄養管理　予防接種、体重モニタリングについて学ぶ。フィリピンの医療、福祉制度について事前に調査・学習しておくこと。
	第15回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 Esperanza Health Center and Lying In Clinicにて　健康教育、出産について学ぶ。フィリピンの医療、福祉制度について事前に調査・学習しておくこと。
	第16回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 Esperanza Health Center and Lying In Clinicにて　産前産後検診について学ぶフィリピンの医療、福祉制度について事前に調査・学習しておくこと。
	第17回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 Kaisaka Rehabilitative therapies　リハビリ病院訪問フィリピンの医療、福祉制度について事前に調査・学習しておくこと。
	第18回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 Kaisaka Adult day care services　高齢者デイケア訪問フィリピンの医療、福祉制度について事前に調査・学習しておくこと
	第19回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 Kaisaka Caring for persons with disabilities and social rehabilitation　身体障害者施設を訪問し社会復帰プログラムについて理解を深める。フィリピンの医療、福祉制度について事前に調査・学習しておくこと。
	第20回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 Arellano University Rehabilitation Clinic Rehabilitation terapiesを訪問し　リハビリ療法、成人向けデイケアサービス、障害者のケアと社会復帰に向けた支援について学ぶ。フィリピンの医療、福祉制度について事前に調査・学習しておくこと。
	第21回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 Arellano University Rehabilitation Clinic　リハビリ療法、成人向けデイケアサービス、障害者のケアと社会復帰に向けた支援について学ぶ。
	第22回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 Arellano University Rehabilitation Clinic　リハビリ療法、成人向けデイケアサービス、障害者のケアと社会復帰に向けた支援について学ぶ。
	第23回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 マニラおよび近郊の文化、観光施設 現地でのフィールドワークに活かせるよう知識、教養を身につけておくこと。
	第24回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 マニラおよび近郊の文化、観光施設 現地でのフィールドワークに活かせるよう知識、教養を身につけておくこと。
	第25回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 マニラおよび近郊の文化、観光施設 現地でのフィールドワークに活かせるよう知識、教養を身につけておくこと。
	第26回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 CHILD HAUS children`s home,day care centersを訪問し、がんなどの重篤な病気に罹患している子どもたちとの交流活動を行う。子どもたちのプレゼントを事前に用意しておくこと。
	第27回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 CHILD HAUS children`s home,day care centersを訪問し、がんなどの重篤な病気に罹患している子どもたちとの交流活動を行う。子どもたちのプレゼントを事前に用意しておくこと。
	第28回	協定校での授業　会話、課外授業、ボランティア体験 CHILD HAUS children`s home,day care centersを訪問し、がんなどの重篤な病気に罹患している子どもたちとの交流活動を行う。子どもたちのプレゼントを事前に用意しておくこと。
	第29回	研修成果　　レポート及び報告会プレゼンテーション準備

	研修事業の成果報告会に向けて発表の準備及び研修前と研修後の意識変化について確認する。 第30回　研修成果　報告会　（まとめとふりかえり） 研修事業の振り返りと研修の成果について確認を行う。
受講生に関わる情報および受講のルール	①研修への参加責任及び費用負担義務の所在が本人及び保護者であることを十分理解し、研修について保護者とよく話し合い、同意を得る。 ②研修予定地の事情をよく調べ、研修機関のサポート内容などを確認しながら研修計画を作成する。 ③旅行保険等の加入など万全の準備をするほか、連絡体制についても明確にし、大学に伝える。 ④担当教員による事前・事後指導も評価の対象となるので、誠実な態度で指導を受ける。 ⑤国際情勢の急な変化によって研修実施が困難となる場合もあることに留意する。 ⑥本講義は10人以上により
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	渡航先の語学や会話を授業で受講しておくこと。また日常から海外のニュースを見聞きし、情報を得ておくことが必要である。旅券の取得、現地通貨などの準備、ツアーや航空券の手配、保険の申請などがある。
オフィスアワー	月曜日　5時限　（変更が生じた場合は適宜指示する）
評価方法	海外研修時において学生個人が定めた目的に対し、十分な学習経験を得ていると認められる活動に対し、単位を認める。 成績は、事前指導、事後指導への参加状況、研修中の活動記録(40%)、研修後報告書の課題(60%)をもとに評価する。原則として以下の条件を満たすこと。 ① 学内におけるガイダンス、事前・事後指導にすべて出席すること。 ② 事前に研修期間を通して学修・研究すべき課題を決め、事前レポートを提出すること。 ③ 滞在期間中に必要な学習活動を行うこと。 ④ 研修期間中の活動記録を提出すること。 ⑤ 帰国後、指定された時期までに報告書などの課題を提出すること。
教科書	担当教員が適宜指示する。
参考書	海外渡航学生マニュアル(群馬医療福祉大学作成)　渡航先に関するガイドブック、新聞、海外ニュース、ネットなどによる最新の情報など
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ■協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　スポーツ及びレクリエーション実技　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1単位(30)	介護福祉コース・医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
長津　一博			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔 授業の目的 〕幼児から高齢者・障がい者までの健康・体力・興味・関心など様々な要求に応じたレクリエーションやスポーツが日常生活の中で継続的に行えるような状態を創り出し、明るく豊かな人生を送るために生涯にわたって実施できるよう、レクリエーションやスポーツの楽しさと必要性を体験を通して学習する。 〔 到達目標 〕 1.スポーツ及びレクリエーション活動の意義を理解できる。 2.レクリエーションやスポーツのさまざまな活動を通して、積極的に実践することができる。 3.他者への支援ができるようになる。 4.協力・強調・友愛などの意識を高める。
授業の概要	各種運動及びレクリエーションの実践を通して、身体統御の方法を身につける。チームの一員、仲間としての自覚をもち、社会生活の中での規則やルールを守り、精神力や体力を養い、人間関係の円滑化を図れるようになる。スポーツ及びレクリエーションをグループワークにより実践し、生涯学習及び社会福祉現場での実践へ動機づけることで、健康の保持増進や、スポーツ及びレクリエーションの楽しさ・素晴らしさを授業で学び取る。また、各個人の身体的特性や能力に応じて展開する。レクリエーションインストラクターの資格取得のための科目である。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	1．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	2．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	3．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 4．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	5．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回　　科目オリエンテーション及びレクリエーションの理解 レクリエーションの意義とADLの向上を理解し、科目の位置づけとシラバス説明。授業の流れ、評価の説明。軽レクリエーションを実施する。 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 第２回　　NEWスポーツ①　（集団で行うスポーツを理解する） スポーツにおける団結力及びリーダーシップ等の必要性及び、スポーツ種目におけるチーム内の団結力及びリーダーシップについて考え、その必要性について理解する。また、自分自身のスポーツにおける能力を把握する。 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 第３回　　NEWスポーツ②　（集団で行うスポーツのルール把握し実践につなげる） スポーツにおける団結力及びリーダーシップ等の必要性及び、スポーツ種目におけるチーム内の団結力及びリーダーシップについて考え、その必要性について理解する。自分自身のスポーツにおける能力にあわせたスポーツを実施する。 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 第４回　　NEWスポーツ③　（集団で行うスポーツを行う上で、対象者にあわせた支援を考え援助につなげる） スポーツにおける団結力及びリーダーシップ等の必要性及び、スポーツ種目におけるチーム内の団結力及びリーダーシップについて理解する。 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 第５回　　バドミントン①　　基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得) 基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得) バドミントンのルール、ストローク、及び様々なショットを知り、ラリーに役立てる。 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 第６回　　バドミントン②　　実践(基礎技術の獲得及びゲーム) 実践(基礎技術の獲得及びゲーム) 様々なショットの復習をしゲームを中心に行う。 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 第７回　　バスケットボール①　　基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得) 基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)

	バスケットボールのルール及び基本動作について知る。 チーム編成をし、能力の差に応じて練習をする。 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 第８回　　バスケットボール②　　実践(基礎技術の獲得及びゲーム) 実践(基礎技術の獲得及びゲーム) バスケットの様々な動作の復習とゲームを行う。 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 第９回　　OMNIKIN　KIN-BALL　　基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)とゲーム 基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)とゲーム NEWスポーツである『KIN-BALL』のルール及び基本動作について知る。 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 第１０回　　ニチレクボール　・　ボッチャ　　基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)とゲーム 基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)とゲーム NEWスポーツである『ニチレクボール』及び『ボッチャ』のルール及び基本動作について知り、ゲームにつなげる。 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 第１１回　　ブラインド卓球及び卓球バレーボール　　基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)とゲーム 視覚障がい者卓球と障がい者スポーツとして取り入れられている卓球バレーボールのルール及び基本動作について知り、ゲームにつなげる。 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 第１２回　　ユニバーサルホッケー　　基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)とゲーム ユニバーサルホッケー（フロアボール）のルール及び基本動作について知り、ゲームにつなげる。 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 第１３回　　フットサル　　基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得) フットサルのルール及び基本動作について知る。 チーム編成をし、能力の差に応じて練習をする。 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 第１４回　　フットサル　　実践(基礎技術の獲得及びゲーム) フットサルの様々な動作の復習とゲームを行う。 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 第１５回　　振り返りとまとめ　レポート提出　　授業総括 前期総括を行う。 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
受講生に関わる情報および受講のルール	授業は指定のジャージを着用し、体育館シューズを着用すること。肩にかかる髪は束ねる。身体を動かすことが多数あるため爪が伸びていたり装備品の装着等他者に支障がないようにすること。　積極的に授業に参加すること。他の仲間の迷惑になる行為は厳禁（やる気のない態度や暴言）。出席を常とし、遅刻をしないこと（遅刻３回で欠席１回とカウントする）。天候等により実施種目を変更することがある。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	日頃からスポーツ及びレクリエーションに関する情報を様々な場所で収集するよう留意すること。
オフィスアワー	水曜日9時～11時、授業の前後30分、それ以外の時間帯については、アポイントを取っていただきたい。
評価方法	授業における実践活動に関する積極性及び取り組み：60% 課題レポート：40%
教科書	必要に応じて紹介する。
参考書	必要に応じて紹介する。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　スポーツ及びレクリエーション実技　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	2単位(60)	福祉総合コース・必修
担当教員			
長津　一博			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 幼児から高齢者・障がい者までの健康・体力・興味・関心など様々な要求に応じたレクリエーションやスポーツが日常生活の中で継続的に行えるような状態を創り出し、明るく豊かな人生を送るために生涯にわたって実施できるよう、レクリエーションやスポーツの楽しさと必要性を体験を通して学習する。 【到達目標】 1.スポーツ及びレクリエーション活動の意義を理解できる。 2.レクリエーションやスポーツのさまざまな活動を通して、積極的に実践することができる。 3.他者への支援ができるようになる。 4.協力・強調・友愛などの意識を高める。
授業の概要	各種運動及びレクリエーションの実践を通して、身体統御の方法を身につける。チームの一員、仲間としての自覚をもち、社会生活の中での規則やルールを守り、精神力や体力を養い、人間関係の円滑化を図れるようになる。スポーツ及びレクリエーションをグループワークにより実践し、生涯学習及び社会福祉現場での実践へ動機づけることで、健康の保持増進や、スポーツ及びレクリエーションの楽しさ・素晴らしさを授業で学び取る。　また、各個人の身体的特性や能力に応じて展開する。レクリエーションインストラクターの資格取得のための科目である。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回　　科目オリエンテーション及びレクリエーションの理解 レクリエーションの意義とADLの向上を理解し、科目の位置づけとシラバス説明。授業の流れ、評価の説明。軽レクリエーションを実施する。 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 第２回　　NEWスポーツ①　（集団で行うスポーツを理解する） スポーツにおける団結力及びリーダーシップ等の必要性及び、スポーツ種目におけるチーム内の団結力及びリーダーシップについて考え、その必要性について理解する。また、自分自身のスポーツにおける能力を把握する。 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 第３回　　NEWスポーツ②　（集団で行うスポーツのルール把握し実践につなげる） スポーツにおける団結力及びリーダーシップ等の必要性及び、スポーツ種目におけるチーム内の団結力及びリーダーシップについて考え、その必要性について理解する。自分自身のスポーツにおける能力にあわせたスポーツを実施する。 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 第４回　　NEWスポーツ③　（集団で行うスポーツを行う上で、対象者にあわせた支援を考え援助につなげる） スポーツにおける団結力及びリーダーシップ等の必要性及び、スポーツ種目におけるチーム内の団結力及びリーダーシップについて理解する。 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 第５回　　バドミントン①　　基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得) 基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得) バドミントンのルール、ストローク、及び様々なショットを知り、ラリーに役立てる。 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 第６回　　バドミントン②　　実践(基礎技術の獲得及びゲーム) 実践(基礎技術の獲得及びゲーム) 様々なショットの復習をしゲームを中心に行う。 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 第７回　　バスケットボール①　　基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)

		基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得) バスケットボールのルール及び基本動作について知る。 チーム編成をし、能力の差に応じて練習をする。
	第８回	準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 バスケットボール②　　実践(基礎技術の獲得及びゲーム) 実践(基礎技術の獲得及びゲーム) バスケットの様々な動作の復習とゲームを行う。
	第９回	準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 OMNIKIN　KIN-BALL　　基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)とゲーム 基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)とゲーム NEWスポーツである『KIN-BALL』のルール及び基本動作について知る。
	第１０回	準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 ニチレクボール　・　ボッチャ　基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)とゲーム 基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)とゲーム NEWスポーツである『ニチレクボール』及び『ボッチャ』のルール及び基本動作について知り、ゲームにつなげる。
	第１１回	準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 ブラインド卓球及び卓球バレーボール　　基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)とゲーム 視覚障がい者卓球と障がい者スポーツとして取り入れられている卓球バレーボールのルール及び基本動作について知り、ゲームにつなげる。
	第１２回	準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 ユニバーサルホッケー　　基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得)とゲーム ニバーサルホッケー（フロアボール）のルール及び基本動作について知り、ゲームにつなげる。
	第１３回	準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 フットサル　　基礎理解(ルールの理解及び基礎技術の獲得) フットサルのルール及び基本動作について知る。 チーム編成をし、能力の差に応じて練習をする。
	第１４回	準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 フットサル　　実践(基礎技術の獲得及びゲーム) フットサルの様々な動作の復習とゲームを行う。
	第１５回	準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 振り返りとまとめ　レポート提出　授業総括 前期総括を行う。
	第１６回	準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 後期オリエンテーション（概要・評価の流れ） 科目オリエンテーション及びレクリエーションの理解 科目の位置づけとシラバス説明。　授業の流れ、評価の説明。　軽レクリエーションの実施。
	第１７回	準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 NEWスポーツ④　レクリエーションダンス　（地域文化伝承踊り等） 地域の伝統文化に触れ、その音楽に合わせた動きを実際に行い、生理的・心理的・社会的な効果を応用して、心身の健康の回復、向上をはかる。
	第１８回	準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 レクリエーションの企画①（限られた空間での援助方法を知り、レクリエーションを企画する） 班編制・企画の開始
	第１９回	準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 レクリエーションの企画②（対象者にあわせた援助方法を知り、レクリエーションを企画する） 対象者にあわせた援助方法を知り、レクリエーションを企画する。
	第２０回	準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 車いすバスケット　Ⅰ　ルール・基本動作 障がい及び車いすの理解をするとともに、障がい者スポーツである車いすバスケットのルール及び基本動作について知る。 チーム編成をし、能力の差に応じて練習をする。
	第２１回	準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 車いすバスケット　Ⅱ　ゲーム 障がい及び車いすの理解をするとともに、障がい者スポーツである車いすバスケットのルール及び基本動作について知る。 チーム編成をし、能力の差に応じて練習を行いゲームにつなげる。
	第２２回	準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 レクリエーションの企画③（タイムテーブル・リハーサル） レクリエーションの企画を実現化させ、実施に向けたタイムテーブル等の作成を行う。

	授業後半は実践のリハーサル。 第２３回　準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 バレーボール　Ⅰ　ルール・基本動作 バレーボールのルール及び基本動作について知る。 チーム編成をし、能力の差に応じて練習をする。 第２４回　準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 バレーボール　Ⅱ　ゲーム バレーボールの様々な動作の復習とゲームを行う。 第２５回　準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 レクリエーションの運営①(グループ１によるレクリエーションの運営) 企画したレクリエーションを実際に学生に向け運営・実施する。 第２６回　準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 レクリエーションの運営②(グループ２によるレクリエーションの運営) 企画したレクリエーションを実際に学生に向け運営・実施する。 第２７回　準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 レクリエーションの運営③(グループ３によるレクリエーションの運営) 企画したレクリエーションを実際に学生に向け運営・実施する。 第２８回　準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 NEWスポーツ⑤　ゴールボール(ルールの理解と基礎知識・技術の獲得) ゴールボールのルール及び基本動作について知る。 チーム編成をし、能力の差に応じて練習をする。 第２９回　準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 NEWスポーツ⑥　ゴールボール(理解及び基礎技術の獲得及びゲーム) ゴールボールの様々な動作の復習とゲームを行う。 第３０回　準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。 後期総括　レポート提出 後期総括を行うとともにレポート提出についての説明を行う。 準備：指定ジャージ・体育館シューズ着用・髪の毛の長いものは後ろで縛ること。
受講生に関わる情報および受講のルール	授業は指定のジャージを着用し、体育館シューズを着用すること。肩にかかる髪は束ねる。身体を動かすことが多数あるため爪が伸びていたり装備品の装着等他者に支障がないようにすること。　積極的に授業に参加すること。他の仲間の迷惑になる行為は厳禁（やる気のない態度や暴言）。出席を常とし、遅刻をしないこと（遅刻３回で欠席１回とカウントする）。天候等により実施種目を変更することがある。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	・日頃からスポーツ及びレクリエーションに関する情報を様々な場所で収集するよう留意すること。
オフィスアワー	水曜日9時～11時、授業の前後30分、それ以外の時間帯については、アポイントを取っていただきたい。
評価方法	授業における実践活動に関する積極性及び取り組み：60% 課題レポート：40%
教科書	必要に応じて紹介する。
参考書	必要に応じて紹介する。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　認知症の理解　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	4単位(60)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
岩﨑　文明			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 　認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮したケアの視点を習得することを目的とする。 〔到達目標〕 　①認知症に関する基礎知識に基づいて認知症の人の特徴を理解できる。 　②本人・家族、それらを取り巻く環境に配慮した支援（ケア）の視点が理解できる。
授業の概要	認知症の中核症状とそこから派生する認知症高齢者の行動・心理症状（ＢＰＳＤ）のしくみを理解し、認知症の症状に悩む本人及び介護者（家族等）に提供するケアの視点を体系的に学ぶ。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回	前期科目オリエンテーション　目的、目標、履修上の注意点、評価方法等を説明 【key words】 認知症・専門職 【授業概要】 ・授業の進め方、評価、学生の目指す専門職とは等についての概説 ・認知症についての概説 【教科書ページ・参考文献】 板書による説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること
	第２回	認知症とはなにか　認知症の定義 【key words】 認知症とは 【授業概要】 ・認知症の定義を理解する 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ75-77 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること
	第３回	認知症ケアの歴史　認知症の人を支援する制度 【key words】 認知症の歴史 【授業概要】 ・認知症の歴史を理解する 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ78-83 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること
	第４回	認知症と間違えられやすい状態　老年期うつ病　せん妄　単なる物忘れとの違い 【key words】

		認知症と間違えられやすい状態 【授業概要】 ・認知所と間違えられやすい状態する 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ84-88 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること
	第５回	認知症の原因疾患　三大認知症・・・アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症 【key words】 認知症の原因疾患 【授業概要】 ・三大認知症 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ89-95 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること
	第６回	若年性認知症　老年期認知症との違い　（第2回～5回までの小テスト） 【key words】 若年性認知症 【授業概要】 ・老年期認知症との違い 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ96-97 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること
	第７回	高齢者への薬剤と認知症の薬 【key words】 認知症の薬 【授業概要】 ・新たに出た薬の状況 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ96-97 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること
	第８回	認知症の診断と治療 【key words】 認知症の診断 【授業概要】 ・認知症の治療 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ97-102 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること
	第９回	認知症の人の理解　認知症が及ぼすこころとからだへの影響 【key words】 認知症の人の理解 【授業概要】 ・認知症が及ぼすこころとからだへの影響 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ103-104 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること
	第１０回	環境が及ぼす認知症の人への影響　（第6回～9回までの小テスト） 【key words】 環境 【授業概要】 ・環境が及ぼす認知症の人への影響 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ104-109 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること
	第１１回	認知症ケアと介護の心構え　説明と同意 【key words】 認知症ケア 【授業概要】 ・介護の心構え 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ109-110 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること
	第１２回	認知症のアセスメント　社会関係と役割の維持 【key words】 アセスメント 【授業概要】 ・社会関係と役割の維持 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ110-112 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること
	第１３回	認知症の非薬物療法について

【key words】
非薬物療法
【授業概要】
・非薬物療法
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ112-116
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること

第１４回　認知症の人を介護する家族の理解
【key words】
家族の理解
【授業概要】
・家族の理解
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ117-121
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること

第１５回　前期まとめ　レポート作成　前期定期試験告知　　（第10回～14回までの小テスト）
【key words】
前期まとめ
【授業概要】
・レポート作成
【教科書ページ・参考文献】
認知症ＤＶＤ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること

第１６回　後期科目オリエンテーション　前期の振り返り　後期課程の説明
【key words】
認知症・専門職
【授業概要】
・授業の進め方、評価、学生の目指す専門職とは等についての概説
・認知症についての概説
【教科書ページ・参考文献】
板書による説明
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること

第１７回　事例から学ぶ認知症の理解①　「若年性認知症を知る」　　事例の理解（個人ワーク）
【key words】
事例
【授業概要】
若年性認知症を知る
【教科書ページ・参考文献】
事例
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること

第１８回　事例から学ぶ認知症の理解②　「若年性認知症の支援」　　事例に対するケアの考察（グループワーク）
【key words】
事例
【授業概要】
若年性認知症の支援
【教科書ページ・参考文献】
事例
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること

第１９回　事例から学ぶ認知症の理解③　「若年性認知症の支援方法の共有」　　検討内容と結果の発表（グループ発表）
【key words】
事例
【授業概要】
若年性認知症の支援の方法
【教科書ページ・参考文献】
事例
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること

第２０回　事例から学ぶ認知症の理解④　「若年性認知症の支援の総括」　　今回の事例検討のまとめ
【key words】
事例
【授業概要】
若年性認知症の支援の総括
【教科書ページ・参考文献】
事例
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること

第２１回　事例から学ぶ尊厳の理解①　「その人らしさ（尊厳）を知る」　　事例の理解（個人ワーク）
【key words】
事例
【授業概要】
その人らしさを知る
【教科書ページ・参考文献】
事例

【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること

第２２回　事例から学ぶ尊厳の理解②　「その人らしさ（尊厳）の考察」　事例に対するケアの考察（グループワーク）

【key words】
事例
【授業概要】
その人らしさの考察
【教科書ページ・参考文献】
事例
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること

第２３回　事例から学ぶ尊厳の理解③　「その人らしさ（尊厳）を支える方法」　検討内容と結果の発表（グループ発表）

【key words】
事例
【授業概要】
その人らしさを支える方法
【教科書ページ・参考文献】
事例
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること

第２４回　事例から学ぶ尊厳の理解④　「その人らしさ（尊厳）を支える（総括）」　今回の事例検討のまとめ

【key words】
事例
【授業概要】
その人らしさを支える
【教科書ページ・参考文献】
事例
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること

第２５回　事例から学ぶ自己選択自己決定①　「個人の生活を知る」　事例の理解（個人ワーク）

【key words】
事例
【授業概要】
個人の生活を知る
【教科書ページ・参考文献】
事例
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること

第２６回　事例から学ぶ自己選択自己決定②　「個人の生活をどのように支援するか」　事例に対するケアの考察（グループワーク）

【key words】
事例
【授業概要】
個人の生活をどのように支援する
【教科書ページ・参考文献】
事例
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること

第２７回　事例から学ぶ自己選択自己決定③　「個人の生活をどのように支援方法」　検討内容と結果の発表（グループ発表）

【key words】
事例
【授業概要】
個人の生活をどのように支援方法
【教科書ページ・参考文献】
事例
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること

第２８回　事例から学ぶ自己選択自己決定④　「個人の生活をどのように支援するか（総括）」　今回の事例検討のまとめ

【key words】
事例
【授業概要】
個人の生活をどのように支援するか
【教科書ページ・参考文献】
事例
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること

第２９回　認知症の理解　事例から学んだことをまとめる（レポート作成）

【key words】
事例
【授業概要】
事例から学んだことをまとめる
【教科書ページ・参考文献】
事例
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること

第３０回　科目のまとめ（振り返り）　後期定期試験の告知

	【key words】 まとめ 【授業概要】 まとめ 【教科書ページ・参考文献】 まとめ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること
受講生に関わる情報および受講のルール	「認知症の理解」は専門的用語、医学、心理学、行動学からのアプローチが中心となる広い範囲を持つ学びである。介護の専門性を支える根幹の１つであるので、授業には知的好奇心をもって臨むこと。 受講上のルールとして、私語は禁止とする。私語は相手、周囲の者に対しての迷惑行為である。厳に慎むことを自覚して授業に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	認知症の理解は、机上の勉強だけでは理解できないので、実習やボランティア活動を通じて、事例に多く携わること。実習やボランティアに赴く際には、学んだ内容を復習して臨むとよい。
オフィスアワー	木曜日・金曜日の5限帯（16:00-17:30）
評価方法	①前期：小テスト（全3回）30%、課題レポート70%　　②後期：事例検討レポート30%+課題レポート70%
教科書	介護福祉士養成テキスト５「認知症の理解」　日本介護福祉士養成施設協会
参考書	特になし　必要に応じて提示する
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 高齢者介護の施設にいた アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　障害者に対する支援と障害者自立支援制度　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(30)	１年生
担当教員			
真下　潔			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 児童福祉の現状と課題を理解し、支援のあり方や福祉制度を学ぶことにより、社会福祉業務に必要な知識等を身につけることを目的とする。 【到達目標】 ①現代の児童福祉の現状と課題、児童福祉の理念、児童福祉の関係法令・実施体制・専門職・権利擁護が理解できる。 ②社会福祉士や児童指導員等有資格者として必要な児童福祉の基本的な知識を修得できる。
授業の概要	教科書により、前期は、子育ての現状と課題、次世代育成支援策、児童福祉ニーズ、権利保障、児童福祉の法体系、等について講義を行う。 後期は、障害児、児童の健全育成、子育て支援、社会的養護児童、非行児童、被虐待児等の現状支援策について講義を行う

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　科目オリエンテーション ＜key words＞ 講義の受け方 ＜授業の概要＞ 講義の受け方、予習復習について、評価方法等説明する ＜教科書＞ 目次 第２回　障害者を取り巻く社会情勢と生活実態１ ＜key words＞ 障害者福祉、障害とは ＜授業の概要＞ 諸外車を取り巻く社会情勢の変容と、「障害」についてのとらえ方を知る ＜教科書＞ １－３３ 第３回　障害者を取り巻く社会情勢と生活実態２ ＜key words＞ ＩＣＩＤＨ、ＩＣＦ 第２回と同様 第４回　障害者に関わる法体系１ ＜key words＞ 障害者基本法 ＜授業の概要＞ 障害者の福祉に関わる法体系を概観する ＜教科書＞ ３４－１０５ 第５回　障害者に関わる法体系２ 同上 第６回　障害者自立支援制度①－１ ＜key words＞

		障害者総合支援法 ＜授業の概要＞ 障害者総合支援法について、その内容を吟味していく
	第７回	障害者自立支援制度①－２ 第６回に同じ
	第８回	障害者自立支援制度①－３ 第７回に同じ ＜key words＞ 介護保険
	第９回	障害者自立支援制度②－１ ＜key words＞ 障害児、児童福祉法 ＜授業の概要＞ 障害児副詞に係る制度や支援の現状を把握する ＜教科書＞ １６４－１７９
	第１０回	障害者自立支援制度②－２ 第９回に同じ
	第１１回	障害者自立支援制度②－３ 第１０回に同じ
	第１２回	組織・機関の役割 ＜key words＞ 行政機関、労働機関、教育機関 ＜授業の概要＞ 障害者、障害児福祉に関わる資源としての機関の役割ついてみていく ＜教科書＞ １８０－２１１
	第１３回	専門職の役割と実際 ＜key words＞ ソーシャルワーク、専門職の役割 ＜授業の概要＞ 障害者福祉に関わる専門職の役割と各々が持つ価値について知る ＜教科書＞ ２１２－２４３
	第１４回	多職種連携・ネットワーキング ＜key words＞ 連携、協働 ＜授業の概要＞ 障害者福祉に係る連携、協働の目的と意味からソーシャルワークの必要性を学ぶ
	第１５回	まとめ まとめ 質疑応答
	第１６回	
	第１７回	
	第１８回	
	第１９回	
	第２０回	
	第２１回	
	第２２回	
	第２３回	
	第２４回	
	第２５回	
	第２６回	
	第２７回	
	第２８回	

	第２９回 第３０回
受講生に関わる情報および受講のルール	・教科書を必ず持参すること ・予習復習を行うこと ・授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生に迷惑になる行為は行わないこと
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	・授業内容を基盤にして、自己学習につなげていくこと ・その他、授業のなかで伝える
オフィスアワー	授業のなかで伝える
評価方法	期末試験　８０％　　授業への取り組み等　２０％
教科書	新・社会福祉士養成講座「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」　中央法規出版
参考書	授業のなかで必要に応じて伝える
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 児童相談所、身体障害者更生相談所、児童自立支援施設 （児童心理司、児童福祉司、SV、言語聴覚士等） アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク ■アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　介護の基本Ⅰ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	4単位(60)	必修
担当教員			
白井　幸久			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 介護に関する基本的理念、考え方を学ぶとともに、公的な社会保障としての介護サービスと実際の提供システム及び介護サービスの内容等について理解する。 【到達目標】 ① 介護の基本的な理念を理解する。 ②社会福祉士及び介護福祉士法を理解する。 ③介護保険法や障害者総合支援法で定める介護サービスや実際の提供システムを説明することができる。　④介護における安全確保とリスクマネジメントを理解する。 ⑤介護職の健康管理を理解する。 ⑥専門職業人としての介護福祉士を理解する
授業の概要	介護の意義と役割及び専門性について、介護の歴史や関連法規を通じて理解し、介護の実践の基本的な姿勢や介護の倫理などを学ぶ。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	1．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	2．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	3．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 4．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	5．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回	ガイダンス　授業計画や履修上の注意点など ［キーワード］　介護福祉士、養老施設、老人福祉法など ［テキスト］　レジュメ①と介護福祉士を取り巻く制度や社会の動きのプリントを配布する。 ・「介護の基本」では、介護福祉士の役割などを学ぶ出発点となります。この出発点を踏まえた授業では、どのようなことを学ぶものかを授業概要を用いて説明する。また、介護福祉士を取り巻く制度と社会の動きのプリントを配布し、公的な高齢者介護の始まりの概要について授業を展開する。 ［復習・予習・次回授業までの準備］ ・復習や予習を含めて、介護福祉士を取り巻く制度や社会の動きのプリントを読んでおいてください。
	第２回	介護問題の背景と介護福祉士制度 ［キーワード］家族介護力の低下、収容の場から生活の場、老人家庭奉仕員制度 ［テキスト］　レジュメ②と介護福祉士を取り巻く制度や社会の動きのプリントを配布する。 ・第2回では、前回の授業の振り返り、家族の介護力の低下と老人ホームのあり方、在宅介護の始まりなどについて学ぶ。特に1970年頃から1987年頃までの介護の動きのポイントを押さえます。 ［復習・予習・次回授業までの準備］ ・次回の授業までに、求められる介護福祉士像について読んでおくこと。
	第３回	求められる介護福祉士像 ［キーワード］　2015年の高齢者介護、自立支援、尊厳の保持、高齢者の尊厳を支える介護 ［テキスト］　レジュメ③　P48～ ・第3回では、前回の授業を振り返り、2015年の高齢者介護と高齢者の尊厳を支えるケアの確立を学び、特に、「求められる介護福祉士像」の重要ポイントを理解する。 ［復習・予習・次回授業までの準備］ ・求められる介護福祉士像の重要ポイントを復習し、自分自身で、介護福祉士像が求めているものは何かを考えてみよう。
	第４回	社会福祉士及び介護福祉士法 ［キーワード］　法の目的、誠実義務、信用失墜行為の禁止、秘密保持義務行為の禁止等 ［テキスト］　レジュメ④　P51～、P18～ ・第4回では、前回の授業を振り返り、福祉系の国家資格の必要を理解するとともに、「社会福祉

士及び介護福祉士法」の制定及び改正法の成立を理解します。また、本法の目的や介護福祉士の義務規定等を学びます。
[復習・予習・次回授業までの準備]
・次回の授業で、社会福祉士及び介護福祉士法の義務規定に関する小テストを行うので、復習をしっかりと行ってください

第５回　社会福祉士及び介護福祉士法に関する諸規定
[キーワード]　介護・人間と社会・こころとからだ、介護福祉士養成カリキュラム等
[テキスト]　レジュメ⑤　P47～
・第5回では、前回の授業の振り返りと小テストを行います。
・介護福祉士の資格取得方法や平成19年の本法改正前と改正後のカリキュラムを理解します。
[復習・予習・次回授業までの準備]
・自分たちが学んでいる介護福祉士養成カリキュラムと目的を振り返り、もう一度確認してください。

第６回　専門職能団体の活動について
[キーワード]　日本介護福祉士会、生涯研修体系等
[テキスト]　レジュメ⑥　日本介護福祉士会の資料のプリントを配布します。
・第6回では、前回の授業の振り返りと小テストの説明を行う。専門職能団体の意義と目的や日本介護福祉士会の生涯研修制度の意義と目的及び内容について理解します。
[復習・予習・次回授業までの準備]
・予習として日本介護福祉士会の倫理綱領を読んでおいてください。

第７回　介護福祉士の倫理　日本介護福祉士会の倫理綱領
[キーワード]　ナイチンゲール、普遍的倫理判断等
[テキスト]レジュメ⑦　P18～　普遍的倫理判断のプリントを配布します・
・第7回では、前回の授業の振り返り、介護職がもつべき職業倫理を学ぶとともに、「普遍的倫理判断」の4つの視点について理解する。
[復習・予習・次回授業までの準備]
・普遍的倫理判断の4つの視点を基にして、介護現場での課題から再度確認してみましょう。

第８回　介護福祉士の倫理　介護実践における倫理
[キーワード]　職業倫理、介護の専門性等
[テキスト]　レジュメ⑧　P18～
・第8回では、前回の授業の振り返り、日本介護福祉士会の倫理綱領を学ぶとともに、介護福祉士に係る倫理綱領を理解します。
[復習・予習・次回授業までの準備]
・利用者の尊厳に配慮した介護とはどのようなものなのかを考えてみましょう。

第９回　介護サービスの意義・特性とケアマネジメント
[キーワード]　介護サービス、ケアマネジメント
[テキスト]　レジュメ⑨　ケアマネジメンの資料の配布を行います。
・第9回では、前回の授業を振り返り、介護福祉士として、介護サービスにあたる際に守らなければならないことを理解する。また、介護保険制度におけるケアマネジメント等を学ぶ。
[復習・予習・次回授業までの準備]
・ケアマネジメントの機能や役割をまとめてください。

第１０回　介護サービスの歴史的変遷と時代背景①　古代社会から第二次世界大戦終了まで
[キーワード]　四箇院、恤救規則、救護法、
[テキスト]　レジュメ⑩　P6～
・第10回では、前回の授業を振り返り、介護サービスの歴史として、古代社会から第二次世界大戦終了までを学びます。特に、古代社会・中世封建社会・明治時代・大正時代から第二次世界大終了までに分けて重要ポイントを押さえます。
[復習・予習・次回授業までの準備]
・四箇院、恤救規則、救護法、福祉三法、福祉六法について整理してみましょう。

第１１回　介護サービスの歴史的変遷と時代背景②　第二次世界大戦後の福祉と介護の歩み
[キーワード]　福祉三法、福祉六法、措置から契約
[テキスト]　レジュメ⑪　P6～
・第11回では、前回の授業の振り返り、介護サービスの歴史として、戦後の福祉と介護の歩みや超高齢社会における介護の在り方の変化を学びます。特に福祉三法と福祉六法や介護の在り方を理解します。
[復習・予習・次回授業までの準備]
・介護サービスの在り方が「措置」から「契約」へと大きく変化したことを整理してみましょう。

第１２回　介護保険制度におけるサービス概要①　介護保険制度の全体概要
[キーワード]　保険者と被保険者、第一号被保険者と第二号被保険者、介護サービス利用までの流れ
[テキスト]　レジュメ⑫　介護保険制度の概要図のプリントを配布します。
・第12回では、前回の授業の振り返り、介護保険制度の仕組みの概要を学びます。特に、保険者と被保険者や第一号被保険者と第二号被保険者及び介護サービス利用までの流れ等を理解します。
[復習・予習・次回授業までの準備]
・介護保険制度の仕組みの概要を整理してみましょう。

第１３回　介護保険制度におけるサービス概要②　介護保険サービス等の種類
[キーワード]　施設サービス、地域支事業
[テキスト]　レジュメ⑬　介護保険サービスの種類の資料を配布します。
・第13回では、前回の授業の振り返り、高齢者のためのサービスの種類と提供の場について学び、特に居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービス、地域支援事業の概要を押さえます。特に、施設サービスや地域支事業を理解します。
[復習・予習・次回授業までの準備]
・介護福祉士は利用者の生活の継続という観点を念頭においた支援とは何かを考えてみましょう。

第１４回　介護保険制度におけるサービス概要③　居宅サービス等と地域密着型サービス
[キーワード]　居宅サービス、地域密着型サービス
[テキスト]　レジュメ⑭　介護保険サービスの種類の資料を配布します。
・第14回では、前回の授業を振り返り、居宅サービスと地域密着型サービスを学ぶとともに、具

体的なサービスを理解します。
［復習・予習・次回授業までの準備］
・介護保険制度における重要なサービスについてまとめましょう。

第１５回　前期のまとめ
［キーワード］　収容の場から生活の場、社会福祉士及び介護福祉士法、介護のサービスの歴史、介護保険法
［テキスト］　レジュメ⑮
・第15回では、前回の授業の振り返るとともに、前期の授業の重要ポイントをまとめます。特に、収容の場から生活の場、社会福祉士及び介護福祉士法、介護のサービスの歴史、介護保険法などを問いなおします。
［復習・予習・次回授業までの準備］
前期テストに関する説明を行います。

第１６回　後期ガイダンスと介護保険サービスの提供の場の特性　（高齢者関連）
［キーワード］　介護保険サービスの、サービスの特性
［テキスト］　レジュメ⑯　P54～
・第16回では、後期の授業の進め方、高齢者に対するサービスの種類と意義や目的を学ぶとともに、各サービスの内容や特徴を知り、介護福祉士の役割を理解する。
［復習・予習・次回授業までの準備］
・障害者総合支援法の概要プリントを配布し、読んでおいてください。

第１７回　障害者のためのサービスの概要①　障害者自立支援法から障害者総合支援法
［キーワード］　障害者総合支援法、自立支援給付と地域生活支援事業
［テキスト］　レジュメ⑰　障害者総合支援法の概要のプリントの配布をおこないます。
・第17回では、前回の授業の振り返り、障害者自立支援法から障害者自立支援法に改正された流れを学ぶとともに、障害者総合支援法の自立支援給付と地域生活支援事業の二つの支援を理解する。
［復習・予習・次回授業までの準備］
・自立支援給付と地域生活支援事業のサービス内容を整理してみましょう。

第１８回　障害者のためのサービスの概要②　日中活動系サービスと訪問系サービス
［キーワード］　介護給付費の支援給付、訓練等給付費の支給対象
［テキスト］　レジュメ⑱　障害者総合支援法の概要とサービス内容のプリントの配布を行います。
・第18回では、前回の授業の振り返り、介護給付費の支援給付と訓練等給付費の支給対象となる障害福祉サービスや、共生型障害福祉サービスを理解する。
［復習・予習・次回授業までの準備］
・介護給付費の支援給付と訓練等給付費の支給対象となる障害福祉サービスの内容をまとめてみよう。

第１９回　障害者のためのサービスの概要③　居宅系サービス提供の場とその特性　（障害者関連）
［キーワード］　居宅系サービス提供の場とその特性
［テキスト］　レジュメ⑲　P58～、居宅系サービス提供の場とその特性のプリントを配布します。
・第19回では、前回の授業の振り返り、障害福祉サービスにおける居宅系・訪問系・通所系サービスの提供の場とその特性を理解する。
［復習・予習・次回授業までの準備］
・障害福祉サービスの居宅系・訪問系・通所系サービスの重要な提供の場とその特性を整理しましょう。

第２０回　障害者のためのサービスの概要④　入所系サービス提供の場とその特性　（障害者関連）
［キーワード］　所系サービスの提供の場とその特性
［テキスト］　レジュメ⑳　P58～、入所系サービス提供の場とその特性のプリントを配布します。
・第20回では、前回の授業の振り返り、入所系・居宅に近い（小規模）入所系サービスの提供の場とその特性について理解する。
［復習・予習・次回授業までの準備］
されぞれのサービスの提供の場とその特性をまとめてみましょう。

第２１回　多職種連携
［キーワード］　多職種連携の意義と目的、さまざまな専門職
［テキスト］　レジュメ21
・第21回では、前回の授業の振り返り、多職種連携の意義と目的を学ぶとともに、利用者を支援するさまざまな専門職について、基礎的な理解を深めます。
［復習・予習・次回授業までの準備］
・介護職と多職種連携や、チームとケアシステム及び協働職種の機能と役割についてまとめてみよう。

第２２回　地域連携
［キーワード］　地域連携、地域における機関や組織等
［テキスト］　レジュメ22　P59～
・第22回では、前回の授業の振り返り、地域連携の意義と目的について学ぶとともに、地域にはどのような機関や組織があって、どのような役割を果たしているのか、基礎的な理解を深めます。
［復習・予習・次回授業までの準備］
・地域包括ケアシステムや介護職が行う地域連携等について整理してみよう。

第２３回　介護におけるリスクマネジメント
［キーワード］　介護の質の向上、リスクマネジメント
［テキスト］　レジュメ23　P114～
・第23回では、前回の授業の振り返り、介護の質の向上がリスクマネジメントつながることを学ぶとともに、介護職だけではなく、他の専門職を含むチームでリスクに強い環境を整える重要性を理解する。
［復習・予習・次回授業までの準備］
・尊厳の保持と安全の確保やケアの質の向上とリスクマネジメント、安全の確保等についてまとめてみよう。

第２４回　事故防止と安全対策
［キーワード］　事故と予防対策、生活の場での感染知識
［テキスト］　レジュメ24　P114～
・第24回では、前回の授業の振り返り、利用者の生活を守る技術としてのリスクマネジメントの

	視点を学ぶとともに、具体的な事故と予防対策について理解する。 ［復習・予習・次回授業までの準備］ ・組織的に事故予防、安全対策を検討する仕組みについて考えてみよう。 第２５回　感染管理①　生活の場での感染対策等 ［キーワード］　利用者の特性、感染対策 ［テキスト］　レジュメ25　生活の場での感染症のプリントを配布します。 ・第25回では、前回の授業の振り返り、生活の場での感染に関する正しい知識の必要性について学ぶとともに、利用者の特性を理解した感染対策を知る。 ［復習・予習・次回授業までの準備］ ・在宅と集団生活における感染対策の違いを整理してみよう。 第２６回　感染管理②　基礎知識と対応 ［キーワード］　感染対策の基礎知識、感染発生時の対応 ［テキスト］　レジュメ26　感染対策の基礎知識と感染発生時の対応のプリントの配布を行います。 ・第26回では、前回の授業の振り返り、感染対策の基礎知識と感染発生時の対応を学ぶ。 ［復習・予習・次回授業までの準備］ ・感染対策の３原則についてまとめてみよう。 第２７回　介護職の健康管理①　意義と目的等 ［キーワード］　介護職自身の健康管理 ［テキスト］　レジュメ27　介護職自身の健康管理のプリントの配布を行います。 ・第27回では、前回の授業の振り返り、介護の特徴から介護職自身の健康管理の必要性を理解する。 ［復習・予習・次回授業までの準備］ ・介護職の健康と介護の質について考えてみましょう。 第２８回　介護の健康管理②　知識と技術 ［キーワード］　心身障害（疾病）の予防と対策 ［テキスト］　レジュメ28、健康管理の知識と技術の資料の配布を行います。 ・第28回では、前回の授業の振り返り、介護職に起こしやすいこころとからだの障害（疾病）を学ぶとともに、心身障害（疾病）の予防と対策を理解する。 ［復習・予習・次回授業までの準備］ ・腰痛の予防と対策を整理してみよう。 第２９回　介護職の労働環境 ［キーワード］　心身障害（疾病）の予防と対策 ［テキスト］　レジュメ29　介護職の健康や安全問題の資料の配布を行います。 ・第29回では、前回の授業の振り返り、介護職の健康や安全問題について、事業者の取組むべきこと学ぶ。また、法規の面から心身障害（疾病）の予防と対策を理解する。 ［復習・予習・次回授業までの準備］ ・介護労働者の労働環境について学習した内容から考えみよう。 第３０回　後期のまとめ ［キーワード］　障害者総合支援法、介護おける安全の確保、リスクマネジメント、健康管理 ［テキスト］　レジュメ30 ・後期の授業から重要なポイントをまとめてます。特に障害者総合支援法や介護おける安全の確保とリスクマネジメント、健康管理等についてまとめます。 ［復習・予習・次回授業までの準備］ ・後期テストのについての重要ポイントを示します。
受講生に関わる情報および受講のルール	介護の基本Ｉは、介護福祉士の役割を学ぶ出発点となる。介護の意義や目的、介護福祉士の専門性を理解できるように授業に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	授業では、単元ごとに課題や小テストなどを出すので、しっかりと取り組むこと。
オフィスアワー	火曜日・水曜日・木曜日の昼休み
評価方法	テスト　(60%)、レポートや小テスト　(20%)、授業への参加度など　(20%)
教科書	「介護の基本」　日本介護福祉士養成施設協会
参考書	授業で、参考資料等を配布する。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　人間の尊厳と自立　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	必修
担当教員			
鈴木　利定			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	「人間とは何か」　我々はこれまで幾度となくこの問いかけを繰り返してきた。中国の思想家たちは、この問いにどのように解答しているのか。そしてそれぞれの解答に対して自分自身はどう思うのかを自ら問うてみる学問をねらいとしている。
授業の概要	孔子は人間にいかに生くべきかという問いについて、人間によるべき新しい「道」をどのように考えたか。仁と礼について、特に最近は礼儀をわきまえないという声もある。つまり「形式的な礼など無用だ。真心さえ持っていればそれでよいのでは虚礼廃止だ。」ということもあるが、孔子の説いた礼をもとに現代における礼のあり方を学ぶ。プラトンと同じく孔子は、理想国家を説くことにより政治のあり方を説いた。孔子の説いた政治道徳の現代にあてはまることを学ぶ。老子・荘子は孔子と並ぶ中国の代表的な思想家である。両者は全く相反する傾向すら持っている。この両者の思想を比較し、学ぶ。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回	科目オリエンテーション / 論語序説「史記」孔子出家で孔子の履歴を知る。学ぶことの意義、孝弟について、文を学ぶことは人倫の大きなる者について、信と義について。君子と貧しきものの生き方。学問について。
	第２回	政とは如何なるべきか。志学より従心までの心持。孝と敬と。人物の観察法。身を正すこと。内省。志の大切さ。道に志す。性善論。信の大切さ。
	第３回	教育論、礼に反する儀式について。僭し泰れに旅したこと。祭りと祭神について。射にみる古道について。
	第４回	大学の道についての孔子の説明。大学辛句（右経一章）　明徳を明らかにするを釈く。民を新に釈く。（右伝の三章、右伝の二章）
	第５回	至善に止まるを釈く。本末を釈く。（右伝の三章、右伝の四章）　心を正しくして身を脩めて、家を斉う。（右伝の七章、右伝の八章）
	第６回	家を斉へて国を治むるを釈く。（右伝の十章）　朱子の中庸に対する解説であり、孔子の孫子思が道学のその伝を失わんことを優えて作るより説きおこす。（中庸章句序）
	第７回	道に対する知者、愚者、賢者、不肖のかかわりを論ずる。（右章第四章、五章、六章）
	第８回	顔回が中庸をえらび人生に処したことを論ずる。（右第七、八、九章）
	第９回	国に道あると無きとに関せず節操を持つべきを子略に示す。（右第十、十一章）
	第１０回	孔子が憂いが無いのは文王だけだろうと語った理由を論ず。（右第十九章）
	第１１回	よく民を治めるには、誠は天の道なるを知るに有るを論ず。（右第二十章）
	第１２回	孔子の思想が「人間中心」であり、「ヒューマニズム」であるといわれるのはなぜかを学ぶ。
	第１３回	孟子の人間観と荀子の人間観は孔子を中心とした仁と礼のいずれかの強調からきたものである。孟子、荀子はそれぞれを重視するものか、仁を重視するものかを考える。「四端の心」について学ぶ。

	第１４回　　老荘思想においては、人間をどのようにとらえるか。又、儒教の人間観に対してどのような批判をしているかを学ぶ。 第１５回　　老荘思想と儒教のどちらの人間観により自己の思想を築いていくのかを学ぶ。
受講生に関わる情報および受講のルール	成績評価は、試験・レポート・出席状況を監み、一度も休みのない者については、成績としては十分な評価を与える。出欠席は重視する。理由なくして欠席、遅刻の多い者（二回以上の者）は成績評価を受ける資格を失う。欠席の虚偽申告（代返等）をした者は単位を認めない。講義中のノート筆記は必ず行い、質問に対して的確な解答ができるよう努める。私語は厳禁。注意を促し、場合によっては退出を命ずる。再試は1回のみ。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	テキストの予習・復習をすること。
オフィスアワー	火曜日 10:30～12:00
評価方法	■筆記試験（□論述 □客観）　■レポート　□口答試験　□実地試験　□その他 評価配分：成績評価は、試験（60%）・レポート（20%）・授業取組み状況（20%）を鑑み、評価を与える。
教科書	鈴木利定著「儒教哲学の研究－修正版」（明治書院）　　咸有一徳（中央法規）
参考書	講義の中で適宜紹介していく。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　人間関係とコミュニケーション　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1単位(30)	必修
担当教員			
清水　久二雄・辻　志帆			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】クライエントや利用者、家族等に対して、あるいは多職種（他職種）協同で進めるチームケアにおいて必要となる人間の理解や他者への情報の伝達に必要な基礎的なコミュニケーション能力を養うことを目的とする。また、基本的な面接技術や自己覚知の重要性、価値観の相違について理解する。 【到達目標】演習を通じて言語的コミュニケーション、非言語的コミュニケーションについて理解し説明することができる。他者との価値観の相違や自己覚知について、意見をまとめ発表することができる。
授業の概要	意図的な人間関係を形成していくために必要な、言語的コミュニケーション及び非言語的コミュニケーション、基本的な面接技術について演習を通じて理解を深める。コミュニケーションの基礎として自己覚知の重要性や価値観の相違について理解し、医療・福祉専門職としてのものの見方、考えた方を養う。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画

第１回　オリエンテーション
【key words】
コミュニケーションは意図的に行なうもの

【授業概要】
授業ガイダンス・オリエンテーション　アイスブレーク

【教科書ページ・参考文献】
なし
【課題・予習・復習・授業準備指示】

振り返りを行い、授業で学んだことはボランティア等で繰り返し実践し自己評価すること

第２回　メッセージを共有する意欲を高める
【key words】
メッセージの共有
【授業概要】
ア行トーク、サイレントトーク
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ12～Ｐ27
【課題・予習・復習・授業準備指示】

振り返りを行い、授業で学んだことはボランティア等で繰り返し実践し自己評価すること

第３回　言語と非言語でメッセージを共有する
【key words】
メッセージを正確に共有する　言語　非言語

【授業概要】
伝達トレーニング

【教科書ページ・参考文献】
Ｐ28～37
【課題・予習・復習・授業準備指示】

振り返りを行い、授業で学んだことはボランティア等で繰り返し実践し自己評価すること

第４回　利用者満足を高めるメッセージを学ぶ
key words】
言語、準言語、非言語
【授業概要】
メッセージが利用者に及ぼす効果
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ38～Ｐ52
【課題・予習・復習・授業準備指示】

振り返りを行い、授業で学んだことはボランティア等で繰り返し実践し自己評価すること

第５回　きき方を身につける
【key words】
メッセージを共有する熱意を相手に伝える

【授業概要】
うなずきとあいづちと繰り返し
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ61～69
【課題・予習・復習・授業準備指示】

振り返りを行い、授業で学んだことはボランティア等で繰り返し実践し自己評価すること

第６回　メッセージを受け取る能力を高める
【key words】
相手の話を整理して返す、ありのまま受容する

【授業概要】
要約の技法、共感の技法、明確化
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ76～Ｐ90
【課題・予習・復習・授業準備指示】

振り返りを行い、授業で学んだことはボランティア等で繰り返し実践し自己評価すること

第７回　テクニックをスキルとして使いこなす
【key words】
ラポール、受容、共感
【授業概要】
ケーススタディー
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ91～99
【課題・予習・復習・授業準備指示】

振り返りを行い、授業で学んだことはボランティア等で繰り返し実践し自己評価すること

第８回　初心者をリードする方法を学ぶ
【key words】
指示
【授業概要】
指示の技法、助言の技法、支持の技法

【教科書ページ・参考文献】
Ｐ102～Ｐ109
【課題・予習・復習・授業準備指示】

振り返りを行い、授業で学んだことはボランティア等で繰り返し実践し自己評価すること

第９回　成長させるアドバイスの方法を学ぶ
【key words】
助言
【授業概要】
助言トレーニング
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ110～Ｐ116
【課題・予習・復習・授業準備指示】

振り返りを行い、授業で学んだことはボランティア等で繰り返し実践し自己評価すること

第１０回　自己決定の引き出し方を学ぶ
【key words】
コーチング、開かれた質問、閉じられた質問

【授業概要】
質問の技法
【教科書ページ・参考文献】

	ｐ117～112 【課題・予習・復習・授業準備指示】 振り返りを行い、授業で学んだことはボランティア等で繰り返し実践し自己評価すること 第１１回　振り返りによるスキルアップ 【key words】 コミュニケーションについて振り返り、考察する 【授業概要】 プロセスレコード 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ123～128 【課題・予習・復習・授業準備指示】 振り返りを行い、授業で学んだことはボランティア等で繰り返し実践し自己評価すること 第１２回　職場の人間関係の基本を学ぶ 【key words】 他者と上手く連携し協力関係を築くための条件を学ぶ 【授業概要】 協力ゲーム 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ137～142 【課題・予習・復習・授業準備指示】 振り返りを行い、授業で学んだことはボランティア等で繰り返し実践し自己評価すること 第１３回　五つの心を知る。明るい雰囲気をつくる 【key words】 自己覚知 【授業概要】 エゴグラムテスト 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ143～148 【課題・予習・復習・授業準備指示】 振り返りを行い、授業で学んだことはボランティア等で繰り返し実践し自己評価すること 第１４回　理性的・合理的に話し合う 【key words】 話し合いに臨む姿勢 【授業概要】 集団討議 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ155～165 【課題・予習・復習・授業準備指示】 振り返りを行い、授業で学んだことはボランティア等で繰り返し実践し自己評価すること 第１５回　自分を知り、相手を知る 【key words】 自分から見た自分、周りから見た自分 【授業概要】 性格フィードバック 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ174～180 【課題・予習・復習・授業準備指示】 振り返りを行い、授業で学んだことはボランティア等で繰り返し実践し自己評価すること
受講生に関わる情報および受講のルール	・グループワークにおいては普段の友人関係とは違うグループを意図的に設定するため、学生一人ひとりが積極的に授業に参加する姿勢が必要である。また、グループワークにおいては、全ての学生が発言できるように工夫して運営することが望まれる。積極的な姿勢で受講すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	授業で学んだことは、必ず復習すること。授業で学んだことをボランティアなど実際の場面で意図的に活用し自己評価すること。
オフィスアワー	講義初回にて伝える
評価方法	課題への取り組み・リアクションペーパー・提出物40%、定期試験（レポート等）60%とする
教科書	諏訪茂樹編著　『介護福祉士養成テキスト2　人間関係とコミュニケーション（体験型ワークブック）』建帛社（最新版）
参考書	適宜、紹介する
実務経験のある教員による授業科目/ア	授業担当教員

クティブ・ラーニング	■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 ・高齢者施設にて介護職員として6年間従事した実務経験あり ・老人保健施設で5年弱　介護職員・レクリエーションワーカー、特別養護老人ホームで、19年間、介護職員、短期　入所生活介護の担当、介護長、施設介護支援専門員に従事する。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　点字　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1単位(30)	選択
担当教員			
足立　勤一			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 視覚障碍者について理解を深めると同時に、点字で簡単な文章の読み書きができるまで習熟する。 【到達目標】 ①視覚障碍者の状況を学び理解する。 ②視覚障碍者の福祉について学ぶ。 ③点字の歴史について学ぶ。 ④点字の表記について学び、点字の読み方を身に付ける。 ⑤点字器の操作について学び点字の書き方を身に付ける。 ⑥点字と現代語の違いを知り文法を身に付ける。 ⑦ある程度まとまった文章の読み書きができる。
授業の概要	第一に視覚障碍者の状況を把握し不自由について理解を深め、その中で点字の発明が視覚障碍者の福祉と社会参加に大きく寄与してきたことを学ぶ。第二に実際の点字の表記と仕組みを学んで、簡単な読み書きを習得して視覚障碍者との交流を図る一助とする。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回　視覚障碍者の状況について 第２回　点字の歴史について　身近にある点字について 第３回　点字の仕組み　５０音（清音）　点字器の使い方 第４回　点字の仕組み　拗音・濁音 第５回　仮名遣いについて 第６回　数字の書き方 第７回　アルファベットの書き方 第８回　分かち書きについて① 第９回　分かち書きについて② 第１０回　記号と符号の書き方 第１１回　短文の書き方　書き方の形式 第１２回　点字の書き方の応用 第１３回　課題点訳 第１４回　課題点訳の校正・仕上げ

	第１５回　　視覚障碍者の福祉について　全体のまとめ
受講生に関わる情報および受講のルール	１５回と言う少ない回数で点字の読み書きを習得するため、毎回授業の半分は点字を実際に打ったり読んだりの作業にあてられる。休まず出席して課題に取り組むことが必要である。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード　　その他（毎回課題を提出する）
授業外時間にかかわる情報	–
オフィスアワー	授業終了後30分
評価方法	筆記試験　５０％　　課題（長文）点訳・墨字訳　４０％　　平常の提出物１０％
教科書	Ｇ－10とマナブくんの点字教室
参考書	–
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　こころとからだのしくみⅠ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	4単位(60)	必修
担当教員			
鳥山　良子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 介護業務を遂行するために必要な身体構造および主な疾病や障害の概要を日常生活との関係もふまえて理解すること。さまざまな疾病をもった人を支援する際に必要な医学・医療の知識を習得し、介護のあらゆる場面において活用できるようになること。 【到達目標】 ①人体の構造と機能を説明することができる。 ②生活習慣病について説明することができる。 ③高齢者に多くみられる疾患の症状、特徴について説明することができる。
授業の概要	介護現場において、介護福祉士はさまざまな医療専門職と連携して介護に従事する。医学・医療に関する基礎知識技術を学び、医療専門職と十分な意思疎通を図るための共通言語を理解する。より良い介護を提供するために、人体のしくみ・疾患について学習し理解を深める。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　　オリエンテーション 【key　Word】 オリエンテーション　自己紹介　専門職を目指す人として　科目の説明　１コマの流れ 【授業概要】 こころとからだのしくみⅠについて、どのようなことを学ぶのか、授業概要を用いて説明する。 【教科書ページ】 配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：授業概要を読んでくる　復習：配布資料の読み直しを行う 第２回　　人体の区分と名称、細胞と組織のしくみ 【key　Word】 人体の構造　解剖学用語　関節の働き　細胞と組織　器官と器官系 【授業概要】 人体の区分と名称・細胞と組織は、それぞれどのように成り立ち、どのようなしくみ・はたらきがあるのか　学習する。 【教科書ページ】 Ｐ１～９ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う 第３回　　調節系　①脳の区分と機能のしくみ、②神経系のしくみ 【key　Word】 脳の区分と機能のしくみ　脳　間脳　中脳　橋　延髄　小脳　脊髄　脳室　髄膜　伝導路　神経系 中枢神経　末梢神経 【授業概要】 調節系①脳の区分と機能のしくみ・②神経系のしくみは、それぞれどのような器官から成り立ち、どのよ　うなしくみ・はたらきがあるのか学習する。

【教科書ページ】
Ｐ９～１７
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う

第４回　呼吸器系のしくみ
【key　Word】
呼吸器系　呼吸　空気の流れ　換気　ガス交換　鼻腔　咽頭　喉頭　気管　気管支　肺
【授業概要】
呼吸器系は、どのような器官から成り立ち、どのようなしくみ・はたらきがあるのか学習する。
【教科書ページ】
Ｐ１７～２０
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う

第５回　循環器系のしくみ
【key　Word】
循環器系　心臓　血管系　リンパ系　刺激伝導路　肺循環　体循環　胎児循環　血圧
【授業概要】
循環器系は、どのような器官から成り立ち、どのようなしくみ・はたらきがあるのか学習する。

【教科書ページ】
Ｐ２０～２５
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う

第６回　消化器系、代謝系のしくみ
【key　Word】
消化器系　口腔　咽頭　食道　胃　小腸　大腸　肛門　消化管　唾液腺　膵臓　肝臓　胆のう　消化腺　　摂食　嚥下　消化　吸収　代謝系　恒常性　内分泌系ホルモン
【授業概要】
消化器系・代謝系は、それぞれどのような器官から成り立ち、どのようなしくみ・はたらきがある　のか学　習する。
【教科書ページ】
Ｐ２５～３３
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う

第７回　排泄系（泌尿器系）、皮膚のしくみ
【key　Word】
排泄系　泌尿器系　腎臓　尿管　膀胱　尿道　皮膚　表皮　真皮　皮下組織
【授業概要】
排泄系（泌尿器系）、皮膚は、それぞれどのような器官から成り立ち、どのようなしくみ・はたらきがある　のか学習する。
【教科書ページ】
Ｐ３３～３５
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う

第８回　骨格系、筋系、特殊感覚器系のしくみ
【key　Word】
骨格系　筋系　骨　骨格　関節　筋肉　骨格筋　特殊感覚系　平衡感覚器　視覚器　嗅覚器　味覚器
【授業概要】
骨格系、筋系、特殊感覚器系は、それぞれどのような器官から成り立ち、どのようなしくみ・はたらきがある　のか学習する。
【教科書ページ】
Ｐ３５～４７
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う

第９回　生殖器系、免疫系のしくみ
【key　Word】
生殖器　男性生殖器　女性生殖器　前立腺　更年期　骨粗鬆症　免疫系　免疫機能　免疫細胞
【授業概要】
生殖器、免疫系は、それぞれどのような器官から成り立ち、どのようなしくみ・はたらきがあるのか学習す　る。
【教科書ページ】
Ｐ４７～５３
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う

第１０回　循環に関する症状（貧血、出血傾向、チアノーゼ、ショック）
【key　Word】
貧血　出血傾向　チアノーゼ　ショック
【授業概要】
循環に関する症状について理解し、介護を行う上での注意点と予防について学習する。
【教科書ページ】
Ｐ５４～６２
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う

第１１回　呼吸、排泄に関する症状（咳嗽・喀痰、呼吸困難、排尿・排便困難）
【key　Word】
咳嗽　喀痰　呼吸困難　排尿　排便困難
【授業概要】
呼吸、排泄に関する症状について理解し、介護を行う上での注意点と予防について学習する。

【教科書ページ】
Ｐ６３～６９
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う

第１２回　その他の症状①（悪心・嘔吐、食欲不振、嚥下障害、胃ろう）
【key　Word】
悪心　嘔吐　食欲不振　嚥下障害　胃ろう
【授業概要】
消化器症状、嚥下障害、胃ろうについて理解し、介護を行う上での注意点と予防について学習する。
【教科書ページ】
Ｐ６９～７３
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う

第１３回　その他の症状②（黄疸、脱水、浮腫）
【key　Word】
黄疸　脱水　浮腫
【授業概要】
黄疸、脱水、浮腫について理解し、介護を行う上での注意点と予防について学習する。
【教科書ページ】
Ｐ７３～７８
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う

第１４回　その他の症状③（発熱、痛み、痙攣、知覚障害）
【key　Word】
発熱　痛み　痙攣　知覚障害
【授業概要】
発熱、痛み、痙攣、知覚障害について理解し、介護を行う上での注意点と予防について学習する。
【教科書ページ】
Ｐ７８～８４
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う

第１５回　その他の症状④（めまい、意識障害、歩行障害、失語）、前期まとめ
【key　Word】
めまい　意識障害　歩行障害　失語　前期まとめ
【授業概要】
めまい、意識障害、歩行障害、失語について理解し、介護を行う上での注意点と予防について学習する。
【教科書ページ】
Ｐ８４～８９
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う

第１６回　後期オリエンテーション、呼吸器疾患のしくみ
【key　Word】
後期オリエンテーション　呼吸器疾患　肺線維症　気管支喘息　肺炎　肺癌　肺結核
【授業概要】
呼吸器疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点について学習す
る。
【教科書ページ】
Ｐ９０～９９
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う

第１７回　循環器疾患のしくみ
【key　Word】
循環器疾患　狭心症　心筋梗塞　高血圧　うっ血性心不全　不整脈　閉塞性動脈硬化症　大動脈瘤　肺性心
【授業概要】
循環器疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点について学習す
る。
【教科書ページ】
Ｐ１００～１１４
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う

第１８回　腎・泌尿器疾患のしくみ
【key　Word】
腎・泌尿器疾患　尿路感染症　前立腺肥大症　下部尿路機能障害　前立腺癌　腎細胞癌　腎盂癌　膀胱癌　　糸球体腎炎　慢性腎不全　急性腎不全
【授業概要】
腎・泌尿器疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点について学習　する。
【教科書ページ】
Ｐ１１４～１３３
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う

第１９回　消化器疾患のしくみ
【key　Word】
消化器疾患　食道癌　胃癌　肝癌　膵癌　大腸癌　胃・十二指腸潰瘍　急性肝炎　肝硬変
【授業概要】

	消化器疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点について学習す る。 【教科書ページ】 Ｐ１３３～１４８ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う
	第２０回　神経・筋疾患のしくみ 【key　Word】 神経・筋疾患　脳血管障害　アルツハイマー病　パーキンソン病　脳腫瘍　頭部外傷　正常圧水頭症　髄膜脳炎　筋萎縮性側索硬化症　筋ジストロフィー　重症筋無力症 【授業概要】 神経・筋疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点について学習す　る。 【教科書ページ】 Ｐ１４８～１６２ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う
	第２１回　血液・造血器疾患のしくみ 【key　Word】 血液・造血器疾患　再生不良性貧血　白血病　悪性リンパ腫　血友病 【授業概要】 血液・造血器疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点について学　習する。 【教科書ページ】 Ｐ１６３～１６９ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う
	第２２回　内分泌・代謝性疾患のしくみ 【key　Word】 内分泌・代謝性疾患　甲状腺機能亢進症　甲状腺機能低下症　高脂血症　痛風　糖尿病 【授業概要】 内分泌・代謝性疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点について　学習する。 【教科書ページ】 Ｐ１６９～１７７ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う
	第２３回　感染症、膠原病のしくみ 【key　Word】 感染症　膠原病　エイズ　ＭＲＳＡ感染症　全身性エリテマトーデス　関節リウマチ 【授業概要】 感染症、膠原病の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点について　学　習する。 【教科書ページ】 Ｐ１７７～１８５ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う
	第２４回　精神疾患のしくみ 【key　Word】 精神疾患　アルコール依存症　神経症性障害　統合失調症　うつ病　躁病　てんかん　薬物依存 【授業概要】 精神疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点について　学　習す　る。 【教科書ページ】 Ｐ１８５～１９５ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う
	第２５回　運動器疾患のしくみ 【key　Word】 運動器疾患　骨粗鬆症　大腿骨頸部骨折　変形性膝関節症 【授業概要】 運動器疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点について　学　習　する。 【教科書ページ】 Ｐ１９５～２０１ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う
	第２６回　感覚器疾患、皮膚疾患のしくみ 【key　Word】 感覚器疾患　皮膚疾患　白内障　老人性難聴　高齢者　褥瘡 【授業概要】 感覚器疾患、皮膚疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点につい　て学習する。 【教科書ページ】 Ｐ２０１～２０３ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う
	第２７回　齲蝕・歯周病、先天性疾患のしくみ 【key　Word】

	齲蝕　歯周病　先天性疾患　義歯　口腔ケア 【授業概要】 齲蝕・歯周病、先天性疾患の特徴を理解し、日常生活にどのような影響が生じ、介護を行う上での注意点に　ついて学習する。 【教科書ページ】 Ｐ２０３～２１７ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う 第２８回　在宅医療と介護保険制度について 【key　Word】 在宅医療　介護保険制度 【授業概要】 在宅医療について理解し、現状と課題を学習する。 【教科書ページ】 Ｐ２２２～２３２ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う 第２９回　在宅医療とターミナルケア 【key　Word】 在宅医療　ターミナルケア 【授業概要】 在宅ターミナルケアについて学び、在宅ターミナルケアの長所・短所について理解する。 【教科書ページ】 Ｐ２３２～２４１ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う 第３０回　後期まとめ 【key　Word】 後期まとめ 【授業概要】 主な疾患、在宅医療についてのまとめを行い理解を深める。 【教科書ページ】 Ｐ９０～２４１ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書、配布資料の読み直しを行う　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う
受講生に関わる情報および受講のルール	私語や携帯電話の使用といった迷惑行為は慎むこと。授業に主体的に参加し、予習復習は必ず行うこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	教科書は必ず事前に読んでくること。新聞やニュース、医療福祉に関するものは目を通すようにする。
オフィスアワー	授業終了後３０分
評価方法	定期テストの結果、出席状況、授業態度も含めて総合的に評価する。
教科書	テキスト　：　最新介護福祉全書　別巻1　医学一般　メヂカルフレンド社
参考書	介護福祉士受験ワークブック　介護福祉士受験ワークブック編集委員会編集　中央法規出版　　印刷資料など
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 平成13年～平成15年：国立療養所西群馬病院勤務 平成15年～平成23年：公立藤岡総合病院勤務 平成26年～合同会社セカンドホームにて機能訓練指導員 平成27年～有限会社プログレ総合研究所にて非常勤講師 平成27年～公益財団法人介護労働センター群馬支所にて外部講師 平成28年～学校法人藤仁館学園にて非常勤講師 平成29年～福祉サービス研究所にて非常勤講師 平成30年～群馬医療福祉大学短期大学部にて助教（特任） アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　発達と老化の理解　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	4単位(60)	必修
担当教員			
赤田　実千代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 ①老化に伴う変化や特徴に配慮した対応をするために、老化が及ぼす心理的影響を理解する。 ②老化に伴う変化や特徴に配慮した対応をするために、老化に伴う身体機能の変化・知的機能の変化を理解する。 ③老化に伴う変化や特徴に配慮した対応をするために、高齢者に多い疾患や症状を理解する。 【到達目標】 ①老化による心理的な変化に必要な配慮ついて、具体的に説明することができる。る。 ②老化に伴う身体機能・知的機能の変化に必要な配慮について、具体的に説明することができる。 ③高齢者に多い疾患や症状ごとに必要な配慮について、具体的に説明することができる。 、
授業の概要	生まれてから死ぬまでの成長・発達する過程を通して人を理解し、老年期における発達課題や高齢者に多い症状・疾患の特徴、老化がもたらす高齢者の生活への影響を身体的、精神的、社会的側面からとらえ、老化に伴う変化の特徴とその対応について必要な知識を学びます。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　　オリエンテーション 第２回　　発達とは　／　発達段階と発達課題 第３回　　発達と個人差 第４回　　老化とは　／　老年期の発達課題 第５回　　老化が及ぼす心理的影響 第６回　　老いの価値観・受容 第７回　　高齢者のこころの問題と精神障害 第８回　　要介護による高齢者の心理 第９回　　老化に伴う身体機能の変化①　運動器　／　循環器系 第１０回　　老化に伴う身体機能の変化②　呼吸器系　／　消化器系 第１１回　　老化に伴う身体機能の変化③　腎・泌尿器系　／　代謝・内分泌系

	第１２回　　老化に伴う身体機能の変化④　免疫・血液系　／　感覚器系 第１３回　　老化に伴う知的機能の変化①　記憶機能 第１４回　　老化に伴う知的機能の変化②　認知機能 第１５回　　前期のまとめ 第１６回　　高齢者に多い症状と留意点①　痛み　／　めまい 第１７回　　高齢者に多い症状と留意点②　体重減少・食欲不振　／　誤嚥　／　しびれ 第１８回　　高齢者に多い症状と留意点③　咳・痰　／　息切れ・息苦しさ　／　浮腫 第１９回　　高齢者に多い症状と留意点④　発熱　／　熱中症　／　出血 第２０回　　高齢者に多い症状と留意点⑤　不眠　／　かゆみ　／　便秘　／　下痢 第２１回　　高齢者に多い症状と留意点まとめ 第２２回　　高齢者に多い病気と留意点①　精神疾患　／　神経疾患 第２３回　　高齢者に多い病気と留意点②　心臓疾患 第２４回　　高齢者に多い病気と留意点③　呼吸器疾患　／　消化器疾患 第２５回　　高齢者に多い病気と留意点④　代謝・血液疾患　／　骨・関節疾患 第２６回　　高齢者に多い病気と留意点⑤　感覚器疾患　／　皮膚疾患 第２７回　　高齢者に多い病気と留意点⑥　腎・泌尿器疾患　／　婦人科系疾患 第２８回　　高齢者に多い病気と留意点のまとめ 第２９回　　要介護高齢者に関わる介護福祉士と保健・医療職との連携 第３０回　　後期のまとめ
受講生に関わる情報および受講のルール	[受講生に関わる情報]報] 講義の冒頭で前回講義のミニテストを実施するため、復習をした上で講義に臨むこと。 [受講ルール] 私語を慎む、携帯電話の電源を切る。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード
授業外時間にかかわる情報	「こころとからだのしくみⅠ」「障害の理解」などの科目との関係も深いため、これらの科目との関連を意識しながら学習を進めていただきたい。
オフィスアワー	金曜日10：30～12：40
評価方法	定期試験60%　、課題及びミニテスト20%、授業態度（グループワークの取り組みなど）20%
教科書	介護福祉士養成テキスト5「発達と老化の理解/認知症の理解/障害の理解/こころとからだのしくみ」日本介護福祉士養成施設協会編
参考書	必要に応じて印刷資料を使用。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院の病棟看護、前期高齢者保健指導、企業内健康管理室の看護師などの看護師実務経験を活かし、介護・福祉・医療の現場で必要な知識や対応について講じます。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習

	□ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医療事務Ⅰ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	2単位(60)	医療事務Ⅰ
担当教員			
清水　春代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 病院勤務に必要な医療保険制度の知識及び医療事務資格の「医療事務管理士」取得に足る知識の習得。 【到達目標】 診療報酬算定の根拠である、「診療報酬点数表」を引きこなすことができる。 カルテを読むことができる。 自主的な調べ学習で、問題解決をすることができる。
授業の概要	医療事務の仕事は、①医療機関に於ける受付、会計などの患者接遇業務、②入院受付や入院会計、退院手続きなどの病棟管理業務、③医師、看護師などの事務的サポートを行う秘書業務、④診療費の患者負担分以外を請求するレセプト業務。⑤オペレーション業務、統計資料作成などの医事ＯＡ、情報管理業務などがある。本授業は、これらに必要な基本的知識を学び、カルテを読み、診療内容の点数算定の基礎を、体系的に学ぶ。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回	オリエンテーション、病院概論（医療機関の分類、医療機関と薬局の関係） 【キーワード】診療所、病院、医療法、開設者 【授業概要】授業の目的、目標、履修上の注意点、評価方法、医療法による分類、保険医療機関と保険薬局の関係について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキスト１　p5~11 【課題・予習・復習・授業準備】テキスト12~36熟読
	第２回	医療保障制度（医療保険の仕組み、社保、国保、後期高齢者医療、保険給付） 【キーワード】保険診療、保険給付、療養担当規則 【授業概要】病院勤務に必須である医療保障制度の言葉の理解と仕組みを学び、保険証のからくりをしる。 【教科書ページ・参考文献】テキスト1 p12~24 【課題・予習・復習・授業準備】テキスト１｛療養担当規則」の熟読と本日の復習
	第３回	点数算定の原則（個別出来高払い、点数表の読み方、基本診療料と特掲診療料）、診察料（初診料） 【キーワード】個別出来高払い方式、点数表、基本診療料、特掲診療料、診察料 【授業概要】点数算定は、医療行為を点数に置き換えて計算する。点数の拠り所である点数表の見方、引き方を学習することで、あらゆる医療行為の算定が可能となる。又受診時必ず発生する診察料の定義について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p22~26 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックで初診料を見つけよう
	第４回	診察料（再診料、外来診療料） 【キーワード】再診料・外来診療科 【授業概要】2回目以降の診察料について、定義、算定ルール、算定ポイントを学び、算定の現実を知る。 【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p37~42,トレーニングブック 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックで再診料の算定練習
	第５回	医学管理等（定義、区分、特定疾患療養管理料） 【キーワード】特定疾患療養管理料

【授業概要】医学管理料は、病気に対する治療上の指導や情報提供料である。特定疾患療養管理料は、医療機関では頻出項目である。算定ルールを学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p43~49
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックで特定疾患療養管理料を探そう。

第６回　医学管理等（特定疾患治療管理料、その他の医学管理等、情報提供料）
【キーワード】特定疾患治療管理料、情報管理料
【授業概要】医学管理料の算定の秘訣はカルテのキーワードを知る事である。各医学管理料のキーワードと算定ルールを知ろう。
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p50~61　トレーニングブック
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックの中のキーワードを探し、医学管理の算定練習

第７回　在宅医療（定義、区分、在宅患者診療・指導料例えば往診料）
【キーワード】往診料、訪問診療料
【授業概要】在宅医療は治療場所が患者宅か医療機関かで2種類に区分される。在宅患者診療指導料の中の往診料や在宅患者訪問診療料について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p62~69
【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習。次回(テキストp70~74の予習)

第８回　在宅医療（在宅療養指導管理料、例えば在宅自己注射指導管理料等）
【キーワード】在宅自己注射指導管理料
【授業概要】在宅療養管理料は、患者さんが自ら器具を使って医療行為を行う事に対して医師が、指導を行った時の費用です。在宅自己注射指導管理料の算定ルール、算定ポイントを学ぶ
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p70~78
【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習、投薬料の予習

第９回　投薬（定義、薬剤の基礎知識、院内処方の算定ルール）
【キーワード】薬価表、内服薬、頓服薬、外用薬、調剤料、処方料、薬剤料
【授業概要】投薬料とは、患者さんが自宅で使用する薬を出した時に発生する費用です医療機関内で薬を受け取ることを院内処方といいます。算定ルールと算定ポイントを学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p79~85、トレーニングブック1号～3号の会計欄
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックの残り

第１０回　投薬（院外処方とその算定ルール）
【キーワード】処方箋料
【授業概要】処方箋を発行した時の算定ルールと算定ポイントを学ぶ
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p102、トレーニングブック4号の会計欄
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック4号を仕上げる。

第１１回　注射（薬剤の基本知識、算定の共通ルール
【キーワード】注射薬、注射実施料、薬剤料
【授業概要】注射の種類と算定の共通ルール、算定ポイントを学ぶ。注射に関連ある略語
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p111~p116,
【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習、テキスト2 p117~135熟読

第１２回　注射（皮内・皮下筋肉内注射、静脈内注射、点滴注射等）
【キーワード】皮下筋肉内注射、静脈内注射、点滴注射等
【授業概要】主な注射料の算定の実際
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p117~135、トレーニングブック5号~8号の会計欄
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック5~8号の会計欄残り

第１３回　処置（定義、区分、算定の共通ルール）
【キーワード】処置料、処置医療機器加算、薬剤料
【授業概要】処置とは患部を洗ったり、薬を塗ったりなど身体の外部から行う手当のこと。処置料の区分、算定の共通ルールについて学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p136~140
【課題・予習・復習・授業準備】第3回学科レポート　問3,4,5、テキスト2 p141~159熟読

第１４回　処置（一般処置、救急処置、皮膚科処置、泌尿器科処置、産婦人科処置、眼科処置、耳鼻咽喉科処置、整形外科的処置等）
【キーワード】一般処置、救急処置、皮膚科処置、泌尿器科処置、産婦人科処置、耳鼻咽喉科処置、整形外科的処置
【授業概要】処置料の算定の実際
【教科書ページ・参考文献】テキスト2　ｐ141~159、トレーニングブック9~12号の会計欄
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック9~12号の会計欄の残り

第１５回　処置（ギプス）、リハビリテーション（定義、算定の共通ルール、脳血管リハビリテーション料、運動器リハビリテーション料等
【キーワード】ギプス、疾患別リハビリテーション料
【授業概要】様々な原因で運動や言語など、身体の機能に障害のある患者さんに対して、基本的な機能の回復訓練を行う治療をリハビリテーションという。算定の共通ルールと算定の実際を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p160~175、トレーニングブック9~12号の会計欄
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック9~13号の会計欄

第１６回　検査（定義、区分、検体検査料の区分と算定の共通ルール、各検体検査の算定ー尿検査、血液検査等）
【キーワード】検体検査、診断穿刺、検体採取料、時間外緊急院内検査加算、外来迅速検体検査加算
【授業概要】算定のルール、算定のポイント、各検体検査の算定（尿・糞便検査、血液学検査）
【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p5~p26、トレーニングブック14~15号の会計欄
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック14~15号の会計欄残り

第１７回　検査（生体検査料の区分と算定の共通ルール、各生体検査の算定ー心電図、超音波検査、脳波検査、内視鏡検査等）
【キーワード】生体検査、逓減算定、対称器官、年齢加算
【授業概要】生体検査の算定の共通ルールと算定ポイント。各生体検査の算定
【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p26~38、トレーニングブック16~18号の会計欄
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック16~18号の会計欄残り

第１８回　病理診断（定義、区分、算定の共通ルール）

	【キーワード】病理標本作製、病理診断料、病理判断料 【授業概要】病理診断とは、臓器や皮膚などの組織標本を作成し、癌細胞の有無等を調べ、疾病診断をすることである。算定の共通ルールを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p44~51、トレーニングブック30号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック30号の会計欄残り 第１９回　手術（定義、区分ー手術料と輸血料、手術料の算定ルール、通則） 【キーワード】手術料、手術医療機器加算、通則の加算の重複、対称器官に対する両側の手術、同一手術野、指の手術 【授業概要】手術は算定上、手術料と輸血料の区分される。手術料の算定の原則と算定ポイントを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p52~58 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習 第２０回　手術（輸血料の種類と算定ルール） 【キーワード】輸血料 【授業概要】輸血料の算定の共通ルール。検査加算。血液成分製剤加算 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p66~73、トレーニングブック19号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック号19の会計欄残り 第２１回　麻酔（区分ー麻酔料と神経ブロック料、麻酔の種類と算定ルール） 【キーワード】局所麻酔、全身麻酔、麻酔管理料 【授業概要】算定のるーる。通則の加算の重複。麻酔管理料。算定ポイントを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p74~88、トレーニングブック19~22号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備】学科レポート第4回 第２２回　画像診断（区分ーエックス線診断、CT撮影、シンチグラム等、算定の共通ルール）（エックス線診断料の種類と算定） 【キーワード】診断料、撮影料、フィルム料 【授業概要】画像診断の区分、算定の共通ルールと算定ポイントを学ぶ 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p89~106 【課題・予習・復習・授業準備】テキスト3 p107~117熟読、本日の復習 第２３回　画像診断（核医学診断料、コンピューター断層撮影診断料の種類と算定） 【キーワード】シンチグラム、スペクト、ＣＴ撮影、MRI撮影 【授業概要】算定のルールと算定ポイントを学ぶ 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p107~117、トレーニングブック号23~33の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備】学科レポート第5回　問1～4 第２４回　精神科専門療法、放射線治療（定義、種類、算定ルール） 【キーワード】通院在宅精神療法、高エネルギー放射線治療、放射線治療管理料 【授業概要】算定のルールと算定ポイントを学ぶ 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p118~126　トレーニングブック32~33号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備】学科レポート第5回　問5 第２５回　入院（入院の費用ー入院基本料、入院基本料等加算、入院時食事療養費） 【キーワード】入院基本料、入院基本料加算、入院時食事療養費 【授業概要】入院の費用、一般病棟入院基本料、算定の単位、外泊と再入院 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p127~139,トレーニングブック34~43号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備】学科レポート第5回問6~10 第２６回　入院（特定入院料） 【キーワード】特定入院料、短期滞在手術基本料 【授業概要】種類と算定ポイントを学ぶ 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p140~141 【課題・予習・復習・授業準備】入院料の復習 第２７回　入院（入院料以外の点数算定ー初診料、投薬、注射、処置等） 【キーワード】入院料以外の点数 【授業概要】入院と外来がある場合、ＤＰＣ算定 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p142~161,トレーニングブック44~50号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック44~50号の会計欄残り 第２８回　公費負担医療（概要、制度の仕組み、生活保護法、難病法、感染症法等） 【キーワード】生活保護法、難病法、感染症法 【授業概要】公費負担医療制度の種類と仕組み、主な公費負担医療 【教科書ページ・参考文献】テキスト1 p69~111 【課題・予習・復習・授業準備】第5回学科レポート　問11,12 第２９回　総まとめ（総復習問題を使用して、総まとめと弱点補強） 【キーワード】総復習 【授業概要】総復習問題を使用して総復習と弱点補強 【教科書ページ・参考文献】テキスト関連ページ 【課題・予習・復習・授業準備】本日の残り 第３０回　模擬試験 【キーワード】模擬試験 【授業概要】模擬試験 【教科書ページ・参考文献】テキスト関連ページ 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習
受講生に関わる情報および受講のルール	教材、筆記用具は毎回持参すること。レセプト用紙等足りない時は予めコピーをして準備しておくこと。レポート等、提出物の提出期限を過ぎたものはうけつけないので、提出期限は必ず守ること。授業終了時に配布する予習問題を解いて、授業に臨むこと。項目終了毎に、小テストを行う。授業中の携帯電話の操作は禁止。私語は慎むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	配布する予習問題を使用して予習をすること。授業終了時に指示する箇所の復習を行う。新聞などの関連記事を読む。

オフィスアワー	火曜日、木曜日　10:00～11:30、相談により随時
評価方法	定期試験　50%、課題　20%、小テスト　30%
教科書	医科テキスト1～3、医科トレーニング、医科サポートブック、医科レポート集、診療報酬明細書、（ソラスト）、医科診療報酬点数表（医学通信社）
参考書	医科試験問題集（ソラスト）、印刷資料など
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 22年以上の病院勤務、レセプト請求業務、社会人教育等の経験を活かし、現場で必要とされる、実践的知識の伝達なども含め、社会で活躍、貢献できる人材育成教育をめざす。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医療事務Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	2単位(60)	医療事務Ⅱ
担当教員			
清水　春代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 病院勤務に必要な医療保険制度の知識及び医療事務資格の「医療事務管理士」取得に足る知識の習得。 【到達目標】 診療報酬算定の根拠である、「診療報酬点数表」を引きこなすことができる。 カルテを読むことができる。 診療内容を点数化することができる。 自主的な調べ学習で、問題解決をすることができる。
授業の概要	医療事務の仕事は、①医療機関に於ける受付、会計などの患者接遇業務、②入院受付や入院会計、退院手続きなどの病棟管理業務、③医師、看護師などの事務的サポートを行う秘書業務、④診療費の患者負担分以外を請求するレセプト業務。⑤オペレーション業務、統計資料作成などの医事ＯＡ、情報管理業務などがある。本授業は、これらに必要な基本的知識を学び、カルテを読み、診療内容の点数算定の基礎を体系的に学ぶ。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回	オリエンテーション、病院概論（医療法、地域医療支援病院、特定機能病院、医薬分業、院内処方、院外処方等） 【キーワード】病院と診療所、地域医療支援病院、特定機能病院、医療法、医薬分業 【授業概要】授業の目的、目標、履修上の注意点、評価方法、。医療施設に関する基本法規から病院の分類を学ぶ。医薬分業の意義と歴史を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキスト1 p5~11 【課題・予習・復習・授業準備】テキスト1 p37~68熟読
	第２回	医療保障制度（患者一部負担金、療養担当規則、高額療養費、保険外併用療養費、等） 【キーワード】患者一部負担金、療養担当規則、高額療養費、保険外併用療養費 【授業概要】保険給付の具体的な内容を学ぶ。保険診療上、医療機関、医療従事者が守らなければならない規則である療養担当規則を知り、事務職員も規則遵守の例外ではないことを知る。 【教科書ページ・参考文献】テキスト1 p24~68 【課題・予習・復習・授業準備】学科レポート第1回（問1~問4）
	第３回	診察料（初再診料の区分、初再診料算定の共通ルール）、初診料算定のルール 【キーワード】初診料 【授業概要】ある病気の第1回目の診察の費用を初診料という。初診料の定義、算定の共通ルールと算定ポイントを学び、実際の算定方法を学習する。 【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p26~36　トレーニングブック 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックで初診料の算定練習
	第４回	診察料（再診料と外来診療料の算定のルール） 【キーワード】再診料、外来診療科 【授業概要】再診の費用は初診料を算定しない時、再診の都度算定する。算定のルールと算定の実際を学ぶ 【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p42~47 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックで再診料、外来診療科の算定練習。学科レポート第1回問5~問7
	第５回	医学管理等（定義、区分、特定疾患療養管理料ー特定疾患、主病、算定ポイント） 【キーワード】特定疾患療養管理料、主病、特定疾患

		【授業概要】特定疾患療養管理料は主病が特手お疾患である場合、生活上の指導等を行った場合、月2回まで算定できる。定義、算定のルールと算定ポイントを学び、算定の実際を知る。 【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p48~49 トレーニングブック 【課題・予習・復習・授業準備】テキスト2 p50~58熟読
	第６回	医学管理等（ウィルス疾患指導料、悪性腫瘍特異物質治療管理料、栄養食事指導料、診療情報提供料、薬剤情報提供料等） 【キーワード】ウィルス疾患指導料、悪性腫瘍特異物質治療管理料、栄養食事指導料、診療情報提供料、薬剤情報提供料等 【授業概要】医学管理の算定の秘訣はカルテのキーワードを知ることです。各医学管理料のキーワードと算定ルールを知り、算定の実際を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p50~61 トレーニングブック 【課題・予習・復習・授業準備】 学科レポート第1回問8~10、トレーニングブックで算定練習
	第７回	在宅医療（在宅患者診療・指導料例えば往診料の算定のルール） 【キーワード】往診料、在宅患者訪問診療料 【授業概要】医師や看護師が自宅療養中の患者さん宅を訪問し、診療・指導が行われた場合の費用。定義、算定るーるを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p62~69,トレーニングブック 【課題・予習・復習・授業準備】テキスト2 p62~69用語の意味を復習。トレーニングブック号の会計欄。テキスト2 p70~熟読
	第８回	在宅医療（在宅療養指導管理料、例えば在宅自己注射指導管理料、在宅療養指導管理材料加算、薬剤料等、算定のルール） 【キーワード】在宅自己注射指導管理料 【授業概要】患者さんや家族が自宅で注射の治療をすることに対しての指導料です。算定のルールと算定ポイントを学ぶ 【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p70~78 トレーニングブック8号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備】学科レポート第1回問10~11（次回提出）
	第９回	投薬（院内処方の算定ルール、調剤料、処方料、薬剤料、調剤技術基本料、内服薬、頓服薬、外用薬） 【キーワード】調剤料、処方料、薬剤料、内服薬、頓服薬、外用薬 【授業概要】院内処方での算定項目は、薬剤料×投与単位＋調剤料+処方料である。算定のルールを学び、算定に習熟する。投薬は算定の基本であるのでしっかりと理解することが求められる。 【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p86~101、トレーニングブック1~3号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備】本日授業の残り
	第１０回	投薬（院外処方とその算定ルール、処方箋料）、在宅医療の薬剤 【キーワード】院外処方、処方箋料 【授業概要】院外処方と院内処方は発生する費用が違うことを理解する。処方箋料の算定に習熟する。在宅医療の薬剤料は算定こーどが違うことと、2点以上のみ算定など、投薬料の薬剤料との違いを理解する。 【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p102~104 トレーニングブック4号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備】学科レポート第2回（次回提出）
	第１１回	注射（薬剤の基本知識、算定の共通ルール、注射実施料、薬剤料、特定保険医療材料料、通則の加算、注の加算 【キーワード】注射実施料、薬剤料、特定保険医療材料料、通則の加算、注の加算 【授業概要】注射料の算定は注射実施料+薬剤料+特定保険医療材料料+加算である。各項目の算定ポイントを学ぶ。注射の種類によって算定点数が違うこと、特定保険医療材料料の算定要件、加算の算定に習熟する。 【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p111~116、トレーニングブック5~8号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備】テキスト2 p117~135熟読
	第１２回	注射（皮内・皮下筋肉内注射、静脈内注射、点滴注射等の算定方法、注射薬１本未満、Aq） 【キーワード】皮内・皮下筋肉内注射、静脈内注射、点滴注射、注射薬一本未満、Ａｑ 【授業概要】主な注射料の算定の実際を学ぶ。カルテの記載されている注射の算定に習熟する。特殊な場合（Ａｑ使用、注射薬一本未満使用の場合の薬剤料）の算定に習熟する。 【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p117~135、トレーニングブック%~8号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備】学科レポート第3回問1,2
	第１３回	処置（定義、区分、算定の共通ルール、酸素加算、腰部・胸部固定帯加算、通則の加算、注の加算等） 【キーワード】処置料、処置医療機器加算、、薬剤料、特定保険医療材料料、通則の加算、注の加算 【授業概要】処置医療機器加算は、酸素加算と腰部又は胸部固定帯加算がある。薬剤料は、薬価を点数化したものであり2点以上のみ算定。加算は処置料への加算であり、加算の順序が決まっている。算定上のポイントを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p136~140 【課題・予習・復習・授業準備】テキスト2 p141~159熟読
	第１４回	処置（一般処置、救急処置、皮膚科処置、泌尿器科処置、産婦人科処置、眼科処置、耳鼻咽喉科処置、整形外科的処置等） 【キーワード】一般処置、救急処置、皮膚科処置、産婦人科処置、眼科処置、耳鼻咽喉科処置、整形外科的処置等 【授業概要】各処置料の算定の実際（点数表から点数を引き、ルールにそって算定することを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p141~159、トレーニングブック9~12号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備】学科レポート第3回　問3~5(次回提出) テキスト2 p160~176熟読
	第１５回	処置（ギプス、栄養処置）、リハビリテーション（定義、算定の共通ルール、脳血管リハビリテーション料、運動器リハビリテーション料等 【キーワード】ギプス、疾患別リハビリテーション料 【授業概要】様々な原因で運動や言語等、身体の機能に障害のある患者さんに対して、基本的な機能の回復訓練を行う治療をリハビリテーションという。算定の共通ルールと算定ポイントを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p160~175、トレーニングブック9~13号の会計欄

		【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックの残り
	第１６回	検体検査（検体検査実施料、検体検査判断料、診断穿刺・検体採取料、加算、各検体検査の算定 【キーワード】検体検査料、診断穿刺、緊検、外迅検、検体検査判断料 【授業概要】各検体検査の算定について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p14~26,トレーニングブック14~15号会計欄 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックの残り
	第１７回	生体検査（生体検査実施料、生体検査判断料、フィルム料、逓減算定、各生体検査の算定ー心電図、超音波検査、脳波検査、内視鏡検査等） 【キーワード】生体検査料、逓減算定、対称器官、年齢加算 【授業概要】各生体検査の算定を学ぶ 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p28~43 トレーニングブック16~18号会計欄 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックの残り
	第１８回	病理診断（病理標本作製料、病理診断料・判断料、検体採取料） 【キーワード】病理標本作製料、病理診断料、病理判断料 【授業概要】病理診断料と検査料の関連を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p44~51、トレーニングブック 【課題・予習・復習・授業準備】学科レポート第4回　問1~4
	第１９回	手術（主な手術料ー創傷処理、骨折骨折観血的手術、内視鏡的手術等） 【キーワード】創傷処理、皮膚皮下腫瘍摘出術、骨折観血的手術、内視鏡的手術等 【授業概要】主な手術料の術式と算定を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p58~65、トレーニングブック 【課題・予習・復習・授業準備】学科レポート第4回 問5、
	第２０回	輸血料（保存血液輸血、輸血管理料、血液成分製剤輸血） 【キーワード】輸血料 【授業概要】輸血料算定の実際、血液製剤輸血の算定の実際 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p66~73、トレーニングブック19号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備】学科レポート第4回 問6
	第２１回	麻酔料（静脈麻酔、脊椎麻酔、硬膜外麻酔、マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔、局所麻酔、神経ブロック 【キーワード】脊椎麻酔、静脈麻酔、マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔、硬膜外麻酔 【授業概要】主な麻酔料の算定の実際を手術料と併せての算定を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p79~88、トレーニングブック19~22号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備】学科レポート第4回　問7~8
	第２２回	エックス線診断料（透視診断、単純撮影、造影剤使用撮影、特殊撮影、乳房撮影、読影） 【キーワード】撮影料、診断料、フィルム料、緊画、透視 【授業概要】単純撮影、造影剤使用撮影、特殊撮影、2法併施、対称器官、二方向撮影などの算定を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p89~106 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習（エックス線撮影は画像診断の基礎なのでしっかり復習すること。）
	第２３回	核医学診断料（シンチグラム、ＳＰＥＣＴ、ＰＥＴ）コンピューター断層撮影診断料（ＣＴ撮影、ＭＲＩ撮影） 【キーワード】シンチグラム、スペクトＣＴ撮影、MRI撮影 【授業概要】算定ルールと算定ポイントを学ぶ。ＣＴ撮影とMRI撮影の併施を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 P107~117　トレーニングブック23~33号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックの残り
	第２４回	精神科専門療法（通院在宅精神療法、入院精神療法、心身医学療法）、放射線治療（放射線治療料、放射線治療管理料） 【キーワード】通院・在宅精神療法、入院精神療法、心身医学療法、高エネルギー放射線療法 【授業概要】主な項目の定義と算定ポイントを学ぶ 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 P127~139、トレーニングブック32~33号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックの残り
	第２５回	入院（入院の費用ー一般病棟入院基本料、入院基本料等加算、外泊、再入院、入院時食事療養費） 【キーワード】一般病棟入院基本料、入院基本料等加算 【授業概要】一般病棟の入院料の算定の実際を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 P127~139　トレーニングブック34号～43号の会計欄 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックの残り
	第２６回	入院（特定入院料、短期滞在手術基本料） 【キーワード】特定入院料、短期滞在手術基本料 【授業概要】救命救急入院料、特定集中治療室管理料、等、診療費の一部が包括になることなどを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 P140~141 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック34号～43号会計欄
	第２７回	入院（入院料以外の点数算定ー初診料、投薬、注射、処置等、入院と外来がある場合）、包括評価方式（ＤＰＣ） 【キーワード】入院料以外の点数、レセプト点検 【授業概要】入院中算定できない項目、入院のみ算定できる項目などを体系的に学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 P142~161　トレーニングブック44~50号会計欄 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックの残りを進めておくこと。
	第２８回	公費負担医療、その他の医療関係制度（労災保険、介護保険） 【キーワード】生活保護法、難病法、感染症法等 【授業概要】主な公費負担医療の算定の中で公費以外の算定と異なる点について学ぶ。労災、介護保険制度について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキスト1 P69~111 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習
	第２９回	総まとめ（総復習問題を使用して、総まとめと弱点補強） 【キーワード】総まとめ

	【授業概要】総復習問題を使用して総まとめと弱点補強 【教科書ページ・参考文献】テキスト関連ページ 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習 第３０回　　模擬試験 【キーワード】模擬試験 【授業概要】模擬試験、解答解説 【教科書ページ・参考文献】テキスト関連ページ 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習
受講生に関わる情報および受講のルール	教材、筆記用具は毎回持参すること。レセプト用紙等足りない時は予めコピーをして準備しておくこと。レポート等、提出物の提出期限を過ぎたものはうけつけないので、提出期限は必ず守ること。授業終了時に配布する予習問題を解いて、授業に臨むこと。項目終了毎に、小テストを行う。授業中の携帯電話の操作は禁止。私語は慎むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	配布する予習問題を使用して予習をすること。授業終了時に指示する箇所の復習を行う。新聞などの関連記事を読む。
オフィスアワー	火曜日、木曜日　10:00～11:30、相談により随時
評価方法	定期試験　50%、課題　20%、小テスト　30%
教科書	医科テキスト1～3、医科トレーニング、医科サポートブック、医科レポート集、診療報酬明細書、（ソラスト）、医科診療報酬点数表（医学通信社）
参考書	医科試験問題集（ソラスト）、印刷資料など
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 20年以上の病院勤務、レセプト請求業務、社会人教育業務などの経験を活かし、現場で必要とされる知識や基本的考え方などの知識の伝達などを含め、社会で活躍できる人材教育をめざします。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医療事務Ⅲ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	2単位(60)	医療事務Ⅲ
担当教員			
清水　春代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 病院勤務に必要な医療保険制度の知識及び医療事務資格の「医療事務管理士」取得に足る知識の習得。 【到達目標】 診療報酬算定の根拠である、「診療報酬点数表」を引きこなすことができる。 カルテを読み、診療内容を点数算定することができる。 レセプト（診療報酬明細書）を作成することができる。 診療報酬請求の仕組みが理解できる。 自主的な調べ学習で、問題解決をすることができる。
授業の概要	医療事務の仕事は、①医療機関に於ける受付、会計などの患者接遇業務、②入院受付や入院会計、退院手続きなどの病棟管理業務、③医師、看護師などの事務的サポートを行う秘書業務、④診療費の患者負担分以外を請求するレセプト業務。⑤オペレーション業務、統計資料作成などの医事ＯＡ、情報管理業務などがある。本授業は、これらに必要な基本的知識を学び、カルテを読み、診療内容の点数算定とレセプトの作成と請求方法の基礎を学ぶ。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回	オリエンテーション、医科・歯科医療事務の仕事、診療報酬請求事務。 【キーワード】保険診療、レセプト 【授業概要】授業の目的、目標、履修上の注意、評価方法。医事課の仕事。診療報酬請求事務の定義 【教科書ページ・参考文献】テキスト1 P37~68 テキスト2 P6~7 【課題・予習・復習・授業準備】医療事務Ⅰ・Ⅱの保険診療の復習をすること。
	第２回	レセプトの基礎知識、上書の書き方。 【キーワード】レセプト、月極請求、一患者一枚、上書き、点数欄、摘要欄、コード欄、療養の給付欄 【授業概要】レセプトの種類、作成のルール、記入上の注意点、レセプト各部の役割、上書きの書き方 【教科書ページ・参考文献】テキスト2 P8~21、トレーニングブック 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックで上書きの練習
	第３回	初診料の算定とレセプトの書き方。 【キーワード】初診料、時間外加算、複数科初診 【授業概要】トレーニングブックを使用して初診料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ 【教科書ページ・参考文献】テキスト2 P35~36、トレーニングブック 【課題・予習・復習・授業準備トレーニングブックで初診料を算定し、レセプト記載練習】
	第４回	再診料、外来診療料の算定とレセプトの書き方 【キーワード】再診料、外来診療科、外来管理加算、時間外加算、複数科再診 【授業概要】トレーニングブックを使用して、再診料、外来診療科の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキスト2 P45~46 トレーニングブック 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックで再診料、外来診療科を算定し、レセプトの作成練習
	第５回	医学管理等（特定疾患療養管理料）の算定とレセプトの書き方 【キーワード】特定疾患療養管理料

【授業概要】トレーニングブックを使用して、特定疾患療養管理料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p59 トレーニングブック
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックのキーワードを探して特定疾患療養管理料を算定し、レセプトの作成練習

第６回　医学管理等（特定疾患治療管理料、その他の医学管理等、情報提供料）の算定とレセプトの書き方
【キーワード】特定薬剤治療管理料、悪性腫瘍特異物質治療管理料、診療情報提供料、薬剤情報提供料
【授業概要】トレーニングブックのキーワードを探して特定疾患治療管理料、その他の医学管理料、情報提供料等を算定し、レセプトの書き方を実践的に学ぶ
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p59~60 トレーニングブック
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックのキーワードを探して特定疾患治療管理料を算定し、レセプトの作成練習

第７回　在宅医療（在宅患者診療・指導料例えば往診料）の算定とレセプトの書き方
【キーワード】往診料、訪問診療料、訪問看護指導料
【授業概要】トレーニングブックを使用して往診料、訪問診療料、訪問看護指導料などの算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p75~76 トレーニングブック3号
【課題・予習・復習・授業準備】往診料と訪問診療料の相違点を整理しておくこと。

第８回　在宅医療（在宅療養指導管理料、例えば在宅自己注射指導管理料等）の算定とレセプトの書き方
【キーワード】在宅自己注射指導管理料
【授業概要】在宅自己注射指導管理料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p76~77 トレーニングブック8号
【課題・予習・復習・授業準備】在宅自己注射指導管理料材料加算について整理しておくこと。

第９回　投薬（院内処方）の算定とレセプトの書き方
【キーワード】内服薬、頓服薬、外用薬、調剤料、処方料、加算
【授業概要】トレーニングブックのカルテのRpの表記の部分から、投薬の種類を読み取り、算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p105~109 トレーニングブック1~3号
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックの残り

第１０回　投薬（院外処方）の算定とレセプトの書き方）
【キーワード】処方箋料
【授業概要】カルテ上の「処方箋交付」は、院外処方を表している。トレーニングブックを使用して院外処方の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p109 トレーニングブック4号
【課題・予習・復習・授業準備】実技レポート第1号（次回提出）

第１１回　主な注射料の算定とレセプトの書き方
【キーワード】皮下・筋肉内注射、静脈内注射、点滴注射、関節腔内注射
【授業概要】注射の略語（inj,im,iv,DIV,IVH)などの記載からｔｙｙ社の種類を判断し、算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p132~134　トレーニングブック5~8号
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックの残り

第１２回　特殊な場合の注射料の算定とレセプトの書き方
【キーワード】薬剤を一本未満使用、Aq使用、点滴注射1日2回
【授業概要】トレーニングブックを使用して、特殊な場合の注射料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p132~134 トレーニングブック5~8号
【課題・予習・復習・授業準備】実技レポート2号レセプト作成（次回提出）

第１３回　主な処置料の算定とレセプトの書き方
【キーワード】創傷処置、人工呼吸、酸素吸入、留置カテーテル設置、対称器官の処置、年齢加算を算定する場合など。
【授業概要】トレーニングブックを使用して処置料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p162~165 トレーニングブック９～１３号
【課題・予習・復習・授業準備】実技レポート3号のレセプト作成（次回提出）

第１４回　ギプス料の算定とレセプトの書き方
【キーワード】ギプス包帯、ギプスシャーレ、ギプス除去、プラスチックギプス
【授業概要】トレーニングブックを使用してギプス料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p165 トレーニングブック38号
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック13号までのレセプト作成を進めておくこと。

第１５回　リハビリテーション料の算定とレセプトの書き方
【キーワード】運動器リハビリテーション料、脳血管疾患リハビリテーション料、心大血管リハビリテーション料、呼吸器リハビリテーション料
【授業概要】トレーニングブックを使用してリハビリテーション料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p174 トレーニングブック12号
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック13号までのレセプト作成

第１６回　各検体検査料の算定とレセプトの書き方
【キーワード】同一検体、同一区分、まるめ算定、外迅検、緊検、検体採取料
【授業概要】トレーニングブックを使用して検体検査料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ
【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p39~41 トレーニングブック14~15号
【課題・予習・復習・授業準備】実技レポート４号レセプト作成（次回提出）

第１７回　各生体検査料の算定とレセプトの書き方
【キーワード】逓減算定、乳幼児加算、対称器官、循環機能検査、超音波検査、負荷試験
【授業概要】トレーニングブックを使用して生体検査料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ
【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p41~42 トレーニングブック16~18号
【課題・予習・復習・授業準備】実技レポート5号のレセプト作成（次回提出）

	第１８回	病理診断の算定とレセプトの書き方 【キーワード】病理標本作製料、病理診断管理加算、採取料を伴う場合、他の検査と同時の病理診断料 【授業概要】病理診断は、検査や手術に伴って行われることが多い。算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p49~50 トレーニングブック29号 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック18号までのレセプト作成を進めておくこと。
	第１９回	各手術料の算定とレセプトの書き方 【キーワード】同一皮切、主たる手術、従たる手術、手術医療機器加算、対称器官の手術、創傷処理、骨折非観血的手術 【授業概要】手術料の算定は、算定上のルールを理解し、それを応用することが求められる。算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p70~72 トレーニングブック１９～２２号 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックの残り
	第２０回	各輸血料の算定とレセプトの書き方 【キーワード】保存血液輸血、輸血管理料 【授業概要】トレーニングブックを使用して輸血料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p72 トレーニングブック36号 【課題・予習・復習・授業準備】実技レポート6号のレセプト作成（次回提出）
	第２１回	主な麻酔料の算定とレセプトの書き方 【キーワード】閉鎖循環式全身麻酔、麻酔管理料、静脈麻酔、閉鎖循環式全身麻酔と硬膜外麻酔、神経ブロック 【授業概要】トレーニングブックを使用して麻酔料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p86~87 トレーニングブック19~22号 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックの残り
	第２２回	エックス線診断料の算定とレセプトの書き方 【キーワード】単純撮影、造影剤使用撮影、特殊撮影、乳房撮影、読影、二方向撮影、対称部位、二法併施、電子画像管理加算、緊画 【授業概要】トレーニングブックを使用して、エックス線撮影の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p112~115 トレーニングブック23~25号 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックの残り
	第２３回	核医学診断料、コンピューター断層撮影診断料の算定とレセプトの書き方 【キーワード】コンピューター断層撮影診断料、同一月にＣＴ撮影とMRI撮影、核医学撮影診断料 【授業概要】トレーニングブックを使用してコンピューター断層撮影診断料、核医学撮影診断料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p115~116 トレーニングブック31~33号 【課題・予習・復習・授業準備】実技レポート7号のレセプト作成（次回提出）
	第２４回	精神科専門療法、放射線治療の算定とレセプトの書き方 【キーワード】通院・在宅精神療法、心身医学療法、放射線治療料、放射線治療管理料 【授業概要】トレーニングブックを使用して精神科専門療法、放射線治療料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p124~126 トレーニングブック32~33号 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックの残り
	第２５回	一般病棟入院基本料、入院基本料等加算の算定とレセプトの書き方。 【キーワード】起算日、初期加算、緊入、入院基本料、入院基本料等加算 【授業概要】ベッドを整えたり、看護などの費用を入院料という。その他の治療行為はこれまでの学習通りに算定する。トレーニングブックを使用して、入院料の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p145~147 トレーニングブック34~43号 【課題・予習・復習・授業準備】実技レポート8号のレセプト作成（食事以外）
	第２６回	入院時食事療養費の算定とレセプトの書き方 【キーワード】入院時食事療養費、基準食、特別食加算、食堂加算、標準負担金 【授業概要】入院時食事療養費は、1日3回を限度として、食べた回数だけ算定する。トレーニングブックを使用して入院時食事療養費の算定とレセプトの書き方を実践的に学ぶ 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p148 トレーニングブック34~43号 【課題・予習・復習・授業準備】実技レポート8号のレセプト作成（次回提出）
	第２７回	外泊、再入院の場合のレセプトの書き方 【キーワード】外泊、再入院 【授業概要】入院中の患者が24時間在院しない日を「外泊」という。退院後、同じ病気で3か月以内に、同じ病院に入院することを「再入院」という。トレーニングブックを使用して外泊、再入院を含めた入院料の算定とレセプトの書き方を総合的、実践的に学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p145~147 トレーニングブック39~40号 【課題・予習・復習・授業準備】実技レポート9のレセプト作成（次回提出）
	第２８回	点検（外来） 【キーワード】レセプト、事務的点検、内容点検 【授業概要】レセプトは、医療機関の収入に直結する書類である。不備なレセプトに対しては保険者からの支払いが行われない為、損失を未然に防ぐため、作成したレセプトは必ず点検が必要である。外来レセプトの点検のポイントを学ぶ 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p160~161 トレーニングブック48~50号 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック残り
	第２９回	点検（入院） 【キーワード】レセプト、事務的点検、内容点検 【授業概要】レセプトは、医療機関の収入に直結する書類である。不備なレセプトに対しては保険者からの支払いが行われない為、損失を未然に防ぐ為、作成したレセプトの点検は必須である。入院レセプトの点検ポイントを学ぶ 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p160~161 トレーニングブック４８～５０号 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックの残り

	第３０回　　模擬試験 【キーワード】模擬試験 【授業概要】模擬試験、解答解説と弱点補強 【教科書ページ・参考文献】テキスト一式、点数表 【課題・予習・復習・授業準備】試験問題復習
受講生に関わる情報および受講のルール	教材、筆記用具は毎回持参すること。レセプト用紙等足りない時は予めコピーをして準備しておくこと。レポート等、提出物の提出期限を過ぎたものはうけつけないので、提出期限は必ず守ること。授業終了時に配布する予習問題を解いて、授業に臨むこと。項目終了毎に、小テストを行う。授業中の携帯電話の操作は禁止。私語は慎むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	カルテ集は残さずレセプト化すること。2回位はするほうがよい。
オフィスアワー	火曜日、木曜日　10:00～11:30、相談により随時
評価方法	定期試験　50%、課題　20%、小テスト　30%
教科書	医科テキスト1～3、医科トレーニング、医科サポートブック、医科レポート集、診療報酬明細書、（ソラスト）、医科診療報酬点数表（医学通信社）
参考書	医科試験問題集（ソラスト）、印刷資料など
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 20年以上の病院業務、レセプト請求業務、社会人教育業務などの経験を活かし、より実践的な知識や考え方の伝達方など、社会で活躍し、貢献できる人材教育をめざす。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医療事務Ⅳ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	2単位(60)	医療事務Ⅳ
担当教員			
清水　春代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 病院勤務に必要な医療保険制度の知識及び医療事務資格の「医療事務管理士」取得に足る知識の習得。 【到達目標】 診療報酬算定の根拠である、「診療報酬点数表」を引きこなすことができる。 カルテを読み、診療内容を点数算定することができる。 レセプト（診療報酬明細書）を作成することができる。 診療報酬請求の仕組みが理解できる。 自主的な調べ学習で、問題解決をすることができる。
授業の概要	医療事務の仕事は、①医療機関に於ける受付、会計などの患者接遇業務、②入院受付や入院会計、退院手続きなどの病棟管理業務、③医師、看護師などの事務的サポートを行う秘書業務、④診療費の患者負担分以外を請求するレセプト業務。⑤オペレーション業務、統計資料作成などの医事ＯＡ、情報管理業務などがある。本授業は、これらに必要な基本的知識を学び、カルテを読み、診療内容の点数算定とレセプトの作成に習熟する。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	よみとり第１回　オリエンテーション、調剤薬局での事務の仕事、調剤薬局の請求事務 【キーワード】保険診療、保険調剤、レセプト 【授業概要】授業の目的、目標、履修上の注意点、評価方法。保険医療機関と保険薬局 【教科書ページ・参考文献】テキスト1 p54~68 【課題・予習・復習・授業準備】医療事務Ⅰの保険診療の復習 第２回　上書きの書き方に習熟する。 【キーワード】保険証、患者情報、上書き 【授業概要】上書きは保険証、カルテ、レセプトで一致していなければならない。返戻対象の項目である。トレーニングブックを使用して上書きの書き方に習熟する。 【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p8~21,トレーニングブック 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックで上書きの練習 第３回　診察料（診療録（カルテ）から、初診料、再診料、外来診療料を見分け、レセプト作成に習熟する。 【キーワード】診療録、初診料、再診料、外来診療科 【授業概要】トレーニングブックのカルテから診察料（初診料、再診）を見分け、レセプト作成に習熟する。【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p35~46 トレーニングブック 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックを使用して診察料の算定とレセプト作成練習 第４回　診察料（診療録（カルテ）から、初診料、再診料、外来診療料を見分け、レセプト作成に習熟する。 【キーワード】診療録、初診料、再診料、外来診療科 【授業概要】トレーニングブックを使用して初診料、再診料、外来診療科のレセプト作成練習 【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p35~46 トレーニングブック 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックを使用して診察料の算定練習 第５回　医学管理等（カルテのキーワードを探して、各医学管理を算定し、レセプト作成に習熟する。 【キーワード】特定疾患療養管理料、特定疾患治療管理料、その他の医学管理、情報提供料

【授業概要】トレーニングブックを使用して医学管理の算定とレセプト作成に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p59~60　トレーニングブック
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックを使用して医学管理の算定とレセプト作成練習

第６回　医学管理等（カルテのキーワードを探して、各医学管理を算定し、レセプト作成に習熟する。
【キーワード】特定疾患療養管理料、特定疾患治療管理料、その他の医学管理、情報提供料
【授業概要】トレーニングブックを使用して、カルテのキーワードをより、医学管理の算定とレセプト作成に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p59~60 トレーニングブック
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックを使用して医学管理の算定とレセプト作成練習

第７回　在宅医療（往診料、在宅患者訪問診療料、在宅患者訪問看護指導料を算定し、レセプト作成に習熟する。）
【キーワード】往診料、在宅患者訪問診療料、在宅患者訪問看護指導料
【授業概要】トレーニングブックを使用して往診料、訪問診療料、訪問看護指導料を算定の算定とレセプト作成に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p75~76,トレーニングブック3号

【課題・予習・復習・授業準備】往診料と訪問診療料の相違点を整理しておくこと。

第８回　在宅医療（在宅自己注射指導管理料、その他の在宅療養指導管理料を算定し、レセプト作成に習熟する。）
【キーワード】在宅自己注射指導管理料、その他の在宅療養指導管理料
【授業概要】トレーニングブックを使用して在宅自己注射指導管理料、その他の在宅療養指導管理料の算定とレセプト作成に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p76~77 トレーニングブック8号
【課題・予習・復習・授業準備】在宅自己注射指導管理料材料加算について整理しておく

第９回　投薬（院内処方、入院と外来の算定の違いなどを学び、レセプト作成に習熟する。
【キーワード】内服薬、頓服薬、外用薬、調剤料、処方料、加算
【授業概要】トレーニングブックを使用して院内処方における外来と入院の算定の違いなどを学び、レセプト作成に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p105~109 トレーニングブック1~3号
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックの残り

第１０回　投薬（院外処方とその算定、ビタミン剤を算定した場合などの留意事項を学び、レセプト作成に習熟する。
【キーワード】処方箋料、ビタミン剤の算定
【授業概要】トレーニングブックを使用して、院外処方の算定とビタミン剤を算定する場合の留意点などを学び、レセプト作成に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p109,トレーニングブック4号

【課題・予習・復習・授業準備】実技レポート1号のレセプト作成（次回提出）

第１１回　注射（薬剤の基本知識、算定の共通ルール
【キーワード】皮下・筋肉内注射、静脈内注射、点滴注射、関節腔内注射
【授業概要】トレーニングブックを使用カルテから、注射の種類を判断し、算定とレセプト作成に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p132~134 トレーニングブック5~8号
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックの残り

第１２回　注射（皮内・皮下筋肉内注射、静脈内注射、点滴注射、特定保険医療材料、ビタミン剤を算定した場合等のレセプト作成に習熟する。）
【キーワード】注射薬一本未満使用、Aq使用、点滴注射1日2回、ビタミン剤
【授業概要】トレーニングブックを使用して特殊な場合の算定とレセプト作成に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p132~134 トレーニングブック5~8号
【課題・予習・復習・授業準備】実技レポート2号のレセプト作成（次回提出）

第１３回　処置（面積による点数算定、実施時間による点数算定、など、カルテより処置を読み取り、算定、レセプト作成に習熟する。）
【キーワード】創傷処置、人工呼吸、酸素吸入、留置カテーテル設置、対称器官の処置、年齢加算をする場合
【授業概要】トレーニングブックを使用して処置料の算定とレセプト作成に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p162~165 トレーニングブック9~13号
【課題・予習・復習・授業準備】実技レポート3号のレセプト作成（次回提出）

第１４回　処置（特定保険医療材料の算定、対称器官の場合の算定、ギプス料の算定と、レセプト作成に習熟する。
【キーワード】ギプス、対称器官、特定保険医療材料料、ギプスシャーレ、ギプス除去、プラスチックギプス
【授業概要】トレーニングブックを使用してギプス料の算定とレセプト作成に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p165,トレーニングブック36号
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック13号までのレセプト作成

第１５回　整形外科的処置とリハビリテーション料の算定と、レセプト作成に習熟する。
【キーワード】整形外科的処置、運動器リハビリテーション料、脳血管疾患リハビリテーション料、心大血管リハビリテーション料、呼吸器リハビリテーション
【授業概要】トレーニングブックを使用して整形外科的処置とリハビリテーション料の算定とレセプト作成に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p174 トレーニングブック12号
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック13号までレセプト作成

第１６回　検査（カルテ上の各検体検査をよみとり算定、レセプト作成に習熟する。）
【キーワード】同一検体、同一区分、まるめ算定、外迅検、緊検、検体採取料
【授業概要】トレーニングブックを使用して各検体検査の算定とレセプト作成に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p39~41 トレーニングブック14~15号
【課題・予習・復習・授業準備】実技レポート4号のレセプト作成（次回提出）

第１７回　検査（各生体検査の算定、摘要欄にコメントが必要な検査、同一月に入院と外来がある場合の同一区分の判断料等、レセプトの書き方に習熟する。）

【キーワード】逓減算定、対称器官、呼吸循環機能検査、超音波検査、眼科学的検査、負荷試験
【授業概要】各生体検査の算定、摘要欄にコメントが必要な場合、同一月に入院と外来がある場合の同一区分の判断料等のレセプト作成に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p41~42 トレーニングブック16~18号
【課題・予習・復習・授業準備】実技レポート5号のレセプト作成（次回提出）

第１８回　病理診断は、検査や手術と同時に行われるので、カルテを読み、同時に算定とレセプト作成に習熟する。
【キーワード】病理標本作製料、病理診断管理加算、採取料を伴う場合、検査と同時の病理診断
【授業概要】病理診断は、検査や手術に伴って行われることが多い。トレーニングブックを使用してさんていとレセプト作成に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p49~50、トレーニングブック29号
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック18号までのレセプト作成

第１９回　手術（レセプトの書き方の具体例をカルテを読みながら学び、習熟する。）
【キーワード】同一皮切、主たる手術、従たる手術、手術医療機器加算、対称器官の手術、創傷処理、骨折観血的手術等
【授業概要】トレーニングブックを使用して算定とレセプトの書き方の具体例をカルテより読み取り、レセプト作成に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p70~72、トレーニングブック19~22号
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック22号までレセプト作成練習

第２０回　手術（保存血液輸血、輸血管理料の算定とレセプト作成に習熟する。）
【キーワード】保存血液輸血、輸血管理料
【授業概要】トレーニングブックを使用して輸血料の算定とレセプト作成に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p72 トレーニングブック36号
【課題・予習・復習・授業準備】実技レポート6号のレセプト作成（次回提出）

第２１回　麻酔（主な麻酔料の算定とレセプトの書き方の具体例を、カルテより読み取り、レセプト作成に習熟する。）
【キーワード】閉鎖循環式全身麻酔、麻酔管理料、静脈麻酔、閉鎖循環式全身麻酔と硬膜外麻酔の併施、神経ブロック
【授業概要】麻酔は手術に先立って行われることが多い。トレーニングブックを使用して算定とレセプト作成に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p86~87 トレーニングブック19~22号
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック22号までレセプト作成

第２２回　画像診断（エックス線診断料の算定とレセプトの書き方の具体例を、カルテを読み、レセプト作成に習熟する。）
【キーワード】単純撮影、造影剤使用撮影、特殊撮影、乳房撮影、読影、対称部位、二法併施、電子画像管理加算、緊画
【授業概要】トレーニングブックを使用して算定とレセプトの書き方の具体例をカルテより読み取り、レセプト作成に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p112~115 トレーニングブック23~30号
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック30号までのレセプト作成

第２３回　画像診断（核医学診断料、コンピューター断層撮影診断料のレセプトの書き方の具体例を、カルテを読み、レセプト作成に習熟する。）
【キーワード】コンピューター断層撮影診断料、、核医学撮影診断料、同一月にＣＴ撮影とMRI撮影併施
【授業概要】トレーニングブックを使用して算定とレセプト作成に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p115~116 トレーニングブック31~33号
【課題・予習・復習・授業準備】実技レポート7号のレセプト作成（次回提出）

第２４回　精神科専門療法、放射線治療（通院・在宅精神療法、心身医学療法、放射線治療管理料、放射線治療料のレセプト作成に習熟する。）
【キーワード】通院・在宅精神療法、心身医学療法、放射線治療料、放射線治療管理料
【授業概要】トレーニングブックを使用して算定とレセプト作成に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p124~126 トレーニングブック32~33号
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック33号までのレセプト作成

第２５回　入院（カルテの施設基準より、入院基本料、入院基本料等加算を読み取り、算定とレセプト作成に習熟する。）
【キーワード】一般病棟入院基本料、、入院基本料加算、起算日、初期加算
【授業概要】トレーニングブックを使用してカルテの施設基準より、入院基本料、入院基本料加算を読み取り、算定とレセプト作成に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p145~147　トレーニングブック34~43号
【課題・予習・復習・授業準備】実技レポート8号のレセプト作成（食事以外）

第２６回　入院時食事療養費をカルテからよみとり、算定とレセプトの書き方に習熟する。
【キーワード】入院時食事療養費、基準食、特別食加算、食堂加算、標準負担金
【授業概要】トレーニングブックを使用して入院時食事療養費の算定とレセプト作成に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p148 トレーニングブック34~43号
【課題・予習・復習・授業準備】実技レポート8号のレセプト作成（次回提出）

第２７回　入院（外泊、再入院のレセプトの書き方に習熟する。
【キーワード】外泊、再入院
【授業概要】トレーニングブックを使用して外泊、再入院の算定とレセプト作成に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p145~147 トレーニングブック39~40号
【課題・予習・復習・授業準備】実技レポート9号のレセプト作成（次回提出）

第２８回　レセプト点検（外来）のポイントを習熟する。
【キーワード】レセプト、事務的点検、内容点検
【授業概要】トレーニングブックを使用してレセプト点検に習熟する。
【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p152~159　トレーニングブック44~47号
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック残り

第２９回　レセプト点検（入院）のポイントを習熟する。
【キーワード】レセプト、事務的点検、内容点検
【授業概要】トレーニングブックを使用してレセプト点検に習熟する。

	【教科書ページ・参考文献】テキスト3 トレーニングブック48~50号 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック残り 第３０回　　模擬試験 【キーワード】模擬試験 【授業概要】模擬試験、解答解説 【教科書ページ・参考文献】テキスト一式、点数表 【課題・予習・復習・授業準備】問題の復習
受講生に関わる情報および受講のルール	教材、筆記用具は毎回持参すること。レセプト用紙等足りない時は予めコピーをして準備しておくこと。レポート等、提出物の提出期限を過ぎたものはうけつけないので、提出期限は必ず守ること。授業終了時に配布する予習問題を解いて、授業に臨むこと。項目終了毎に、小テストを行う。授業中の携帯電話の操作は禁止。私語は慎むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	カルテ集は残さずレセプト化すること。2回を目標とする。
オフィスアワー	火曜日、木曜日　10:00～11:30、相談により随時
評価方法	定期試験　50%、課題　20%、小テスト　30%
教科書	医科テキスト1～3、医科トレーニング、医科サポートブック、医科レポート集、診療報酬明細書、（ソラスト）、医科診療報酬点数表（医学通信社）
参考書	医科試験問題集（ソラスト）、印刷資料など
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 20年以上の病院業務、レセプト請求業務、社会人教育業務などの経験を活かし、より実践的な知識、社会で求められている考え方などの伝達などを含め、社会せ活躍し、貢献できる人材教育をめざす。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医療用語　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	4単位(60)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
清水　春代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 人体の構造や機能、症状・検査名・診断名・医療行為などの医療用語を理解し、診療記録を適切に理解できるようにする。 医療秘書として的確に医療情報を伝えることができるようになる。 【到達目標】 ①医学の観点から、診察や医療に関連する制度の用語が理解できる。 ②身体の各部位の用語、疾患や症状を表す用語が理解できる。 ③症状から診療科を選択できるようになる。
授業の概要	医療現場で必要となる、診察、保健・福祉・介護・公衆衛生に関する用語、身体の各部位の用語を学ぶ。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回　　オリエンテーション 第２回　　診察過程の用語①　　外来受診時の流れに関連した用語 第３回　　診察過程の用語②　　診察時の検査に関連した用語 第４回　　身体の症状・診察を表す用語①　　症例における医療用語 第５回　　身体の症状・診察を表す用語②　　バイタルサイン・呼吸に関連した用語 第６回　　診察に使われる基本用語 第７回　　診察に使われる身体の症状に関連した用語 第８回　　頭頸部の症状・診察の用語 第９回　　胸腹部の症状・診察の用語 第１０回　　神経の症状・診察の用語 第１１回　　周産期の症状・診察の用語①　　妊娠・胎児に関連した用語 第１２回　　周産期の症状・診察の用語②　　出産・新生児に関連した用語 第１３回　　皮膚の症状・診察の用語 第１４回　　精神の症状・診察の用語

	第１５回　　前期まとめ　　確認テスト 第１６回　　医療保険制度の用語①　　社会保険・国民皆保険制度 第１７回　　医療保険制度の用語②　　診療報酬制度 第１８回　　医療保険制度の用語③　　高齢者医療保険 第１９回　　介護に関連した用語　　医療職の資格と役割 第２０回　　介護保険制度の用語 第２１回　　医療機関関連と法律の用語 第２２回　　年金の用語 第２３回　　社会福祉の用語 第２４回　　公衆衛生の用語 第２５回　　公衆衛生における保険に関連した用語 第２６回　　公衆衛生における法律に関連した用語 第２７回　　身体の部位を表す用語 第２８回　　身体の方向・断面と動作を表す用語 第２９回　　解剖・生理の用語 第３０回　　後期まとめ　確認テスト
受講生に関わる情報および受講のルール	私語は禁止とする。私語は相手、周囲の者に対しての迷惑行為である。厳に慎むことを自覚して、授業に主体的に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	新聞やニュースなど毎日目を通す。その中にある医療にかかわるものをチェックし、調べるなど。
オフィスアワー	木・金　14：30～15：30　（他応相談・要予約）
評価方法	定期テスト　90%　+　提出物　10%　　総合評価　：　（前期+後期）×1/2
教科書	医療秘書講座　3　「医療にかかわる用語　　コミュニケーション論」　メヂカルフレンド社
参考書	必要に応じて印刷資料を使用。新聞記事など提示利用する。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医療秘書概論　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
三澤　文子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 今や医療秘書は医療行為全般に関連する事務的業務を遂行する専門職である。また、管理者および専門職の業務をサポートし、院内における各部門間や患者との潤滑油的役割を果たす職種に成長した。この授業では医療秘書の業務や役割を理解するだけでなく、医療の一翼を担う業務に携わっている職種であることを意識付けする。また、とてもやりがいのある職種であることを認識し、医療人としての心とサービスマインドをしっかりと身につけることを目的とする。また、日本医師会認定　医療秘書の認定に必要な技能検定種目「秘書検定３級」を学ぶことにより、秘書の基盤となる基本的な知識技能を習得する。 〔到達目標〕 1)秘書の機能が理解できる。 2)医療秘書の業務、役割、意義を理解し、説明することができる。 3)求められる医療秘書像が明確にできる。 4)秘書に必要な基本的知識や技能が理解できる。秘書技能検定試験3級の合格基準を上回っている。 5)コーディネーター役、ホスピタリティを実践する意欲を養う。
授業の概要	医療機関で活躍する医療秘書の目的や役割を理解する科目。 医療秘書として何を求められ、それに応えるかを理解する。医療機関の分類などを医療秘書の基礎を学ぶ。 また、日本医師会認定　医療秘書の認定に必要な技能検定種目「秘書検定３級」を学ぶことにより、秘書の基盤となる秘書の心構え等を理解し、秘書の基本的知識や技能を学ぶ。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回	オリエンテーション～医療秘書について学ぶ 【key words】 医療秘書概論を学ぶ目的 【授業概要】 なぜ医療秘書が存在するのか。どのような医療秘書が求められているのか。どのような業務を求められているのかなどを理論的に学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P2～P5 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P6～P9を熟読しておくこと。課題：「医療秘書について学習することは、これから医療秘書の仕事を実際に行っていく上で、どのような意義があるだろうか？」を考え、次回レポート提出。
	第２回	医療秘書の歴史 【key words】 医療秘書の歴史、日本医師会認定医療秘書 【授業概要】 歴史上の秘書、近代秘書及び医療秘書の出現について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P6～P9 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P10～12を熟読しておくこと。課題：「秘書が文章と深い関わりを持ってきた歴史的経緯と、医療秘書の歴史について」簡単にまとめ次回レポート提出。
	第３回	医療機関とは

【key words】
医療法、医療機関、医療に関連する団体
【授業概要】
医療機関の種類、病院の種類、医療機関に関連する組織について学ぶ。
課題についての説明をする。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P10～P12
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書P13～P16を熟読しておくこと。課題：①「自分が住んでいる地域の医療環境」②「①の中から一つの医療機関を選び病院理念・病院指針及び機能や特徴」について調べ、指定日にレポート及び資料提出。

第４回　検定受験指導
【key words】

【授業概要】
過去試験問題解説　検定試験対策問題解説
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：過去試験問題　検定対策問題

第５回　検定受験指導
【key words】

【授業概要】
過去試験問題解説　検定試験対策問題解説
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：過去試験問題　検定対策問題

第６回　検定受験指導
【key words】

【授業概要】
過去試験問題解説　検定試験対策問題解説
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：過去試験問題　検定対策問題

第７回　検定受験指導
【key words】

【授業概要】
過去試験問題解説　検定試験対策問題解説
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
検定合格を目指して勉強を頑張ること。

第８回　チーム医療・地域連携について
【key words】
チーム医療、地域連携病院
【授業概要】
チーム医療とは何かを理解した上で、チームに関わる職種、チーム医療における医療秘書の役割を学ぶ。地域の医療機関との連携や医療秘書の人的ネットワークの必要性について学ぶ。
各自が調べた医療機関で行っているチーム医療の内容及び地域連携の実状についてグループ内で調べ話し合い、発表。
題目：自分が住んでいる地域の医療機関のwebサイトなどから「医療チームの種類と内容、また地域医療連携の実状について」
【教科書ページ・参考文献】
教科書P13～P16
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書P17～P20を熟読しておくこと。課題：自分が住んでいる地域の医療機関のwebサイトなどから「医療チームの種類と内容、また地域医療連携の実状について」次回調査レポート及び資料提出。

第９回　外来・病棟クラーク
【key words】
業務の流れ、外来クラーク、病棟クラーク
【授業概要】
医療事務職員が行う外来業務と病棟業務の流れと及び内容を説明する。また、外来クラークと病棟クラークの役割について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P17～P20
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書P21～25を熟読しておくこと。課題：「医療機関において外来クラークがどのような仕事をしているか、また患者その他の外来者に対してどのような応対をしているか」次回レポート提出。

第１０回　病院情報システム管理
【key words】
診療録管理体制加算、診療録情報管理室、病歴室、守秘義務、コンピュータウイルス
【授業概要】
医療機関における情報システム(カルテ管理・情報セキュリティー）について概説する。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P21～P25

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P26～P28を熟読しておくこと。課題：医療機関での情報セキュリティーについて調べ次回レポート及び資料提出。「情報セキュリティートラブル事例及び対策方法について」 第１１回　医療秘書の形態 【key words】 個人秘書、院長秘書、教授秘書、医局秘書、秘書室 【授業概要】 医療秘書はすべての組織で同じような形態をとっているとは限らない。経験年数や経歴、また配属がどのようにされるのかによっても異なる。医療秘書の形態に着目し、医療秘書が配属される部署などの違いを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P26～P28 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P29～P33を熟読しておくこと。課題：「医療秘書の形態のそれぞれの特徴を整理し、自分はどの形態の医療秘書として働きたいか、またその理由」次回レポート提出。 第１２回　医療秘書の業務 【key words】 上司の補佐、医療事務作業補助者、定型業務、非定型業務、経歴・経験年数 【授業概要】 医療秘書の仕事は、上司の仕事の領域や配属される部署によって異なる。一般的秘書業務のほかに診療・研究・教育の領域に分けての説明をする。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P29～P33 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P34～P38を熟読しておくこと。課題：「医療秘書の業務内容について自分が現在できることをチェックし、医療秘書としての将来的な業務にどのように役立てるか」次回レポート提出。 第１３回　医療秘書の資質・能力 【key words】 共感、倫理観、守秘義務、冷静・沈着、秘書としての資質、向上心・自己学習能力、医療秘書に必要な能力・技術 【授業概要】 医療秘書が求められる資質や能力・技術などについて具体的に学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P34～P38 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P39～P46を熟読しておくこと。課題：「現在の自分自身を分析し、今後どのような資質・能力を高めていけばよいか」次回レポート提出。 第１４回　医療秘書として働く上でのマナー　/ 今後の医療秘書 【key words】 職場の基本的ルールとマナー、マネジメントサイクル / 役割分担、医療事務作業補助者、新しい秘書像 【授業概要】 医療秘書のマナーの在り方は医療秘書だけでなく上司や組織全体のものとして評価されることを知る。まずは、社会人としての職場でのルールやマナーについて学び、実践する必要性を理解する。 これからの医療秘書に求められている資質・技能を学んだ上で、自分の目指す医療秘書像を考えさせる。また、最近の医療秘書の採用状況などを説明する。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P39～P46 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：1.自分の生活習慣などを振り返り、職業人としてのマナーができているかを考える。 課題：2.自分の理想とする医療秘書として働くためには、今後どのような学習が必要なのか改めて考える。 定期試験（学科）レポート次回提出 第１５回　まとめ 【key words】 【授業概要】 定期試験（実技）模擬スピーチ 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 定期試験（実技）対策の練習をしっかりすること。定期試験日に作成資料提出のこと。
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講のルール〕 ・私語は厳禁とする。私語は相手、周囲の者に対しての迷惑行為である。厳に慎むことを自覚して授業に主体的に参加すること。 ・個人ワーク及びグループワークは主体的に参加すること。 ・教科書のみに依存することなく、口述・板書した内容を必ず教科書またはノートに筆記していくこと。 ・授業中に生じた疑問はそのままにせず、調べる、質問するなどの行動に移すこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	教科書該当箇所の予習を必須とする。授業時に次回の授業に該当する箇所を指示する。また、時間外学習の課題あり。
オフィスアワー	授業終了後30分 それ以外の時間帯についてはアポイントを取っていただきたい。
評価方法	定期試験（学科）40%　定期試験（実技）発表20%　課題・レポート20%　各回での考察10%　その他10%（学習の取り組みなど）これらに検定の結果を考慮する。
教科書	日本医師会監修　「医療秘書講座４ー医療秘書概論・実務　医療情報処理学　医療間係法規概論」

	メヂカルフレンド社 最新版 公益財団法人　実務技能検定協会「秘書検定集中講義　３級　改訂版」早稲田教育出版　最新版
参考書	公益財団法人　実務技能検定協会「秘書検定3級　パーフェクトマスター」早稲田教育出版　最新版 株式会社ｳｲﾈｯﾄ　秘書教育研究会「秘書ハンドブック」株式会社ｳｲﾈｯﾄ　最新版
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 総合病院の秘書室勤務。役員秘書として一般企業勤務。 医療機関での実務経験をもとに医療秘書の基盤と心構え、基本的な知識や技能について講じます。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医療情報処理学　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
桐生　孝史			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	①医療秘書の目的（業務）を理解し、医療秘書の役割、意義を理解できる。 ②医療秘書に必要な情報（カルテ、レセプトなど）が理解できる。 ③紙カルテ、電子カルテの運用の基礎が理解できる。			
授業の概要	医療機関で使用するカルテやレセプトの基本を学ぶ。また、この科目では医療機関で使用されているレセプトコンピュータの運用についても学ぶ。			
■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係 ◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項				
授業の到達目標	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
授業計画	第１回　オリエンテーション 第２回　医療秘書の意義と役割 第３回　医療情報とは①　医療の情報とその活用 第４回　医療情報とは②　診療報酬（DPC） 第５回　医療情報とは③　診療報酬（出来高払い） 第６回　診療録（カルテ）と診療報酬明細書（レセプト）（１）　診療録（カルテ）①　カルテとは 第７回　診療録（カルテ）と診療報酬明細書（レセプト）（１）　診療録（カルテ）②　特定生物由来製品の使用記録保存期間 第８回　診療録（カルテ）と診療報酬明細書（レセプト）（１）　診療録（カルテ）③　紙カルテと電子カルテ 第９回　診療録（カルテ）と診療報酬明細書（レセプト）（２）　診療報酬明細書（レセプト）①　レセプトの流れと診療報酬 第１０回　診療録（カルテ）と診療報酬明細書（レセプト）（２）　診療報酬明細書（レセプト）②　レセプトコンピュータの機能 第１１回　診療録（カルテ）と診療報酬明細書（レセプト）（２）　診療報酬明細書（レセプト）③　電子カルテとその運用 第１２回　診療録（カルテ）と診療報酬明細書（レセプト）（２）　診療報酬明細書（レセプト）④　診療所の電子カルテに必要な機能 第１３回　診療録（カルテ）と診療報酬明細書（レセプト）（２）　診療報酬明細書（レセプト）⑤　紙カルテとその運用 第１４回　診断書　紹介状 第１５回　まとめ			

受講生に関わる情報および受講のルール	受講上のルールとして、私語は禁止とする。私語は相手、周囲の者に対しての迷惑行為である。厳に慎むことを自覚して授業に主体的に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	ICT利用（WEBフォームやメールなど）
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する。
オフィスアワー	授業終了後30分。
評価方法	定期試験100％
教科書	医療秘書講座4「医療秘書概論　医療情報処理学　医療関係法規」メヂカルフレンド社
参考書	必要に応じて印刷資料を配布
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医療情報処理演習Ⅰ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1単位(30)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
桐生　孝史			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	①医療秘書に求められる診療録の記録ができる。 ②医療秘書に求められる診療録の管理ができる。 ③電子カルテの運用の基礎が理解できる。			
授業の概要	日医標準レセプトソフト（ORCA）を用いて診療録の記録や管理業務の演習。			
■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係 ◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項				
授業の到達目標	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
授業計画	第１回　　オリエンテーション 第２回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１ 第３回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２ 第４回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　３ 第５回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　４ 第６回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　５ 第７回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　６ 第８回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　７ 第９回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　８ 第１０回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　９ 第１１回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１０ 第１２回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１１ 第１３回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１２ 第１４回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１３ 第１５回　　まとめ			
受講生に関わる情報および受講のルール	受講上のルールとして、私語は禁止とする。私語は相手、周囲の者に対しての迷惑行為である。厳に慎むことを自覚して授業に主体的に参加すること。			
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	ICT利用（WEBフォームやメールなど）			
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する。			

オフィスアワー	授業終了後30分。
評価方法	定期試験100％
教科書	必要な資料を授業時に配布。
参考書	必要な資料を授業時に配布。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　病院接遇　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1単位(30)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
三澤　文子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 医療秘書を目指す第一歩として、この授業では秘書に求められる基本的な知識と技能を総合的に学ぶことを目的とする。授業で学ぶ、様々な場面に適した言葉遣いや立ち居振る舞い、来客応対や電話応対などは医療秘書だけではなく職場で働く全ての社会人にとって身につけておかなくてはならない事柄である。基本的な秘書業務を職場シュミレーションに合わせ具体的に学ぶことで、、上司の指示はどのように受ければよいのか、適切な言葉遣いとは何かなど状況に応じた具体的な対応能力を養う。社会人として身につけておきたい基本的な社会常識、文書作成、文書取り扱い、資料・職場管理などを学ぶ。また、日本医師会認定　医療秘書の認定に必要な技能検定種目「秘書技能検定試験３級」の合格を目指す～秘書検定は社会（職場）で感じが良いと言われる人柄の育成を目指している。社会人としての基本的マナー（職場常識）が学べる検定試験である。 〔到達目標〕 1)接遇の基本知識を理解し、活用できる。 2)技能の基本知識を理解し、活用できる。 3)自分自身のコミュニケーションを客観的に振り返り、どのような考え方また応対が望ましいかを自ら考え学習できる。4)ホスピタリティを実践できる。 5)秘書技能検定試験３級の合格基準を上回っている。
授業の概要	多様化また複雑化する医療の現場において、医療スタッフやお客様(患者・患者家族・業者など）に対して目的や状況に応じた適切な言動をとるためのコミュニケーション能力は、今や必要不可欠である。このことを踏まえた上で、社会人に求められる必要な基本知識・基本技能を習得する科目である。ホスピタリティの精神は、言動に心(気持ち）が伴わないと相手に伝わらないものである。意欲的な気持ちで授業に参加し、知識技能の習得を目指すことが重要な科目である。また、日本医師会認定　医療秘書の認定に必要な技能検定種目「秘書技能検定試験３級」の合格を目指す。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回	オリエンテーション 【key words】 感じの良い接遇　秘書検定とは 【授業概要】 第一印象の大切さを理解した上で、感じの良いあいさつの実践演習。感じの良いあいさつのための笑顔・発声・お辞儀のトレーニング実施。秘書検定３級を学ぶ目的及び検定取得目的を伝える。 【教科書ページ・参考文献】 プリント教材　教科書P1～P6 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P18～P41を熟読しておくこと。
	第２回	秘書の心構え 【key words】 職業人としての自覚と心得　補佐役としての心得　機密を守る　仕事を処理する際の心得 【授業概要】 社会人・職業人として求められる基本資質とは、出社から退社までの日常のマナー、自己管理・自己啓発とはを学ぶ。上司の補佐役・人間関係のパイプ役とは、上司の身の回りの世話や私的事務の補佐の事例、秘書としての立場を心得ての言動、上司がミスをした時の対応方法、機密事項例、機密事項を守るための基本的な心得、指示の受け方などを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】

教科書P18～P41
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書P42～P54を熟読しておくこと。課題：プリント教材「01必要とされる資質」

第３回　要求される資質
【key words】
秘書に求められる基本能力　要求される人柄と身だしなみ
【授業概要】
求められる四つの基本能力、望まれる人柄や性格、ふさわしい身だしなみを学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P42～54
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書P56～P72を熟読しておくこと。課題：プリント教材「01必要とされる資質」　教科書P18～P54「第1章　必要とされる資質」復習～次回小テスト実施。

第４回　秘書の機能と役割
【key words】
秘書の機能とさまざまな役割　上司と秘書の関係
【授業概要】
小テスト「必要とされる資質」実施。
定型業務内容、非定型業務内容について、また分野別の秘書の種類を学ぶ。上司と秘書の機能と役割の違いを学び、秘書の職務範囲を心得る。上司を理解し良好な関係を築くための知識を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P56～P72
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書P73～P84を熟読しておくこと。課題：プリント教材「02職務知識」

第５回　職務上の心得と仕事の進め方
【key words】
職務上の心得　仕事の進め方の要領
【授業概要】
小テスト「必要とされる資質」実施。
職務遂行上の心構え、職務上の基本的な心得を学ぶ。仕事の進め方の要領、効率的な仕事の進め方を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P73～P84
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書P86～P105を熟読しておくこと。課題：プリント教材「02職務知識」　教科書P55～P84「第2章　職務知識」復習～次回小テスト実施。

第６回　企業の基礎知識
【key words】
企業の形態と組織　さまざまな企業活動
【授業概要】
小テスト「職務知識」実施。
企業形態、会社の種類、企業に関する基礎用語、企業の社会的責任、企業組織、ライン部門とスタッフ部門について学ぶ。経営管理（マネジメント）、人事労務管理、会計財務、マーケティングの基礎を学ぶと共に、新聞などでよく目にするビジネス用語とその意味を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P86～P105
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書P106～112を熟読しておくこと。課題：プリント教材「03一般知識」　ビジネス用語を調べ覚えてくる。

第７回　社会常識
【key words】
基本用語を身につける
【授業概要】
小テスト「職務知識」実施。
社会常識として知っておきたい用語（経済・財政・金融関係）、常識としてのカタカナ語を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P106～P112
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書P114～P143を熟読しておくこと。課題：プリント教材「03一般知識」　教科書P85～P112「第3章　一般知識」復習～次回小テスト実施。　ビジネス用語を調べ覚えてくる。

第８回　職場での話し方（聞き方）―１
【key words】
人間関係と話し方　敬語と言葉遣いの基本　話し方・聞き方の応用
【授業概要】
小テスト「一般知識」実施。
人間関係をスムーズにするあいさつと話し方を学ぶことにより良い人間関係を構築するための実践力を養う。敬語の役割を知った上で敬語の種類や使い方を習得する。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P114～P143
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：教科書P122～P131「敬語と言葉遣いの基本」を覚えてくる～次回小テスト実施。プリント教材「04マナー接遇」

第９回　職場での話し方（聞き方）―２
【key words】
話し方・聞き方の応用
【授業概要】
小テスト「敬語と言葉遣いの基本」実施。
情報伝達の仕方、報告・依頼・断り・説明の仕方、指示・注意・忠告の受け方を具体的に学び実践力を養う。
【教科書ページ・参考文献】

	教科書P114～P143 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P144～P157を熟読しておくこと。課題：プリント教材「04マナー接遇」 第１０回　電話応対　/ 接遇―１ 【key words】 電話のマナーと応対の基本　/ 接遇の基本 【授業概要】 電話のかけ方・受け方の基本及び取り次ぎの要領を学ぶ。 接遇の心構え、ｱﾎﾟｲﾝﾄﾒﾝﾄと日程調整、接遇用語、人や会社の呼び方を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P144～P157 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P158～P169を熟読しておくこと。課題：プリント教材「04マナー接遇」 第１１回　接遇―２ 【key words】 接遇の要領とマナー 【授業概要】 職場でのマナーや立ち居振る舞い、受付から見送りまで（受付→来客取次ぎ→案内→茶菓接待→紹介→見送り）の要領とマナーについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P158～P169 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P170～P184を熟読しておくこと。課題：プリント教材「04マナー接遇」 第１２回　交際 【key words】 慶事と弔事への対応　贈答の習わしと食事のマナー 【授業概要】 慶事の種類と秘書の対応、弔事の知識とマナー、贈答の習わし、食事のマナーを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P170～P184 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P186～P194を熟読しておくこと。課題：教科書P113～P184「第4章　マナー・接遇」復習～次回小テスト実施。プリント教材「04マナー接遇」 第１３回　会議 【key words】 会議と秘書の業務 【授業概要】 小テスト「マナー・接遇」実施。 会議の目的と種類、会議の準備～会議中～会議後の仕事について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P186～P194 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P195～P229を熟読しておくこと。プリント教材「05技能」 第１４回　文書の作成　/ 文書の取り扱い 【key words】 社内文書　社外文書　メモの取り方・グラフの作り方　/ 受信・発信業務と関連知識　郵便の知識 【授業概要】 社内文書作成上の基礎知識、社内文書の種類と形式、社外文書と慣用表現・敬語表現、メモの種類と取り方の留意点、グラフの作り方を学ぶ。 ビジネス文書の受信・発信取り扱い方、「秘」扱い文書の取り扱い方、その他の文書の取り扱い方、用紙のサイズを学ぶ。 はがきと封書の知識、郵便小包と特殊取り扱い郵便物の知識、大量郵便物の発送方法、郵便に関する一般知識を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P195～P229 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P230～P256を熟読しておくこと。課題：教科書P185～P256「第5章　技能」予習・復習～次回小テスト実施。プリント教材「05技能」 第１５回　資料管理　/ 日程管理・オフィス管理 【key words】 ファイリングと各種資料管理　/ 日程管理とオフィス管理 【授業概要】 小テスト「技能」実施。 ファイル用具の種類、バーチカル・ファイリングの用具と整理法、書類の整理法、名刺の整理と分類法、カタログ・雑誌・新聞・雑誌切り抜きの整理法を学ぶ。 日程管理～予定表種類と予定表作成するときの留意点、オフィス管理～事務用品・オフィス機器の知識、環境整備の知識、オフィスレイアウトを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P230～P256 【課題・予習・復習・授業準備指示】 定期試験対策の勉強をしっかりすること。課題：後期「医療秘書概論」授業開始日提出　プリント教材「05技能」　過去試験問題
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講のルール〕 ・教科書該当の予習を必須とする。授業時に次回の授業に該当する箇所を指示する。時間外学習の課題あり。 ・欠席をするとその回の内容を自力で補うのは困難なため、やむを得ない場合以外は欠席しないこと。 ・個人ワーク、グループワークは主体的に参加すること。(評価に含む) ・個人ワーク、グループワークを行う際には必要のない私語、講義中の私語は慎むこと。 ・予習・復習を怠らないこと。・授業中に生じた疑問はそのままにせず、調べる、質問するなどの行

	動に移すこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	実技テスト対策学習を怠らないこと。
オフィスアワー	授業終了後30分　それ以外の時間帯についてはアポイントを取っていただきたい。
評価方法	定期試験60%　小テスト20%　課題10%　その他10%（学習の取り組みなど）
教科書	公益財団法人実務技能検定協会「秘書検定集中講義　3級　改訂版」早稲田教育出版　最新版
参考書	公益社団法人実務技能検定協会「秘書検定3級　パーフェクトマスター」早稲田教育出版　最新版 株式会社ｳｲﾈｯﾄ　秘書教育研究会「秘書ハンドブック」株式会社ｳｲﾈｯﾄ　最新版
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 総合病院の秘書室勤務。役員秘書として一般企業勤務。 医療機関での実務経験をもとに、秘書の基盤となる心構え、基本的な知識技能について講じます。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医療倫理　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	医療事務・秘書コース
担当教員			
医師会			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 【到達目標】 医療倫理の観点からの医療秘書の役割を理解し、医療のさまざまな現場の倫理に関する基礎的知識を習得する学習とする。
授業の概要	医療機関で診察、治療を受けている人を患者という。この科目では、医療のさまざまな現場での患者やその家族に対する医療関連職の持つべき倫理観を学ぶ。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回　オリエンテーション：患者とは　病気と医療の歴史 第２回　患者の心理　患者の権利　患者とその家族の生活 第３回　ライフステージと患者像　患者と医療者の関係 第４回　セルフケアとメディカルケア 第５回　治療・ケアの場の違いによる患者像 第６回　終末期患者の治療とケア 第７回　患者と癒し　医療倫理の必要性 第８回　いのちの始まり　出生前診断の医療倫理 第９回　生殖補助医療の医療倫理 第１０回　遺伝子検査の医療倫理 第１１回　再生医療の倫理 第１２回　脳死・臓器移植の医療倫理 第１３回　積極的安楽死・尊厳死の医療倫理 第１４回　人生の完成段階の医療倫理　災害時の医療倫理 第１５回　まとめ
受講生に関わる情報および受講のルール	受講上のルールとして、私語は禁止とする。私語は相手、周囲の者に対しての迷惑行為である。厳に慎むことを自覚して授業に主体的に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状	コメントカード

況の確認方法	
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する
オフィスアワー	講義初回にて伝える
評価方法	講義初回にて伝える
教科書	医療秘書講座１「健康と疾病　患者論と医の倫理」メヂカルフレンド社
参考書	必要に応じて印刷資料を使用
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医学・薬学概論　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	4単位(60)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
赤田　実千代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療情報を的確に伝えるために、からだの構造と機能・臨床検査と薬について基礎的な知識を身につける。 【到達目標】 からだの構造と機能・臨床検査と薬について基礎的な知識を身につけ、必要な医療情報を具体的に説明することができる。
授業の概要	人体の構造や機能から診療に用いられる知識や技術、検査や薬の基礎的知識を解説します。そのうえで、医療者と患者との人間関係をつなぐ医療情報を的確に伝えるために必要な知識を学びます。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　　オリエンテーション 第２回　　ヒトの身体を概観する①　全身の基本構造　/　身体の階層構造 第３回　　ヒトの身体を概観する②　生命維持活動 第４回　　生命活動を営むしくみ①　体液・血液・リンパ液 第５回　　生命活動を営むしくみ②　呼吸器 第６回　　生命活動を営むしくみ③　循環器　/　体温 第７回　　生命活動を営むしくみ④　消化器 第８回　　生命活動を営むしくみ⑤　老廃物を排出するしくみ 第９回　　情報をとらえるしくみ　―　皮膚・感覚器 第１０回　　考える・調節するしくみ　―　中枢神経系・抹消神経系 第１１回　　移動する・動くしくみ　―　　骨・関節・筋肉 第１２回　　休息・睡眠のしくみ

	第１３回　再生修復のしくみ　/　生殖・遺伝 第１４回　発達と成長、老化 第１５回　前期のまとめ 第１６回　臨床検査の位置づけ　/　臨床検査の目的　/　臨床検査の種類 第１７回　臨床検査の実施時に考慮すべきポイント　/　臨床検査の進め方　/　検査値の表し方と評価の基準 第１８回　臨床検査の有用性の評価　/　検査値に影響する因子と検査前の確認事項　/　検査の体制と保険診療 第１９回　検体検査①　―　尿検査　/　糞便検査　/　髄液一般検査　/　血液形態・機能検査　/　出血・凝固検査 第２０回　検体検査②　―　遺伝子・染色体検査　/　生化学的検査(Ⅰ)　/　生化学的検査(Ⅱ)　/　免疫学的検査　/　微生物学的検査 第２１回　生体検査　―　呼吸機能検査　/　心電図検査　/　超音波検査　/　脳波検査　/　内視鏡検査 第２２回　画像検査　―　X線検査　/　核医学検査　/　CT・MRI　病理検査　―　細胞診検査　/　病理組織検査 第２３回　医薬品　―　医薬品と健康食品　/　医療用医薬品と一般用医薬品　/　西洋薬と漢方薬　/　ジェネリック医薬品 第２４回　薬の特徴　―　投与方法　/　剤形　/　薬剤の吸収・分布・代謝・排泄　/　服用時期 第２５回　薬の作用　―　薬の効果　/　飲み合わせ　/　嗜好品の影響　/　副作用 第２６回　投与する際に注意が必要な患者　―　高齢者　/　小児　/　妊婦　/　授乳婦 第２７回　よく用いられている薬①　心臓・血管系　/　消化器系　/　呼吸器系 第２８回　よく用いられている薬②　代謝系　/　感染症　/　精神・神経系 第２９回　よく用いられている薬③　がん　/　その他 第３０回　後期のまとめ
受講生に関わる情報および受講のルール	[受講生に関わる情報] 講義の冒頭で前回講義のミニテストを実施するため、復習をした上で講義に臨むこと。 [受講ルール] 私語を慎む、携帯電話の電源を切る。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード
授業外時間にかかわる情報	「こころとからだのしくみⅠ」「発達と老化の理解」などの科目との関係も深いため、これらの科目との関連も意識して学習を進めていただきたい。
オフィスアワー	金曜日10：30～12；40
評価方法	定期試験60%　、課題及びミニテスト20%、授業への取り組み20%
教科書	医療秘書講座２「からだの構造と機能　臨床検査と薬の知識」
参考書	必要に応じて印刷資料を使用。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院の病棟看護、前期高齢者保健指導、企業内健康管理室の看護師業務などの看護師実務経験を活かし、医療事務に必要な基礎的知識を講じます。 アクティブラーニング要素

	□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医事実習指導Ⅰ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	2単位(60)	医療事務・秘書コース
担当教員			
清水　春代・松本　咲子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 医事実習の意義と目的を理解し、期待される学習効果や医療事務・秘書の活動の場である病院・診療所を理解する。また、社会人と学生の違いを知り対人対応力を高めるためのコミュニケーションとは何か、挨拶、清掃の重要性、医療接遇の基礎を学ぶ。 〔到達目標〕 ①医療事務職の基本的な役割を理解できる。 ②医事実習ⅠおよびⅡを円滑に履修できる。
授業の概要	この授業では、学生が実習に臨むまでの環境を調整すること、今まで体験したことのない医療現場においての知識や接遇、基本姿勢を学ぶ。実習先で困ることのないよう対人対応力を養う。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	1．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	2．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	3．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 4．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	5．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画

第１回　ガイダンス
【キーワード】ガイダンス
【授業概要】授業目標、受講上の注意点、評価方法。
【教科書ページ・参考文献】プリント
【課題・予習・復習・授業準備】実習の意義を考える

第２回　コミュニケーションカードアドバイザー講座
【キーワード】自己紹介
【授業概要】コミュニケーションカードを使用して自己紹介
【教科書ページ・参考文献】コミュニケーションカード
【課題・予習・復習・授業準備】自己紹介の練習

第３回　コミュニケーションカードアドバイザー講座
【キーワード】自分を知ろう
【授業概要】コミュニケーションカードを使用して長所・短所などを説明出来る様にする。短所は長所でもあることに気づく
【教科書ページ・参考文献】コミュニケーションカード
【課題・予習・復習・授業準備】自分を見つめ直そう

第４回　医療事務の仕事について
【キーワード】医療事務の仕事
【授業概要】医療機関には様々な部門があることを学ぶ。女性の働き方
【教科書ページ・参考文献】プリント
【課題・予習・復習・授業準備】病院の部門の仕事を調べ、自分の働きたい部門を考えてみよう。

第５回　医療における接遇の基礎
【キーワード】医療人としてのマナー
【授業概要】責任、プロ意識、謙虚、自立、当事者意識、報連相
【教科書ページ・参考文献】テキスト(はじめに)
【課題・予習・復習・授業準備】本日の授業のまとめ

第６回　医療における接遇の基礎
【キーワード】社会人としてのマナー
【授業概要】身だしなみ、

【教科書ページ・参考文献】テキストｐ2~8
【課題・予習・復習・授業準備】本日の授業のまとめ

第７回　事例検討
【キーワード】相手の気持ちを考える
【授業概要】テーマに沿ってロールプレイング
【教科書ページ・参考文献】プリント
【課題・予習・復習・授業準備】本日の授業のまとめ

第８回　病院見学下調べ
【キーワード】見学病院下準備
【授業概要】施設基準、所在地、人員基準、診療科、理念など
【教科書ページ・参考文献】ホームページ
【課題・予習・復習・授業準備】本日の残り

第９回　紹介票・病院見学目標作成
【キーワード】紹介票、目標
【授業概要】紹介票、目標作成
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備】本日の残り

第１０回　紹介票・病院見学目標作成
【キーワード】紹介票・病院見学目標
【授業概要】紹介票・病院見学目標作成
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備】本日の残り

第１１回　医療従事者としての基本姿勢
【キーワード】身だしなみ
【授業概要】身だしなみとおしゃれの違い。挨拶練習
【教科書ページ・参考文献】テキストp2~8
【課題・予習・復習・授業準備】悪い例を考えよう

第１２回　医療従事者としての基本姿勢
【キーワード】挨拶
【授業概要】先駆けて、笑顔、感じよく（相手の存在を肯定するもっともわかりやすい意志表示）
【教科書ページ・参考文献】テキストp9
【課題・予習・復習・授業準備】本日の考察

第１３回　事例検討
【キーワード】電話の掛け方、質問の仕方
【授業概要】ロールプレイング
【教科書ページ・参考文献】参考プリント
【課題・予習・復習・授業準備】本日のまとめ

第１４回　病院見学前まとめ
【キーワード】見学上の諸注意
【授業概要】初診受付のデモンストレーション
【教科書ページ・参考文献】プリント
【課題・予習・復習・授業準備】本日のまとめ

第１５回　病院見学
【キーワード】病院見学
【授業概要】病院の仕事と部門を知る。
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備】お礼状作成

第１６回　病院見学まとめ（個人）
【キーワード】病院見学感想
【授業概要】振り返りと感想文
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備】本日の残り

第１７回　病院見学まとめ（グループ）
【キーワード】グループによる病院見学まとめ
【授業概要】見学で学んだことなど、グループ学習と発表
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備】

第１８回　医療従事者としての基本姿勢
【キーワード】言葉使い
【授業概要】適切な敬語や語尾・禁句
【教科書ページ・参考文献】テキストP5~6
【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習

第１９回　医療従事者としての基本姿勢
【キーワード】対人対応力
【授業概要】患者タイプ別対応（患者家族、入院患者、外来患者、高齢者などへの対応
【教科書ページ・参考文献】テキストP38~41
【課題・予習・復習・授業準備】

第２０回　コミュニケーションカードアドバイザー講座
【キーワード】患者タイプ別対応
【授業概要】気質分類、患者タイプ分類
【教科書ページ・参考文献】コミュニケーションカード
【課題・予習・復習・授業準備】本日のまとめ

第２１回　コミュニケーションカードアドバイザー講座
【キーワード】相互理解
【授業概要】人はしれぞれ大事にしていることも感じ方も違うのは当たり前であることを理解し、相手をうけいれることを学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】コミュニケーションカード

	【課題・予習・復習・授業準備】本日のまとめ 第２２回　医療現場におけるクレーム対応 【キーワード】受け入れる態度、誠意のこもった言葉使い 【授業概要】医療現場での様々なクレーム対応児の基本的態度、心構えを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキストP49~104 【課題・予習・復習・授業準備】クレームとその対応方法の例を考えよう 第２３回　事例検討 【キーワード】クレーム 【授業概要】事例に対してロールプレイング 【教科書ページ・参考文献】配布資料 【課題・予習・復習・授業準備】クレームとその対応の例を考えよう 第２４回　車椅子実演演習 【キーワード】車椅子実演 【授業概要】車椅子実演 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備】本日の感想 第２５回　病院実習先調べ・実習挨拶練習 【キーワード】実習病院下調べ・実習挨拶練習 【授業概要】理念、施設基準、人員基準、診療科、院長、住所など。挨拶練習 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備】本日の残り 第２６回　実習生紹介票作成 【キーワード】紹介票作成 【授業概要】紹介票作成 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備】本日の残り 第２７回　実習目標作成　（下書き） 【キーワード】実習目標作成 【授業概要】実習目標作成 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備】本日の残り 第２８回　実習目標作成 【キーワード】実習目標作成 【授業概要】実習目標 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備】本日の残り 第２９回　実習ノート・お礼状の書き方 【キーワード】実習ノート・お礼状の書き方 【授業概要】実習ノート・お礼状の書き方 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備】 第３０回　実習前指導 【キーワード】実習状の注意点 【授業概要】実習状の注意点 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備】実習ノートなどの整備
受講生に関わる情報および受講のルール	医事実習指導は医事実習と対となる科目である。よって、科目に対する姿勢・態度や提出物等が重要な意味があることを理解しておくこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	授業内の指示に基づいて、実習病院等の事前の情報収集を行う。
オフィスアワー	木曜日1.2限・金曜日の3限帯（16:00-17:30）
評価方法	提出物（実習事前資料、実習日誌）にて評価を行う。
教科書	「今日からできる医療機関の接遇向上術」小山美智子著　医学通信社
参考書	特になし　必要に応じて提示する
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 【アクティブラーニング】グループ学習、ディスカッション・ディベート【実務経験のある教員による授業科目の配置】10年以上の病院勤務の中で、実習生の受け入れ、採用学生などの教育経験を活かし、医療機関で求められること、してはならぬことなどの教育を徹底的に行い、不安なく実習が完了できるように指導していきたい。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医事実習Ⅰ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1単位(20)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
清水　春代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	①実習病院および病院の役割を理解している。 ②来院する者（患者等）のニーズを理解している。 ③医療事務の基準業務（窓口業務、算定業務等）を理解している。
授業の概要	医事実習は、医療事務・秘書コースでの学びと医療事務実践活動の統合を目指し、将来の医療現場に求められる人材としての資質の向上を図り、地域に貢献できる人材を育成することを目的として実施する科目である。 それらを踏まえて、医事実習Ⅰは、実習病院等の役割、来院者ニーズ、医療事務の基準的業務（窓口業務、算定業務等）の理解を目指して、10日間程度で実施するものである。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回 第２回 第３回 第４回 第５回
受講生に関わる情報および受講のルール	「群馬医療福祉大学短期大学部医事実習ガイドライン」を参照。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	「医事実習指導Ⅰ」の時間に示す。
オフィスアワー	実習期間中のおけるオフィスアワーは、適宜実習担当者との連絡・調整により相談して決定する。
評価方法	実習成果物（実習日誌等）と実習指導者による評価（評価表）による総合評価。 傾斜配分の参考は、実習成果物70％、実習指導者評価30％とする。
教科書	事業時に配布する印刷資料等
参考書	特に無し
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 　□実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容

	アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医事実習Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(80)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
清水　春代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	①医療事務職（医療事務、医療秘書）に求められる接遇の基本的な知識・技術が理解できる。 ②医療事務職が携わる業務（報酬算定、秘書実務など）の基本的な知識・技術が理解できる。			
授業の概要	–			
■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係 ◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項				
授業の到達目標	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
授業計画	第１回 第２回 第３回 第４回 第５回			
受講生に関わる情報および受講のルール	–			
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード			
授業外時間にかかわる情報	–			
オフィスアワー	–			
評価方法	–			
教科書	–			
参考書	–			
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない			

講義科目名称：　相談援助の基盤と専門職　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	4単位(60)	福祉総合コース・選択
担当教員			
新木　恵一			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 　相談援助（ソーシャルワーク）の担い手である社会福祉士の役割や相談援助の理念と技法を理解し、相談援助の価値などの基礎的理論と概念を学び、地域での総合的な相談援助について理解する。 【到達目標】 ソーシャルワーカーとしての基礎知識をもち、自己決定、自立支援、権利擁護や総合的かつ包括的相談援助等につてい説明することができる。			
授業の概要	相談援助の形成過程について、その時代背景や歴的経緯について体系的に理解し、相談援助の理論や技法を学び、総合的支援や地域の資源を有効活用する総合的かつ包括的な相談援助について学ぶ。			
■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係 ◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項				
授業の到達目標	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
授業計画	第１回　　授業の進め方について 第２回　　社会福祉士の役割と意義 第３回　　現代社会と地域生活 第４回　　ソーシャルワークの概念 第５回　　ソーシャルワークの構成要素 第６回　　ソーシャルワークの源流 第７回　　ソーシャルワークの基礎確立期 第８回　　ソーシャルワークの発展期 第９回　　ソーシャルワークの展開期 第１０回　　ソーシャルワークの統合化とジェネラリスト・ソーシャルワーク 第１１回　　ソーシャルワークレポートの書き方 第１２回　　ソーシャルワーカーと価値 第１３回　　ソーシャルワーク実践と価値 第１４回　　ソーシャルワーク実践と権利擁護 第１５回　　中間のまとめ 第１６回　　クライエントの尊厳と自己決定			

	第１７回　　ノーマライゼーションと社会的包摂 第１８回　　ソーシャルワーク実践における倫理的ジレンマ 第１９回　　「総合的かつ包括的な相談援助」の動向とその背景 第２０回　　ジェネラリスト・ソーシャルワークの意義と基本的視点 第２１回　　相談援助専門職の概念と範囲 第２２回　　諸外国の動向 第２３回　　総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能　　個と地域の一体的支援機能 第２４回　　総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能　　予防機能 第２５回　　総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能　　新しいニーズへの対応機能 第２６回　　総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能　　総合的支援機能 第２７回　　総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能　　多門家族への支援 第２８回　　総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能　　権利擁護機能 第２９回　　総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能　　社会資源開発機能 第３０回　　まとめ
受講生に関わる情報および受講のルール	授業の前には、教科書を必ず読んでおいてください。また、学びを深めるためにアクティブラーニングを行うので積極的に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	上記に示した授業以外の学修うは、身近な行政機関、福祉事務所や福祉施設を訪れて学習するなどの授業外学修をすること。
オフィスアワー	研究室前に掲示をする
評価方法	授業への取り組み（30%）と試験またはレポート（70%）による評価。
教科書	新社会福祉講座　「相談援助の基盤と専門職」　第3版　中央法規　　２０１５年
参考書	授業の中で適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称： 道徳教育　　授業コード：

英文科目名称： moral education

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(30)	1年次必修
担当教員			
岡野　康幸			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 ・社会の一員として人間は他者と協力し共存しながら生活をしていきます。ではどのようにすれば自他ともによりよい生活を送ることが可能なのか。それは人間が誰しも心の奥面にある「人間らしくよりよく生きよう」とする小さな声、つまり道徳心を構築することから始まります。この講義では道徳心をどのように育てていくのかを建学の精神（儒学「仁」）と関連しながら解説する。 【到達目標】 ・自覚的に道徳心を養う態度を身につけ、感情的判断ではなく道徳的判断ができ、その道徳的判断を論理的に説明できること。
授業の概要	人はどのような時に道徳心を発揮するのか、テキスト掲載の中国古典を例に学生との議論や解説を通じて考察する。その過程を経ることにより、人間としての在り方・生き方について学び、積極的に社会に参加できる力を養う。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回	科目オリエンテーション　ハチドリのひとしずく（事象の論説・事実把握・論述すること） 受講の際の諸注意など。「ハチドリのひとしずく」を読み、事象の論説・事実把握・論述をしてもらいます。また感想を発表してもらいます。
	第２回	共感力の根源を探るⅠ―井戸に落ちそうな赤ん坊を見てハッと驚くのは何故？― 古代中国の思想家孟子（前３７２？～前２８９？）は、「人には他人の不幸を見過ごせない心がある（人皆人に忍びざるの心有り」と言っています。その根拠として、赤ん坊が井戸に落ちそうになるのを目撃したならば、驚き憐れむ心（惻隠の心）が生じるからだと説明します。そしてこの心が無い者は人ではないと断言します。要するに、人間には共感力があるのです。この共感力を根底に道徳心の向上を目指すのが孟子の思想です。
	第３回	共感力の根源を探るⅡ―自分と無関係でも何故人は怒りを覚えるのか？― 前回の続きになります。孟子は人間には４つの端緒（四端）があると言います。四端の筆頭が前回学習した惻隠の心になります。他の三つは羞悪の心（恥じ憎む）辞譲の心（ゆずる）是非の心（正しいこととちがうこととをはっきり区別する）です。これら四端をそなえているからこそ、人間は自分と無関係なことでも怒りを覚えたりするのです。そのことを孟子の読解を通じて学習します。また四端の表れとして現在ではどのようなものが考えられるか、。受講生に意見を言ってもらいます。
	第４回	咸有一徳とは　「徳」「仁」の字源から咸有一徳を解釈する 咸有一徳とはどのような意味なのか。教科書の学長訓話「若きみなさんへ」から解説していきます。
	第５回	論語に見る「仁」「徳」の解釈　孔子の時代 論語には仁に関する言及が多々あります。しかしそれらは定義づけしたものでないためにいろいろと解釈できます。仁とはどのような意味なのか、論語から取り上げいくつか解説していきます。
	第６回	「真心」の解説（中国における儒学関係古典の解釈）　「心」の字源 心を中国古典ではどのように考えているのか。論語や孟子の中から心に関する言及を取り上げ解説していきます。
	第７回	「至誠」「尽くす」の解説　「儒教」とは　五倫五常の解説 儒教の目的とすることについて解説します。儒教がなぜ２０００年近く支持されたのか。その理由が儒教の目的にあります。それは人としての道を尽くすことが儒教の目的だからです。中国古典からこのことについて解説していきます。
	第８回	豊かな人間性の涵養と人格の向上について（交際・礼儀作法・エチケット） フランス語に“noblesse oblige”（位高き者は徳高くあれ）という言葉があります。社会的地位が高くなればなるほど、その地位にふさわしい人格にならなければならないとする考えです。つまり人が人である限り人格の向上は絶えず付いてくるのです。我々はどのようにして人格を高めていくべきなのか考えていきましょう。
	第９回	家庭生活の基本マナー（儒学における関係古典文献より考察） 社会は人と人との関係で成り立っています。お互いが快適に生活するための礼儀作法、それがマ

	ナーです。マナー違反は罪ではないですが悪にはなります。それは他人をして不愉快にするからです。お互いが快適に生活するためにどのようなマナーを身に付けるべきなのか。集団生活の最初の場である家庭でのマナーについて考察していきます。 第１０回　福祉界が望むマナー（人間として大切であることを説く中国古典、先達の言葉から考察） 今、福祉界では介護する側の虐待が問題となっています。介護に携わる人間にとって必要なマナーは何なのでしょうか。またどのような心構えが必要なのか。教科書所載の中国古典や先達の言葉から考察していきます。 第１１回　学校生活での品位あるマナー（人間として大切であることを説く中国古典、先達の言葉から考察）―その1― 今回は学校生活におけるマナーについて考えて生きます。「親しき仲にも礼儀あり」ということわざが示すように、友人同士でもマナーは必要です。また先生に対する「礼」というのも重要です。友人や先生にどのように接するべきなのか考えてみましょう。 第１２回　学校生活での品位あるマナー（人間として大切であることを説く中国古典、先達の言葉から考察）―その2― 前回に引き続き、学校生活という学びの場での礼儀について考えてみます。 第１３回　王陽明『伝習録』と建学の精神―仁について― 本学の建学精神は『論語』に現れる「仁」です。この「仁」の言葉の意味が、時代とともに深化していき思想的な意味が付与されていきます。なかでも王陽明の仁解釈「万物一体の仁」は、思想的にも大きな意味と影響を後世にもたらしました。『伝習録』の中から「仁」に関する言及をピックアップし、考えてみましょう 第１４回　王陽明『伝習録』と教育理念―知行合一について― 本学の教育理念である「知行合一」は明代の思想家王守仁（王陽明）によって唱えられた思想です。「知」は知識、「行」は行動といった意味です。知識と行動を本来一つであることを王陽明は主張しております。これは哲学の観点から言えば認識論に関わります。また実践という視点からも論ずることができる問題です。我々は知識と行動の関係をどのように把握するのがよいのか、例題を通して考えてみましょう。 第１５回　時事問題の考察・発表・解説（人としての在り方・生き方を考える） 最近（2019・2.28現在）の入社試験における時事問題は、答えのない時事問題を出す企業が増加しているようです。情報化社会において知りたい情報は直ぐに手に入りますが、手に入れた情報をどう分析し活用するかは、その人の思考力にかかっています。答えが一つでない問いに対し、どのように答えるか。時事問題について考察し提出してもらいます。
受講生に関わる情報および受講のルール	・授業中は、単に授業を聞くといった受身の態度ではなく、「人が学び続けるとはどういう意義か」を、自己に問いかけながら、積極的に参加すること。 ・周囲の迷惑になるので、私語を慎むこと。注意しても改めない時は退席を命じる。 ・本人の責に帰す遅刻早退は認めない。ただし公共機関の遅れによるものはその限りではない。 ・講義期間中最低でも１人１回、１分間スピーチをしてもらいます。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	講義に臨む前に、指定箇所を必ず読んでおくこと。読んでいるという前提で講義を進める。
オフィスアワー	火曜日１４時から１６時
評価方法	期末試験６０％、平常点（発表・課題提出）４０％
教科書	鈴木利定・中田勝著『咸有一徳』修訂第2版（中央法規、２０１４年５月）鈴木利定閲中田勝著『王陽明 徐愛「伝習録集評」』（明徳出版社、２０１６年６月）
参考書	Francois Jullien『道徳を基礎づける―孟子vs.カント、ルソー、ニーチェ 』（講談社学術文庫、２０１７年１０月）
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医療管理各論Ⅰ（病院管理）　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(30)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
土屋　昭雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	病院は医療の実践の場である。施設・機器・構成員そして患者を含めた利用者など、全てが有機的に機能してこそ、医療が有効に実践され、医療の質の向上と経営の質の向上というテーマは、病院運営において車の両輪にたとえられる大命題になっている。 本章では、その病院を的確に維持、運営していく上で重要な、病院の経営管理をはじめとする基礎的な知識を身につけることが、目的である。
授業の概要	病院という組織が、その使命を達成するために、そしてそれを維持していくためには、しっかりとした経営管理が必要であり、その組織が医療機関としての機能を果たすためには、様々は医療の専門職を有効に結びつけるための医療管理が必要であることを学ぶ。 近年では、高度化、複雑化する医療の在り方が問われ、チーム医療を中心とした多職種協働の医療提供体制が注目されていることを知り、さらに理解を深める。また、診療情報管理士が病院運営に関わっていくうえで、患者が安心して受診し、地域に必要とされる医療機能を維持するために、これらのことを十分に理解する。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　前期オリエンテーション　〔授業の進め方、評価等授業概要に基づいた概要説明及び学習方法等について伝達〕・病院の経営管理とは 【key words】 診療情報管理士・病院管理・経営・組織 【授業概要】 ・授業の進め方、評価、学習方法等についての概説 【教科書ページ・参考文献】 p69 【課題・予習・復習・授業準備指示】 第2章の熟読 第２回　（１）病院の経営管理　①病院経営管理　②プロセス（工程）とは 【key words】 病院管理・経営・組織・PDCA 【授業概要】 ・病院経営管理 ・プロセス(工程) 【教科書ページ・参考文献】 p71～p74 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第2章の熟読 第３回　（１）病院の経営管理　③組織と機能　④管理と組織 【key words】 組織・リーダーシップ・管理・顧客満足(度) 【授業概要】 ・組織および機能 ・管理と組織 【教科書ページ・参考文献】 p74～p86 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第2章の熟読

	第４回	（１）病院の経営管理　⑤財務・経営管理　⑥人事・労務管理 【key words】 経営指標・分析・労働基準法・男女雇用機会均等法 【授業概要】 ・財務および経営管理 ・人事および労務管理 【教科書ページ・参考文献】 p86～p105 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第2章の熟読
	第５回	（１）病院の経営管理　⑦施設管理　　病院経営管理のまとめ 【key words】 BCM(事業継続マネジメント)・BCP(事業継続計画)・ 【授業概要】 ・施設管理 ・小括 【教科書ページ・参考文献】 p106～p112 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第2章の熟読
	第６回	（２）医療管理　①医療管理　②診療部門 【key words】 インフォームドコンセント・根拠に基づいた医療・セカンドオピニオン 【授業概要】 ・医療管理 ・診療部門 【教科書ページ・参考文献】 p112～p118 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第2章の熟読
	第７回	（２）医療管理　③看護部門　④医療技術部門・診療協力部門・メディカルスタッフ部門 【key words】 看護過程・看護記録・コメディカル・地域医療連携室 【授業概要】 ・看護部門 ・医療技術部門・診療協力部門・メディカルスタッフ部門 【教科書ページ・参考文献】 p118～p143 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第2章の熟読
	第８回	（２）医療管理　⑤教育研究部門　⑥診療情報管理部門 【key words】 教育・診療情報管理・スーパービジョン/コンサルテーション 【授業概要】 ・教育研究部門 ・診療情報管理部門 【教科書ページ・参考文献】 p143～p144 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第2章の熟読
	第９回	（２）医療管理　⑦スタッフ機能事務部門　⑧ライン機能事務部門 【key words】 連携・医療事務 【授業概要】 ・スタッフ機能事務部門 ・ライン機能事務部門 【教科書ページ・参考文献】 p145～p147 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第2章の熟読
	第１０回	（２）医療管理　⑨施設・機器維持管理部門　⑩労働安全衛生・環境衛生管理部門 【key words】 施設管理・保全維持・衛生管理 【授業概要】 ・施設および機器維持管理部門 ・労働安全衛生および環境衛生管理部門 【教科書ページ・参考文献】 p147～p153 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第2章の熟読
	第１１回	（２）医療管理　⑪ハウスキーピング部門　　医療管理のまとめ 【key words】 生活環境・生活サービス 【授業概要】 ・ハウスキーピング部門 ・小括 【教科書ページ・参考文献】 p153～p155 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第2章の熟読
	第１２回	（３）チーム医療　①チーム医療とは

	【key words】 チーム医療・連携/協働・情報共有 【授業概要】 ・チーム医療とは 【教科書ページ・参考文献】 p155～p156 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第2章の熟読 第１３回　（３）チーム医療　②チーム医療の主な活動 【key words】 チーム医療・連携/協働・情報共有 【授業概要】 ・チーム医療の主な活動 【教科書ページ・参考文献】 p157 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第2章の熟読 第１４回　（３）チーム医療　③チーム医療の推進　　チーム医療のまとめ 【key words】 チーム医療・連携/協働・情報共有 【授業概要】 ・チーム医療の推進 ・小括 【教科書ページ・参考文献】 p157 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第2章の熟読 第１５回　授業総括 【key words】 診療情報管理士・病院管理・経営・組織・チーム医療・連携/協働・情報共有 【授業概要】 ・総括 ・重要項目の再確認 【教科書ページ・参考文献】 復習・確認事項該当ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 第2章の熟読・問題集への取り組み
受講生に関わる情報および受講のルール	私語は慎み、真摯な態度で授業に臨むこと。知識向上に向け、予習、復習を励行すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	予習として次回授業の該当部分を一読し、不明な用語などを調べ、調べた用語をノートにまとめる。 また、予習の段階で質問があれば、予めノートに記述しておくこと。
オフィスアワー	月曜日〔14：20～17：30〕及び昼休み〔12：00～12：30〕
評価方法	レポート提出、科目試験 60点～100点を合格とし単位を認定する。59点以下は不合格とし、単位を与えない。
教科書	診療情報管理士テキスト　診療情報管理Ⅲ
参考書	病院職員読本（日本病院共済会）
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　登録販売者Ⅰ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1単位(30)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
近藤　喜與子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】一般用医薬品（第２類医薬品、第３類医薬品）の販売時に必要な知識を学び、2年生の時に受験する登録販売者試験の合格をめざす。 【到達目標】登録販売者の役割は、必要な情報を購入者にわかりやすく伝え、医薬品の適切な選択、使用に役立ててもらう事である。医薬日の販売の専門家として幅広い知識と態度を身につける。登録販売者試験合格が目標です。
授業の概要	医薬品概論、人体の構造、医薬品各論　　テキストの読み込みを中心に、問題集を解くことにより、身につけ、試験の対策とする。学ばなければいけない知識が多岐にわたるため、各自、予習復習が必要です。　　試験合格を目的としている授業であるため、毎回小テストを行います。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回　1-Ⅰ　医薬品概論　1-Ⅱ　医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因 第２回　1-Ⅲ　適切な医薬品選択と受診勧奨　1-Ⅳ　薬害の歴史 第３回　2-Ⅰ　人体の構造と働き　1内臓器官（消化器系、呼吸器系） 第４回　2-Ⅰ　人体の構造と働き　1内臓器官（循環器系、泌尿器系） 第５回　2-Ⅰ　人体の構造と働き　2感覚器官，3運動器官 第６回　2-Ⅰ　人体の構造と働き　4脳や神経系の働き　2-Ⅱ　薬が効く仕組み 第７回　2-Ⅲ　症状からみた主な副作用 第８回　3-Ⅰ　精神神経に作用する薬　１かぜ薬 第９回　3-Ⅰ　精神神経に作用する薬　2解熱鎮痛薬 第１０回　3-Ⅰ　精神神経に作用する薬　3眠気を促す薬、4眠気を防ぐ薬、5鎮暈薬 第１１回　3-Ⅰ　精神神経に作用する薬　6小児の疳を適応症とする生薬製剤・漢方処方製剤）　3-Ⅱ　呼吸器官に作用する薬　1咳止め、痰を出しやすくする薬 第１２回　3-Ⅱ　呼吸器官に作用する薬　2口腔咽喉薬、3うがい薬　3-Ⅲ　胃腸に作用する薬　1胃の薬 第１３回　3-Ⅲ　胃腸に作用する薬　2腸の薬、3胃腸鎮痛鎮痙薬 第１４回　3-Ⅲ　胃腸に作用する薬　4その他の消化器官薬　3-Ⅳ　心臓などの器官や血液に作用する薬　1強心薬、2高コレステロール改善薬 第１５回　3-Ⅳ　心臓などの器官や血液に作用する薬　3貧血薬、4その他の循環器用薬　3-Ⅴ　排泄に関わる部位に作用する薬　1痔の薬、2その他の泌尿器用薬

受講生に関わる情報および受講のルール	内容が広範囲で1回の授業の頁数が多いため、各自の予習復習が必要です。 登録販売者試験合格を目的としているので、問題集を活用すること。 問題集の宿題を毎回出します。 宿題から小テストを10題程度行い問題に慣れるようにします。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	予習復習、過去問題など問題集の活用
オフィスアワー	授業終了後30分
評価方法	原則として定期試験７０％、小テスト３０％　　参考として宿題提出及び出席日数
教科書	登録販売者試験テキスト＆要点整理
参考書	登録販売者試験対策問題集、全国登録販売者試験過去問正解
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　介護総合演習Ⅰ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	2単位(60)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・選択
担当教員			
清水　久二雄・辻　志帆			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 介護福祉士の養成課程での学びと介護実践活動の統合を目指し、将来の介護福祉士としての資質の向上を図り、地域に貢献できる介護人材を育成することを目的とする。 〔到達目標〕 ①利用者の特性や介護専門職の役割を知り、どのようなケアが展開されているか理解できる。 ②利用者の自立支援を目指す計画が、どのようなものかを理解できる。
授業の概要	介護総合演習では、学生が介護実習等に望むための環境を調整することで、必要な知識等を習得することを目的とする科目である。開講される1コマ1コマが重要な意味を持っている。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　ガイダンス 【key words】 介護総合演習で何を学ぶか 【授業概要】 授業ガイダンス、オリエンテーション、アイスブレーク 【教科書ページ・参考文献】 なし 【課題・予習・復習・授業準備指示】 介護総合演習Ⅰのテキストを準備すること 第２回　生活支援とは？ 【key words】 介護実習で何を学ぶか 【授業概要】 介護実習の意義と目的、介護実習の種類 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ14～Ｐ28 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容を復習すること 第３回　介護福祉士の職業倫理について 【key words】 職業倫理に基づき働く姿勢 【授業概要】 職業倫理とは何か 【教科書ページ・参考文献】 参考文献　ミネルヴァ書房　介護総合演習Ｐ6～7 【課題・予習・復習・授業準備指示】

		授業内容を復習すること
	第４回	生活支援実習Ⅰ－①・Ⅱ－①の理解　調べ学習【特別養護老人ホーム、介護保健施設、障害者支援施設、医療型障害児入所・療養介護施設】 【key words】 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害者支援施設、医療型障害児入所・療養介護 【授業概要】 実習先の特徴と学ぶべきポイント 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ109～Ｐ131、P180～P203 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習先の特徴、入居者、どのようなサービスなのかを自分で調べ、グループでパワーポイントにまとめてくること
	第５回	生活支援実習Ⅰ－①・Ⅱ－①の理解　発表【特別養護老人ホーム、介護保健施設、障害者支援施設、医療型障害児入所・療養介護施設】 【key words】 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害者支援施設、医療型障害児入所・療養介護 【授業概要】 実習先の特徴、対象者、どのようなサービスかをまとめて発表する。 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ109～Ｐ131、P180～P203 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習先の特徴、入居者、どのようなサービスなのかを自分で調べ、グループでパワーポイントにまとめてくること
	第６回	生活支援実習における実習生紹介表作成（書き方・内容説明・下書き）　実習配属先・巡回教員への挨拶 【key words】 自分の強み　介護を志した理由 【授業概要】 ″実習生紹介票の書き方、内容の説明 下書き″ 【教科書ページ・参考文献】 中央法規　介護総合演習Ｐ44,45　　ミネルヴァ書房　介護総合演習　Ｐ98～Ｐ99 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習生紹介票の作成を進め、教員の添削指導を受けること
	第７回	生活支援実習における実習生紹介表作成（清書・仕上げ） 【key words】 どのような実習生がくるか実習指導者に把握してもらう 【授業概要】 実習関係者に把握してもらうための紹介票の清書、仕上げ 【教科書ページ・参考文献】 中央法規　介護総合演習Ｐ44,45　　ミネルヴァ書房　介護総合演習　Ｐ98～Ｐ99 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習生紹介票の作成を進め、下書きの段階で教員の添削を受けてから清書をすること
	第８回	実習目標作成（書き方・内容説明・下書き） 【key words】 介護実習の目標 【授業概要】 ″目標の書き方、内容説明、下書き″ 【教科書ページ・参考文献】 中央法規　介護総合演習　Ｐ40～Ｐ44 【課題・予習・復習・授業準備指示】 作成を進め、教員の添削指導を受けること
	第９回	実習目標作成（清書・仕上げ） 【key words】 目標を意識する、介護実習に主体的に臨む 【授業概要】 ″目標の清書、仕上げ″ 【教科書ページ・参考文献】 中央法規　介護総合演習　Ｐ40～Ｐ44 【課題・予習・復習・授業準備指示】 下書きの段階で教員の添削を受けてから清書をすること
	第１０回	生活支援実習の記録について（書き方・内容説明）

【key words】

【授業概要】
″書き方、内容説明″
【教科書ページ・参考文献】
中央法規　介護総合演習　P46～48
【課題・予習・復習・授業準備指示】

教員の添削を受けること

第１１回　生活支援実習の記録について（書き方・実践確認）
【key words】

【授業概要】
″書き方、実践確認″
【教科書ページ・参考文献】
中央法規　介護総合演習　P46～48 介護実習で困らないためのQ&A　P89～97

【課題・予習・復習・授業準備指示】

第１２回　生活支援実習課題テスト
【key words】
生活支援実習を履修するために必要な知識を評価する。

【授業概要】
課題テスト
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

事前に伝えている出題範囲の復習を行うこと

第１３回　生活支援実習記録物の配布・確認
【key words】
実習日誌
【授業概要】
実習日誌、アセスメント用紙、個別援助計画、プロセスレコード、フリーペーパーなどを配布する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

ファイルを一人1つ配るので、順番どおりにファイリングし、日誌などは汚損などが無いようにコピーをとっておくこと

第１４回　実習準備、実習へ望む姿勢、実習への不安と対策、電話のかけ方、身だしなみ
【key words】
実習開始までの流れと事前学習
【授業概要】
″事前学習の意義と目的、介護実習開始までの流れ、事前連絡の準備、身だしなみの確認″

【教科書ページ・参考文献】
中央法規　介護総合演習　Ｐ46～Ｐ61

【課題・予習・復習・授業準備指示】

″身だしなみを整えてくること、事前訪問の調整の連絡を行うこと″

第１５回　生活支援実習事前指導
【key words】
実習前指導
【授業概要】
″実習の事前学習および、事前指導、実習の目標を発表し、実習に向けての意気込みを伝える″

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

他者の発表に関心をもち、発表を受けて自分自身の取り組みで改善すべきことを考え、実践すること

第１６回　生活支援実習Ⅱ－①帰学日指導（情報共有や課題、問題点等の確認）全体
【key words】
　振り返り
【授業概要】
情報共有や課題、問題点の確認を全体で行う

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

実習で使用している記録物をすべて持参し、事前にコピーをとり、提出していて手元にないということが無いようにすること。

第１７回　生活支援実習Ⅱ－①帰学日指導（中間反省会の実施および記録物等の確認）個別

【key words】
振り返り
【授業概要】
″中間反省会の実施について、記録物等の確認　個別指導を行う。″

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

実習で使用している記録物をすべて持参し、事前にコピーをとり、提出していて手元にないということが無いようにすること。

第１８回　生活支援実習Ⅱ－①帰学日指導（情報共有や課題、問題点等の確認）全体
【key words】
振り返り
【授業概要】
情報共有や課題、問題点の確認を全体で行う

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

実習で使用している記録物をすべて持参し、事前にコピーをとり、提出していて手元にないということが無いようにすること。

第１９回　生活支援実習Ⅱ－①帰学日指導（最終反省会の実施および記録等の確認）個別
【key words】
振り返り
【授業概要】
″中間反省会の実施について
記録物等の確認　個別指導を行う。″

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

実習で使用している記録物をすべて持参し、事前にコピーをとり、提出していて手元にないということが無いようにすること。

第２０回　生活支援実習Ⅱ-①の振り返り（個別作業）
【key words】
振り返り、総括
【授業概要】
個人で生活支援実習の振り返り、総括を行う。

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

第２１回　生活支援実習Ⅱ-①の振り返り（グループ作業）
【key words】
振り返り、総括
【授業概要】
個人で行った生活支援実習の振り返り、総括をグループで共有し、まとめる

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

グループワークに積極的に参加すること

第２２回　生活支援実習Ⅱ-①の振り返り（グループ発表、質疑応答）
【key words】
振り返り、情報共有
【授業概要】
まとめた内容をグループごとに発表する。

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

他のグループの発表に関心をもち、積極的に関心をもつこと

第２３回　生活支援実習Ⅰ－②の理解　調べ学習【小規模多機能型居宅介護、通所介護、訪問介護、認知症対応型共同生活介護】
【key words】
小規模多機能型居宅介護　通所介護　訪問介護　認知症対応型共同生活介護

【授業概要】
実習先の特徴と学ぶべきポイントなどをグループでまとめる

【教科書ページ・参考文献】
Ｐ74～Ｐ96　P144～166
【課題・予習・復習・授業準備指示】

実習先の特徴、入居者、どのようなサービスなのかを自分で調べ、グループでパワーポイントにまとめてくること

第２４回　生活支援実習Ⅰ－②の理解　調べ学習【小規模多機能型居宅介護、通所介護、訪問介護、認知症対応型共同生活介護】

【key words】
小規模多機能型居宅介護　通所介護　訪問介護　認知症対応型共同生活介護

【授業概要】
実習先の特徴と学ぶべきポイントなどをグループでまとめる

【教科書ページ・参考文献】
Ｐ74～Ｐ96　P144～166
【課題・予習・復習・授業準備指示】

実習先の特徴、入居者、どのようなサービスなのかを自分で調べ、グループでパワーポイントにまとめてくること

第２５回　生活支援実習Ⅰ－②の理解　発表・質疑応答【小規模多機能型居宅介護、通所介護、訪問介護、認知症対応型共同生活介護】

【key words】
小規模多機能型居宅介護　通所介護　訪問介護　認知症対応型共同生活介護

【授業概要】
実習先の特徴、対象者、どのようなサービスかをまとめて発表する。

【教科書ページ・参考文献】
Ｐ74～Ｐ96　P144～166
【課題・予習・復習・授業準備指示】

実習先の特徴、入居者、どのようなサービスなのかを自分で調べ、グループでパワーポイントにまとめてくること

第２６回　生活支援実習Ⅰ－②の理解　発表・質疑応答【小規模多機能型居宅介護、通所介護、訪問介護、認知症対応型共同生活介護】

【key words】
小規模多機能型居宅介護　通所介護　訪問介護　認知症対応型共同生活介護

【授業概要】
実習先の特徴、対象者、どのようなサービスかをまとめて発表する。

【教科書ページ・参考文献】
Ｐ74～Ｐ96　P144～166
【課題・予習・復習・授業準備指示】

実習先の特徴、入居者、どのようなサービスなのかを自分で調べ、グループでパワーポイントにまとめてくること

第２７回　生活支援実習における実習生紹介票作成（下書き）

【key words】
1年次の実習の内容、自分の強み
【授業概要】
″実習生紹介票の書き方、内容の説明
下書き″
【教科書ページ・参考文献】
中央法規　介護総合演習Ｐ44,45　　ミネルヴァ書房　介護総合演習　Ｐ98～Ｐ99

【課題・予習・復習・授業準備指示】

教員の添削を受けること

第２８回　生活支援実習における実習生紹介票（清書）

【key words】
どのような実習生がくるか実習指導者に把握してもらう

【授業概要】
実習関係者に把握してもらうための紹介票の清書、仕上げ

【教科書ページ・参考文献】
中央法規　介護総合演習Ｐ44,45　　ミネルヴァ書房　介護総合演習　Ｐ98～Ｐ99

【課題・予習・復習・授業準備指示】

下書きの段階で教員の添削を受けてから清書をすること

第２９回　生活支援実習Ⅰ－②、Ⅱ－②　希望調査

【key words】

【授業概要】
1年次に行った実習を踏まえて、居宅サービスの実習Ⅰ－②と介護過程の展開を行う長期実習Ⅱ－②の希望と理由調査
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

	1年次を踏まえ、なぜその実習先を希望するのか理由を明確にしておくこと 第３０回　まとめ（2年次へ向けての目標作成） 【key words】 介護実習の目標 【授業概要】 ″2年次の実習に向けて、1年次の学びをどう発展させるかを明確にする、内容説明、下書き″ 【教科書ページ・参考文献】 中央法規　介護総合演習　Ｐ40～Ｐ44 【課題・予習・復習・授業準備指示】 作成を進め、教員の添削指導を受けること
受講生に関わる情報および受講のルール	介護総合演習は生活支援実習と対となる科目である。よって、科目に対する姿勢・態度や提出物等が重要な意味があることを理解しておくこと。 生活支援実習期間中の帰学日指導は、介護総合演習の出席となる。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	生活支援実習に係る事前学習をすすめておくこと。
オフィスアワー	授業時に指示する。
評価方法	授業に臨む参加態度20％、提出物　40％、課題テスト40％
教科書	新・介護福祉士養成講座　「介護総合演習・介護実習」　中央法規
参考書	介護実習で困らないためのQ&A　－実習生としての心得50　中央法規
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 高齢者施設にて介護職員として6年間従事した実務経験あり。 高齢者施設において24年弱従事し、実習指導者資格を取得後は実習の指導を行った。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　生活支援技術Ⅰ（介護技術演習）　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	2単位(60)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
矢嶋　栄司・辻　志帆			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する学習とする。 【到達目標】 適切な介護を提供できるよう、関連事項の知識を理解することができ、実技の基本的知識を身につけることが出来る。
授業の概要	授業は講義および演習とし、単元ごとの講義により必要事項の説明や関連事項の知識を学ぶ。 演習により体験を通して、介護技術の方法を学ぶ。 教科書を中心として、講義・演習を進めていく。 受講生の関心や理解の程度により多少の変更も考慮する。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画

第１回　科目オリエンテーション

【key words】

【授業概要】
授業概要の説明、授業の受け方、身だしなみチェックについて、アイスブレーク

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

身だしなみを整えて授業に臨むこと、

第２回　生活の理解と生活支援の基本的な考え方

【key words】
生活
【授業概要】
生活とは何か、生活を理解する視点、介護福祉士と生活支援、

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　P57～59

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと

第３回　生活支援と福祉用具の活用

【key words】
特殊寝台　車いす　手すり　歩行補助具

【授業概要】
福祉用具の種類と機能、生活で福祉用具を活用する視点、福祉用具・住宅改修

【教科書ページ・参考文献】
資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと

第４回　高齢者の生活史を学び、理解する
【key words】
生活史
【授業概要】
生活史とは、自分の生活史を書く
【教科書ページ・参考文献】
資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと

第５回　自立に向けた睡眠の介護
【key words】
レム睡眠　ノンレム睡眠　サーガディアンリズム

【授業概要】
睡眠とは、自立生活を支える睡眠の介護とは

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　P223～229

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと

第６回　自立に向けた睡眠の介護まとめ
【key words】

【授業概要】
睡眠の意義と目的、睡眠における介護技術の確認テスト

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

事前に伝えてある出題範囲をよく復習しておくこと

第７回　体位変換の介助
【key words】
上方移動　水平移動　側臥位
【授業概要】
体位変換の介助、アセスメントの視点、介助の実際、介助の留意点

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　P64～68、P73～81

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと

第８回　安楽な体位を保持する介助
【key words】
安楽、良肢位　仰臥位　側臥位、端座位

【授業概要】
安楽な体位を保持する介助の目的、じょくそうの予防、安楽な体位を保持する介助におけるアセスメントの視点、
【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　P68～70

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと

第９回　車イスの介護
【key words】
自走式　介助式　リクライニング、ティルト機能　電動

【授業概要】
車いすの基本構造、車椅子の使い方、車いす介助のおけるアセスメントの視点、

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　P82～92

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと

第１０回　自立に向けた移動の介護まとめ
【key words】

【授業概要】
移動の意義と目的、移動、移乗における介護技術等の範囲における確認テスト

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

事前に伝えてある出題範囲をよく復習しておくこと

第１１回　自立にむけた身じたくにおけるアセスメント
【key words】
身じたく、整容、更衣
【授業概要】
身じたくにおけるアセスメント、ＴＰＯに応じた身じたく、身じたくにおける介護技術

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　Ｐ137～139

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと

第１２回　口腔ケアのアセスメント
【key words】
口腔ケア、機能的、器質的口腔ケア
【授業概要】
口腔ケアにおけるアセスメントの視点、口腔ケアの基本、

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　Ｐ141～146

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと

第１３回　衣服の着用の目的と選択の基準
【key words】
綿、伸縮性、通気性、吸湿性
【授業概要】
衣服を着用する目的、衣服の種類と洗濯に必要な視点、衣服の着脱の介助におけるアセスメントの視点
【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　Ｐ146～148

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと

第１４回　衣服の着脱の介助
【key words】
脱健着患、麻痺の障害部位
【授業概要】
自立度が高い利用者の介助、麻痺、ベット上での介助

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　Ｐ148～153

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと

第１５回　前期のまとめ
【key words】

【授業概要】
生活の理解、睡眠の介護、移動の介護、身じたくの介護の復習、確認

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

前期の講義、演習内容の復習を行い、前期定期試験に備えること。

第１６回　自立に向けた入浴・清潔保持の介護

【key words】

【授業概要】
入浴の介助、部分浴の介助、清潔保持の介助について

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　P161～173

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと

第１７回　入浴の介護・機械浴
【key words】
機械浴、リフト式
【授業概要】
入浴の介護、機械浴の演習
【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　P165

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと

第１８回　清潔保持の介助・洗髪の介護
【key words】
ケリーパッド,臥床した状態での介助

【授業概要】
清潔保持の介助・洗髪の介助について、演習

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　P170～173

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと

第１９回　自立に向けた入浴・清潔保持の介護まとめ
【key words】

【授業概要】
入浴清潔保持の意義と目的、入浴清潔保持の介護技術における確認テスト

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

事前に伝えてある出題範囲をよく復習しておくこと

第２０回　自立に向けた食事の介護
【key words】
食事、自立支援、食生活、嗜好
【授業概要】
食事におけるアセスメント
【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡP95～101

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと

第２１回　食形態の工夫、食事の姿勢、脱水予防
【key words】
食事の姿勢、環境、食器、アセスメント、嚥下、咀嚼

【授業概要】
食べ物の形態を工夫する、食事の姿勢について、脱水の原因、予防について

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡP105～107

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと

第２２回　高齢者の身体の変化と食生活の配慮
【key words】
低栄養、咀嚼
【授業概要】
高齢者の身体機能と栄養、食品、調理、調理形態の配慮

【教科書ページ・参考文献】
資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと

第２３回　咀嚼や嚥下障害のある場合の食事介助
【key words】
一口大、きざみ食、ソフト食、とろみ

【授業概要】
嚥下障害のある人への食事の配慮、食事の介助、用具について

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ106

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと

第２４回　自立に向けた食事の介護まとめ
【key words】

【授業概要】
食事の意義と目的、食事における介護技術の範囲においての確認テスト

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

事前に伝えてある出題範囲をよく復習しておくこと

第２５回　自立に向けた排泄の介護
【key words】
プライバシーの保護、羞恥心
【授業概要】
排泄の介護における自立への視点、排泄におけるアセスメント

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ111～112

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと

第２６回　排泄介護における福祉用具の理解
【key words】
トイレ、ポータブルトイレ、便器、オムツ

【授業概要】
排泄のための道具、用具、種類と選定について

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ127～129

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習を行うこと

第２７回　排泄介護・差し込み便器・尿器での介護
【key words】
男性、女性の対応
【授業概要】
尿器、差し込み便器を使用した排泄の介助、演習

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ128～129

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと

第２８回　排泄介護・紙おむつの当て方
【key words】
尿取りパッド、テープ止め
【授業概要】
紙おむつを使用した排泄の介助、演習

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ122～127

【課題・予習・復習・授業準備指示】

	講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと 第２９回　自立に向けた排泄の介護まとめ 【key words】 【授業概要】 排泄の意義と目的、排泄の介護技術の範囲における確認テスト 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事前に伝えてある出題範囲をよく復習しておくこと 第３０回　総合的な介護演習 【key words】 【授業概要】 事例に基づいた介護技術の発表、振り返り 【教科書ページ・参考文献】 資料配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 後期の講義、演習内容の復習を行い、後期定期試験に備えること。
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ・演習時は、学校指定のジャージを着用すること。(学校指定ポロシャツ以外に親睦スポーツ大会でのクラスTシャツは許可する。) 〔受講のルール〕 ・他の受講生の迷惑となる行為（私語、携帯電話の使用）は厳禁。 ・遅刻、欠席、早退の場合は、理由を申し出ること。 ・身だしなみを整え、爪は短く、長い髪は束ねること。（講義を始める前に身だしなみのチェックを行う。） ・上履きの後は踏まないこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	毎回の講義・演習内容を主に復習を重ねること。
オフィスアワー	初回授業時に指示する。
評価方法	平常点20%、レポート・小テスト20%、定期試験60% ※出欠状況や授業態度も含み総合的に評価する。
教科書	介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ
参考書	必要時、資料を配布し、参考文献は授業時に適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 高齢者施設にて介護職員として6年間従事の実務経験あり。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　生活支援技術Ⅱ（介護技術演習）　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	2単位(60)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
矢嶋　栄司・辻　志帆			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ること も含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する学習とする。 【到達目標】 適切な介護を提供出来るよう実技の技術を習得し、科学的根拠に基づいた介護技術を身につけることが出来る。
授業の概要	授業は講義および演習とし、単元ごとの講義により必要事項の説明や関連事項の知識を学ぶ。 演習により体験を通して、介護技術の方法を学ぶ。 教科書を中心として、講義・演習を進めていく。 受講生の関心や理解の程度により多少の変更も考慮する。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　科目オリエンテーション 【key words】 ガイダンス・オリエンテーション・授業の受け方 【授業概要】 授業概要の説明、実習室の取り扱いについて、物品の説明、アイスブレーク 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 身だしなみを整えて授業に臨むこと、次回から演習の前に身だしなみ確認を行う。 第２回　生活の理解 【key words】 生活 【授業概要】 生活の場の特徴、生活の構成要素 【教科書ページ・参考文献】 介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ55～56 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義、演習内容を主に復習を行うこと 第３回　生活支援と介護予防 【key words】 介護予防 【授業概要】

		介護予防とは、介護保険と介護予防、生活における介護予防の視点 【教科書ページ・参考文献】 介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ57～59 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義、演習内容を主に復習を行うこと
	第４回	自立に向けた居住環境の整備 【key words】 住まい、生活空間、家 【授業概要】 居住環境の意義、生活空間と介護、居住環境のアセスメント、住まいの種類と特徴 【教科書ページ・参考文献】 介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ181～197 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義、演習内容を主に復習を行うこと
	第５回	睡眠の意義と目的 【key words】 睡眠　睡眠障害 【授業概要】 睡眠におけるアセスメント、睡眠の効果、睡眠障害、睡眠を妨げる要因 【教科書ページ・参考文献】 介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ214～222 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義、演習内容を主に復習を行うこと
	第６回	ベットメーキング 【key words】 シーツ、枕、枕カバー、防水シーツ、ベットパッド 【授業概要】 安眠の介助の基本的理解、ベットメイキング、睡眠の介助 【教科書ページ・参考文献】 資料配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと
	第７回	移動の意義と目的 【key words】 移動　移乗　基本的欲求　活動範囲 【授業概要】 移動、移乗の介護の基本的理解、基礎知識 【教科書ページ・参考文献】 介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ61～70 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義、演習内容を主に復習すること
	第８回	ボディーメカニクスの活用 【key words】 重心　てこの原理　支持基底面積 【授業概要】 ボディーメカニクス、ボディーメカニクスの基本原理、重心と姿勢の安定 【教科書ページ・参考文献】 介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ70～73 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること
	第９回	移動・移乗のための道具・用具 【key words】 ギャッジベッド、車いす、スライディングボード、リフト 【授業概要】 移動に関する福祉用具の紹介、車椅子の種類 【教科書ページ・参考文献】 介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ90～91

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること

第１０回　車いす体験
【key words】
シート、アームサポート、フットサポート、駆動輪、キャスタ、ティッピングレバー

【授業概要】
車いす介助の実際、平地、坂道、段差、凹凸道走行

【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ86～90

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること

第１１回　身じたくの意義と目的
【key words】
整容、洗面、整髪、爪、耳、化粧
【授業概要】
身じたくの介護とは、身じたくの種類と意義

【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ136～139

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習すること
第１２回　口腔ケアの基礎知識
【key words】
口腔ケア,機能的口腔ケア、器質的口腔ケア

【授業概要】
口腔ケア、口腔ケアの基礎知識、口腔ケアの目的と効果

【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ140～146

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること

第１３回　被服生活の基本知識
【key words】
被服生活
【授業概要】
被服生活とは、被服の管理
【教科書ページ・参考文献】
Ｐ146～148　資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習すること
第１４回　衣服の着脱の介助
【key words】
着脱　脱健着患
【授業概要】
衣服の着脱の介助の実際、自立度別介助の視点

【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ148～155

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること

第１５回　自立に向けた身じたくの介護まとめ
【key words】

【授業概要】
身じたくの意義と目的、身じたくにおける介護技術の範囲における確認テスト

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

事前に伝達してある出題範囲の復習をおこなうこと

第１６回　入浴・清潔保持の意義と目的
【key words】

入浴　清潔保持
【授業概要】
入浴・清潔保持の意義と目的、入浴清潔保持におけるアセスメント

【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ158～161

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習すること

第１７回　入浴の介護・一般浴
【key words】
浴槽の種類とタイプ、半埋め込み型　和洋折衷式　和式

【授業概要】
入浴の介護・一般浴の演習
【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ161～165

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること

第１８回　清潔保持の介助・部分浴の介助
【key words】
手浴、足浴
【授業概要】
清潔保持の介助、手浴、足浴の介助
【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ167～168

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること

第１９回　清潔保持の介護・清拭の介助
【key words】
全身清拭　部分清拭、陰部洗浄
【授業概要】
清潔保持の介護・清拭の介助、演習
【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ170～173

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること

第２０回　食事の意義と目的
【key words】
食事、栄養素、健康維持、食生活
【授業概要】
自立生活を支える食事の介護とは
【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ94～96

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習すること

第２１回　食事の基本的な知識・誤嚥の予防と対応
【key words】
誤嚥　誤嚥性肺炎
【授業概要】
食事の介助を行うにあたって、食事の介助におけるアセスメントの視点、誤嚥、窒息の防止

【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ96～100、Ｐ104～105

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習すること

第２２回　食生活の基本知識
【key words】
食文化、食生活の変化、栄養
【授業概要】
食文化、食生活の変化、栄養の理解、障害のある人の栄養と食生活

【教科書ページ・参考文献】
資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習すること

第２３回　自立度の高い人の食事介助

【key words】
食事介助、自立支援
【授業概要】
食事の介助における自立度別介助の視点、自立度が高い利用者の介助、演習

【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ101～103

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること

第２４回　臥床した状態での食事介助
【key words】
食事介助、自立支援
【授業概要】
一部介助、全介助を要する利用者、食事の介助の実際、演習

【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ103～106

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること

第２５回　排泄の意義と目的
【key words】
排泄、新陳代謝、老廃物、プライバシー、羞恥心

【授業概要】
自立生活を支える排泄の介護とは
【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ110～112

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習すること
第２６回　自立に向けた排泄介護の意義と目的
【key words】
排泄　羞恥心　プライバシーの保護
【授業概要】
自立生活を支える排泄の介護とは、排泄に関する基礎知識

【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ113～117

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容を主に復習すること
第２７回　排泄介護・ポータブルトイレでの介護
【key words】
トイレ、ポータブルトイレ
【授業概要】
排泄の介護の実際、トイレ、ポートブルトイレを使用した介助、演習

【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ117～121

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること

第２８回　排泄介護・布おむつ・紙おむつでの介護
【key words】
和オムツ　オムツカバー　尿取りパッド　紙おむつ

【授業概要】
オムツとパッドの特徴と選択の視点、吸収、装着体験、装着の演習

【教科書ページ・参考文献】
介護養成テキスト　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ122～127

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること

第２９回　排泄介護・布おむつの当て方
【key words】
男性の対応、女性の対応
【授業概要】
布オムツの装着方法、布オムツを使用した介助、演習

	【教科書ページ・参考文献】 資料配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義、演習内容をボランティア等で確認し、繰り返し復習すること 第３０回　利用者の状態に応じた介護方法 【key words】 排泄介助、着脱介助、移動介助 【授業概要】 排泄、着脱から移動までの一連の流れを事例を用い、演習を行う。 【教科書ページ・参考文献】 資料配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義、演習内容を確認し、繰り返し実践し発表に臨む事
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ・演習時は、学校指定のジャージを着用すること。(学校指定ポロシャツ以外に親睦スポーツ大会でのクラスTシャツは許可する。) 〔受講のルール〕 ・他の受講生の迷惑となる行為（私語、携帯電話の使用）は厳禁。 ・遅刻、欠席、早退の場合は、理由を申し出ること。 ・身だしなみを整え、爪は短く、長い髪は束ねること。（体育保健委員が講義を始める前に身だしなみのチェックを行う。） ・上履きの後は踏まないこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	毎回の講義・演習内容を主に復習を重ねること。
オフィスアワー	初回授業時に指示する。
評価方法	平常点20%、レポート・小テスト20%、定期試験60% ※出欠状況や授業態度も含み総合的に評価する。
教科書	介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術／生活支援技術Ⅰ・Ⅱ
参考書	必要時、資料を配布し、参考文献は授業時に適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 高齢者施設にて介護職員として6年間従事の実務経験あり。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　介護過程の展開Ⅰ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	2単位(60)	介護福祉士国家試験受験資格を得るための指定必須科目
担当教員			
白井幸久・清水久二雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〈授業の目的〉 ・介護過程とは思いつきや一方的な支援ではありません。生活する利用者が主体的に自身の人生を、機能低下、および障　害が出現してもその人らしく生活できることを支援する技術となります。そのためなぜこの支援を行うのかという科学　的な根拠や論理性に基づいて支援されなければ、利用者の主体性やその人らしさをサポートするのは困難となります。 　そのために介護過程のプロセスを理解するとともにそれらが科学的根拠に基づいて展開する事ができる。 介護計画を 　立案し適切な介護サービスの提供ができる能力を身につける事を目的としています。 〈授業の到達目標〉 ①　アセスメントする為の情報収集・科学的根拠に基づき情報を統合しニーズや課題抽出する事ができる。 ②　①の前提で適切な介護サービスの質と量を踏まえた計画立案ができる。 ③　知識と技術を統合した介護計画の実践ができ、更にサービス提供した結果を適正に振り返る事ができる。
授業の概要	・支援とは何かを理解する事が重要であるため、必要な知識を身につけるのはもちろんですが、それ以上に「思考する」 　事が重要となります。この思考は本科目以外の他科目で得た知識や技術を統合するものでもあります。実際に知識や技 　術などを思考の材料とし、どのような支援を行い、主体的で自立した生活を送ることができるのかを目指して衣いくの　で、授業の中心は演習となります。 ・演習の内容はまず思考すること、そしてそれらを記述したり、口頭で発表したり、グループでディスカッションを行い 　ます。他科目で得た知識、技術を統合する科目であり、個々の生活課題やニーズにふさわしいサービスを科学的に思考　する科目ですから、創造的な学びとなります。 ・介護実習Ⅱでは介護過程が必須となります。そのため、本授業で様々な思考法を実践する事で実習が充実したものとな 　ります。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　　科目ガイダンス　授業の進め方　介護過程とは何か 〈キーワード〉 介護過程　PDCA 〈テキスト〉　　Ｐ125・128-130 〈授業概要〉 ・介護過程の授業とはどんな事を学ぶものかを授業概要を用いて説明する。また介護過程の展開は実習で実践 　事になる為、今後の1年次・2年次にどのように進めていくのかを解説する。その後身近にあるＰＤＣＡサ 　イクルについて触れる。 〈復習・予習・次回授業までの準備〉 ・Ｐ125、128-130　の予・復習ために読んできて欲しい。まずPDCAサイクルについて調べ、身近な個人の 　PDCAサイクルを探してみる。

	第２回	「介護過程」の意義と目的　（ 身近なPDCAサイクル ） 〈キーワード〉 介護過程　構成要素　思考 〈テキスト〉　Ｐ135-137 〈授業概要〉 ・介護という概念の整理のために応援、お手伝い、世話、面倒を見る、支援などどのように違うのかを比較す る。その後介護過程が何故必要なのかその意義と目的ついて触れる。 〈復習・予習・次回授業までの準備〉 ・Ｐ135-137の復習ために読んできて欲しい。第3回Ｐ127-130のテーマを読み予習して欲しい。
	第３回	「生活支援」とは何か。　（生活支援が目指すもの　個別ケアと自立支援を考えよう） 〈キーワード〉 生活支援　個別ケア　自立支援 〈テキスト〉　Ｐ127-130　パワーポイント資料を使用 〈授業概要〉 ・これまでのＰＤＣＡサイクルを元に、介護過程の全体像について学ぶ。特に「生活を支える」という言葉は どのような意味が込められているのかについて、学生自身と、周囲の仲間がどのようにとらえ、生活支援、 個別ケア、自立支援とは何かを考えていく。 〈復習・予習・次回授業までの準備〉 ・Ｐ127-130の復習と第4回に該当する、Ｐ128-134 の予習をして欲しい。
	第４回	「介護過程」の全体像を知る　（介護過程の展開） 〈キーワード〉 アセスメント　計画　実施　評価　再アセスメント 〈テキスト〉　P128-134　パワーポイント資料を使用 〈授業概要〉 ・介護過程はどのように展開されるのか、全体的な流れ・サイクルを学ぶ。そのために身近な事例を用いなが ら、実際にグループワークなどの演習を通してこれらのサイクルに必要な視点は何かを体験しながら学んで いく。 〈復習・予習・次回授業までの準備〉 ・P128-134の復習と第5回授業に該当するP184-187 を予習して欲しい。
	第５回	アセスメント　情報収集とは　（主観的情報と客観的情報） 〈キーワード〉 アセスメント　情報　情報収集 〈テキスト〉　Ｐ184-187　パワーポイント資料を使用 〈授業概要〉 ・介護過程におけるアセスメントの段階を学ぶ。その後「情報収集」について、まず情報とは何かについて学 ぶ。その後情報の種類や内容についてはどのように取り扱うのがよいのかについてを演習を通じて学ぶ 〈復習・予習・次回授業までの準備〉 ・P184－187の復習と、第6回授業に該当するP134-135　P189の予習をして欲しい。
	第６回	ICF　(国際生活機能分類)とは　(ICIDH (国際障害分類)との比較) 〈キーワード〉 WHO　世界保健機関　ICIDH　国際障害分類　ICF　国際生活機能分類 〈テキスト〉　P134-135　P189　パワーポイント資料を使用 〈授業概要〉 ・アセスメントする上で「障害」、「生活機能」という言葉の整理が重要である。そのためにWHOが提唱した　障害分類(ICIDH)とを比較し、生活機能分類(ICF)を通じて、情報の整理の仕方について学ぶ。 〈復習・予習・次回授業までの準備〉 ・P184－187の復習と、第6回授業に該当するP134-135　P189の予習をして欲しい。
	第７回	ICF　(国際生活機能分類)の構造 〈キーワード〉 WHO　世界保健機関　ICIDH　国際障害分類　ICF　国際生活機能分類 〈テキスト〉　P134-135　P189　パワーポイント資料を使用 〈授業概要〉 ・アセスメントする上で「障害」、「生活機能」という言葉の整理が重要である。そのためにWHOが提唱した　障害分類(ICIDH)と生活機能分類(ICF)を通じて、情報の整理の仕方について学ぶ。 〈復習・予習・次回授業までの準備〉 ・P134-135　P189のの復習と、第7回授業に該当するP134-135　P189の予習をして欲しい。
	第８回	ICF　(国際生活機能分類)における生活機能の理解 〈キーワード〉　生活機能と背景因子　身心機能・身体構造　活動　参加 〈テキスト〉　P189-199　パワーポイント資料を使用 〈授業概要〉 ・情報の分析を行う上では生活機能と背景因子の整理が重要である。今回の授業ではその生活機能についてふ　れる。生活機能には3つの側面がある事を学び、それぞれがどのように影響し合うのかについて事例を用い て学ぶ。 〈復習・予習・次回授業までの準備〉 ・復習と予習の為にP189-199を読んできて欲しい。
	第９回	ICF　(国際生活機能分類)における背景因子の理解 〈キーワード〉　生活機能と背景因子　環境因子　個人因子 〈テキスト〉　P189-199　パワーポイント資料を使用 〈授業概要〉 ・情報の分析を行う上では生活機能と背景因子の整理が重要である。今回の授業ではその生活機能についてふ　れる。生活機能には3つの側面がある事を学び、それぞれがどのように影響し合うのかについて事例を用い て学ぶ。 〈復習・予習・次回授業までの準備〉 ・復習と予習の為にP189-199を読んできて欲しい。
	第１０回	ICF　(国際生活機能分類)の視点に立った情報の整理 〈キーワード〉　情報の整理　分析　観察　データ観察　行動観察　介入観察 〈テキスト〉　P189-199　パワーポイント資料を使用

〈授業概要〉
・ICFのそれぞれの視点に立って、利用者の状態を観察するという事は何かについて学ぶ。観察の3つの視点
(データ・行動・介入)について1つの事例を用いて、演習を行いながら学ぶ。また10回の授業以降は実習で
使用する用紙を実際に使用し、まず記載の方法について確認する。その後事例を用いて記載する。
〈復習・予習・次回授業までの準備〉
・復習と予習の為にP155-156を読んできて欲しい。

第１１回　ICF　(国際生活機能分類)の視点による情報の解釈
〈キーワード〉　情報の解釈　情報の分析　情報の意味
〈テキスト〉　P155- 156　パワーポイント資料を使用
〈授業概要〉
・1つの情報が持つ様々な意味を概念、理論などからについて学ぶ。また個人ワークにて調べ学習し、その後
はグループによる協同学習を通じ分析した内容を相互に発表し合いで学びを深めていく。
〈復習・予習・次回授業までの準備〉
・P155-156　を読んでおくように。個人ワークで調べたものを整理して欲しい。 次回12回で行うP210-
214を予習して欲しい。

第１２回　情報の解釈　(事例)
〈キーワード〉　情報の統合化　情報の関連
〈テキスト〉　P210-214　パワーポイント資料を使用
〈授業概要〉
・情報の意味を分析した後に、様々な情報同士が関連しあうことについて学ぶ。まず個人ワークとして情報同　士のつながりを小さなまとまりとしてまとめていく。その後グループで協議しあい、解説を加えながら、ど
課題やニーズの考え方について学ぶ。
〈復習・予習・次回授業までの準備〉
・P210-214の復習をして欲しい。今回まとめた個人ワークで調べたものを整理して欲しい。

第１３回　ICF　(国際生活機能分類)の視点による情報の統合化
〈キーワード〉　情報の統合化　情報の関連
〈テキスト〉　P210-214　パワーポイント資料を使用
〈授業概要〉
・情報の統合化をICFの概念図上で書き出してみて、情報同士がどのように深く関わりあっているのか、影響　力が強いものはどれかをグループ毎に演習する。その後前回学んだニーズや課題についてどのようなものが
抽出されたのかの発表と解説を行いながら学びを深めていく。
〈復習・予習・次回授業までの準備〉
・P210-214の復習をして欲しい。今回まとめた個人ワークで調べたものを整理して欲しい。

第１４回　情報の統合化　(事例)
〈キーワード〉　情報の統合化　情報の関連　ニーズ　課題
〈テキスト〉　P210-214　パワーポイント資料を使用
〈授業概要〉
・実習で使用する用紙を使用し、まず記載の方法について確認する。その後事例を用いて記載する。
〈復習・予習・次回授業までの準備〉
・P210-214の復習をして欲しい。今回まとめた個人ワークで調べたものを整理して欲しい。

第１５回　アセスメントシート、情報の関連づけ・統合化シートの活用
〈キーワード〉　情報の統合化　情報の関連　ニーズ　課題
〈テキスト〉　P210-214　パワーポイント資料を使用
〈授業概要〉
・情報の統合化・ニーズや課題抽出の整合を確認する方法について学び、論理性が保たれているのか、辻褄が
あっているのか確認する方法について学ぶ。
〈復習・予習・次回授業までの準備〉
・P210-214の復習をして欲しい。今回まとめた個人ワークで調べたものを整理して欲しい。

第１６回　後期授業のガイダンス　(前期と実習の振り返り)
〈キーワード〉　情報の関連づけ　統合化　課題抽出　ニーズ
〈テキスト〉　P210-214　パワーポイント資料を使用
〈授業概要〉
・後期の授業のガイダンスをおこなう。後期は実習でまとめたシートを授業で活用すること、取り扱いについ　ても説明する。実習の振り返りを、振り返りワークシートを使用して個人の学びを整理する。
〈復習・予習・次回授業までの準備〉
・P210-214の復習をして欲しい。今回まとめた個人ワークで調べたものを整理して欲しい。

第１７回　情報収集を振り返って　(実習事例を振り返って　グループ演習)
〈キーワード〉　情報の統合　課題抽出　ニーズ　個別支援計画
〈テキスト〉　P210-214　パワーポイント資料を使用
〈授業概要〉
・グループ毎にそれぞれが実習で行った課題抽出の取り組みまでを報告し、情報の統合が適正に実施されてい
るのか特に情報収集の内容と照合し適切に記述してあるのかについて確認する。
〈復習・予習・次回授業までの準備〉
・次回P202-209を行うため読んできて欲しい。

第１８回　情報の分析を振り返って　(実習事例を振り返って　グループ演習)
〈キーワード〉　情報の統合　課題抽出　ニーズ　個別支援計画
〈テキスト〉　P202-209　パワーポイント資料を使用
〈授業概要〉
・グループ毎にそれぞれが実習で行った課題抽出の取り組みまでを報告し、今回は情報の分析と情報の意味が　どのように考えられているのかとニーズや課題の抽出との結びつきが適切を確認

する
〈復習・予習・次回授業までの準備〉
・次回P216-221を行うため読んできて欲しい。
第１９回　情報の統合をふり返って　(実習事例を振り返って　グループ演習)
〈キーワード〉　情報の統合　課題抽出　ニーズ　個別支援計画
〈テキスト〉　P202-209　パワーポイント資料を使用
〈授業概要〉
・グループ毎にそれぞれが実習で行った課題抽出の取り組みまでを報告し、その他にニーズや課題があるのか　について検討し話し合う。
〈復習・予習・次回授業までの準備〉
・次回P155-164を行うため読んできて欲しい。
第２０回　介護計画作成の視点①　(ニーズの視点・セルフケアの視点)
〈キーワード〉　ニーズ　マズロー　セルフケア　ヘンダーソン
〈テキスト〉　P155-164　パワーポイント資料を使用
〈授業概要〉
・実践の科学として隣接領域で用いられている諸理論のうち、ニーズ論とセルフケア理論の視点では支援にお
いて重点においているのかを踏まえ、生活支援のあり方を検討していく。
〈復習・予習・次回授業までの準備〉
・次回P164-173を行うため予習して欲しい。
第２１回　介護計画作成の視点②　(ストレングスの視点・エンパワーメントの視点)
〈キーワード〉　ストレングス　エンパワメントアプローチ
〈テキスト〉　P155-164　パワーポイント資料を使用
〈授業概要〉
・実践の科学として隣接領域で用いられている諸理論のうち、ストレングスとエンパワメントの視点では支援
において重点においているのかを踏まえ、生活支援のあり方を検討していく。
〈復習・予習・次回授業までの準備〉
・P203-209　を読んでおくように。
第２２回　介護計画作成の視点③　(アイデンティティの視点・アクティビティの視点)
〈キーワード〉　アイデンティティ　アクティビティ・サービス
〈テキスト〉　P203-209　パワーポイント資料を使用
〈授業概要〉
・実践の科学として隣接領域で用いられている諸理論のうち、アイデンティティとアクティビティ・サービス　の視点では支援において重点においているのかを踏まえ、生活支援のあり方を検討していく。
〈復習・予習・次回授業までの準備〉
・20回～22回の授業の中で検討した様々な視点についてまとめ、それぞれの違いと視点として見る場合はど　のように違うのか、実習の事例をそれぞれの視点から見てみる。
第２３回　個別援助計画の意義と目的
〈キーワード〉　個別援助計画　QOL　その人らしさ
〈テキスト〉　P135-138　パワーポイント資料を使用
〈授業概要〉
・個別支援計画を考える上で、思いつきではなく、臨む生活を支援として提供するためには計画書の作成が必
要である。何故計画書が必要なのか、計画書を作成することによってどのような効果が得られるのかを学ぶ
〈復習・予習・次回授業までの準備〉
・　次回216-225を行うため予習しておいて欲しい。
第２４回　個別援助計画の目標の設定(長期目標と短期目標)
〈キーワード〉　目標　長期目標　短期目標
〈テキスト〉　P216-225　パワーポイント資料を使用
〈授業概要〉
・個別支援計画において生活のニーズや解決する課題が抽出できた場合、目標とするゴールを設定する必要が
ある。目標設定に必要な視点は何かについてを学ぶ。
〈復習・予習・次回授業までの準備〉
・個人ワークシートに目標を達成するための様々な道筋を検討すること。
第２５回　個別援助計画のサービス内容の展開方法
〈キーワード〉　計画書　内容　具体的な内容
〈テキスト〉　P216-225　パワーポイント資料を使用
〈授業概要〉
・支援計画の立案で大切なのが、ハードル設定・実現可能性・具体性・支援の明確化、可視化である。それら
を踏まえた介護計画作成に必要なものは何かを学ぶ
〈復習・予習・次回授業までの準備〉
・P216-225をしっかり復習して欲しい。
第２６回　個別援助計画の記述について
〈キーワード〉　計画書　整合性　実現可能性　具体性
〈テキスト〉　P216-225　パワーポイント資料を使用
〈授業概要〉
・これまでの視点を基にし、介護計画書を作成し、その後グループ内でプレゼンテーションし、整合性がある
かを確認する。
〈復習・予習・次回授業までの準備〉
・P216-225をしっかり復習して欲しい。
第２７回　事例に基づく介護過程の展開　①(情報収集、情報の関連づけ)
〈キーワード〉　情報収集、情報の関連づけ
〈テキスト〉　P216-225　パワーポイント資料を使用
〈授業概要〉
・グループ内で実習で担当した受け持ち利用者の実習記録を下に情報収集・情報の関連付けにつ

	いて確認す る。 〈復習・予習・次回授業までの準備〉 ・実習の情報収集のシートの確認をしておくこと。 第２８回　事例に基づく介護過程の展開　②(情報の統合化、生活課題やニーズの抽出) 〈キーワード〉　情報の統合化　生活課題やニーズの抽出 〈テキスト〉　P216-225　パワーポイント資料を使用 〈授業概要〉 ・グループ内で実習で担当した受け持ち利用者の実習記録を下に、情報の統合化、生活課題やニーズの抽出に ついて確認する。 〈復習・予習・次回授業までの準備〉 ・情報の統合用紙のまとめを行うこと。 第２９回　事例に基づく介護過程の展開　③(個別援助計画の立案) 〈キーワード〉　個別支援計画　目標　内容　具体的な内容 〈テキスト〉　P216-225　パワーポイント資料を使用 〈授業概要〉 ・グループ内で実習で担当した受け持ち利用者の実習記録を下に、介護計画書を作成しその後グループ内で ディスカッションを行う 〈復習・予習・次回授業までの準備〉 ・介護計画の長期目標と短期目標のステップアップが妥当か確認しておくこと。 第３０回　後期授業のまとめ 〈キーワード〉　介護計画　個別支援計画書 〈テキスト〉　P216-225　パワーポイント資料を使用 〈授業概要〉 ・前回の介護計画書を全体で共有し、互いにプレゼンテーションし合う。1年次の振り返りと2年次の学びに ついての確認を行う。介護計画表を作成し提出してもらう。 〈復習・予習・次回授業までの準備〉 ・1年次のふりかえりと、介護計画実施状況の記載方法について予習すること。
受講生に関わる情報および受講のルール	・介護過程は介護福祉士の専門性や他職種連携を果たすためのスキルを身につけるトレーニングである為、思考、調　べ る事を含め日々の学びを継続すること。 ・学生個々によって思考のスキルの伸びが違うため、分からないところは積極的に質問し解決する事。 ・より良い演習、仲間との協同学習により学習の成果は高くなるため、ワークでの学習、ディスカッションでの発言、 チームでの合意形成など授業時の積極的な参加姿勢で臨むように。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード、シャトルカード、ワークシート、配布資料、実習でのシート(アセスメント・情報の統合
授業外時間にかかわる情報	・授業で作成するワークシートが完成しない場合は仕上げておく。 ・調べる学習がある場合は演習課題やレポートの提出を求めるのでしっかり取り組む事。また分からない言葉などは調べ るように努めること。
オフィスアワー	初回授業時予定表を配布し説明する。
評価方法	定期試験70%　演習の取り組み30%
教科書	介護福祉士養成テキスト2　「介護の基本/介護過程」　日本介護福祉士養成施設協会　編
参考書	講義の中で適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 老人保健施設で5年弱　介護職員・レクリエーションワーカー、特別養護老人ホームで、19年間、介護職員、短期入所生活介護の担当、介護長、施設介護支援専門員に従事する。 施設利用者のアセスメント、介護計画作成、介護計画の実施と具体的方法の検討、評価、サービス担当者会議の開催のマネジメント、利用者、家族への説明などを10年ほど行ってきた。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医療的ケアⅠ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
鳥山　良子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療職との連携の下で医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を修得することを目的とする。 【到達目標】 喀痰吸引等が医行為であることを踏まえ安全な実施に必要な知識・技術・価値を修得すること。喀痰吸引は医行為であるとともに、生活支援に必要な行為であることを認識する。
授業の概要	医療的ケアを実施するにあたり、なぜ介護福祉士は行うことになったのか、その歴史的背景を理解することが必要となる。医療的ニーズを理解し、専門職としての倫理を学ぶ。医療的ケアを行うものとしてのものの見方、考え方を養う。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画

第１回　オリエンテーション　医療的ケアとは
【key　Word】
オリエンテーション　医療的ケア
【授業概要】
医療的ケアについて、どのようなことを学ぶか、授業概要を用いて説明する。
医療的ケアを学ぶ目的について説明する。
【教科書ページ】
Ｐ２～５
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：授業概要、教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直しを行う

第２回　医療的ニーズと歴史的背景　医療的ケアと法律
【key　Word】
医療的ニーズ　歴史的背景　医療的ケア　法律
【授業概要】
医療的ニーズと歴史的背景、医療的ケアと法律について学習する。
【教科書ページ】
Ｐ６～１１
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し

第３回　喀痰吸引等の安全な実施
【key　Word】
喀痰吸引等　安全な実施　介護職　医行為　教育・研修　記録　報告　連携
【授業概要】
喀痰吸引等を安全に実施できるように学習し、条件を理解する。
記録と報告・連携の目的と方法について学習する。
【教科書ページ】
Ｐ１２～１９
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し

第４回　チーム医療
【key　Word】

保健医療制度　チーム医療　介護職の役割　職種間の役割・連携・協働
【授業概要】
医療的ケアに関する主な保健医療制度について学習する。
チーム医療と介護職との連携について学習し、実践につなげられるよう理解を深める。
【教科書ページ】
Ｐ２０～２８
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し

第５回　介護の倫理
【key　Word】
生活支援　尊厳　自立　倫理　権利　説明　同意　個人情報
【授業概要】
医行為ではあるが、日常生活を送る上で必要であるため、介護における生活支援を行う上での医療的ケアに　ついて学習する。
介護倫理、医療倫理について学び、専門職として医療的ケアを実施する際の倫理・態度を学習する。
【教科書ページ】
Ｐ２９～３５
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し

第６回　清潔保持と感染予防
【key　Word】
清潔　不潔　感染　感染予防　消毒　滅菌　介護職自身の健康管理　療養環境　消毒法　医療廃棄物
【授業概要】
医療における清潔とは何かを理解し、感染予防を実施できるように学習する。
介護職が感染しないように、知識・技術について学習する。
【教科書ページ】
Ｐ４６～６０
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し

第７回　清潔・無菌操作（演習）
【key　Word】
清潔操作　無菌操作　手洗い　手指消毒　うがい　マスクの着脱　手袋の着脱　滅菌手袋の着脱　　セッシの取り扱い　滅菌吸引チューブの取り扱い
【授業概要】
清潔操作、無菌操作について学び、確実に実践できるように演習を通して学習する。
【教科書ページ】
Ｐ４６～６０
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる、ジャージ着用　復習：教科書、配布資料の読み直し、清潔操作・無菌操作の練習

第８回　健康状態の把握
【key　Word】
健康　観察　バイタルサイン　バイタルサイン測定　正常と異常　記録　急変時の対応
【授業概要】
健康状態を把握できるよう観察項目を理解し、バイタルサイン測定を実施できるように学習する。
救援状態について理解し、急変時の対応について学習する。
【教科書ページ】
Ｐ３６～４５
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し

第９回　バイタルサイン測定（演習）
【key　Word】
バイタルサイン測定　体温　脈拍　呼吸数　ＳｐＯ2　血圧
【授業概要】
バイタルサイン測定について学び、確実に実践できるように演習を通して学習する。
【教科書ページ】
Ｐ３６～４５
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる、ジャージ着用　復習：教科書、配布資料の読み直し

第１０回　呼吸の働き
【key　Word】
生命維持　呼吸のしくみ　呼吸の働き　換気　ガス交換　正常な呼吸　異常な呼吸
【授業概要】
呼吸のしくみと働きと理解し、いつもと違う呼吸状態について把握できるように学習する。
【教科書ページ】
Ｐ６１～６４
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し

第１１回　呼吸に関連した苦痛と障害（演習）
【key　Word】
呼吸困難　姿勢の体験
【授業概要】
呼吸困難とはどのような状況なのか理解し、どのような対応が必要になるか学ぶ。
呼吸困難に関連する姿勢につて、演習を通して学習する。
【教科書ページ】
Ｐ６４～６５
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでくる、ジャージ着用　復習：教科書、配布資料の読み直し

	第１２回　　喀痰吸引とは 【key　Word】 喀痰吸引　痰　咳　誤嚥性肺炎　呼吸器系感染　喀痰吸引時のトラブル 【授業概要】 喀痰吸引とは何かを学び、どのような場面で必要になるのか、また喀痰吸引により生じる危険について学習　する。 【教科書ページ】 Ｐ６５～６９ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し 第１３回　　人工呼吸器 【key　Word】 人工呼吸療法　人工呼吸器　気管カニューレ　医師・看護師との連携 【授業概要】 呼吸を助ける人工呼吸療法と人工呼吸器について学習する。 【教科書ページ】 Ｐ６９～７６ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し 第１４回　　吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応 【key　Word】 利用者の気持ち　家族の気持ち　説明 【授業概要】 グループワークを通して、利用者・家族の気持ちを理解し、どのように説明をすれば良いか学習する。 【教科書ページ】 Ｐ７６～７９ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し 第１５回　　喀痰吸引を必要とする利用者の日常生活におけるケア　　まとめ 【key　Word】 環境整備　ハッフィング法　痰を出しやすくするケア 【授業概要】 喀痰吸引を実施している人の日常生活におけるケアを学習する。 【教科書ページ】 Ｐ７９～８１ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでくる　復習：教科書、配布資料の読み直し
受講生に関わる情報および受講のルール	私語や携帯電話の使用といった迷惑行為は慎むこと。演習等は、学校指定のジャージを必ず着用すること。 本講義内容は、生命の安全に関わることを理解し真剣・積極的に取り組むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	テキストに付いているDVDを観て、手順や留意点について自己学習をする。
オフィスアワー	授業終了後３０分
評価方法	定期テストの結果、出席状況、授業態度も含めて総合的に評価する。
教科書	柊崎京子・荏原順子　編著　：　介護福祉士養成課程・介護職等のための医療的ケア、建帛社
参考書	介護福祉士受験ワークブック　介護福祉士受験ワークブック編集委員会編集　中央法規出版　　印刷資料など
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 平成13年～平成15年：国立療養所西群馬病院勤務 平成15年～平成23年：公立藤岡総合病院勤務 平成26年～合同会社セカンドホームにて機能訓練指導員 平成27年～有限会社プログレ総合研究所にて非常勤講師 平成27年～公益財団法人介護労働センター群馬支所にて外部講師 平成28年～学校法人藤仁館学園にて非常勤講師 平成29年～福祉サービス研究所にて非常勤講師 平成30年～群馬医療福祉大学短期大学部にて助教（特任） アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　生活支援実習Ⅰ－①　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1単位(20)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・選択
担当教員			
矢嶋　栄司			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 様々な生活の場において、個々の生活リズムや個性を理解し、様々な生活の場において個別ケアを理解する。利用者や家族等とのコミュニケーションの実践活動を目指し、介護技術の確認や他職種、関係機関との連携を通じて介護福祉士の役割についての理解を目指す。 〔到達目標〕 ①利用者の暮らしの場と、そこにある多様な介護現場の理解ができる。 ②利用者・家族との関わりを通じたコミュニケーションの実践をすることができる。 ③多職種協働について理解できる。 ④介護福祉士の役割が理解できる。
授業の概要	－

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回 ■実習履修資格者 「群馬医療福祉大学短期大学部生活支援実習ガイドライン」を参照 ■実習時期及び実習日数・時間 １年次　平成３１年８月６日（火）～８月９日（金）【４日間／２４時間】 ・特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害者支援施設の３種別の施設のうち１施設で３日間（８/６～８／８）、事後指導１日間（８／９） ■実習上の注意 「群馬医療福祉大学短期大学部生活支援実習ガイドライン」を参照 ■評価方法 「群馬医療福祉大学短期大学部生活支援実習ガイドライン」を参照 第２回 第３回 第４回 第５回
受講生に関わる情報および受講のルール	－
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	－
オフィスアワー	－
評価方法	実習巡回指導教員50%、実習施設指導者20%、介護総合演習Ⅰ担当教員30%
教科書	－
参考書	－
実務経験のある教員	

による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　生活支援実習Ⅱ－①　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	4単位(200)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・選択
担当教員			
矢嶋　栄司			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 個別ケアを行う上で個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするための介護過程の展開を行う。また、他科目で学習した知識や技術を統合して具体的な介護サービスの提供の実践を体験することで、介護福祉士の役割の理解を併せて目指す。 〔到達目標〕 ①介護施設を利用する人の生活を理解できる。 ②個別ケアの知識、技術の基本が理解できる。 ③介護現場で活動する介護福祉士の役割が理解できる。 ④知識や技術を統合し、利用者の課題を明確に出来る。
授業の概要	－

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回 ■実習履修資格者 「群馬医療福祉大学短期大学部生活支援実習ガイドライン」を参照 ■実習時期及び実習日数・時間 １年次　平成３１年８月１３日（火）～９月１３日（金）までの期間に【２５日以上かつ２００時間以上とする】 ■実習上の注意 「群馬医療福祉大学短期大学部生活支援実習ガイドライン」を参照 ■評価方法 「群馬医療福祉大学短期大学部生活支援実習ガイドライン」を参照 第２回 第３回 第４回 第５回
受講生に関わる情報および受講のルール	－
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	－
オフィスアワー	－
評価方法	実習巡回指導教員50%、実習施設指導者20%、介護総合演習Ⅰ担当教員30%
教科書	－
参考書	－
実務経験のある教員による授業科目/ア	授業担当教員

クティブ・ラーニング	□実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　ボランティア活動Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	福祉総合コース・選択
担当教員			
柳澤　充・岩﨑　文明			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 ボランティア活動の企画、実践を通して、対人支援や福祉サービスを担う人材としての心構え等を学ぶことを目的とする。 【到達目標】 グループでのボランティア活動の企画、実践、考察を踏まえた報告会を行う。 グループ活動での役割を遂行し、実施した活動について振り返りを行う。
授業の概要	ボランティア活動Ⅰで培った知識やコミュニケーション能力、ボランティア活動の経験を基礎とし、グループ活動を中心として、ボランティア活動の企画を立案し、実施、評価をする。学内で学ぶことのできないことをボランティア活動を通して学び、福祉の専門職としての心構えを身につけることを目的とする。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　　オリエンテーション 【key words】 授業の進め方 【授業概要】 本科目の進め方について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 適宜示す。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次回までに、1年次のボランティア活動についてまとめておくこと。 第２回　　ボランティア活動の原理・原則①　　1年次のボランティア活動の振り返り 【key words】 1年次のボランティア活動 【授業概要】 1年次のボランティア活動について振り返る。2年次の活動予定を考える。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 2年次の継続ボランティアについて考えておくこと。 第３回　　ボランティア活動の原理・原則②　　ボランティアとは何かについて 【key words】 ボランティア活動 【授業概要】 1年次の活動を踏まえ、「ボランティアとは何か」を各々の考えで定義付けを行う。次週に向けて「ボランティアが活躍する」場を調べる。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次週に向けて「ボランティアが活躍する場」について、1人10個以上調べておくこと。 第４回　　ボランティア活動の原理・原則③　　ボランティアが活躍する場 【key words】 ボランティアが活躍する場

【授業概要】
調べてきた「ボランティアが活躍する場」を付箋に記入し、KJ法を用いて分類する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
KJ法について理解しておくこと。

第５回　ボランティア活動計画の企画　地域活動への準備・グループでの役割分担
【key words】
ボランティア活動企画
【授業概要】
取り組みたいボランティア活動について企画する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
各々で取り組みたいボランティアについて考えておくこと。

第６回　ボランティア活動　地域活動の準備
【key words】
ボランティア活動企画
【授業概要】
ボランティア活動を企画する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
時間外においても適宜企画を進めること。

第７回　ボランティア活動　地域活動の実施
【key words】
ボランティア活動実施
【授業概要】
企画したボランティア活動を実施する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
各々の役割に責任を持ち、ボランティアに取り組むこと。

第８回　ボランティア活動　地域活動の振り返り　まとめ
【key words】
ボランティア活動振り返り
【授業概要】
実施したボランティア活動について振り返り、次回ボランティア活動に活かしていく。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回取り組みたいボランティアについて考えておくこと。

第９回　ボランティア活動計画の企画　地域活動への準備・グループでの役割分担
【key words】
ボランティア活動企画
【授業概要】
取り組みたいボランティア活動について企画する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
各々で取り組みたいボランティアについて考えておくこと。

第１０回　ボランティア活動　地域活動の準備
【key words】
ボランティア活動企画
【授業概要】
ボランティア活動を企画する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
時間外においても適宜企画を進めること。

第１１回　ボランティア活動　地域活動の実施
【key words】
ボランティア活動実施
【授業概要】
企画したボランティア活動を実施する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
各々の役割に責任を持ち、ボランティアに取り組むこと。

第１２回　ボランティア活動　地域活動の実施
【key words】
ボランティア活動実施
【授業概要】
企画したボランティア活動を実施する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
各々の役割に責任を持ち、ボランティアに取り組むこと。

第１３回　ボランティア活動　地域活動の振り返り　まとめ
【key words】
ボランティア活動振り返り

【授業概要】
実施したボランティア活動について振り返り、次回ボランティア活動に活かしていく。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回取り組みたいボランティアについて考えておくこと。

第１４回　ボランティア活動（前期）　地域活動の報告会
【key words】
ボランティア活動報告
【授業概要】
前期に企画したボランティア活動について各々が発表し、全体で共有する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
前期に企画したボランティア活動について各々が発表できるようにパワーポイントでまとめておくこと。

第１５回　まとめ
【key words】
ボランティア活動前期まとめ
【授業概要】
前期を振り返る。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
定期試験（レポート）に向けて準備しておくこと。

第１６回　ボランティア活動計画の企画　地域活動への準備・グループでの役割分担
【key words】
ボランティア活動企画
【授業概要】
取り組みたいボランティア活動について企画する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
各々で取り組みたいボランティアについて考えておくこと。

第１７回　ボランティア活動　地域活動の準備
【key words】
ボランティア活動企画
【授業概要】
ボランティア活動を企画する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
時間外においても適宜企画を進めること。

第１８回　ボランティア活動　地域活動の準備
【key words】
ボランティア活動企画
【授業概要】
ボランティア活動を企画する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
時間外においても適宜企画を進めること。

第１９回　ボランティア活動　地域活動の実施
【key words】
ボランティア活動実施
【授業概要】
企画したボランティア活動を実施する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
各々の役割に責任を持ち、ボランティアに取り組むこと。

第２０回　ボランティア活動　地域活動の振り返り　まとめ
【key words】
ボランティア活動振り返り
【授業概要】
実施したボランティア活動について振り返り、次回ボランティア活動に活かしていく。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回取り組みたいボランティアについて考えておくこと。

第２１回　ボランティア活動計画の企画　地域活動への準備・グループでの役割分担
【key words】
ボランティア活動企画
【授業概要】
取り組みたいボランティア活動について企画する。
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
各々で取り組みたいボランティアについて考えておくこと。

第２２回　ボランティア活動　地域活動の準備
【key words】

		ボランティア活動企画 【授業概要】 ボランティア活動を企画する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 時間外においても適宜企画を進めること。
	第２３回	ボランティア活動　　地域活動の準備 【key words】 ボランティア活動企画 【授業概要】 ボランティア活動を企画する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 時間外においても適宜企画を進めること。
	第２４回	ボランティア活動　　地域活動の実施 【key words】 ボランティア活動実施 【授業概要】 企画したボランティア活動を実施する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各々の役割に責任を持ち、ボランティアに取り組むこと。
	第２５回	ボランティア活動　　地域活動の振り返り　まとめ 【key words】 ボランティア活動振り返り 【授業概要】 実施したボランティア活動について振り返り、次回ボランティア活動に活かしていく。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次回取り組みたいボランティアについて考えておくこと。
	第２６回	ボランティア活動計画の企画　　地域活動への準備・グループでの役割分担 【key words】 ボランティア活動企画 【授業概要】 取り組みたいボランティア活動について企画する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各々で取り組みたいボランティアについて考えておくこと。
	第２７回	ボランティア活動　　地域活動の準備 【key words】 ボランティア活動企画 【授業概要】 ボランティア活動を企画する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 時間外においても適宜企画を進めること。
	第２８回	ボランティア活動　　地域活動の実施 【key words】 ボランティア活動実施 【授業概要】 企画したボランティア活動を実施する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 各々の役割に責任を持ち、ボランティアに取り組むこと。
	第２９回	ボランティア活動を振り返り 【key words】 ボランティア活動振り返り 【授業概要】 実施したボランティア活動について振り返り、次回ボランティア活動に活かしていく。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次回取り組みたいボランティアについて考えておくこと。
	第３０回	ボランティア活動地域活動の振り返り　報告会　まとめ 【key words】 ボランティア活動報告 【授業概要】 前期に企画したボランティア活動について各々が発表し、全体で共有する。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 後期に企画したボランティア活動について各々が発表できるようにパワーポイントでまとめておくこと。 定期試験（レポート）に向けて準備しておくこと。

受講生に関わる情報および受講のルール	自主的、主体的、積極的に活動に取り組むこと。グループワークが中心となるため、協力・協働の姿勢で取り組むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	調べ学習、発表会資料作りなど授業時間外に取り組む場合には、計画的に取り組むこと。 実際のボランティア活動は積極的に参加すること。
オフィスアワー	0
評価方法	試験またはレポート50%、課題への取組み・提出物など50%
教科書	授業にて指示する。
参考書	必要時、資料を配布する。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 障害者団体勤務時に、ボランティア受け入れを行っていた。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称： 情報処理演習(Word&Excel&Powerpoint)　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	介護福祉コース・選択
担当教員			
村上　典子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 現代社会において欠かす事のできないパーソナルコンピューターの利用方法の習得を目的とする。 〔到達目標〕 レポート作成、研究発表において必要不可欠なWord、Excel、Powerpointを活用できるようにし、資料の作成、分析、発表などに役立つ様々な機能を習得する。
授業の概要	本講義を通してWord、Excel、Powerpointの知識を深め、実社会でも積極的に活用できる能力を習得していく。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー (DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画

第１回　科目オリエンテーション、自己紹介スライド作成、タイピング練習
【key words】
授業の進め方・自己紹介スライド
【授業概要】
授業の目的、目標、進め方、評価方法の説明・PowerPointで自己紹介スライドを作成
【教科書ページ・参考文献】
教科書なし。PP資料にてプロジェクターで説明
【課題・予習・復習・授業準備指示】
次回までにUSBメモリを用意

第２回　Word (1)　Wordの基本操作、文章入力・編集
【key words】
Wordの基本操作・レポートの作成
【授業概要】
Wordの基礎知識・レポートの作成方法
【教科書ページ・参考文献】
P1～P11
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授授業で勉強した操作の復習

第３回　Word (2)　表・図表・図形の作成・編集①
【key words】
レポートの作成・編集
【授業概要】
簡単に文書を作成するための編集機能・段落番号・箇条書き・図、SmartArtグラフィックの挿入
【教科書ページ・参考文献】
P12～P23
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授授業で勉強した操作の復習

第４回　Word (3)　表・図表・図形の作成・編集②
【key words】
グラフィック機能の利用
【授業概要】
図、ワードアートの挿入・ページ罫線の設定
【教科書ページ・参考文献】
P34～P39 71,72
【課題・予習・復習・授業準備指示】

		授業で勉強した操作の復習
	第５回	Word (4)　表現力をアップする機能 【key words】 表現力をアップする機能 【授業概要】 ページ罫線・ワードアート・段組み・タブとリーダーの設定・PDFファイルとして保存 【教科書ページ・参考文献】 P39～P43　P73～P75 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で勉強した操作の復習
	第６回	Word (5)　長文の編集 【key words】 長文のレポートを編集 【授業概要】 ページ番号の挿入・改ページの挿入・見出しの設定・ナビゲーションウインドウの操作・見出しの入れ替え・スタイルの更新・脚注の挿入 【教科書ページ・参考文献】 P44～P53 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で勉強した操作の復習
	第７回	Word (6)　文書の校閲 【key words】 文書の校閲 【授業概要】 自動文章校正機能・表記ゆれチェック・検索と置換・コメントの利用・変更履歴の利用 【教科書ページ・参考文献】 P54～P63　P76～P77 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で勉強した操作の復習
	第８回	Word (7)　Wordのまとめ 【key words】 Wordのまとめ 【授業概要】 Wordで勉強した機能の復習 【教科書ページ・参考文献】 P71～P80　練習問題 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で勉強した操作の復習
	第９回	Excel (1)　Excelの基本操作、表の作成 【key words】 Excelの表の作成 【授業概要】 画面構成・データ入力・オートフィル機能・罫線の設定・数式の入力・関数の入力・表示形式・書式設定 【教科書ページ・参考文献】 P1～P16 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で勉強した操作の復習
	第１０回	Excel (2)　表の編集、印刷 【key words】 Excelの表の編集 【授業概要】 相対参照と絶対参照・書式のコピー・行と列の入れ替え・列幅のコピー・印刷機能・グラフ作成 【教科書ページ・参考文献】 P17～P34 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で勉強した操作の復習 【教科書ページ・参考文献】 P17～P34 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で勉強した操作の復習
	第１１回	Excel (3)　データベース機能 【key words】 データベースの操作 【授業概要】 データの並べ替え・データの抽出・データの集計 【教科書ページ・参考文献】 P35～P48 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で勉強した操作の復習
	第１２回	Excel (4)　複数シート操作 【key words】 複数のシートの操作 【授業概要】 シート間の集計・数式のコピー 【教科書ページ・参考文献】 P49～P52 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で勉強した操作の復習
	第１３回	Excel (6)　関数① 【key words】

関数
【授業概要】
PHONETIC関数・COUNTA関数・COUNTIF関数・VLOOKUP関数・IF関数
【教科書ページ・参考文献】
P53～P67
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業で勉強した操作の復習

第１４回　Excel (7)　関数②
【key words】
関数
【授業概要】
IF関数のネスト・AND関数・OR関数
【教科書ページ・参考文献】
P53～P67
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業で勉強した操作の復習

第１５回　Excel (7)　ユーザー定義の表示形式、条件付き書式
【key words】
ユーザー定義の表示形式・条件付き書式
【授業概要】
ユーザー定義の表示形式・条件付き書式の設定
【教科書ページ・参考文献】
P68～P88
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業で勉強した操作の復習

第１６回　Excel (8)　ピボットテーブル
【key words】
Excel ピボットテーブルの作成　データベースの活用
【授業概要】
ピボットテーブルの作成・フィールドのグループ化・データの更新・テーブルの利用・集計行の表示
【教科書ページ・参考文献】
P89～P102
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業で勉強した操作の復習

第１７回　Excel (9)　マクロの作成、WordとExcelの連携
【key words】
マクロの活用・WordとExcelの連携
【授業概要】
マクロの作成・マクロの実行・マクロの保存・WordにExcelの表を取り込む
【教科書ページ・参考文献】
P103～P117
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業で勉強した操作の復習
マクロの作成・マクロの実行・マクロの保存・WordにExcelの表を取り込む
【教科書ページ・参考文献】
P103～P117
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業で勉強した操作の復習

第１８回　Excel (10)　Excelまとめ
【key words】
EXCELのまとめ
【授業概要】
Excelで勉強した機能の復習
【教科書ページ・参考文献】
P125～P133　練習問題
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業で勉強した操作の復習

第１９回　Powerpoint（１）　Powerpointの基本操作、プレゼンテーションの作成
【key words】
PowerPointの活用
【授業概要】
プレゼンテーションの新規作成・テーマの適用・新しいスライドの挿入・スライドショーの実行
【教科書ページ・参考文献】
P1～P15
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業で勉強した操作の復習

第２０回　Powerpoint（２）　オブジェクトの挿入、構成の変更、特殊効果の設定
【key words】
PowerPointの活用
【授業概要】
オブジェクトの挿入・表の作成・グラフの作成・箇条書きテキストをSmartArtに変換・画面切り替え効果・アニメーションの設定
【教科書ページ・参考文献】
P16～Pc32
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業で勉強した操作の復習

第２１回　Powerpoint（３）　他のアプリケーションの利用
【key words】
PowerPointの活用
【授業概要】

		プレゼンテーションの印刷・他のアプリケーションの利用・ワード文書の挿入・Excelブックの利用 【教科書ページ・参考文献】 P33～P41 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で勉強した操作の復習
	第２２回	Powerpoint（４）　スライドマスターの利用、スライドショーの設定 【key words】 PowerPointの活用 【授業概要】 スライド共通のデザインの設定・スライドマスターの編集・ヘッダーとフッターの設定・スライドショーに役立つ機能の利用・リハーサルの実行 【教科書ページ・参考文献】 P42～P57 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で勉強した操作の復習
	第２３回	Powerpoint（５）　Powerpointのまとめ 【key words】 PowerPointのまとめ 【授業概要】 PowerPointで勉強した機能の復習 【教科書ページ・参考文献】 P58～P63　練習問題 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で勉強した操作の復習
	第２４回	発表用資料の作成① 【key words】 プレゼンテーション発表準備 【授業概要】 プレゼンテーションの発表準備・テーマ決定・テーマに沿った資料収集・資料整理 【教科書ページ・参考文献】 テキスト全般 【課題・予習・復習・授業準備指示】 プレゼンテーションの資料収集 【授業概要】 プレゼンテーションの発表準備・テーマ決定・テーマに沿った資料収集・資料整理 【教科書ページ・参考文献】 テキスト全般 【課題・予習・復習・授業準備指示】 プレゼンテーションの資料収集
	第２５回	発表用資料の作成② 【key words】 プレゼンテーション発表準備 【授業概要】 プレゼンテーションの発表準備・集めた資料を使ってPowerpointでプレゼンテーションを作成 【教科書ページ・参考文献】 テキスト全般 【課題・予習・復習・授業準備指示】 プレゼンテーションの資料収集
	第２６回	発表用資料の作成③ 【key words】 プレゼンテーション発表準備 【授業概要】 プレゼンテーションの発表準備・集めた資料を使ってPowerpointでプレゼンテーションを作成 【教科書ページ・参考文献】 テキスト全般 【課題・予習・復習・授業準備指示】 プレゼンテーションの資料収集
	第２７回	発表用資料の作成④ 【key words】 プレゼンテーション発表準備 【授業概要】 プレゼンテーションの発表準備・プレゼンテーションの作成、仕上げ、リハーサル 【教科書ページ・参考文献】 テキスト全般 【課題・予習・復習・授業準備指示】 プレゼンテーションの発表準備
	第２８回	プレゼンテーション発表 【key words】 プレゼンテーション発表 【授業概要】 プレゼンテーションの発表・プレゼンテーションの評価 【教科書ページ・参考文献】 テキスト全般 【課題・予習・復習・授業準備指示】 プレゼンテーションの発表準備
	第２９回	プレゼンテーション発表 【key words】 プレゼンテーション発表 【授業概要】 プレゼンテーションの発表・プレゼンテーションの評価

	【教科書ページ・参考文献】 テキスト全般 【課題・予習・復習・授業準備指示】 プレゼンテーションの発表準備 第３０回　プレゼンテーション発表 【key words】 プレゼンテーション発表 【授業概要】 プレゼンテーションの発表・プレゼンテーションの評価 【教科書ページ・参考文献】 テキスト全般 【課題・予習・復習・授業準備指示】 プレゼンテーションの発表準備
受講生に関わる情報および受講のルール	・USBフラッシュメモリーを各自用意し、毎回必ず持参すること。 ・演習は、毎回が成果の積み重ねとなるため、欠席で成果が途切れることのないよう心掛けること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	前回の授業内で操作・課題が終わらなかった受講者は、すべての課題を完了させた状態で授業に臨むこと。（欠席時も同様）
オフィスアワー	授業終了後30分。
評価方法	①　平常点（出席状況・授業態度）（60%） ②　実技試験（40%）
教科書	学生に役立つWord＆Excel＆Powerpoint Office2010対応　FOM出版
参考書	必要に応じて適宜指示する。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 企業や学校、自治体などの情報処理の授業およびセミナーなどの講師として長年従事した経験を活かし、社会に出て活用できる技術を指導している。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　情報処理演習(MOS)　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
村上　典子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 現代社会において事務処理に欠かす事のできないパーソナルコンピューターの利用方法の習得を目的とする。Microsoft認定資格であるMicrosoft Office Specialist試験合格の実力をつける。 【到達目標】 Microsoft Office Specialist試験合格を目指す。
授業の概要	WordのMicrosoft認定の試験攻略テキストを利用し、Microsoft Office Specialistの試験範囲を確認し、出題の形式を理解する。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー (DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回	科目オリエンテーション、自己紹介スライドの作成、MOS試験の解説 【Key Word】 授業の進め方・自己紹介スライド・MOS試験の概要 【授業概要】 授業の目的・目標・進め方・評価方法を説明。 自己紹介スライド作成、タイピング練習。MOS試験の範囲や勉強の仕方を説明。 【教科書ページ】 PP資料にてプロジェクターで説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 時間を作ってタイピング練習
	第２回	文書の共有と管理 (1) 【Key Word】 文書をさまざまな方法で表示する 【授業概要】 ウィンドウの操作・表示モードの切り替え・アウトラインレベルの変更 【教科書ページ】 P2～P25 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容の復習・操作の確認
	第３回	文書の共有と管理 (2) 【Key Word】 文書の共有・管理 【授業概要】 グループ文書・サブ文書・文書の保護・文書のバージョン管理 【教科書ページ】 P27～P57 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容の復習・操作の確認
	第４回	コンテンツの書式設定 (1) 【Key Word】 文書の共有・管理・コンテンツの書式設定 【授業概要】 文書の保存・テンプレートの適用・フォントと段落の属性の適用 【教科書ページ】 P60～P77

【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業内容の復習・操作の確認

第５回　コンテンツの書式設定（2）
【Key Word】
コンテンツの書式設定
【授業概要】
文書内の移動・検索・インデントとタブの適用・文字間隔と行間隔の設定
【教科書ページ】
P80～P96
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業内容の復習・操作の確認

第６回　コンテンツの書式設定（3）
【Key Word】
コンテンツの書式設定
【授業概要】
表の作成・文書内の表の操作・箇条書きと段落番号の適用・オートフォーマットの適用・ページ設定・段組み・セクション区切り
【教科書ページ】
P96～P119
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業内容の復習・操作の確認

第７回　ページのレイアウトと再利用可能なコンテンツの適用（1）
【Key Word】
ページのレイアウトと再利用可能なコンテンツの適用
【授業概要】
ページレイアウトの設定・テーマの適用・クイックパーツの使用
【教科書ページ】
P122～P153
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業内容の復習・操作の確認

第８回　ページのレイアウトと再利用可能なコンテンツの適用（2）
【Key Word】
ページのレイアウトと再利用可能なコンテンツの適用
【授業概要】
ページの背景の操作・ヘッダーとフッター
【教科書ページ】
P156～P174
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業内容の復習・操作の確認

第９回　図や画像の挿入（1）
【Key Word】
図・画像・ワードアート・クリップアート・テキストボックスの操作
【授業概要】
図を挿入・図表番号の挿入・図の圧縮・スクリーンショット
【教科書ページ】
P178～P189
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業内容の復習・操作の確認

第１０回　図や画像の挿入（2）
【Key Word】
図・画像・ワードアート・クリップアート・テキストボックスの操作
【授業概要】
図形・ワードアート・SmartArtの挿入・書式設定
【教科書ページ】
P191～P206
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業内容の復習・操作の確認

第１１回　図や画像の挿入（3）
【Key Word】
図・画像・ワードアート・クリップアート・テキストボックスの操作
【授業概要】
テキストボックスの設定・テキストボックスギャラリーの保存
【教科書ページ】
P209～P216
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業内容の復習・操作の確認

第１２回　文書の校正
【Key Word】
文章の校正
【授業概要】
スペルチェックや文章校正・オートコレクトの設定・コメントの挿入、編集
【教科書ページ】
P220～P235
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業内容の復習・操作の確認

第１３回　参考資料とハイパーリンクの適用
【Key Word】
参考資料とハイパーリンクの適用
【授業概要】
ハイパーリンクの適用・文末脚注・目次の作成
【教科書ページ】

		P240～P261 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容の復習・操作の確認
	第１４回	差し込み印刷の実行 【Key Word】 差し込み印刷の実行 【授業概要】 差し込み印刷の設定・差し込み印刷の実行 【教科書ページ】 P264～P273 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容の復習・操作の確認
	第１５回	模擬テストプログラム① 【key words】 Word第1回模擬試験（練習モード） 【授業概要】 Word第1回模擬試験を練習モードで行います。 【教科書ページ・参考文献】 MOS模擬試験 【課題・予習・復習・授業準備指示】 不正解の問題の操作確認・復習
	第１６回	模擬テストプログラム② 【key words】 Word第2回模擬試験（練習モード） 【授業概要】 Word第2回模擬試験を練習モードで行います。 【教科書ページ・参考文献】 MOS模擬試験 【課題・予習・復習・授業準備指示】 不正解の問題の操作確認・復習
	第１７回	模擬テストプログラム③ 【key words】 Word第3回模擬試験（練習モード） 【授業概要】 Word第3回模擬試験を練習モードで行います。 【教科書ページ・参考文献】 MOS模擬試験 【課題・予習・復習・授業準備指示】 不正解の問題の操作確認・復習
	第１８回	模擬テストプログラム④ 【key words】 Word第4回模擬試験（練習モード） 【授業概要】 Word第4回模擬試験を練習モードで行います。 【教科書ページ・参考文献】 MOS模擬試験 【課題・予習・復習・授業準備指示】 不正解の問題の操作確認・復習
	第１９回	模擬テストプログラム⑤ 【key words】 Word第5回模擬試験（練習モード） 【授業概要】 Word第5回模擬試験を練習モードで行います。 【教科書ページ・参考文献】 MOS模擬試験 【課題・予習・復習・授業準備指示】 不正解の問題の操作確認・復習
	第２０回	模擬テストプログラム⑥ 【key words】 Word第1回模擬試験（本番モード） 【授業概要】 Word第1回模擬試験を本番モードで行います。 【教科書ページ・参考文献】 MOS模擬試験 【課題・予習・復習・授業準備指示】 不正解の問題の操作確認・復習
	第２１回	模擬テストプログラム⑦ 【key words】 Word第2回模擬試験（本番モード） 【授業概要】 Word第2回模擬試験を本番モードで行います。 【教科書ページ・参考文献】 MOS模擬試験 【課題・予習・復習・授業準備指示】 不正解の問題の操作確認・復習
	第２２回	模擬テストプログラム⑧ 【key words】 Word第3回模擬試験（本番モード） 【授業概要】 Word第3回模擬試験を本番モードで行います。 【教科書ページ・参考文献】

	MOS模擬試験 【課題・予習・復習・授業準備指示】 不正解の問題の操作確認・復習 第２３回　模擬テストプログラム⑨ 【key words】 Word第4回模擬試験（本番モード） 【授業概要】 Word第4回模擬試験を本番モードで行います。 【教科書ページ・参考文献】 MOS模擬試験 【課題・予習・復習・授業準備指示】 不正解の問題の操作確認・復習 第２４回　模擬テストプログラム⑩ 【key words】 Word第5回模擬試験（本番モード） 【授業概要】 Word第5回模擬試験を本番モードで行います。 【教科書ページ・参考文献】 MOS模擬試験 【課題・予習・復習・授業準備指示】 不正解の問題の操作確認・復習 第２５回　試験準備 【key words】 試験準備 【授業概要】 試験概要の説明・受験者登録・受験者IDの取得・試験場所の確認 【課題・予習・復習・授業準備指示】 試験日時の確認・試験場所の検索 第２６回　Excel活用（1） 【key words】 Excel活用 【授業概要】 データとコンテンツの作成・入力と編集 【教科書ページ・参考文献】 資料配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 不正解の問題の操作確認・復習 第２７回　Excel活用（2） 【key words】 Excel活用 【授業概要】 画像の挿入・配置・サイズの設定 【教科書ページ・参考文献】 資料配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 不正解の問題の操作確認・復習 第２８回　Excel活用（3） 【key words】 Excel活用 【授業概要】 書式の設定と変更・スタイルの設定 【教科書ページ・参考文献】 資料配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 不正解の問題の操作確認・復習 第２９回　Excel活用（4） 【key words】 Excel活用 【授業概要】 行と列の書式の変更・シートの書式設定 【教科書ページ・参考文献】 資料配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 不正解の問題の操作確認・復習 第３０回　Excel活用（5） 【key words】 Excel活用 【授業概要】 ページ設定・データの印刷・オートフィル機能・数式の挿入 【教科書ページ・参考文献】 資料配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 不正解の問題の操作確認・復習
受講生に関わる情報および受講のルール	・USBフラッシュメモリーを各自用意し、毎回必ず持参すること。 ・演習は、毎回が成果の積み重ねとなるため、欠席で成果が途切れることのないよう心掛けること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	前回の授業内で操作・課題が終わらなかった受講者は、すべての課題を完了させた状態で授業に臨むこと。（欠席時も同様）

オフィスアワー	授業終了後30分。
評価方法	①平常点（出席状況・授業態度）（70%） ②実技試験（30%）
教科書	MOS攻略問題集MicrosoftWord2010 日経BP社
参考書	必要に応じて適宜指示する。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 企業や学校、自治体などの情報処理の授業およびセミナーなどの講師として長年従事した経験を活かし、社会に出て活用できる技術を指導している。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク ■アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　英語Ⅰ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	2単位(30)	福祉総合コース・選択
担当教員			
五十嵐　久子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 英語の仕組みを理解する。主部と述部、主語と述語、動詞には自動詞、他動詞があることを理解する。　日本語と英語には文化的な背景と思考の違いがある。文法を学びながら異文化への関心や理解を深める。 【到達目標】 英語検定試験の過去の問題から設問のポイントと正解を導く根拠を見出す。出題に慣れる。2020年には大学入試における英語力が外部の検定試験によって測られることを考慮して、検定試験に挑戦してみる。
授業の概要	教科書を使って、単元ごとのポイントを整理し、演習（和訳、英作文）を行う。英語検定準2級で使われた問題を受講者が順番に解いて、皆の前で解説を行う。簡単な英会話もDVDを活用しながら、練習し、リスニングに役立てる。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回　unit 1,2 動詞にはbe動詞と一般動詞があり、前者は状態、後者は動作、行為、状態を表す 第２回　unit 9,10 be動詞と一般動詞がいっしょに使われるのが進行形と受動態 第３回　unit3　willとshall 助動詞を使って未来を表す　　その他の形 第４回　unit 4 助動詞 may　can　must　be動詞　have　do 第５回　unit11完了形（現在完了、現在完了進行形、過去完了、過去完了進行形、未来完了）と時制 第６回　unit16　仮定法　仮定法を含む慣用表現　If-節に相当する語句、If-節が表面に出ない場合 第７回　中間考査unit6 代名詞（1）人称代名詞（2）指示代名詞（3）不定代名詞・疑問代名詞 第８回　unit5　冠詞　不定冠詞・定冠詞　　名詞、固有名詞 第９回　unit7　前置詞、unit8接続詞（等位接続詞と従属接続詞） 第１０回　句（名詞句、形容詞句、副詞句） 第１１回　節（名詞節、形容詞節、副詞節） 第１２回　unit12比較（原級、比較級、最上級と慣用表現） 第１３回　unit13不定詞（名詞用法、形容詞用法、副詞用法、原形不定詞） 第１４回　unit14動名詞（意味上の主語、慣用表現） 第１５回　unit15関係詞（関係代名詞、関係副詞）

受講生に関わる情報および受講のルール	定期考査は中間と期末の2回、実施します。必ず受験すること
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	英検問題を各自一回は発表し解説することにします。予習してもわからないところは必ず聞きに来ること。外国に興味を持ち、英語を使う仕事に関心のある受講者は英語検定試験を受験することを勧めたい。
オフィスアワー	授業終了後30分
評価方法	定期考査2回の合計とプレゼンテーション
教科書	Simply　Grammar〈Revised Edition〉南雲堂　ISBN　978-4-523-17831-6　　C0082
参考書	英検準2級過去問題集
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称： 英語Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	2単位(30)	福祉総合コース・選択
担当教員			
ﾊｲﾃﾞｨｰ･ﾍﾘﾝｼﾞｬｰ			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 英文読解スキルを体系的に学ぶことによって、外国の人とのコミュニケーションに必要な話題に関心を持ち、語彙力、英文理解力をつける 【到達目標】 1) グローバルな内容の英語の読物を通して、国際的な話題に関心を持つことができるようになる。 2) 読解を通してコミュニケーションに必要な語彙力、内容の理解がある程度できるようになる。 3) ネイティブスピーカー講師の英語に慣れ、授業に必要なリッスニング、スピーキングができるようになる。 4) 予習・復習を通して、自発的な英語学習ができるようになる。
授業の概要	読物の背景的な知識や関心の有無を考える。難しい語彙・語句、文法の意味を理解し、全文の要点をＱ＆Ａによってチェックする。音読を通して英文に慣れ、英語のスピーキングの基礎力をつける。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回　Getting better with Bee Stings　ミツバチの針による針治療　修飾（１） 第２回　Taste My Blog　ブログの人気の秘密　修飾（２） 第３回　Snake Twitter Account　動物園のコブラが逃げ出した　修飾（３） 第４回　The World's most Dangerous Car　オーストラリアの皇太子が乗った車　接続詞（１） 第５回　A Windup Computer　マサチュウセッツ工科大学が設計したパソコン　接続詞（２） 第６回　Best Taxiis in the World　世界１位のタクシーはどの国？　接続詞（３） 第７回　An Alaskan Story　明治時代にアラスカに移住した日本人　接続詞と前置詞 第８回　Stomach Robots　超小型の内視鏡　分詞構文 第９回　Cyberathlete　ゲームの世界のプロフェッショナル　分詞構文、接続詞、前置詞 第１０回　Seven years of Bad Luck　鏡にまつわる都市伝説　群前置詞 第１１回　Fashion for Dogs　イスラム教徒の少女のための人形　関係代名詞 第１２回　Unwanted Christmas Presents　もらっても嬉しくないプレゼント　関係副詞 第１３回　Camel Milk Chocolate　ラクダのミルクのチョコレート　関係形容詞 第１４回　Brand new Baby Names　子どもにつけたい名前　倒置 第１５回　Heroes in Steel Coffins　シドニーに日本軍の３隻の特殊船　省略・同格

受講生に関わる情報および受講のルール	講師の説明が理解できない時や、質問がある場合は挙手して発言する。私語を慎む。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	ICT利用（WEBフォームやメールなど）　その他（ミニテストを行う）
授業外時間にかかわる情報	授業事に指示する。
オフィスアワー	授業の前後は数分対応可能
評価方法	定期試験50%　授業への参加50%
教科書	プリズムブック3　著者　ティモシー・キゲル、武藤克彦　マクミラン　ランゲージハウス社　2015年8月20日第3刷
参考書	英和辞典・英英辞典、
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　障害者スポーツ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・選択
担当教員			
櫻井　秀雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 障がい者が豊かな生活を送るために、障がい者スポーツを理解して支援･援助できる知識･技能を習得することを目的とする。 【到達目標】 ①障がい者スポーツの意味、特性、支援･援助方法を理解できる。 ②障がい区分に応じた基本的な支援･援助技法を身に身につけることができる。 ③障がい者スポーツ指導員としての資質を身につけ、スポーツを生活の中で親しめることができる。
授業の概要	障がい者を取り巻く地域社会での福祉施策や、スポーツ環境、レクリエーションの意義、障がい区分とスポーツ活動、スポーツ傷害の予防と処置、健康つくりとリハビリテーションの意義、障がい者との交流を行いながら、障がい者スポーツの実施と障がい者のために工夫されたスポーツを学習する。「日本障がい者スポーツ指導員」野資格取得もおこなう。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回	科目オリエンテーション（障がい者スポーツ指導者に求められるもの） 【key words】障がい者　スポーツ　指導者 【授業概要】指導者への道（なぜ、障がい者スポーツ指導者を目指すのか、ボランティアとしての指導者の役割）　障がい者スポーツ指導者として必要なこと（運動の仕組みの理解、障害の理解、プレイヤーズファースト、コミュニケーションスキル、自分を振り返る）について習得する。 【教科書ページ・参考文献】教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級）　p1-5 【課題・予習・復習・授業準備指示】「障がい者の生活とスポーツ」について学習しておく。
	第２回	わが国のスポーツ施策と障がい者スポーツ（障がい者スポーツの意義と理念、障がい者スポーツ指導者制度） 【key words】　スポーツ施策　障がい者スポーツ 【授業概要】厚生労働省下での障がい者スポーツ施策、わが国のスポーツ施策と障がい者スポーツ障がい者意義、理念、これからのビジョン、障がい者スポーツ指導者制度、我が国の障がい者福祉施策、国際生活機能分類及びボランティアについての概要を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級）　p6-31 【課題・予習・復習・授業準備指示】「障害の理解とスポーツ」について学習しておく。
	第３回	障がいの理解とスポーツ（障がいの分類と概要、障がい区分） 【key words】身体障がい　知的障がい　精神障がい 【授業概要】障害の分類と概要（障害の分類、障害の概要：身体障がい・知的障がい・精神障がい、障がい層の変化、高齢化と重度化）を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級）　p32-39 【課題・予習・復習・授業準備指示】「身体障がい者スポーツ」について学習しておく。
	第４回	身体障がい者とスポーツ･レクリエーション（種類と特徴、運動とスポーツの効用、指導時の留意点） 【key words】身体障がい者　スポーツ 【授業概要】　身体障害者の種類と特徴（肢体不自由、視覚障がい、聴覚障がい、内部障がい）、身体障がい者にとっての運動およびスポーツの効用について、身体障がい者のスポーツ指導時の留意点について習得する。 【教科書ページ・参考文献】教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級）　p39-43 【課題・予習・復習・授業準備指示】「知的障がい者スポーツ」について学習しておく。
	第５回	知的障がい者とスポーツ･レクリエーション（種類と特徴、運動とスポーツの効用、指導時の留意

点）
【key words】知的障がい者　スポーツ
【授業概要】知的障がい者の種類と特徴（知的障がいの分類、知的障がいと原因疾病との関係、知的障がいと発達障がい）、運動スポーツの効用（運動の獲得により生活能力が高まる、動くことから学ぶ）、指導上の留意点や発達段階に応じた支援、指導について習得する。
【教科書ページ・参考文献】教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級）　p44-49
【課題・予習・復習・授業準備指示】「精神障害者のスポーツ」について学習しておく。

第６回　精神障がい者とスポーツ･レクリエーション（種類と特徴、運動とスポーツの効用、指導時の留意点）
【key words】　精神障がい者　スポーツ
【授業概要】精神障がい者の種類と特徴、精神障がい者にていする運動スポーツの効用（スポーツの治療効果）、指導上の留意点や精神障がい者スポーツの流れについて習得する。
【教科書ページ・参考文献】教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級）　p50-53
【課題・予習・復習・授業準備指示】「安全管理」について学習しておく。

第７回　安全管理（指導者の安全配慮義務、安全管理の留意点、救命手当・応急手当）
【key words】　安全確認　安全指導
【授業概要】スポーツ指導者の安全配慮義務、リスクマネジメント、「ハインリッヒの法則」と「ヒヤリ・ハット」、安全管理の留意点（準備段階、当日、終了後）、一般市民のおこなう手当（救命手当、・応急手当）の対応等を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級）　p54-61
【課題・予習・復習・授業準備指示】「全国障がい者スポーツ大会」について学習しておく。

第８回　全国障がい者スポーツ大会（歴史・意義、目的、実施競技、障がい区分）
【key words】スポーツ　ノーマライゼイション　障害区分
【授業概要】全国障がい者スポーツ大会競技規則の原則（競技規則の原則、障害区分）、全国障がい者スポーツ大会の歴史･意義、目的（歴史、大会の目的）、全国障がい者スポーツ大会の実施競技（概要、競技･種目）等大会の概要を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】　教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級）　p64～p77
【課題・予習・復習・授業準備指示】「障がい者スポーツの競技種目」について学習しておく。

第９回　障がい者スポーツの理解（視覚障がい者の陸上競技：ウォーク＆ラン）
【key words】　視覚障がい
【授業概要】アイマスク、補助用具（誘導紐）を着用して、視覚障がい者のウォーキングを体験する。さらにタンバリン、笛、誘導音を利用して、ランニングをおこない、視覚障がい者のスポーツ体験を通じたアクティブラーニングで学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級）　p100～101
【課題・予習・復習・授業準備指示】「視覚障がい者スポーツ」を復習しておく。

第１０回　障がい者スポーツの理解（脊椎損傷者のバレーボール：シッティングバレーボール）
【key words】身体障がい　脊椎損傷
【授業概要】ネットの高さ、コートの広さ、選手の人数、ボールの軽さ等を工夫した、脊椎損傷者のバレーボール（シッティングバレーボール）をおこなう。脊椎損傷者の動きをアクティブラーニングで体験するとともに､障がいの理解をより深める。
【教科書ページ・参考文献】教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級）　p114～p119、ｐ223【課題・予習・復習・授業準備指示】「身体障がい：脊椎き損傷者のスポーツ」について復習しておく。

第１１回　障がい者スポーツの理解（視覚障がい者の卓球：サウンドテーブルテニス）
【key words】視覚障がい　アイマスク
【授業概要】球競技を、ネットの下を転がす、音の出るボール、木のラケットを使用するように工夫して、視覚障がい者がゲームが楽しめるよう工夫した卓球をアクティブラーニングとして体験する。全国障害者スポーツ大会の種目である。視覚障がいの理解をより深く学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級）　p96-99
【課題・予習・復習・授業準備指示】「視覚障がい者スポーツ」について復習しておく。

第１２回　障がい者スポーツの理解（視覚障がい者のサッカー：ブラインドサッカー）
【key words】サウンド　チームワーク　　声かけ
【授業概要】サッカーのボールに鈴を入れ、選手が音を体感しながら、パス、ドリブル、シュート等の技術を体験する。選手はアイマスクを着用し、はじめは誘導紐を使用しパートナーの声かけでボールの感覚をつかむ。アクティブラーニングを通しながらコミュニケーション力を養い障がいの理解をする。
【教科書ページ・参考文献】教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級）　p128-131
【課題・予習・復習・授業準備指示】「障がい者との交流」について学習しておく。

第１３回　障がい者との交流（障がい者のスポーツ大会、レクリエーション活動等で交流学習：１回目）
【key words】障がい　ふれあい　ボランティア　支援　援助
【授業概要】障害者との交流をとおして、障害者の日常生活を通じてのコミュニケーション能力の向上や、スポーツ活動を共にする経験を通じて障害者への理解を深め、障害者のスポーツ活動を学ぶ。社会福祉協議会・障害者支援センターでの「海浜訓練」で泊を共にした交流の中で習得することも大いに推奨する。
【教科書ページ・参考文献】教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級）　p234-235
【課題・予習・復習・授業準備指示】「障がい者との交流」についてレポートにまとめておく。

第１４回　障がい者との交流（障がい者のスポーツ大会、レクリエーション活動等で交流学習：２回目）
【key words】障がい　ふれあい　ボランティア　支援　援助
【授業概要】障害者との交流をとおして、障害者の日常生活を通じてのコミュニケーション能力の向上や、スポーツ活動を共にする経験を通じて障害者への理解を深め、障害者のスポーツ活動を学ぶ。社会福祉協議会・障害者支援センターでの「海浜訓練」で泊を共にした交流の中で習得することも大いに推奨する。
【教科書ページ・参考文献】教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級）　p234～p235
【課題・予習・復習・授業準備指示】障がい者との交流」についてレポートにまとめておく。

第１５回　まとめ
【key words】　障がい者スポーツ
【授業概要】障がい者スポーツの学習内容のまとめをおこない、障害者との交流や障がい者スポーツの実践研究を個々に発表して、障がい者スポーツ指導者としての資質を習得する。

	【教科書ページ・参考文献】教科書：新版障がい者スポーツ指導教本（初級・中級） 【課題・予習・復習・授業準備指示】障がい者スポーツ指導者としての資質向上と地域貢献活動に積極的に参加できるように理解させる。
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講者に関する情報〕 ・障がい者の生活支援を念頭に置き、真摯な態度で受講する。 ・実技は運動着、運動靴、メモの用意をする。 〔受講のルール〕 ・着替え等は迅速にして授業の用具準備をおこなう。 ・教材の整頓、会場の清掃は全員で協力しておこなう。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	施設実習や障がい者へのボランティア活動をとおして、障がい者スポーツの情報を収集しておく。
オフィスアワー	木曜日　13:00～16:00　　他の時間帯の希望のときはアポイントを取っていただく
評価方法	筆記試験･レポート試験（70%）　実技試験（30%）の総合評価
教科書	日本障がい者スポーツ協会編：新版障がい者スポーツ教本（初級・中級）：ぎょうせい：2019
参考書	井田朋宏：NO　LIMIT（障がい者スポーツ情報誌）：日本障がい者スポーツ協会：2019（年4回発刊）
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 教職（保健体育科教諭・管理職）教育行政（体育課、生涯スポーツ課）福祉行政（障害福祉課、社会福祉課、保健福祉課）社会福祉事業団、県立ふれあいスポーツプラザ（障がい者スポーツセンター）次長・指導課長等の経験（延べ52年）を元に指導を行っている。 アクティブラーニング要素 ■協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　介護の基本Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	4単位(60)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
岩崎　文明			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 介護の対象となる人々の「生活の理解」や「自立支援」、「尊厳の保持」等について理解を深め、生活者として主体的に生きることが可能にするための人間尊重を基盤とした介護観を養う。 【到達目標】 ①介護の対象に対する理解を深めることができる。 ②対象の個別性を理解し、介護展開の方法を理解する。 ③さまざまな介護理論を学び、自己の介護観を確立する。
授業の概要	生活者を理解し、自立支援、尊厳の保持等について学習し、介護の対象となる人の生活を支える意識や実践なついての自分たちの生活に照らして考えていく。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　ガイダンス、授業計画や履修上の注意点など 【key words】 ガイダンス 【授業概要】 ・授業の進め方、評価、学生の目指す専門職とは等についての概説 ・介護の基本についての概説 【教科書ページ・参考文献】 板書による説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること 第２回　生活とは何か 【key words】 生活 【授業概要】 ・生活とは何か 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ71-74 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること 第３回　生活の特性 【key words】 生活の特性 【授業概要】 ・生活の特性 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ71-80 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること 第４回　日本における介護の成り立ち①　施設での介護 【key words】 介護の成り立ち 【授業概要】

		・施設での介護 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ3-8 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること
	第５回	日本における介護の成り立ち②　老人福祉法の制定期以降の施設での質的変化 【key words】 介護の成り立ち② 【授業概要】 ・老人福祉法制定以降の質的変化 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ9-10 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること
	第６回	日本における介護の成り立ち③　在宅での介護 【key words】 介護の成り立ち③ 【授業概要】 ・在宅での介護 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ8-9 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること
	第７回	介護の見方・考え方の変化 【key words】 介護の見方・考え方の変化 【授業概要】 ・介護とは 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ5-6 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること
	第８回	高齢者や障害者の暮らし 【key words】 高齢者や障害者の暮らし 【授業概要】 ・それぞれの暮らし 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ79-84 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること
	第９回	その人らしさの理解①　その人らしさの背景と背景と生活様式・生活文化の多様性 【key words】 その人らしさの理解① 【授業概要】 ・その人らしさの背景と生活様式・生活文化の多様性 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ16-18 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること
	第１０回	その人らしさの理解②　社会の変化とその人らしさとは 【key words】 その人らしさの理解② 【授業概要】 ・社会の変化とその人らしさ 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ75-78 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること
	第１１回	生活環境①　生活環境と介護機器等 【key words】 生活環境① 【授業概要】 ・介護機器 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ16-18 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること
	第１２回	生活環境②　くつろぎの場と居場所等 【key words】 生活環境② 【授業概要】 ・くつろぎの場と居場所 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ16-18 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること
	第１３回	生活障害の理解 【key words】 生活環境② 【授業概要】

		・くつろぎの場と居場所 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ125-128 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること
	第１４回	生活ニーズ 【key words】 生活ニーズ 【授業概要】 ・生活ニーズ 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ129-130 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること
	第１５回	前期のまとめ 【key words】 前期まとめ 【授業概要】 ・レポート作成 【教科書ページ・参考文献】 介護の基本ＤＶＤ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること
	第１６回	後期ガイダンス　前期授業の振り返りと後期授業の内容等 【key words】 介護の基本 【授業概要】 ・前期授業の振り返りと後期授業の内容 ・介護の基本についての概説 【教科書ページ・参考文献】 板書による説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること
	第１７回	自立に向けた介護のための介護職の役割 【key words】 介護職の役割 【授業概要】 ・介護職の役割 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ11-12 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること
	第１８回	利用者合わせた生活支援　共感と個別ケア 【key words】 生活支援 【授業概要】 ・共感と個別ケア 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ12-14 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること
	第１９回	自立に向けた支援　手続きの記録等 【key words】 自立に向けた支援 【授業概要】 ・記録 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ227-229 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること
	第２０回	介護の専門性 【key words】 専門性 【授業概要】 ・専門性 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ22-27 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること
	第２１回	介護職が行う生活支援①　生活支援について 【key words】 生活支援① 【授業概要】 ・生活支援 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ91-97 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること
	第２２回	介護職が行う生活支援②　身体介護 【key words】 生活支援②

	【授業概要】 ・身体介護 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ91-97 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること 第２３回　介護職が行う生活支援③　家事援助と相談・援助等 【key words】 生活支援③ 【授業概要】 ・家事援助と相談 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ91-97 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること 第２４回　尊厳を支える介護①　尊厳を支える介護について 【key words】 尊厳を支える介護 【授業概要】 ・尊厳を支える介護 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ29-32 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること 第２５回　尊厳を支える介護②　QOLの考え方とノーマライゼーション 【key words】 ＱＯＬ 【授業概要】 ・ノーマライゼーション 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ32-34 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること 第２６回　介護におけるICFの考え方 【key words】 ＩＣＦの考え方 【授業概要】 ・ＩＣＦの考え方 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ84-86 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること 第２７回　ICFの視点に基づくアセスメント 【key words】 ＩＣＦの視点 【授業概要】 ・アセスメント 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ86-90 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること 第２８回　介護におけるリハビリテーション専門職との連携 【key words】 リハビリテーション 【授業概要】 ・専門職との連携 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ35-43 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること 第２９回　リハビリテーション専門職との連携 【key words】 リハビリテーション 【授業概要】 ・専門職との連携 【教科書ページ・参考文献】 Ｐ43-46 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護の基本についての把握に努めること 第３０回　後期のまとめ 【key words】 まとめ 【授業概要】 まとめ 【教科書ページ・参考文献】 まとめ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により認知症についての把握に努めること
受講生に関わる情報および受講のルール	介護の基本Ⅱは、介護福祉士の役割を学び出発点である。自立支援や尊厳を支える介護、生活支援などを理解できるように授業に参加すること。

毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	授業は、単元ごとに課題や小テストなどを出すので、しっかり取り組むこと。
オフィスアワー	火曜日・水曜日・木曜日の昼休み
評価方法	テスト　(60%)、レポートや小テスト　(20%)、授業への参加態度など　(20%)を加味して評価する。
教科書	「介護の基本」　日本介護福祉士養成施設協会
参考書	授業で、参考資料等を配布する。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 高齢者・障害者福祉施設の介護職員を行っていた アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　介護の基本Ⅲ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	4単位(60)	介護福祉コース・福祉総合コース・選択／介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
清水　久二雄・岩﨑　文明			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 自立に向けた介護（自立支援）という新しい介護の考え方を理解するとともに、「介護を必要とする人」を、生活の観点やICFの視点から捉えられるようになることを目的とする。 〔到達目標〕 ① ICFの視点から人の生活の状態像を把握できる。 ② 自立に向けた介護（自立支援）の考え方に基づいた対象者の生活支援の在り方を理解できる。
授業の概要	介護とは、単にできないことを手伝う（介助する）のではなく、介護を必要とする人が、可能な限り自分らしく生活できるように支援するものである。このことを理解するためにICFの視点は専門職種者にとって必要で不可欠な知識となっている。この科目では、このことに係る学びを中心にして、実生活の中にICFの視点を通じた観察ができるように授業を展開する。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　前期科目オリエンテーション　目的、目標、履修上の注意点、評価方法等を説明 【key words】 介護過程・専門職 【授業概要】 ・授業の進め方、評価、学生の目指す専門職とは等についての概説 ・介護過程についての概説 【教科書ページ・参考文献】 板書による説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護過程についての把握に努めること 第２回　介護におけるICFの重要性について 【key words】 ICFの重要性 【授業概要】 ・生きることの全体像、共通言語の概説 【教科書ページ・参考文献】 P8-15 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護過程についての把握に努めること 第３回　生活機能と生活機能モデル　生活機能の３つのモデル 【key words】 生活機能の３つのモデル 【授業概要】 ・ICFの３つのレベルの概説 【教科書ページ・参考文献】 P18-21 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護過程についての把握に努めること

	第４回	生活機能に影響する因子について　健康状態　背景因子　「障害」について 【key words】 健康状態・背景因子 【授業概要】 ・生活機能に影響する因子の概説 【教科書ページ・参考文献】 P22-26 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護過程についての把握に努めること
	第５回	「国際障害分類（ICIDH）」から「国際生活機能分類（ICF）」への改訂　共通言語 【key words】 ICIDH・ICF 【授業概要】 ・国際障害分類から国際生活機能分類への移行の概説 【教科書ページ・参考文献】 P27-33 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護過程についての把握に努めること
	第６回	「活動」について　生活行為　　（第2回～5回までの小テスト） 【key words】 活動 【授業概要】 ・活動についての理解を深める 【教科書ページ・参考文献】 P36-38 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護過程についての把握に努めること
	第７回	「実行状況」と「能力」について　　している活動　　できる活動 【key words】 している活動・できる活動 【授業概要】 ・している活動・できる活動の理解を深める 【教科書ページ・参考文献】 P39-43 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護過程についての把握に努めること
	第８回	「自立」の捉え方　自立に向けた介護　自立支援　限定的自立　普遍的自立 【key words】 自立の捉え方 【授業概要】 ・自立についての理解を深める 【教科書ページ・参考文献】 P43-46 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護過程についての把握に努めること
	第９回	人の生活　詳細な活動の把握 【key words】 人の生活 【授業概要】 ・活動の把握の理解を深める 【教科書ページ・参考文献】 P46-49 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護過程についての把握に努めること
	第１０回	「実行状況（している活動）」を理解する意義　　（第6回～9回までの小テスト） 【key words】 実行状況 【授業概要】 ・している活動の理解を深める 【教科書ページ・参考文献】 P50-54 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護過程についての把握に努めること
	第１１回	生活機能の３レベル間の相対的独立性 【key words】 相対的独立性 【授業概要】 ・生活機能の３レベル間の理解を深める 【教科書ページ・参考文献】 P56-63 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護過程についての把握に努めること
	第１２回	ICFの視点に立った介護のあり方 【key words】 ICFの視点 【授業概要】 ・介護のあり方（よくする介護）の理解を深める 【教科書ページ・参考文献】 P66-77 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により介護過程についての把握に努めること

第１３回　ICFの視点に立ったアセスメント
【key words】
ICFの視点
【授業概要】
・アセスメントの理解を深める
【教科書ページ・参考文献】
P80-84
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業での板書事項の際確認および諸文献により介護過程についての把握に努めること

第１４回　「活動」のと他の構成要素との相互作用
【key words】
相互作用
【授業概要】
・相互関係と相互作用の重視の理解を深める
【教科書ページ・参考文献】
P85-89
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業での板書事項の際確認および諸文献により介護過程についての把握に努めること

第１５回　前期まとめ　前期定期試験告知　　（第10回～14回までの小テスト）
【key words】
前期まとめ
【授業概要】
・レポート作成
【教科書ページ・参考文献】
事例を通して
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業での板書事項の際確認および諸文献により介護過程についての把握に努めること

第１６回　後期科目オリエンテーション　目的、目標、履修上の注意点、評価方法等を説明
〈キーワード〉　地域と福祉、ネットワークの創生、技術革新
〈テキスト〉　配布資料
〈授業概要〉
後期授業の目的、目標、履修上の注意点、評価方法等を説明する。特に後期は前期で学んだICFについての　学びに基いて、これからの社会情勢に応じた具体的な検討を行っていく。地域と福祉、技術革新、など福祉　のこれからの可能性について検討していく。
〈課題・復習・予習・授業準備〉　地域の中にある様々な福祉について調べ、整理しまとめておくこと。

第１７回　現在の社会情勢から考える今後の課題①　人口・産業構造・第2の現役について
〈キーワード〉　人口構造、高齢世帯、社会参加
〈テキスト〉　配布資料(高齢者の現状)
〈授業概要〉
現在の社会状況について配布資料を基づいて、今後の課題になりそうなことは何かについて考え、それらを
全体で討議していく。
〈課題・復習・予習・授業準備〉　討議した内容について、ショートレポートとしてまとめておく。次回老老　介護・認認介護に　ついて調べておく。

第１８回　現在の社会情勢から考える今後の課題②　老老介護・認認介護について
〈キーワード〉　老老介護・認認介護
〈テキスト〉　配布資料(高齢者の現状)
〈授業概要〉
現在の社会状況において老老介護・認認介護といわれる状態で生活していく世帯が増えている現状である
が、それらについて調べ、同時にどのような支援が必要かについて検討していく。
〈課題・復習・予習・授業準備〉　討議した内容について個人の考え方を整理して記載しておく。次回介護離　職・ダブルケア・　ヤングケアラーについて調べておく。

第１９回　現在の社会情勢から考える今後の課題③　介護離職・ダブルケア・ヤングケアラー・について
〈キーワード〉　介護離職・ダブルケア・ヤングケアラー
〈テキスト〉　配布資料(高齢者の現状)
〈授業概要〉
現在の社会状況において介護離職・ダブルケア・ヤングケアラーについては日本の社会構造を揺るがしかね
ない、大きな課題であると言えるが、対人援助職として果たす役割は何かについて調べ、同時にどのような
役割があるのかについて検討していく。
〈課題・復習・予習・授業準備〉　討議した内容について個人の考え方を整理して記載しておく。次回、子ど　も食堂について調　べておく。

第２０回　地域のニーズを考える。①(こども食堂の役割りについて)
〈キーワード〉　子ども食堂・孤独の解消
〈テキスト〉　DVD　配布資料　ワークシート
〈授業概要〉
夫婦共働き世態において、子ども達の居場所の課題、バランスの取れた栄養、対人交流などのニーズによ
り、現在は地域の中にある子ども食道へのニーズは高まっている。子ども食道を通じて、インクルージブな
視点から、地域にはどのようなニーズがあるのかについて検討していく。
〈課題・復習・予習・授業準備〉　討議した内容について個人の考え方を整理して記載しておく。次回、農・　福連携について調　べておく。

第２１回　地域のニーズを考える。②(農・福連携について)
〈キーワード〉　農・福連携、互助
〈テキスト〉　DVD　配布資料　ワークシート
〈授業概要〉
障害のある人が社会参加を果たすために慢性的な人手不足の状態にある農業と福祉が連携する

事業が注目さ　れている。農・福が連携し、互助の精神による運営の視点から、地域の中にある様々なニーズと資源をマッ　チングすることについて検討していく。
〈課題・復習・予習・授業準備〉　討議した内容について個人の考え方を整理して記載しておく。次回、注文　を間違えるレスト　ランについて調べておく。

第２２回　地域のニーズを考える。③(注文を間違えるレストランについて)
〈キーワード〉　認知症、活動
〈テキスト〉　DVD　配布資料　ワークシート
〈授業概要〉
　認知症があってもレストランを経営し社会参加を果たしている事例を通じて、地域の中にある資源をどのよ　うに引き出していくのか、またそのような力を支えていくについてどのような支援が必要なことは何かにつ　いて検討していく。
〈課題・復習・予習・授業準備〉　討議した内容について個人の考え方を整理して記載しておく。次回、先進　技術と社会参加に　ついて調べておく。

第２３回　社会参加することを考える。①(分身ロボットによる社会参加とは)
〈キーワード〉　ロボット、アバター、参加
〈テキスト〉　DVD　配布資料　ワークシート
〈授業概要〉
　重度の障害のある人が、自らの分身によって間接的に社会参加する意義について検討し、様々な技術革新　によって、社会参加の可能性について検討していく。
〈課題・復習・予習・授業準備〉　討議した内容について個人の考え方を整理して記載しておく。次回、障害　がある人、ない人　子どもなどを区別せず地域住民みんなが使えるサービスについて調べておく。

第２４回　社会参加することを考える。②(みんなの家)
〈キーワード〉　複合、統合、相互扶助
〈テキスト〉　DVD　配布資料　ワークシート
〈授業概要〉
　障害がある人、ない人、子どもなどを区別せず地域住民みんなが集まることでそれぞれの役割の創出、互助の効果について考える。
〈課題・復習・予習・授業準備〉　討議した内容について個人の考え方を整理して記載しておく。次回、地域　ビジネスの検討に　ついて調べておく。

第２５回　地域の資源を活かす①(トラベルヘルパーとは)
〈キーワード〉　トラベルヘルパー
〈テキスト〉　DVD　配布資料　ワークシート
〈授業概要〉
　障害のある人、要介護高齢者の中に、「旅行したい」というニーズがあるが、その夢を具現化するために　はどのような取り組みが必要かを紹介しつつ、26回以降の地域ビジネスのまとめのヒントとする。
〈課題・復習・予習・授業準備〉　討議した内容について個人の考え方を整理して記載しておく。次回、地域ビジネスの検討に　ついて調べておく。

第２６回　地域ビジネスの検討①(素案づくりとグルーピング)
〈キーワード〉　地域ビジネス
〈テキスト〉　配布資料　ワークシート　付箋紙
〈授業概要〉
　前回の授業から、互助の精神を活用した地域ビジネスの素案を作成し、それらに基いてグループをつくる　第29回の授業のポスターセッションまでの具体的な進行について討議を行う。
〈課題・復習・予習・授業準備〉　討議した内容について個人の考え方を整理して記載しておく。計画的にグ　ループの調べ学習
　などをすすめて欲しい。

第２７回　地域ビジネスの検討②(調べ学習とまとめ)
〈キーワード〉　地域ビジネス
〈テキスト〉　配布資料　ワークシート　付箋紙
〈授業概要〉
　前回の授業で構成したグループで、具体的な地域ビジネスの計画書を作成し、どのようなニーズに対して
　どのような効果があるのかについて、しっかりとグループで吟味する。
〈課題・復習・予習・授業準備〉　討議した内容について個人の考え方を整理して記載しておく。計画的にグ　ループの調べ学習
　などをすすめて欲しい。

第２８回　地域ビジネスの検討③(ポスターづくり)
〈キーワード〉　地域ビジネス
〈テキスト〉　配布資料　ワークシート　付箋紙
〈授業概要〉
　前回の授業でグループで吟味した内容を90分の時間内で製作しまとめ、次回のポスターセッションに備　える。
〈課題・復習・予習・授業準備〉討議した内容について個人の考え方を整理して記載しておく。計画的にグ　ループの調べ学習
　などをすすめて欲しい。

第２９回　地域ビジネスの発表　(ポスターセッション)
〈キーワード〉　地域ビジネス
〈テキスト〉　作成したポスター
〈授業概要〉
　それぞれのグループで製作したポスターを掲示し、それぞれのチームで発表を行い、その後振り返りを行　う。
〈課題・復習・予習・授業準備〉　討議した内容について個人の考え方を整理して記載しておく。計画的にグ　ループの調べ学習
　などをすすめて欲しい。

第３０回　後期まとめ　後期定期試験告知
〈キーワード〉　ICF　相互扶助　互助
〈テキスト〉　配布資料
〈授業概要〉
　ICF全般を振り返り、建設的で、可能性の高い支援について何が必要かについて考え、全体で討

	議し学びの　集大成を行う。 〈復習〉　これまでのレポートをまとめ、整理するようにして欲しい。
受講生に関わる情報および受講のルール	受講上のルールとして、私語は禁止とする。私語は相手、周囲の者に対しての迷惑行為である。厳に慎むことを自覚して授業に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	普段の生活から、生活機能（ICF）の視点を意識するとこの科目の理解がしやすい。特に生活支援実習の課題について、この科目の学びが援用できるように
オフィスアワー	木曜日・金曜日の14:00-16:00)
評価方法	①前期：小テスト（全3回）30%、定期試験70%　　②後期：レポート課題100%
教科書	「よくする介護」を実践するためのICFの理解と活用　大川弥生　中央法規出版
参考書	ICFをとり入れた介護過程の展開　黒澤貞夫　建帛社
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 介護施設において働いていた アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　介護報酬請求事務　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	選択
担当教員			
関口　喜久代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的・到達目標】 ①サービス提供表より介護保険請求レセプトを作成することができる。 ②わが国の介護保険制度の概要としくみを理解し、多種類の居宅サービスや施設サービス費の算定方法を習得する。 ③介護保険制度をより深く学ぶ。
授業の概要	授業は講義およびレセプト作成の方法を学ぶ。テキストは実務編や学科編を使用し、単位数はコード表から検索する。テキストから、加算・減算を参照し、サービスの種類別にレセプト作成を行う。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回　ガイダンス・介護保険制度導入の背景 第２回　介護保険制度の概要① 第３回　介護保険制度の概要② 第４回　介護保険給付の仕組み・介護報酬 第５回　地域区分単価 第６回　在宅サービス支給限度基準額 第７回　その他の利用料 第８回　居宅サービスの算定方法・レセプト作成 第９回　居宅サービスの算定方法・レセプト作成 第１０回　居宅サービスの算定方法・レセプト作成 第１１回　居宅サービスの算定方法・レセプト作成 第１２回　居宅サービスの算定方法・レセプト作成 第１３回　居宅サービスの算定方法・レセプト作成 第１４回　施設サービスの算定方法・レセプト作成 第１５回　施設サービスの算定方法・レセプト作成 第１６回　居宅サービスの算定方法・レセプト作成 第１７回　居宅サービスの算定方法・レセプト作成

	第１８回　　施設サービスの算定方法・レセプト作成 第１９回　　施設サービスの算定方法・レセプト作成 第２０回　　施設サービスの算定方法・レセプト作成 第２１回　　地域密着型サービスの算定方法・レセプト作成 第２２回　　地域密着型サービスの算定方法・レセプト作成 第２３回　　認知症対応型共同生活介護施設の算定方法・レセプト作成 第２４回　　認知症対応型共同生活介護施設の算定方法 第２５回　　介護予防サービスの算定方法・レセプト作成 第２６回　　介護予防サービスの算定方法・レセプト作成 第２７回　　練習問題 第２８回　　練習問題 第２９回　　模擬試験 第３０回　　模擬試験
受講生に関わる情報および受講のルール	1. 講義中の迷惑な行為は慎む。（私語や携帯電話の使用等） 2. 卓上用の計算機を準備すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	毎回の講義・演習内容を主に復習を重ねる。
オフィスアワー	授業終了後30分
評価方法	授業態度 20%、筆記試験・実技試験 80%　　※出席状況・授業態度も含んで総合的に評価する。
教科書	介護保険事務士養成テキスト （実務編・学科編・介護給付費単位数等サービスコード表介護報酬の算定構造）
参考書	必要時、資料を配布する。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　こころとからだのしくみⅡ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	4単位(60)	必修
担当教員			
赤田　実千代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 ①生活障害が生じている人の生活を支援するために、加齢やさまざまな疾患でどのような生活障害が生じるのかを理解する。 ②終末期の支援をするために、終末期から「死」に至るまでの心身の機能変化と特徴を理解する。 【到達目標】 ①加齢やさまざまな疾患で、どのような生活障害が生じるのか具体的に説明することができる。 ②身じたく、移動、食事、入浴、、排泄、睡眠の生活活動別に、生活を支援する方法を具体的に説明することができる。③「死」に向かう人とその家族を支援する方法を具体的に説明することができる。
授業の概要	人を理解するうえで大切な、生理学、運動学、精神心理学等をもとに、加齢やさまざまな疾患でどのような生活障害が生じるかを解説します。そのうえで、身じたく、移動、食事、入浴、排泄、睡眠の生活活動別に、生活を支援する方法を学習します。また、「死」に向かう人の心身の機能変化を踏まえ、死にゆく人とその家族を支援する方法を学習します。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　　オリエンテーション　／　健康とは 第２回　　からだのしくみ①　心身の調和　／　生命の維持と恒常性のしくみ　／　細胞・遺伝 第３回　　からだのしくみ②　循環器　／　呼吸器　／　骨格　／　筋肉 第４回　　からだのしくみ③　神経　／　バイタルサイン 第５回　　からだの動き 第６回　　人間の欲求とは　／　自己実現と尊厳 第７回　　こころのしくみ 第８回　　移動に関連したしくみ①　移動の基礎知識　／　移動のしくみ 第９回　　移動に関連したしくみ②　心身の機能低下が移動に及ぼす影響 第１０回　　移動に関連したしくみ③　変化の気づきと対応

	第１１回　　食事に関連したしくみ①　食事の基礎知識 第１２回　　食事に関連したしくみ②　食事のしくみ 第１３回　　食事に関連したしくみ③　心身の機能低下が食事に及ぼす影響 第１４回　　食事に関連したしくみ④　変化の気づきと対応 第１５回　　前期のまとめ 第１６回　　排泄に関連したしくみ①　排泄の基礎知識　／　排泄のしくみ 第１７回　　排泄に関連したしくみ②　心身の機能低下が排泄に及ぼす影響 第１８回　　排泄に関連したしくみ③　変化の気づきと対応 第１９回　　入浴に関連したしくみ①　入浴・清潔保持の基礎知識　／　入浴・清潔保持のしくみ 第２０回　　入浴に関連したしくみ②　心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響 第２１回　　入浴に関連したしくみ③　変化の気づきと対応 第２２回　　身じたくに関連したしくみ①　身じたくの基礎知識　／　身じたくのしくみ 第２３回　　身じたくに関連したしくみ②　心身の機能低下が身じたくに及ぼす影響 第２４回　　身じたくに関連したしくみ③　変化の気づきと対応 第２５回　　睡眠に関連したしくみ①　睡眠の基礎知識　／　睡眠のしくみ 第２６回　　睡眠に関連したしくみ②　心身の機能低下が睡眠に及ぼす影響 第２７回　　睡眠に関連したしくみ③　変化の気づきと対応 第２８回　　死にゆく人に関連したしくみ①　「死」を理解する 第２９回　　死にゆく人に関連したしくみ②　終末期から「死」までの変化の特徴　／　「死」に対するこころの理解 第３０回　　死にゆく人に関連したしくみ③　医療職との連携ポイント　／　後期のまとめ
受講生に関わる情報および受講のルール	［受講生に関わる情報］ 講義の冒頭で前回講義のミニテストを実施するため、復習をした上で講義に臨むこと。 ［受講ルール］ 私語を慎む、携帯電話の電源を切る。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード
授業外時間にかかわる情報	「こころとからだのしくみⅠ」で学習した人体の構造と機能について理解したうえで講義に臨むこと。
オフィスアワー	金曜日10：30～12：40
評価方法	定期試験60%　、課題及びミニテスト20%、授業態度（グループワークの取り組みなど）20%
教科書	介護福祉士養成テキスト5「発達と老化の理解/認知症の理解/障害の理解/こころとからだのしくみ」日本介護福祉士養成施設協会編
参考書	必要に応じて印刷資料を使用。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院の病棟看護、前期高齢者保健指導、企業内健康管理室の看護師業務など看護師実務経験を活かし、介護・福祉の支援に必要な知識について講じます。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習

	□ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称： 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	4単位(60)	２年生
担当教員			
真下　潔			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 児童福祉の現状と課題を理解し、支援のあり方や福祉制度を学ぶことにより、社会福祉業務に必要な知識等を身につけることを目的とする。 【到達目標】 ①現代の児童福祉の現状と課題、児童福祉の理念、児童福祉の関係法令・実施体制・専門職・権利擁護が理解できる。 ②社会福祉士や児童指導員等有資格者として必要な児童福祉の基本的な知識を修得できる。
授業の概要	教科書により、前期は、子育ての現状と課題、次世代育成支援策、児童福祉ニーズ、権利保障、児童福祉の法体系、等について講義を行う。 後期は、障害児、児童の健全育成、子育て支援、社会的養護児童、非行児童、被虐待児等の現状支援策について講義を行う

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　科目オリエンテーション ＜key words＞ 授業の受け方 ＜授業概要＞ 授業の受け方、予習復習、評価の方法などを説明 ＜教科書＞ 目次 第２回　少子高齢化社会と次世代育成支援 ＜key words＞ 少子化、次世代への課題 ＜授業概要＞ 現代までの社旗状況を踏まえて、次の社会への課題や解決案を考える。 ＜教科書＞ 第３回　現代社会と子ども家庭の問題 ＜key words＞ 子育て、養育力、発達、子育て支援、 ＜授業概要＞ 現代社会の子育て支援の必要性について考える。 ＜教科書＞ ３４－５５ 第４回　子どもの育ち、子育てニーズ ＜key words＞ 「子ども家庭福祉」、福祉的ニーズ ＜授業概要＞ 「児童福祉」から「子ども家庭福祉」への変遷とニーズの変化を学ぶ ＜教科書＞ ４７－５５ 第５回　子どものための福祉の原理・子ども家庭福祉の理念 ＜key words＞ 「子ども」とは ＜授業概要＞

		「子ども」」について、多視点で学ぶ ＜教科書＞ ６－１０
	第６回	子ども家庭の権利保障 ＜key words＞ 権利擁護、第三者評価 ＜授業概要＞ 子育て支援、養育支援の中での権利擁護について知る ＜教科書＞ １１６－１２３
	第７回	児童福祉の発展１ ＜key words＞ 子ども家庭福祉の歴史 ＜授業概要＞ 歴史的視点で、児童福祉を理解する ＜教科書＞ １９－３３
	第８回	児童福祉の発展２ 同上
	第９回	子ども家庭福祉の法体系 ＜key words＞ 法の理解 ＜授業概要＞ 児童福祉法及びその関連法について、概要を知る。 ＜教科書＞ ５６－８３
	第１０回	子ども家庭福祉の実施体制１ ＜key words＞ 行政機関、児童福祉施設 ＜授業概要＞ 児童福祉の実施機関とそこにいる専門職の役割を知る ＜教科書＞ ８４－９９
	第１１回	子ども家庭福祉の実施体制２ 同上
	第１２回	子ども家庭福祉の財政 ＜key words＞ 福祉の財源 ＜授業概要＞ 児童福祉の財源（国、都道府県、市町村）の仕組みを知る。 ＜教科書＞ １００－１０４
	第１３回	子ども家庭福祉の専門職 ＜key words＞ 専門職、任用条件 ＜授業概要＞ 児童福祉領域の専門職とその任用条件を知る ＜教科書＞ １０５－１１５
	第１４回	苦情解決と権利擁護 ＜key words＞ 権利擁護、苦情解決、第三者評価 ＜授業概要＞ 権利ノート等子どもの権利擁護について学ぶ ＜教科書＞ １１６－１２３
	第１５回	母子保健 ＜key words＞ 母子保健の児童福祉で果たす役割 ＜授業概要＞ 母子保健が児童福祉領域で果たす役割について知る ＜教科書＞ １２７－１３９
	第１６回	障害・難病のある子どもと家族への支援１ ＜key words＞ 障害児、病児 ＜授業概要＞ 障害児や難病児、病児に係る児童福祉の役割を概観する ＜教科書＞ １４０－１５５
	第１７回	障害・難病のある子どもと家族への支援２ 同上
	第１８回	児童健全育成 ＜key words＞ 健全育成 ＜授業概要＞ 児童福祉における児童健全育成の動向と施策を学ぶ ＜教科書＞

	１５６－１６４ 第１９回　保育１ ＜key words＞ 保育 ＜授業概要＞ 保育制度の概要と保育士の専門性及び役割について学ぶ ＜教科書＞ １６５－１７３ 第２０回　保育２ 同上 第２１回　子育て支援 ＜key words＞ 地域子育て支援 ＜授業概要＞ 地域子育て支援の意味と支援事業について学ぶ ＜教科書＞ １８４－１９４ 第２２回　ひとり親家庭の福祉１ ＜key words＞ 片親家庭、貧困 ＜授業概要＞ 一人親家庭に対する理解と法的支援について、社会状況に合わせて学ぶ ＜教科書＞ １９５－２０６ 第２３回　ひとり親家庭の福祉２ 同上 第２４回　児童の社会的養護１ ＜key words＞ 社会的養護、社会的養育 ＜授業概要＞ 社会的養護から社会的養育への変遷を子どもの発達という視点で概観する ＜教科書＞ ２０７－２３０ 第２５回　児童の社会的養護２ 同上 第２６回　非行児童・情緒障害児への支援１ ＜key words＞ 非行、情緒障害、発達障害 ＜授業概要＞ 非行、情緒障害、発達障害について、児童福祉的対応を概観する ＜教科書＞ ２３１－２４３ 第２７回　非行児童・情緒障害児への支援２ 同上 第２８回　児童虐待対策 ＜key words＞ 児童虐待 ＜授業概要＞ 児童虐待について、その予防、発見、防止、援助をおのおの学ぶ ＜教科書＞ ２４４－２６０ 第２９回　子ども家庭への援助活動 ＜key words＞ 施設ケア、連携、協働 ＜授業概要＞ 子ども家庭福祉のソーシャルワークの基本と施設ケアの基本を知る ＜教科書＞ ２７０－２８９ 第３０回　まとめ まとめ 質疑応答
受講生に関わる情報および受講のルール	・教科書を必ず持参すること ・予習復習を行うこと ・授業の流れや雰囲気を乱したり、他の受講生に迷惑になる行為は行わないこと
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	・授業内容を基盤にして、自己学習につなげていくこと ・その他、授業のなかで伝える
オフィスアワー	授業のなかで伝える
評価方法	期末試験　８０％　　授業への取り組み等　２０％
教科書	新・社会福祉士養成講座「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」　中央法規出版
参考書	授業のなかで必要に応じて伝える
実務経験のある教員	

による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 児童相談所、身体障害者更生相談所、児童自立支援施設 （児童心理司、児童福祉司、SV、言語聴覚士等） アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク ■アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　レクリエーション活動援助法　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	選択科目の1つ
担当教員			
清水　久二雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 ・国際レクリエーション協会はレジャー憲章（1970年）において、「レクリエーションはすべての人が享受できる権利　である。」としています。年代、身体機能・能力の差があってもレクリエーションは人の当然の権利として保障されな　ければならないということになります。この人権思想を体現するために支援者が果たす役割として、集団と個、静と 　動、持続的と刹那的などあらゆる場面を想定しながら、理論と実践を通して学んでいきます。これらの学びによって多 　様である様々な人に対してレクリエーション活動の支援ができるスキルを身につける事を目的としています。 〔到達目標〕 ①レクリエーションの本質・効果・可能性を理解する事ができる。 ②①を踏まえつつ、安全で効果的な支援方法を計画し、レクリエーションプログラムの展開方法に必要な知識・技術を身　につける事ができる。 ③利用者や場面に応じて変化・応用し、利用者主体の支援を考えることができる。 ④新たなプログラムなどを創造し、開発することができる。
授業の概要	・授業は常に理論と実践を交互におり混ぜながら、即時フィードバックしながら学びをすすめていきます。また実践活動 　として実際に様々なプログラムを体験したものを実際の支援する事ができるスキルの習得を目的にしているので、体験 　型の学びが中心となります。グループで実施するものや、学生個々人がすすめていくものもあります。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回　　ガイダンス　　レクリエーションの意義（レクリエーションとは） 〈キーワード〉　　レクリエーションとは　再創造　アイスブレイク　レク財 〈テキスト〉　　テキスト　P10～15 ・レクリエーション活動援助法の授業の進め方について説明を行う。初回の授業であるため「レクリエーショ　ン」の言葉の意味・意義・イメージについてグループ討議して学ぶ。　演習としてレクリエーション財をい　くつか紹介し「財」という考え方に触れる。 ・(演習)　アイスブレイク 〈復習・次回の課題〉 　P10～15の復習を行うこと。 第２回　　レクリエーションの歴史的な背景と変遷 〈キーワード〉　　社会的な期待　支援者　産業革命　厚生運動 〈テキスト〉　　テキスト　P25～33 ・レクリエーションの概念が生まれた歴史的な経緯に触れ、レクリエーションの意義や目的について学ぶ。演　習としてレクリエーション財には様々なものがある事について触れる。 ・(演習) アイスブレイク2段階目 〈復習・次回の課題〉 　P16～24の復習を行うこと。　次回P25～33の予習を行うこと。 第３回　　レクリエーションの基礎理論　（レクリエーションへの期待、支援者として） 〈キーワード〉　　レクリエーションの定義　主体的　内発的動機づけ　報酬　快さ 〈テキスト〉　　テキスト　P25～33 ・レクリエーションの定義についてこれまでの様々定義について紹介する。その中で「何故レクリエーション 　は報酬を求めないのか。」、「強制されるのではなく、自発的であるべきか。」について触れながらレクリ　エーションの意義、定義についてふれる。 ・(演習)　アイスブレイクから展開へ 〈復習・次回の課題〉 　P25～33の復習を行うこと。　次回P34～68の予習をおこなうこと。 第４回　　レクリエーション運動を支える制度　（レクリエーション組織、インストラクターの役割） 〈キーワード〉　　レクリエーション協会　　インストラクター　公認指導者　　組織

〈テキスト〉　　テキスト　　P34～68
・レクリエーション支援者を支える様々な団体について学ぶ。その後レクリエーション支援の際のリードにつ　いて様々なリーダーシップの位置、介入方法について学ぶ。
・(演習)　展開　(ルールについて)
〈復習・次回の課題〉
　次回P226～245の予習を行うように。　次回小テストを行うため復習を行うこと。

第５回　　コミュニケーションワーク①　(アイスブレーキング・ホスピタリティ)
〈キーワード〉　　アイスブレイク　　ホスピタリティ
〈テキスト〉　　テキスト　P246～255
・授業開始後に1～4回までの小テストを実施する。その後「ホスピタリティ」とは何かについて学ぶ。他者　の関心に関心を寄せ、それに基きプログラムの立案を考える。そのためにプログラムについて立案に必要な　視点について学ぶ。(活動内容・ハードル設定・人数・場所・使用するもの)
・(演習)　展開　　(ルールについて)
〈復習・次回の課題〉
　　P246～255　の復習を行うこと。　P256～260の予習を行うこと。

第６回　　コミュニケーションワーク②　(アイスブレーキングの意義と技術)
〈キーワード〉　　情動　効力予期　結果予期　主体性
〈テキスト〉　　テキスト　P256～260
・前回の続きで、プログラムの立案時の活動内容の段階と展開方法について学ぶ。1つの財からどのようにア
　レンジできるか、またアレンジした内容の展開の順番についてグループ学習で行う。
・(演習)　展開　(協力活動について)
〈復習・次回の課題〉
　　P246～255　の復習を行うこと。　P256～260の予習を行うこと。

第７回　　コミュニケーションワーク③　(アイスブレーキングのプログラミング)
〈キーワード〉　　「快さ」の違い、「快さ」の差、
〈テキスト〉　　テキスト　P256～260
・様々な刺激が得られる屋外に出て、それぞれの様々な快さがあめ事を体験を通じて発見し、それらを仲間と　共有することで学びを深めていく。
・(演習)　展開　(屋外のプログラム)
〈復習・次回の課題〉
　　P246～255　の復習を行うこと。　P256～260の予習を行うこと。

第８回　　目的に合わせたレクリエーション・ワーク①　(素材・活動の選択)
〈キーワード〉　　素材　　活動　　選択
〈テキスト〉　　テキスト　P274～287
・目的に合わせたレクリエーション・ワークを実践する上で大切な、①素材の選択・②ハードル設定　③CSS
　プロセス　のうち、①の素材・活動の選択を中心に学ぶ。その上で、必要な視点とは何かについて演習を通
　じて学ぶ。
・(演習)　展開　(個性、様々な表現を活用するには。)
〈復習・次回の課題〉
　　P274～287の復習を行うこと。

第９回　　目的に合わせたレクリエーション・ワーク②　(ハードル設定)
〈キーワード〉　　ハードル設定　　目的　　対象　　能力
〈テキスト〉　　テキスト　P288～302
・目的に合わせたレクリエーション・ワークを実践する上で大切な、①素材の選択・②ハードル設定　③CSS　プロセス　のうち、②のハードル設定を中心に学ぶ。その上で、目的、対象、能力について通じて選択する　必要がある事学ぶ。
・(演習)　展開　(巧緻性、チームでの補完的分業)
〈復習・次回の課題〉
　　P288～302の復習を行うように。

第１０回　　目的に合わせたレクリエーション・ワーク③　(相互作用の活用)
〈キーワード〉　　CSSプログラム
〈テキスト〉　　テキスト　P288～302
・目的に合わせたレクリエーション・ワークを実践する上で大切な、①素材の選択・②ハードル設定　③CSS　プロセス　のうち、③のCSSプログラムを中心に学ぶ。その上で、目的、対象、能力について通じて選択す　る必要がある事学ぶ。また11回の授業時に実際にプログラムを行ってもらうため、グループ内で打ち合わ　せし、発表に備える。
・(演習)　展開　(リレーゲーム　対抗戦)
〈復習・次回の課題〉
　P288～302の復習を行うように。次回の授業時に実際にプログラムを発表してもらうためグループ毎に仕
　上げること

第１１回　　目的に合わせたレクリエーション・ワーク④　(演習　ＣＳＳ・ハードル設定のプログラムづくり))
〈キーワード〉　　CSSプログラム
〈テキスト〉　　テキスト　P288～302
・目的に合わせたレクリエーション・ワークを実践する上で大切な、①素材の選択・②ハードル設定　③CSS　プロセス　のうち、③のCSSプログラムを中心に学ぶ。その上で、目的、対象、能力について通じて選択す　る必要がある事学ぶ。また11回の授業時に実際にプログラムを行ってもらうため、グループ内で打ち合わ　せし、発表に備える。
・(演習)　展開　(ウォークラリー)
〈復習・次回の課題〉
　P288～302の復習を行うように。次回の授業時に実際にプログラムを発表してもらうためグループ毎に仕
　上げること

第１２回　　コミュニケーション・ワーク　　(ホスピタリティとは)
〈キーワード〉　　コミュニケーションワーク　ホスピタリティ　ユニバーサル
〈テキスト〉　　テキスト　P226～235

・レクリエーション展開上必要とされるホスピタリティの意義・目的とは何かについて学ぶ。
・(演習)　展開　(ウォークラリー　製作)
〈復習・次回の課題〉
P226～235の復習を行うこと。　次回P236～245の予習を行うこと。

第１３回　コミュニケーション・ワーク　(ホスピタリティの示し方)
〈キーワード〉　感情の受け止め　ベーシング　リフレージング
〈テキスト〉　テキスト　P236～245
・前回のホスピタリティの必要性を学んだ上で、対象者の感情表現をどのように受け止めるかなどについて学　ぶ。その後、グループで小集団でのホスピタリティを支援の配慮として取り入れたプログラムの作成に取り　掛かる。
・(演習)　展開　(ウォークラリー体験)
〈復習・次回の課題〉
P236～245の復習を行うこと。次回グループで発表してもらうので、計画書を作成するように。

第１４回　コミュニケーション・ワーク　(演習スポーツ・コミュニケーション)
〈キーワード〉　感情のキャッチ　関心　ベーシング　リフレージング
〈テキスト〉　テキスト　P226～245
・前回のホスピタリティの必要性を学んだ上で、対象者の感情表現をどのように受け止めるかなどについて学　ぶ。その後、グループで小集団でのホスピタリティを支援の配慮として取り入れたプログラムの作成に取り　掛かる。
・(演習)　展開　(ウォークラリー　体験)
〈復習・次回の課題〉
各グループで発表し、グループで修正したものを提出してもらうため次回の授業までに仕上げること。

第１５回　前期のまとめ、振り返り　小テスト
〈キーワード〉　プログラム
〈テキスト〉
・前期の総括として、これまでの理論的なものに関連したテストを実施、その後答え合わせと調べ学習を行
う。
〈復習・次回の課題〉
前期小テストの振り返りとテキストを読み返して欲しい。第16回はジャージを着用

第１６回　後期ガイダンス
〈キーワード〉　レクリエーションプログラム
〈テキスト〉
・後期の授業の進め方について説明する。その後演習ではレクリエーション財の「変化・応用」について実践
して学ぶ。
(演習)　プログラム演習(対抗戦)
〈復習・次回の課題〉

第１７回　支援論①　(ライフスタイルとレクリエーション)
〈キーワード〉　ライフスタイル　ライフサイクル　ライフステージ
〈テキスト〉　テキスト　P70～91
・どんな状態であってもどんな年代の人でもレクリエーションは享受できる権利である事を学ぶ。そのために
人の様々な人生のステージ、サイクルからどのような支援が必要なのかを学ぶ。　演習では集団レクリエー
ションの展開技術としてコールの掛け方を演習を通じて学ぶ
(演習)　プログラム　隊形への支援法　(ダンス)
〈復習・次回の課題〉
P70～91　の復習を行う。　次回P92～117の予習を行うこと。

第１８回　支援論②　(年代ごとの特徴と課題)
〈キーワード〉　高齢社会　対人交流　孤独の予防
〈テキスト〉　テキスト　P92～117
・現代の高齢社会、核家族化、単身世帯など多くの課題が生じているが、レクリエーションの支援として何が
でき、何を求められるのかについて学ぶ。演習は集団レクリエーションの展開技術としてコールの伝達法に
ついて演習を通じて学ぶ
(演習)　プログラム　隊形への支援法　(ソング)
〈復習・次回の課題〉
P92～117の復習を行うこと。　P118～141の予習を行う

第１９回　支援論③　(少子・高齢化社会の課題)
〈キーワード〉　世代間交流　集団化
〈テキスト〉　テキスト　P118～141
・18回授業のテーマを背景に、世代間交流の減少、最新の情報伝達媒体や端末の普及による対人減少などの　課題に、レクリエーション支援の役割について考え、学びを深めていく。演習は集団レクリエーションの展　開技術としてコールの伝達法について演習を通じて学ぶ
(演習)　プログラム　(集団プログラム製作)
〈復習・次回の課題〉
P118～141の復習を行う。次回P142～160の予習を行うこと。

第２０回　支援論④　(治療的意味合いを含めたレクリエーション)
〈キーワード〉　セラビューティっクレクリエーション
〈テキスト〉　配布資料
・医療の分野に取り入れられているセラビューティっクレクリエーションを紹介し、体験を通して学ぶ。演習　は集団レクリエーションの展開技術としてコール時のルール説明とセーフティ・マネージメントについて演　習を通じて学ぶ
(演習)　プログラム　(集団プログラム発表)
〈復習・次回の課題〉
配布資料を復習すること。次回レクリエーション支援論についてレポートを基にグループ討議を行うため、　次回の授業までにレポートを仕上げること。

第２１回　対象者に合わせたレクリエーション・ワーク　（基本技術）
〈キーワード〉　創作プログラム　アレンジ
〈テキスト〉　配布資料
・授業開始直後に17回～20回の授業を通じて支援論についての個人の考えをまとめたレポートを基にグルー　プ討議する。レクリエーションプログラムの展開において対象に合わせた内容を提供するのが重要である
　が、その基礎としてグループで同一の素材から様々な種類のプログラムの創作を通じてプログラム多様性を　学ぶ。
（演習）　プログラム　（集団プログラム発表）
〈復習・次回の課題〉
・配布資料を復習すること。グループ発表したチームの内容をふりかえること。

第２２回　対象者に合わせたレクリエーション・ワーク　（アレンジの技術）
〈キーワード〉　変化　応用　バリエーション
〈テキスト〉　配布資料
・21回授業の内容を基にしつの素材から様々な種類のプログラムの創作を行い、対象にあった内容のプログ　ラムについて学んだ事を応用、発展させるように変化・応用などアレンジの方法を学んでいく。
（演習）　プログラム　（集団プログラム発表）
〈復習・次回の課題〉
・配布資料を復習すること。グループ発表したチームの内容をふりかえること。

第２３回　対象者に合わせたレクリエーション・ワーク　（演習　①）
〈キーワード〉　上付け方式アレンジ　分割方式アレンジ
〈テキスト〉　配布資料
・21回、22回の授業を基に実際のプログラムの展開上のバリエーション法である上付け方式アレンジと分割　方式アレンジについて学ぶ。また演習を通じて実際の支援方法についても検討していく。
（演習）　プログラム　（集団プログラム発表）
〈復習・次回の課題〉
・配布資料を復習すること。グループ発表したチームの内容をふりかえること。

第２４回　対象者に合わせたレクリエーション・ワーク　（演習　②）
〈キーワード〉　アレンジ　環境の設定
〈テキスト〉　テキスト　P326～336
・21～23回の授業のまとめを演習を中心に実施する。その後歌の良さを活かす支援について演習を通して学
　ぶ。
（演習）　プログラム　（集団プログラム発表）
〈復習・次回の課題〉
・P326～336の復習を行うこと。

第２５回　事業論　（レクリエーション事業とは）
〈キーワード〉　規模　イベント　運営方法　展開方法
〈テキスト〉　テキスト　P326～336
・レクリエーション事業とは何かについて学ぶ。また事業を展開する上で大切な規模　イベント運営方法　展開方法をどのように計画に反映させるかについて学ぶ。
（演習）　プログラム　（マンツゥマンプログラム計画）
〈復習・次回の課題〉
・テキスト　P326～336の振り返りと、次回P170～183について予習しておくこと。

第２６回　事業論　（プログラムの組み立て方）
〈キーワード〉　プログラムの組み立て方　グループ運営
〈テキスト〉　テキスト　P170～183
・25回の授業を基にし、プログラムをどのように組んでいったら良いのかについて学ぶ。また同時に規模に　よっての運営についての特性や配慮などの工夫についても学ぶ。
（演習）　プログラム　（マンツゥマンプログラム発表）
〈復習・次回の課題〉
・P170～183の復習を行うこと。次回P184～195の予習を行うこと。

第２７回　事業論　（事業計画　Ⅰ）
〈キーワード〉　個々人のアセスメント　個人に対するグループによる支援
〈テキスト〉　テキスト　P184～195
・レクリエーション事業の対象を個人にした場合、どのようにアセスメントし実施・評価するか、また個人に　対してグループによる介入の効果、特性について学ぶ
（演習）　プログラム　（マンツゥマンプログラム発表）
〈復習・次回の課題〉
・P184～195の復習を行うこと。P196～207の予習を行うこと。

第２８回　事業論　（事業計画　Ⅱ）
〈キーワード〉　市民を対象とした事業　手作りイベント
〈テキスト〉　テキスト　P196～207
・27回の授業の対象とは別に不特定多数、様々な背景を持つ対象が同一に行う事業について考え、どのよう
　な事業展開がよいかについて学ぶ。
（演習）　プログラム　（マンツゥマンプログラム発表）
〈復習・次回の課題〉
・P196～207の復習を行うこと。　P208～223の予習を行うこと。

第２９回　事業論　（安全管理の考え方）
〈キーワード〉　安全管理　リスク　セーフティ・マネジメント　事故対応
〈テキスト〉　テキスト　P208～223
・レクリエーション事業における安全管理について学ぶ。実際に過去の事例などに基いてどのような安全配慮
　義務があるのかについても考えていく。
（演習）　プログラム　（マンツゥマンプログラム発表）
〈復習・次回の課題〉
・　P208～223の復習を行うこと。

第３０回　授業の総まとめ

	〈キーワード〉　レクリエーション　支援 〈テキスト〉　配布資料 ・25～29回の授業の確認の小テストを行なう。その後自らがレクリエーション事業に関わる際にどのような　支援を行っていきたいかについて意見交換し、1年間の授業を総括する。 〈復習・次回の課題〉 ・30回授業で学生同士で話しあったないようについて、個人で整理しまとめておくこと。
受講生に関わる情報および受講のルール	・授業は講義と実技で実施するので服装は指示しますが、活動しやすい服装で出席して欲しい。 ・指示通り行わないと思わぬトラブルの原因となる恐れがある為、説明時の私語は慎むこと。 ・ボランティア、実習、授業での体験は大きな学びとなるので積極的に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード　ワークシート　定期的に行う学びのふり帰りシート　学習課題（計画書の作成）発表
授業外時間にかかわる情報	・実践する事は大きな学びの機会となるので、実習やボランティア活動などの実践前には可能な限り相談して欲しい。 ・実践する機会や場面はなくても、創造的に考える事とても大切であるので、いつでも相談して欲しい。
オフィスアワー	初回授業時に予定表を配布し説明する
評価方法	演習課題　60%　授業内授業のふりかえり　20%　課題提出　20%
教科書	レクリエーション支援の基礎　（公益社団法人）　日本レクリエーション協会発行
参考書	必要に応じて適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　アクティビティ・サービス援助技術　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	選択
担当教員			
廣池　利邦			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	福祉サービス利用者の心身と生活の活性化を支援するための知識・技術を身につけるとともに、社会人としての人間性の向上と教養を体得し、まず福祉サービスの担い手として国家資格の取得を第1の目的とし、さらにその資格を補強するアクティビティ・ワーカー資格取得を目指すことを到達目標とする。
授業の概要	近年、福祉施設や医療機関だけでなく日常の生活の中に『アクティビティ』という言葉が使われますが、その正しい意味と使い方について理解を深めるとともに、『人間の尊厳』『自立支援』『その人らしい生き方とは』『高齢者の生きてきた道』などの言葉の意味と内容について、講義と演習により学習する。時には昔の歌を歌ったり、有名な映画や歴史的なDVD を鑑賞したりする。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー (DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回　オリエンテーション：履修上の注意と講義の進め方と受け方について説明します。 第２回　導入の話「なぜアクティビティ・サービスなのか」 第３回　レクリエーションからアクティビティ・サービスへ 第４回　アクティビティ・サービスの定義 第５回　アクティビティ・サービスの効果と対象について 第６回　お年寄りと自分の人生の比較 第７回　高齢者の知っている歌と文化を知る 第８回　アクティビティ・サービスと介護過程 第９回　高齢者を理解する 第１０回　高齢者の生きがいについて 第１１回　DVD鑑賞『認知症に効果的な音楽療法』 第１２回　生活支援学とは 第１３回　生活支援学としてのアクティビティ・サービスとは 第１４回　日本におけるアクティビティ・サービスの誕生 第１５回　アクティビティ・サービスとICFについてと前期のまとめ 第１６回　後期オリエンテーション

	第１７回　　アクティビティ・サービスの計画 第１８回　　アクティビティ・サービス計画上の留意点と具体的な立案法（1） 第１９回　　アクティビティ・サービス計画上の留意点と具体的な立案法（2） 第２０回　　アクティビティカレンダーの作成上の留意点 第２１回　　グループワーク『カレンダーの作成』 第２２回　　グループ発表 第２３回　　ユーモアとは何か・DVD鑑賞『チャップリンの映画』（前編） 第２４回　　ユーモアとは何か・DVD鑑賞『チャップリンの映画』（後編） 第２５回　　グループワーク『テキストの演習課題について話し合う』 第２６回　　有名なDVD鑑賞（前編） 第２７回　　有名なDVD鑑賞(後編) 第２８回　　アクティビティ・ワーカー資格取得のレポート作成法について 第２９回　　アクティビティ・サービスと死について考える 第３０回　　アクティビティ・サービスのまとめ
受講生に関わる情報および受講のルール	私語を慎み、積極的な受講態度を評価する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	日頃より高齢者、障害者に関する新聞記事やTV番組などに興味をもつことを心がける。
オフィスアワー	原則として講義の前後
評価方法	定期試験60％、授業態度、小テスト、提出物等40％で総合的に評価する。
教科書	新訂アクティビティ・サービス(中央法規出版・.2014)
参考書	講義中に適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 　□実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 　□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 　□ディスカッション・ディベート 　□グループワーク 　□プレゼンテーション 　□実習、フィールドワーク 　□アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医療情報処理演習Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
桐生　孝史			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	①医療秘書に求められる診療録の記録ができる。 ②医療秘書に求められる診療録の管理ができる。 ③電子カルテの運用の実践が理解できる。			
授業の概要	日医標準レセプトソフト（ORCA）を用いて診療録の記録や管理業務の演習。			
■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係 ◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項				
授業の到達目標	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
授業計画	第１回　　オリエンテーション 第２回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１ 第３回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２ 第４回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　３ 第５回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　４ 第６回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　５ 第７回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　６ 第８回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　７ 第９回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　８ 第１０回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　９ 第１１回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１０ 第１２回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１１ 第１３回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１２ 第１４回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１３ 第１５回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１４ 第１６回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１５ 第１７回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１６ 第１８回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１７			

	第１９回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１８ 第２０回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１９ 第２１回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２０ 第２２回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２１ 第２３回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２２ 第２４回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２３ 第２５回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２４ 第２６回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２５ 第２７回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２６ 第２８回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２７ 第２９回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２８ 第３０回　　まとめ
受講生に関わる情報および受講のルール	授業時に指示する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	ICT利用（WEBフォームやメールなど）
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する。
オフィスアワー	授業終了後30分。
評価方法	定期試験100％
教科書	必要な資料を授業時に配布。
参考書	必要に応じて印刷資料を配布。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医療情報処理演習Ⅲ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
桐生　孝史			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	①医療秘書に求められる診療録の記録ができる。 ②医療秘書に求められる診療録の管理ができる。 ③電子カルテの運用の実践が理解できる。			
授業の概要	【医療情報処理Ⅱから連続の科目】			
■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係 ◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項				
授業の到達目標	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
授業計画	第１回　　オリエンテーション 第２回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１ 第３回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２ 第４回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　３ 第５回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　４ 第６回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　５ 第７回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　６ 第８回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　７ 第９回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　８ 第１０回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　９ 第１１回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１０ 第１２回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１１ 第１３回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１２ 第１４回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１３ 第１５回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１４ 第１６回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１５ 第１７回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１６ 第１８回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１７			

	第１９回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１８ 第２０回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　１９ 第２１回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２０ 第２２回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２１ 第２３回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２２ 第２４回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２３ 第２５回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２４ 第２６回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２５ 第２７回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２６ 第２８回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２７ 第２９回　　診療録の記録と管理、電子カルテの理解に関する演習　２８ 第３０回　　まとめ
受講生に関わる情報および受講のルール	受講上のルールとして、私語は禁止とする。私語は相手、周囲の者に対しての迷惑行為である。厳に慎むことを自覚して授業に主体的に参加すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	ICT利用（WEBフォームやメールなど）
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する。
オフィスアワー	授業終了後30分。
評価方法	定期試験100％
教科書	必要な資料を授業時に配布。
参考書	必要に応じて印刷資料を配布。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医事実習指導Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
清水　春代・松本　咲子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医事実習の意義と目的を理解し、期待される学習効果や医療事務・秘書の活動の場である病院・診療所を理解する。また、その病院・診療所を利用する者や実践の場を理解することを目指す。 【到達目標】
授業の概要	この授業では、学生が実習に臨むまでの環境を調整すること、必要な知識を習得することなどを目的とする科目である。開講される1コマ1コマが重要な意味を持っている。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー (DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画

第１回　オリエンテーション、医事実習Ｉの振り返り
【キーワード】オリエンテーション、医事実習Ｉの振り返り
【授業概要】本授業の目標、、ルールを説明、医事実習振り返り
【教科書ページ・参考文献】印刷資料
【課題・予習・復習・授業準備】次回までに実習ノート提出。

第２回　コミュニケーションカードアドバイザー講座
【キーワード】自己理解
【授業概要】コミュニケーションカードを使用して自己理解。挨拶練習、自己表現練習。自己紹介
【教科書ページ・参考文献】コミュニケーションカード
【課題・予習・復習・授業準備】自己紹介票作成。

第３回　コミュニケーションカードアドバイザー講座
【キーワード】過去～現在～未来の自分
【授業概要】過去～現在～未来の自分の特性の変化を知る。自己表現練習。挨拶練習。希望実習先調査。
【教科書ページ・参考文献】コミュニケーションカード
【課題・予習・復習・授業準備】希望実習先調査

第４回　紹介票作成
【キーワード】実習生紹介票
【授業概要】実習生紹介票作成
【教科書ページ・参考文献】医事実習Ｉの実習ノート
【課題・予習・復習・授業準備】紹介票作成

第５回　医療現場における接遇の基礎
【キーワード】社会人の自覚
【授業概要】敬語とあいさつ、自己表現練習、社会人としての5つの自覚
【教科書ページ・参考文献】テキストp5
【課題・予習・復習・授業準備】

第６回　車椅子実演
【キーワード】車椅子実演
【授業概要】車椅子実演
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備】本日の感想

第７回　医療従事者としての基本姿勢

【キーワード】社会人としての自覚（報、連、相）
【授業概要】挨拶練習、自己表現理解、報、連、相について
【教科書ページ・参考文献】テキストｐ13
【課題・予習・復習・授業準備】本日のまとめ

第８回　医療従事者としての基本姿勢
【キーワード】社会人のマナー（身だしなみ）
【授業概要】身だしなみとおしゃれの違い
【教科書ページ・参考文献】テキストp2~4
【課題・予習・復習・授業準備】本日のまとめ

第９回　事例検討
【キーワード】電話のかけ方。質問の仕方
【授業概要】ロールプレイング
【教科書ページ・参考文献】テキストp16
【課題・予習・復習・授業準備】本日のまとめ

第１０回　実習目標作成
【キーワード】実習目標作成
【授業概要】実習目標作成
【教科書ページ・参考文献】医事実習Ｉの実習ノート
【課題・予習・復習・授業準備】実習目標

第１１回　実習目標作成・誓約書記載
【キーワード】実習目標作成（清書）誓約書作成
【授業概要】実習目標作成、誓約書作成
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備】実習目標、誓約書（次回提出）

第１２回　実習ノート・お礼状の書き方・実習記録書類
【キーワード】実習ノート、お礼状、実習記録
【授業概要】実習ノート、お礼状、実習記録の書き方。
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備】本日のまとめ

第１３回　実習ノート作成
【キーワード】実習ノート作成
【授業概要】実習ノート作成
【教科書ページ・参考文献】実習ノート
【課題・予習・復習・授業準備】実習ノート整備

第１４回　ロールプレイング
【キーワード】言葉使い
【授業概要】ロールプレイング
【教科書ページ・参考文献】テキストp50
【課題・予習・復習・授業準備】本日のまとめ

第１５回　ロールプレイング
【キーワード】言葉使い、実習前オリエンテーション
【授業概要】ロールプレイング、実習前オリエンテーション
【教科書ページ・参考文献】テキストp51~
【課題・予習・復習・授業準備】本日のまとめ

第１６回　病院実習後まとめ
【キーワード】実習振り返り
【授業概要】実習の振り返り、良かったこと、学んだこと、反省点など
【教科書ページ・参考文献】実習ノート
【課題・予習・復習・授業準備】振り返り文（次回提出）

第１７回　病院実習後まとめ
【キーワード】病院実習後まとめ（グループ）
【授業概要】各人のまとめをグループで整理し、グループの見解をだす。
【教科書ページ・参考文献】実習ノート
【課題・予習・復習・授業準備】グループの意見の集約（次回まで）

第１８回　実習報告書作成
【キーワード】実習報告書
【授業概要】（発表会に備えて）実習報告書作成。
【教科書ページ・参考文献】実習ノート、実習後まとめレポート
【課題・予習・復習・授業準備】実習報告書作成

第１９回　医療従事者としての基本姿勢
【キーワード】言葉遣い
【授業概要】言葉使いは心遣い。適切な言葉遣いと具体例
【教科書ページ・参考文献】テキストp5~
【課題・予習・復習・授業準備】テキスト復習

第２０回　医療従事者としての基本姿勢
【キーワード】対人対応力
【授業概要】患者タイプ別対応を考える。
【教科書ページ・参考文献】テキストp38~
【課題・予習・復習・授業準備】本日のまとめ

第２１回　キャリアデザインについて考える
【キーワード】キャリアデザイン
【授業概要】自分のキャリアデザインを設計して、今必要なことを考える。
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備】キャリアデザイン

第２２回　医療現場におけるクレーム対応
【キーワード】クレーム対応
【授業概要】クレームへの適切な対応を身に付ける。
【教科書ページ・参考文献】テキストp22~

	【課題・予習・復習・授業準備】クレームの例をあげてみる。 第２３回　事例検討 【キーワード】クレーム 【授業概要】クレーム対応についてロールプレイング 【教科書ページ・参考文献】テキストp61~ 【課題・予習・復習・授業準備】本日のまとめ 第２４回　事例検討 【キーワード】クレーム対応 【授業概要】クレーム対応についてロールプレイング 【教科書ページ・参考文献】テキストp61~ 【課題・予習・復習・授業準備】本日のまとめ 第２５回　事例検討 【キーワード】言葉遣い 【授業概要】場面ごとの言葉遣いについて、ロールプレイング 【教科書ページ・参考文献】テキストp50~ 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習 第２６回　発表会についての実行委員選出。スライド作成 【キーワード】実習報告発表会 【授業概要】実行委員選出。グループごとの発表用資料作成。 【教科書ページ・参考文献】各グループ資料 【課題・予習・復習・授業準備】資料作成 第２７回　事例検討 【キーワード】言葉遣い 【授業概要】場面ごとの言葉遣いについて、ロールプレイング 【教科書ページ・参考文献】テキストp57~ 【課題・予習・復習・授業準備】本日のまとめ 第２８回　事例検討 【キーワード】表情の確認 【授業概要】素の顔、笑顔、アイコンタクトについてロールプレイング 【教科書ページ・参考文献】テキストp9~ 【課題・予習・復習・授業準備】笑顔の練習 第２９回　発表原稿スライド作成 【キーワード】実習報告発表会用の資料作成 【授業概要】実習報告発表会用の資料作成 【教科書ページ・参考文献】各グループ資料 【課題・予習・復習・授業準備】資料作成 第３０回　グループ発表と講評 【キーワード】グループ発表 【授業概要】グループ発表と講評、実習報告発表会の発表グループ選出 【教科書ページ・参考文献】各グループ発表用資料 【課題・予習・復習・授業準備】報告会に向けての準備
受講生に関わる情報および受講のルール	医事実習指導は医事実習と対なる科目である。よって、科目に対する姿勢・態度や提出物等が重要な意味があることを理解しておくこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	実習にかかわる事前学習を進めておくこと
オフィスアワー	木・金　14：30～15：30　（他応相談・要予約）
評価方法	授業に臨む参加態度：20%、提出物：30%、グループ発表：50%
教科書	「今日からできる医療機関の接遇向上術」小山美智子著、コミュニケーションカード
参考書	必要に応じて印刷資料を使用
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 【アクティブラーニング】グループ学習【実務経験のある教員の授業の配置について】10年以上の病院勤務の中で、実習生受け入れや採用者の人材教育などの経験を通して医療機関で求められること、してはならぬことなど、実践的な知識の伝達と教育を行い、安心して実習を完了できるように指導を行う。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医事実習Ⅲ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	2単位(80)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
清水　春代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	①医療事務職（医療事務、医療秘書）に求められる接遇の実践的な知識・技術が理解できる。 ②医療事務職が携わる業務（報酬算定、秘書実務など）の実践的な知識・技術が理解できる。			
授業の概要	–			
■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係 ◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項				
授業の到達目標	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
授業計画	第１回 第２回 第３回 第４回 第５回			
受講生に関わる情報および受講のルール	–			
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード			
授業外時間にかかわる情報	–			
オフィスアワー	–			
評価方法	–			
教科書	–			
参考書	–			
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない			

講義科目名称：　相談援助演習Ⅰ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	1単位(30)	福祉総合コース・選択
担当教員			
富澤　一央			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 　社会福祉における相談援助の実践は、単なるサービス提供やサービスマネジメントにとどまらず、利用者の全体性やストレングスに着目した援助を行うとともに、家族や近隣、地域など総合的に支援する視点が要請される。本演習では、ジェネラリスト・ソーシャルワークの視点の習得とそれを展開できる力量の習得を目指すための基礎固めとして、「自分を知り、他人の話をよく聴け、ソーシャルワークの価値や倫理を理解する」ことなどについて演習を通して学ぶことを目的とする。また、本演習によって相談援助実習等と理論との融合を目指し、実習において必要な知識・技術の基礎を理解し、説明できることを目的とする。 【到達目標】 ①福祉専門職として、自己覚知することの重要性を理解し、説明できる。 ②価値観の多様性について知るとともに、他者を理解するための方法論を学び、援助技術の活用の仕方を説明できる。 ③言語的及び非言語的コミュニケーションについて理解し、福祉専門職として他者との関わり方を想定して行動することができる。
授業の概要	相談援助等の実習と関連づけながら、福祉専門職として必要な基本的な視点や原則、姿勢、態度についての理解を深め、援助技術として、ソーシャルワークの役割や価値基盤の理解、専門職としての自己覚知、他者理解、基本的なコミュニケーション技法の習得を目指し、ロールプレイやグループワークによる実践的・体験的な演習方法で学ぶ。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回　オリエンテーション　相談援助演習の意義・目的及び位置づけ　授業の進め方　授業に参加する上での注意事項 第２回　社会福祉の基本的姿勢・定義（IFSWのソーシャルワークの定義、社会福祉士の定義等） 第３回　社会資源の理解、社会福祉施設・機関、福祉専門職の把握 第４回　自己覚知　自己概念を学ぶ 第５回　自己覚知　ジェノグラム　自分のルーツ家族関係 第６回　自分の性格の把握 第７回　自己開示、他者理解 第８回　他者理解　共感と同情の違い 第９回　多様な価値観 第１０回　コミュニケーション技法（１）　コミュニケーションの基本 第１１回　コミュニケーション技法（２）　言語的コミュニケーションの特徴 第１２回　コミュニケーション技法（３）　言語的コミュニケーション　コミュニケーションスタイル

	第１３回　　コミュニケーション技法（４）　非言語的コミュニケーションの特徴 第１４回　　コミュニケーション技法（５）　非言語的コミュニケーションの観察 第１５回　　まとめ
受講生に関わる情報および受講のルール	（1）履修上の注意 グループワーク等に積極的に参加すること。無断欠席、無断遅刻はグループワークを乱すものであることを自覚すること。また、無断欠席、無断遅刻は実習に多大な影響を及ぼすことから、実習出来なくなる場合がある。 （２）学習上の助言 福祉専門職として必要な実践力を習得するために、自ら考え、気付くことが重要である。 （３）予備知識や技能 「相談援助の基盤と専門職」と深い関わりがある科目であることから、講義内容を十分に理解することが重要である。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	演習で学んだ内容や援助技術等を意識しながらボランティア活動に参加することが重要である。また、ボランティア活動を通して自己理解を深め、あるいは他者理解に努め、その都度振り返ることが求められる。
オフィスアワー	各教員より授業時に伝える
評価方法	試験またはレポート（40%）、提出物・リアクションペーパー・課題への取り組み（60%）
教科書	社会福祉シリーズ21　ソーシャルワーク演習『相談援助演習』弘文堂
参考書	社会福祉六法（出版社は問わない）、社会福祉用語辞典（「相談援助の基盤と専門職」にて指定されたもの）
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　診療報酬請求事務Ⅰ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
清水　春代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療事務・医療秘書の実務に必要な専門的な知識とスキルを習得し、診療報酬能力認定試験合格を目指す。 診療情報管理士として習得すべき基本的かつ実務的な医療保険制度・介護保険制度に習熟する。 【到達目標】 医療事務者、医療秘書等、患者様と係る為に必要な制度、病院勤務者として守らなければならない法律を理解できる。　診療行為には、施設基準、人員基準が必要な行為もあり、それらの届け出基準等が理解できる。医療のICT化の一環としての、電子カルテやオンライン請求等の概要が理解できる。
授業の概要	医療事務者、医療秘書等、医療機関の事務職に求められる能力として、制度関連知識、医学関連知識、診療報酬請求事務がある。診療報酬請求事務能力認定試験は、これらの能力を問う全国レベルの試験として認知度、信用度が高く、全国合格率も30%前後の難易度の高い試験である。本授業は、より資質の高い病院勤務者となる為に、この試験の合格を目指しながら、制度関連知識、法規、医学関連知識の実践的知識を体系的に学ぶ。医療のICT化の概要を学び診療情報管理士に求められる役割を理解する。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　オリエンテーション、医療保険制度（制度の概要ー社会保険、国民健康保険、後期高齢者医療） 【キーワード】社保、国保、後期高齢者医療制度 【授業概要】本授業の目的、受講上の注意点、評価方法。医療保険の概要。 【教科書ページ・参考文献】医療事務テキスト１、問題集p70~81 【課題・予習・復習・授業準備】医療事務テキスト１の復習。過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。 第２回　医療保検制度（保険給付－療養の給付、高額療養費、保険外併用療養費、入院時食事療養費） 【キーワード】療養の給付、高額療養費、保険外併用療養費、入院時食事療養費 【授業概要】「保険給付」とは被保険者やその家族の病気やけが、出産、死亡などに対し、医療費を負担したり給付金を現金で支給することである。種類と仕組みについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキストp10~99、問題集オリジナル学科ｐ70~81 【課題・予習・復習・授業準備】医療事務テキスト１の復習。過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。 第３回　医療保険制度（資格喪失後－任意継続） 【キーワード】任意継続 【授業概要】社保の被保険者が退職した場合、医療保険の給付が受けられなくなることを緩和するための制度について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキストp10~99 問題集オリジナル学科p70=81 医療事務テキスト１ 【課題・予習・復習・授業準備】医療事務テキスト１の復習。過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。 第４回　医療保険制度（後期高齢者医療制度ー制度の仕組み、高額療養費） 【キーワード】後期高齢者医療制度の仕組みと高額療養費 【授業概要】後期高齢者医療制度は高齢者医療確保法に基づいて後期高齢者の心身の特性や生活実態などを踏まえて制定された医療制度である。仕組みと給付について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキストp36~99 問題集オリジナル学科p70~81 医療事務テキスト１ 【課題・予習・復習・授業準備】医療事務テキスト１の復習。過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

	第５回	公費負担医療制度（制度の概要と負担割合一公費優先公費、医療保険優先公費） 【キーワード】公費優先公費、医療保険優先公費 【授業概要】公費負担医療制度とは、保険診療の中で、保険給付以外の患者一部負担金を税金の中から給付することである、公費優先公費と保険優先公費に分類される。種類と制度の仕組みと医療保険・患者負担との割合について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキストp100~110 問題集オリジナル学科p70~83,医療事務テキスト１ 【課題・予習・復習・授業準備】医療事務テキスト１の復習。過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。
	第６回	主な公費負担医療（生活保護法、難病法、児童福祉法） 【キーワード】生活保護法、難病法、児童福祉法 【授業概要】各公費についｔ、対象者、対象疾病、制度の仕組み、医療保険との関連について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキストp100~109 問題集オリジナル学科p70~83 医療事務テキスト 【課題・予習・復習・授業準備】医療事務テキスト１の復習。過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。
	第７回	主な公費負担医療（精神保健福祉法、障害者総合支援法による自立支援医療） 【キーワード】精神保健福祉法、障害者総合支援法による自立支援医療 【授業概要】各公費について、対象者、対象疾患、制度の仕組み、医療保険との関連などについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキストp100~109 問題集オリジナル学科p70~83 医療事務テキスト 【課題・予習・復習・授業準備】医療事務テキスト１の復習。過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。
	第８回	主な公費負担医療（感染症法） 【キーワード】感染症法 【授業概要】感染症法は、一類感染症～五類感染症、新型インフルエンザ感染症、新感染症、指定感染症に分類される。このうち、公費負担医療の対象となるのは、一類感染症、二類感染症、新型インフルエンザ感染症、新感染症、指定感染症である。対象疾病、制度の仕組み、いりょうほけんとの関連などについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキストp102~ 問題集オリジナル学科ｐ70~83医療事務テキスト1 【課題・予習・復習・授業準備】医療事務テキスト１の復習。過去問題集の学科問1~4を進めてをすすめておくこと
	第９回	保険医療機関等（登録、指定、変更、取り消し、施設基準、届出） 【キーワード】登録、指定、変更、取り消し、施設基準、届け出 【授業概要】保険診療に従事する医師、薬剤師は保険医、保険薬剤師として、厚生労働大臣の登録を受けなければならない。保険診療を担当するためには保険医療機関、保険薬局としての指定が必要である。医療行為についても、届け出医療機関のみが行えるものがある。これらについての、登録、指定、変更、取り消し、届け出について学ぶ。診療報酬請求事務能力認定試験の頻出項目である。 【教科書ページ・参考文献】テキストp112~123 問題集オリジナル学科70~83 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。
	第１０回	療養担当規則 【キーワード】療養担当規則 【授業概要】療養担当規則とは、保険医療機関、保険医が守らなければならない規則である。医療従事者などの業務は療養担当規則の中で規定されていることを理解する。診療報酬請求事務能力認定試験の頻出項目である。 【教科書ページ・参考文献】テキストp124~199問題集オリジナル学科p70~83 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めてを進めておくこと。
	第１１回	療養担当基準 【キーワード】療養担当基準 【授業概要】高齢者医療確保法では、療養担当規則が「療養担当基準」として扱われている。療養担当規則と異なる部分について理解する。 【教科書ページ・参考文献】テキストp124=199問題集オリジナル学科ｐ70~83 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めてを進めておくこと。
	第１２回	模擬試験 【キーワード】模擬試験 【授業概要】模擬試験、解答解説 【教科書ページ・参考文献】プリント、テキスト一式 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。
	第１３回	医療法 【キーワード】医療法 【授業概要】「医療法」はい医療提供のための体制（設備、スタッフ）を確保するための法律である。①医療に関する情報提供、医療業務の広告②開設許可、施設基準、人員基準③医療計画、医療従事者の確保などについえ定められている。「医療法」を読み。医療機関の設備やスタッフは医療法に規定されていることを理解する。 【教科書ページ・参考文献】テキストp234~240 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。
	第１４回	健康保険法 【キーワード】健康保険法 【授業概要】【健康保険法】は事業所に勤務する会社員とその家族等を対象とした医療保険制度（社保）であり、高齢者医療確保法と並んで診療報酬点数表の基礎となる。健康保険法を理解することで、医療保険制度、保険給付などの理解を深める。 【教科書ページ・参考文献】テキストp10~35 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。
	第１５回	高齢者医療確保法 【キーワード】高齢者医療確保法 【授業概要】高齢者への適切な医療確保の為に、医療費の適正化と推進のための計画を作成し、健康診査、保健指導について措置を講ずることを目的とした法律せある。健康保険と並んで診療報酬点数表の基礎となる。高齢者医療確保法を理解することで、医療保障制度、保険給付などの理解を深める。

【教科書ページ・参考文献】テキストp36~80
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

第１６回　医療関係者に関する法律（医師法、歯科医師法、.薬剤師法等）
【キーワード】医師法、歯科医師法、薬剤師法等
【授業概要】医療関係者は、それぞれの持分法に関する法律の業務規程に基づいて業務を遂行することが義務付けられており、18種類に大別されている。医師法を中心に学ぶことで将来の医療秘書としての義務などを学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】テキストp241~255
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

第１７回　医療保険請求事務実技検定試験
【キーワード】医療保険請求事務実技検定試験
【授業概要】医療保険請求事務実技検定試験
【教科書ページ・参考文献】点数表
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

第１８回　ＤＰＣ／ＰＤＰＳについて（診断群分類と１日当たり定額報酬制度）
【キーワード】診断群分類と1日当たり定額報酬制度、DPC点数表
【授業概要】急性期病院のほとんどの一般病棟の入院はDPC対象病院、準備病院に変わりつつある。制度の概要、包括評価の算定方法、請求方法、診断分類の決定のあらましなどを学び、診療情報管理士の役割を知る。
【教科書ページ・参考文献】テキストp200~263
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

第１９回　介護保険制度（介護保険法）（制度の概要）
【キーワード】介護保険制度
【授業概要】制度の目的、概要、仕組み、給付される介護サービスの種類、サービス提供の流れ、機関指定、要介護・要支援認定などについて学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】テキストp256~263
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

第２０回　介護保険制度（ケアプランと支給限度額、介護報酬）
【キーワード】ケアプラン、支給限度額、介護報酬
【授業概要】①介護保険サービスを受けるためにはケアプランが必要である。②ケアプランは支給限度額管理のために必要どぁる。③介護報酬は「単位」と「円」で表す。④給付割合と利用者負担、介護報酬の請求など、医療保険と違うことを学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】テキストp256~263
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

第２１回　介護保険制度（高額介護サービス費）
【キーワード】高額介護サービス
【授業概要】高額介護サービス費の対象、利用者負担の上限、世帯合算、高額医療合算介護サービス費などを学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】テキストp256~263
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

第２２回　介護保険制度（医療保険との関係ー介護保険優先の原則）
【キーワード】医療保険との関係、介護保険優先の原則
【授業概要】①医療機関で提供する介護サービス②費用の算定は介護保険からの給付が優先することを学ぶ。③②の例外（急性憎悪等の訪問看護など）
【教科書ページ・参考文献】テキストp256~263
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

第２３回　薬学の基礎知識と処方箋（薬剤の区分、剤形、内用薬、外用薬等）
【キーワード】薬剤の区分、剤形、内用薬、外用薬
【授業概要】薬剤は剤形によって、固形剤と液剤に、使用方法によって、内用薬、外用薬に区分される。処方箋には基本的様式があり、処方箋を読める力を養うこと、処方箋についての基本的知識を学び、医師や薬剤師の指示が理解出来る様にする。
【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表（投薬の通知）医療事務テキスト１（調剤薬局での事務の仕事）
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

第２４回　総まとめ（総復習問題を使用して、総まとめと弱点補強）
【キーワード】総復習問題を使用して総まとめと弱点補強
【授業概要】総復習問題を使用して総まとめと弱点補強。診療報酬請求事務実技検定試験受験上の注意事項
【教科書ページ・参考文献】テキスト一式。医科診療報酬点数表
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと

第２５回　医療保険制度（医療保険の種類と保険給付・保険外給付）
【キーワード】被用者保険、地域保健、保険診療、保険適用外診療、現物給付、現金給付など
【授業概要】診療情報管理士として習得すべき基本的、実質的な医療保険制度について確認する。
【教科書ページ・参考文献】「診療情報管理Ⅲ】p161~171
【課題・予習・復習・授業準備】本日のテキスト熟読

第２６回　医療保険制度（わが国の診療報酬制度）
【キーワード】保険診療、国民皆保険制度、医科診療報酬点数表
【授業概要】診療情報管理士に関連ある医科診療報酬点数表の構造、構成を確認する。
【教科書ページ・参考文献】「診療情報管理Ⅲ」p172~173
【課題・予習・復習・授業準備】本日のテキスト熟読

第２７回　医療保険制度（保険診療と医療費の支払いの仕組み）
【キーワード】電子カルテ、被保険者証カード化
【授業概要】保険診療のスタートである新患登録～会計までの流れを確認する。
【教科書ページ・参考文献】「診療情報管理Ⅲ」p174~178
【課題・予習・復習・授業準備】本日のテキスト熟読

第２８回　医療保険制度（診療報酬の請求について）
【キーワード】レセプト、診療録の記載事項
【授業概要】診療報酬請求の根拠である診療録の記載事項について学ぶ。

	【教科書ページ・参考文献】「診療情報管理Ⅲ」p179～188 【課題・予習・復習・授業準備】本日のテキスト熟読 第２９回　介護保険と医療保険（医療介護総合確保推進法） 【キーワード】医療介護総合確保推進法 【授業概要】介護保険制度の概要、仕組み、介護報酬の請求などについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】「診療情報管理Ⅲ」p212~219 【課題・予習・復習・授業準備】 第３０回　総まとめ（総復習問題を使用して、総まとめと弱点補強） 【キーワード】総まとめ 【授業概要】総復習問題を使用して総まとめと弱点補強、診療情報管理士取得に向けての心構え 【教科書ページ・参考文献】プリント、テキスト一式 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習
受講生に関わる情報および受講のルール	診療報酬点数表、テキストは必ず持参すること。授業時の演習問題が仕上がらない場合は、必ず、次回までに仕上げる事。過去問題集は、予習を兼ねて、各自、先取り学習をすること。授業に関係のない会話は禁止とする。携帯電話の操作は禁止とする。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	１年次の「医療事務」が基礎となるので、必ず、1年次のテキストの復習をし、疑問点を抽出しておくこと。
オフィスアワー	火曜日、木曜日　10:00～11:30、相談により随時
評価方法	定期試験　50%、小テスト　30%、授業態度　20%
教科書	医科診療報酬点数表（医学通信社）、ビジュアル速解　診療報酬完全攻略マニュアル（医学通信社）、保険診療基本法令テキストブック（社会保険研究所）、受験対策と予想問題集（医学通信社）、診療情報管理Ⅲ（日本病院会）
参考書	印刷資料など
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 【アクティブラーニング】グループ学習【実務経験のある教員による授業科目の配置】病院勤務、社会人教育、レセプト業務などの経験を活かし、より実践的な知識の伝達をし、社会で活躍できる人材の育成をめざす。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　診療報酬請求事務Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
清水　春代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療事務・医療秘書の実務に必要な専門的な知識とスキルを習得し、診療報酬能力認定試験合格を目指す。診療情報管理士として習得すべき基本的かつ実務的な医療保険制度・介護保険制度に習熟する。診断群分類の概要と意義について理解し、診療情報管理士の役割を理解する。 【到達目標】 医療事務者.、医療秘書等、患者様と関わる為に必要な制度が理解できる。病院勤務者として守らなければならない法律が理解できる。診療行為には、施設基準、人員基準が必要な行為もあり、それらの届け出基準等が理解できる。DPCによる包括支払いの算定が理解できる。基礎係数と機能評価係数が理解できる。
授業の概要	医療事務者、医療秘書等、医療機関の事務職に求められる能力として、制度関連知識、医学関連知識、診療報酬請求事務がある。診療報酬請求事務能力認定試験は、これらの能力を問う全国レベルの試験として認知度、信用度が高く、全国合格率も30%前後の難易度の高い試験である。本授業は、より資質の高い病院勤務者となる為に、この試験の合格を目指しながら、制度関連知識、法規、医学関連知識の実践的知識を体系的に学ぶ。DPCの構造を理解し、診療報酬制度の中でどの様に用いられているのかを学び、診療情報管理しの実務を理解する。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	1．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	2．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	3．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 4．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	5．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回	オリエンテーション、医療保険制度（制度の概要ー社会保険、国民健康保険、後期高齢者医療） 【キーワード】オリエンテーション、医療保障制度の概要（社保、国保、後期高齢者医療制度） 【授業概要】本授業の目標、受講上の注意点、評価方法。医療保障制度の概要 【教科書ページ・参考文献】医療事務テキスト１の復習、問題集オリジナル学科問1~3 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。
	第２回	医療保険制度（保険給付ー療養の給付、高額療養費、保険外併用療養費、入院時食事療養費） 【キーワード】療養の給付、高額療養費、保険外併用療養費、入院時食事療養費 【授業概要】演習で知識の定着と弱点補強 【教科書ページ・参考文献】テキストp10~99 問題集オリジナル学科問1~3 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。
	第３回	医療保険制度（資格喪失後ー任意継続） 【キーワード】任意継続 【授業概要】演習で知識の定着と弱点補強 【教科書ページ・参考文献】テキストｐ10~99 問題集オリジナル学科問1~3 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。
	第４回	医療保険制度（後期高齢者医療制度ー制度の仕組み、高額療養費） 【キーワード】後期高齢者医療制度の仕組み、高額療養費 【授業概要】演習で知識の定着と弱点補強 【教科書ページ・参考文献】テキストp36~99　問題集オリジナル学科問1~3 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと
	第５回	公費負担医療制度（制度の概要と負担割合ー公費優先公費、医療保険優先公費） 【キーワード】公費優先公費、保険優先公費 【授業概要】演習で知識の定着と弱点補強 【教科書ページ・参考文献】テキストp100~110 問題集オリジナル学科問4~5 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと
	第６回	主な公費負担医療（生活保護法、難病法、児童福祉法）

【キーワード】生活保護法、難病法、児童福祉法
【授業概要】演習で知識の定着と弱点補強
【教科書ページ・参考文献】テキストp100~109 問題集オリジナル学科問4~5
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

第７回　主な公費負担医療（精神保健福祉法、障害者総合支援法による自立支援医療）
【キーワード】精神保健福祉法、障害者総合支援法による自立支援医療）
【授業概要】演習で知識の定着と弱点補強
【教科書ページ・参考文献】テキストp100~109問題集オリジナル学科問4~5
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

第８回　主な公費負担医療（感染症法）
【キーワード】感染症法
【授業概要】演習で知識の定着と弱点補強
【教科書ページ・参考文献】テキストｐ102 問題集オリジナル学科問4~5
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

第９回　保険医療機関等（登録、指定、取り消し、変更、施設基準、届出）
【キーワード】登録、指定、取り消し、変更、施設基準、届け出
【授業概要】演習で知識の定着と弱点補強
【教科書ページ・参考文献】テキストp112~123問題集オリジナル学科問6~7
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

第１０回　療養担当規則
【キーワード】療養担当規則
【授業概要】演習で知識の定着と弱点補強
【教科書ページ・参考文献】テキストp124~199 問題集オリジナル学科問8~9
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

第１１回　療養担当基準
【キーワード】療養担当基準
【授業概要】演習で知識の定着と弱点補強
【教科書ページ・参考文献】テキストp124~199 問題集オリジナル学科問8~9
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

第１２回　模擬試験
【キーワード】模擬試験、解答解説
【授業概要】模擬試験、解答解説
【教科書ページ・参考文献】テキスト一式
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

第１３回　医療法
【キーワード】医療法
【授業概要】演習で知識の定着と弱点補強
【教科書ページ・参考文献】テキストp234~240 問題集オリジナル学科問1~3,57~58
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

第１４回　健康保険法
【キーワード】健康保険法
【授業概要】演習で知識の定着と弱点補強
【教科書ページ・参考文献】テキストp10~35 問題集オリジナル学科問1~3,57~58
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

第１５回　高齢者医療確保法
【キーワード】高齢者医療確保法
【授業概要】演習で知識の定着と弱点補強
【教科書ページ・参考文献】テキストｐ36~80　問題集オリジナル学科問1~3,57~58
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

第１６回　医療関係者に関する法律（保健師助産師看護師法、理学療法士及び作業療法士法、栄養士法等）
【キーワード】保健師助産師看護師法、理学療法士及び作業療法士法、栄養士法
【授業概要】医療関係者はそれぞれの身分法の業務規程に基づいて業務を遂行することが義務付けられている。他部門の業務規程を学ぶことは多職種連携医療の一員として意義のあることである。
【教科書ページ・参考文献】テキストp241~255 問題集オリジナル学科問１～３，５７～５８
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

第１７回　医療保険請求事務実技検定試験
【キーワード】医療保険請求事務実技検定試験
【授業概要】医療保険請求事務実技検定試験
【教科書ページ・参考文献】教材一式
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

第１８回　ＤＰＣ／ＰＤＰＳについて（診断群分類と1日当たり定額報酬制度）
【キーワード】診断分類と1日当たりの定額報酬制度
【授業概要】演習で知識の定着と弱点補強
【教科書ページ・参考文献】テキストp200~234 問題集オリジナル学科問p1~3,57~58
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

第１９回　介護保険制度（介護保険法）（制度の概要）
【キーワード】介護保険法、制度の概要
【授業概要】演習で知識の定着と弱点補強
【教科書ページ・参考文献】テキストp256~263 問題集オリジナル学科問59~60
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めて

第２０回　介護保険制度（ケアプランと支給限度額、介護報酬）
【キーワード】ケアプラン、支給限度額、介護報酬
【授業概要】演習で知識の定着と弱点補強
【教科書ページ・参考文献】テキストp256~263 問題集オリジナル学科問59~60
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。

第２１回　介護保険制度（高額介護サービス費）
【キーワード】高額介護サービス費

	【授業概要】演習で知識の定着と弱点補強 【教科書ページ・参考文献】テキストp256~263 問題集オリジナル学科問59~60 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。 第２２回　介護保険制度（医療保険との関係ー介護保険優先の原則） 【キーワード】医療保険との関係、介護保険優先の原則 【授業概要】演習で知識の定着と弱点補強 【教科書ページ・参考文献】テキストp256~263 問題集オリジナル学科問59~60 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。 第２３回　薬学の基礎知識と処方箋（薬剤の区分、剤形による区分、使用方法による区分等） 【キーワード】薬剤の区分、剤形による区分、使用方法による区分 【授業概要】演習で知識の定着と弱点補強 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表（通知）問題集オリジナル学科問55~56 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。 第２４回　総まとめ（総復習問題を使用して、総まとめと弱点補強） 【キーワード】総まとめと弱点補強 【授業概要】総まとめと弱点補強 【教科書ページ・参考文献】プリント、テキスト一式 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習 第２５回　わが国の診断群分類（ケースミックス区分法と診断群分類） 【キーワード】ケースミックス区分法 【授業概要】定義、診断分類群を必要とする理由 【教科書ページ・参考文献】【診療情報管理Ⅲ」p188~189 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科問1~4を進めておくこと。本日の復習 第２６回　わが国の診断群分類（わが国の診断群分類誕生の背景） 【キーワード】日本版DRG、 【授業概要】定義とわが国における診断群分類の開発と普及の歴史 【教科書ページ・参考文献】「診療情報管理Ⅲ」p190~191 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習 第２７回　わが国の診断群分類（DPC） 【キーワード】基礎係数、機能評価係数 【授業概要】定義、条件を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】「診療情報管理Ⅲ」p191~212 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習 第２８回　わが国の診断群分類（DPCと包括評価） 【キーワード】ICD-10,DPC 【授業概要】定義、構造を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】「診療情報管理Ⅲ」p191~198 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習 第２９回　介護保険制度 【キーワード】医療介護総合確保推進法 【授業概要】制度の背景、概要、しくみ、介護報酬の請求を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】「診療情報管理Ⅲ」p212~219 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習 第３０回　総まとめ（総復習問題を使用して、総まとめと弱点補強） 【キーワード】総まとめ 【授業概要】総復習問題を使用して総まとめと解答解説。診療情報管理士をめざすための心構え、勉強法 【教科書ページ・参考文献】プリント 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習
受講生に関わる情報および受講のルール	診療報酬点数表、テキストは毎回持参すること。授業時の演習問題が仕上がらない場合は、必ず、次回までに仕上げること。過去問題集は、予習を兼ねて、各自、先取り学習をすること。授業中の携帯電話の操作は禁止。私語は慎むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	1年次の「医療事務」が基礎となるので必ず、1年次のテキストの復習をし、疑問点を抽出しておくこと。
オフィスアワー	火曜日、木曜日　10:00～11:30、相談により随時
評価方法	定期試験　50%、小テスト　30%、授業態度　20%
教科書	医科診療報酬点数表（医学通信社）、ビジュアル速解　診療報酬完全攻略マニュアル（医学通信社）、保険診療　基本法令マニュアルブック（社会保険研究所）、受験対策と予想問題集（医学通信社）、診療情報管理Ⅲ（日本病院会）
参考書	印刷資料など
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 【アクティブラーニング】グループ学習【実務系経験のある教員による授業科目の配置について】20年以上の病院業務、社会人教育、請求事務などの経験を活かし、医療機関で求められる資質などを伝え、社会で活躍できる人材の教育をめざす。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク

	□プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　診療報酬請求事務Ⅲ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
清水　春代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療事務・医療秘書の実務に必要な、専門的かつ実践的な知識とスキルを習得し、「診療報酬能力認定試験」合格を目指す。 【到達目標】 診療報酬算定の根拠である、「診療報酬点数表」を引きこなすことができる。 カルテを読み、治療の内容や流れを理解して、点数算定をすることができる。 困難な問題に対して、自主的な調べ学習で、問題解決をすることができる。
授業の概要	医療事務者、医療秘書等、医療機関の事務職に求められる能力として、制度関連知識、医学関連知識、診療報酬請求事務がある。診療報酬請求事務能力認定試験は、これらの能力を問う全国レベルの試験として認知度、信用度が高く、全国合格率も30%前後の難易度の高い試験である。本授業は、より資質の高い病院勤務者となる為に、この試験の合格を目指しながら、医学関連知識、診療報酬請求事務の実践的知識を体系的に学ぶ。授業は診療報酬能力認定試験の過去問題集と医科診療報酬点数表を中心に行う。1年次に習得した医療事務の基礎知識を、更に深め、実践的で高度な内容となる。医科診療報酬点数表をひきこなし、自らの調べ学習で問題解決をしながら、診療報酬を算定し、レセプト作成をする。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	1．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	2．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	3．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 4．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	5．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　オリエンテーション。医科診療報酬点数表の引き方 【キーワード】医科診療報酬点数表、通則、通知、告示、注 【授業概要】本授業の目標、受講上の注意点、評価方法。医療事務員は業務上、医科診療報酬点数表を正確にひきこなすことを求められる。又、診療報酬請求事務能力認定試験合格のためには必須事項である。今後の学習を円滑に進めるために、点数表を引くに当たってのルールや語句の意味を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表（表紙～点数表の読解術） 【課題・予習・復習・授業準備】1年次の医療事務の復習をしておくこと。 第２回　レセプト作成上の留意点（同一月、同一医療機関、同一患者に複数のレセプト作成の場合。上書部分の留意点。請求方法） 【キーワード】同一月、同一医療機関、同一患者に複数のレセプト作成。上書き部分の留意点。請求方法 【授業概要】レセプト作成の基本は、同一医療機関において、1患者1枚である。例外的に複数作成する場合を体系的に学ぶ。患者情報部分の変更時の対応とオンライン請求の例外を学ぶ 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表 【課題・予習・復習・授業準備】点数表にインデックスをつけること。 第３回　点数の算定（基本診療料と特掲診療料）、診察料（初診料、再診料、外来診療料） 【キーワード】基本診療料、特掲診療料、初診料、再診料、外来診療料 【授業概要】基本診療料と特掲診療料の定義、病院の病床区分について学ぶ。診察料は、1年次の医療事務で学んだ内容を更に、詳細、実践的に学ぶ。（時間外特例医療機関、総合外来と複数科診察料） 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp22~64,問題集のオリジナル学科問11~14 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科を進めておくこと。 第４回　医学管理（実務や試験に出やすい医学管理料を中心に、対象疾患、算定の留意点等を実践的に学ぶ。）

【キーワード】実務や試験に出やすい医学管理
【授業概要】対象疾患、算定の留意点を実践的に学ぶ。医学管理のキーワードなどで判断し、点数表を読みこなす力を養う。
【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキスト　p89~91
【課題・予習・復習・授業準備】学科問題集オリジナル学科を進めておくこと。

第５回　在宅患者診療・指導料（実務や試験に出やすい医学管理料を中心に、対象疾患、算定の留意点等を実践的に学ぶ。）
【キーワード】実務や試験に出やすい在宅患者・診療指導料
【授業概要】対象疾患、算定の留意点を実践的に学ぶ。在宅患者診療・指導料は現場でも算定が難しい部分が多いのでキーワードなどで判断し、点数表を読みこなす力を養う。特に往診料と訪問診療の違い、加算などはしっかりと理解する。
【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp112~140,問題集オリジナル学科問25~27
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科を進めておくこと。

第６回　在宅療養指導管理料（実務や試験に出やすい医学管理料を中心に、対象疾患、算定の留意点等を実践的に学ぶ。）
【キーワード】実務や試験に出やすい在宅療養指導管理料
【授業概要】対象疾患、算定の留意点などを実践的に学ぶ。在宅療養指導管理料は、現場でも算定が難しい部分が多いのでキーワードなどで判断し、点数表を読みこなす力を養う。
【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp112~140,問題集オリジナル学科問25~27
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科を進めておくこと。

第７回　投薬料（薬剤料、調剤料、処方料、調剤技術基本料、処方箋料、加算）
【キーワード】薬剤料、調剤料、処方料、調剤技術基本料、処方箋料、加算
【授業概要】1年次の医療事務での学習を更に、発展的、実践的に学ぶ。（ビタミン剤、うがい薬、サンプルの投与、抗悪性腫瘍剤処方管理加算、特定疾患処方管理加算、投与日数の制限など）
【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp225~230,問題集オリジナル学科問28~29

【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科を進めておくこと。

第８回　注射料（通則、薬剤料、主な注射料、特定保険医療材料料、無菌製剤処理料）
【キーワード】通則、薬剤料、主な注射料、特定保険医療材料料、無菌製剤処理料
【授業概要】1年次の医療事務での学習を更に、発展的、実践的に学ぶ。（精密持続点滴注射加算、外来化学療法加算、無菌製剤処理料など）
【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp237~249、問題集オリジナル学科問30~31
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科を進めておくこと。

第９回　処置（通則、処置医療機器等加算、1日につきの処置等）
【キーワード】通則、処置医療機器加算、1日につきの処置
【授業概要】1年次の医療事務での学習を更に、発展的、実践的に学ぶ（時間外加算1、人工腎臓、在宅医療との関連、複数の処置を行った場合。穿刺部位の処置等）
【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp270~290,問題集オリジナル学科問38~40
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科を進めておくこと。

第１０回　手術料（通則、手術医療機器加算、同一手術野に2以上の手術、指の手術等）
【キーワード】通則、手術医療機器加算、同一手術野に2つ以上の手術、指の手術
【授業概要】1年次の医療事務での学習を更に、発展的、実践的に学ぶ（通則の加算一頸部郭清術加算、感染症患者加算、同一手術野に2つ以上の手術の場合の3つの算定方法、指の手術。施設基準、手術の中絶など）
【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp291~377 問題集オリジナル学科問41~43
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科を進めておくこと。

第１１回　輸血料（所定点数、薬剤料、輸血管理料等）
【キーワード】所定点数、薬剤料、輸血管理料
【授業概要】1年次の医療事務での学習を更に、発展的、実践的に学ぶ（一連につき、頻回の輸血、加算、輸血管理料）
【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp378~382,問題集オリジナル学科問41~43
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科を進めておくこと。

第１２回　麻酔料（通則、麻酔管理料、マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔等）神経ブロック料
【キーワード】通則、麻酔管理料、マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔、神経ブロック料
【授業概要】1年次の医療事務での学習を更に、発展的、実践的に学ぶ（麻酔管理料、、マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔の複数区分を同時に行った場合など）
【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp385~394 問題集オリジナル学科問44~45
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科を進めておくこと。

第１３回　検体検査（通則の加算、検体検査判断料、検体検査管理加算、診断穿刺・検体採取料）
【キーワード】通則の加算、検体検査判断料、検体検査管理加算、診断穿刺・検体採取料
【授業概要】1年次の医療事務での学習を更に、発展的、実践的に学ぶ（検体検査管理加算、骨髄像診断加算、遺伝カウンセリング加算、診断穿刺・検体採取料）
【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp141~169,問題集オリジナル学科問32~35
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科を進めておくこと。

第１４回　生体検査（通則の加算、逓減算定、生体検査判断料、麻酔を行った場合）
【キーワード】通則の加算、生体検査判断料、逓減算定、麻酔を行った場合
【授業概要】1年次の医療事務での学習を更に、発展的、実践的に学ぶ。（逓減算定における同一検査、遠隔脳波診断）

【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp400~402　問題集オリジナル学科問32~35
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科を進めておくこと。

第１５回　病理診断（病理組織標本作製料、術中迅速病理組織標本作製料、病理診断料と病理判断料、病理診断管理加算等）
【キーワード】病理組織標本作製料、術中迅速病理組織標本作製料、病理診断料と病理判断料、病理診断管理加算
【授業概要】1年次の医療事務での学習を更に、発展的、実践的に学ぶ（病理標本作製料、術中迅速病理組織標本作製料、組織診断料、細胞診断料、病理判断料、病理診断管理加算）
【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp400~402　問題集オリジナル学科問32~35
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科を進めておくこと。

第１６回　画像診断（画像診断管理加算、エックス線診断料、透視診断、対称部位の撮影等）
【キーワード】画像診断管理加算、エックス線診断、透視診断、対称部位の撮影
【授業概要】1年次の医療事務での学習を更に、発展的、実践的に学ぶ。（画像診断管理加算、二法併施、一連の定義、透視診断は消化管のみ算定、対称部位で得よう側の算定の場合など）
【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp192~224　問題集オリジナル学科問36~37
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科を進めておくこと。

第１７回　画像診断（核医学診断料、コンピューター断層撮影診断料、撮影料、診断料、撮影料の加算等）
【キーワード】核医学撮影診断料、コンピューター断層撮影診断料、加算
【授業概要】1年次の医療事務での学習を更に、発展的、実践的に学ぶ。（画像診断管理加算、コンピューター断層撮影診断料は施設基準によって算定が変わる。ＣＴ撮影、MRI撮影には届け出の必要なかさんがある。同一月のCTとMRI撮影など）
【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp192~224,問題集オリジナル学科問36~37
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科を進めておくこと。

第１８回　リハビリテーション料（通則、疾患別リハビリテーション料、リハビリテーション総合計画評価料等）
【キーワード】通則、疾患別リハビリテーション料、リハビリテーション総合計画評価料
【授業概要】1年次の医療事務での学習を更に、発展的、実践的に学ぶ（リハビリテーション総合計画評価料、廃用症候群リハビリテーション料、同日に合わせて算定できない処置等）
【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp250~259 問題集オリジナル学科問48~49
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科を進めておくこと。

第１９回　精神科専門療法（精神科標榜と精神科標榜以外、主な精神科専門療法料）、放射線治療（通則、管理料）
【キーワード】精神科標榜と精神科標榜以外、主な精神科専門療法、放射線治療の通則、放射線治療管理料
【授業概要】1年次の医療事務での学習を更に、発展的、実践的に学ぶ。（精神科標榜以外でも算定できる項目。入院精神療法、通院・在宅精神療法、など）放射線治療（管理料、新生児、乳幼児・小児加算、放射線同位元素内用療法管理料など
【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp260~262 問題集オリジナル学科問50~51
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科を進めておくこと。

第２０回　入院基本料（一般病棟入院基本料、有床診療所入院基本料、入院90日超、ペナルティ等）入院基本料等加算（一般病棟入院基本料に対する加算）
【キーワード】一般病棟入院基本料、有床診療所入院基本料、入院90日超え、ペナルティ、一般病棟入院基本料加算）
【授業概要】1年次の医療事務での学習を更に、発展的、実践的に学ぶ。（一般病棟入院基本料、有床診療所入院基本料、入院90日超えの入院料、入院基本料のペナルティ、外泊、精神及び行動の障害患者の外泊、再入院など）
【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp34~74 問題集オリジナル学科問15~18
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科を進めておくこと。

第２１回　入院時食事療養費（入院時食事療養Ⅰ、Ⅱ、特別食加算、標準負担額）
【キーワード】入院時食事療養費Ⅰ・Ⅱ、特別食加算、標準負担金
【授業概要】1年次の医療事務での学習を更に、発展的、実践的に学ぶ。（Ⅰは届け出である。特別食加算はⅠのみの加算である。特別食の種類等）
【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp403~406 問題集オリジナル学科問19~20
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科を進めておくこと。

第２２回　特定入院料（救命救急入院料、特定集中治療室管理料、回復期リハビリテーション病棟入院料等）
【キーワード】救命救急入院料、特定集中治療室管理料、回復器リハビリテーション病棟入院料等
【授業概要】1年次の医療事務での学習を更に、発展的、実践的に学ぶ。（同日2つ以上の特定入院料の算定は不可である。包括される医療行為等。
【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp75~84 問題集オリジナル学科問15~18
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科を進めておくこと。

第２３回　短期滞在手術基本料 1、短期滞在手術基本料　2、短期滞在手術基本料　3
【キーワード】短手１、短手２、短手３
【授業概要】1年次の医療事務での学習を更に、発展的、実践的に学ぶ。（対象疾患。同一疾病又は負傷で退院の日から7日以内に再入院した場合は出来高算定となる。包括される医療行為等。）
【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp85~88 問題集オリジナル学科問15~18
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科を進めておくこと。

第２４回　総まとめ（総復習問題を使用して、総まとめと弱点補強）
【キーワード】総まとめ、弱点補強

	【授業概要】総復習問題を使用して総まとめと弱点補強 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキスト、総復習用プリント 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の学科を進めておくこと。 第２５回　症例研究（グループ研究） 【キーワード】症例研究 【授業概要】グループ作成。テーマ決め。研究例：Ｃ型肝炎、糖尿病、子宮筋腫、虚血性心疾患、気胸、橈骨遠位端骨折等、病気について調べ学習 研究例：病院受付時のクレーム対応、患者依頼の対応等、場面を設定し、対応の仕方を工夫する。 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、各自 【課題・予習・復習・授業準備】各自 第２６回　症例研究（グループ研究） 【キーワード】症例研究。 【授業概要】研究例：Ｃ型肝炎、糖尿病、子宮筋腫、虚血性心疾患、気胸、橈骨遠位端骨折等、病気について調べ学習 研究例：病院受付時のクレーム対応、患者依頼の対応等、場面を設定し、対応の仕方を考える。 【教科書ページ・参考文献】各自 【課題・予習・復習・授業準備】各自 第２７回　症例研究（グループ研究） 【キーワード】症例研究 【授業概要】 研究例：Ｃ型肝炎、糖尿病、子宮筋腫、虚血性心疾患、気胸、橈骨遠位端骨折等、病気について調べ学習 。 研究例：病院受付時のクレーム対応、患者依頼の対応等、場面を設定し、対応の仕方を考える。 【教科書ページ・参考文献】各自 【課題・予習・復習・授業準備】各自 第２８回　症例研究（グループ研究） 【キーワード】症例研究 【授業概要】 研究例：Ｃ型肝炎、糖尿病、子宮筋腫、虚血性心疾患、気胸、橈骨遠位端骨折等、病気について調べ学習 。研究例：病院受付時のクレーム対応、患者依頼の対応等、場面を設定し、対応の仕方を考える 【教科書ページ・参考文献】各自 【課題・予習・復習・授業準備】各自 第２９回　症例研究（グループ研究） 【キーワード】症例研究まとめ 【授業概要】発表準備 【教科書ページ・参考文献】各自 【課題・予習・復習・授業準備】各自 第３０回　症例研究発表 【キーワード】グループごとの発表 【授業概要】発表、講評、振り返り
受講生に関わる情報および受講のルール	診療報酬点数表、テキストは毎回持参すること。授業時の演習問題が仕上がらない場合は、必ず、次回までに仕上げること。過去問題集は、予習を兼ねて、各自、先取り学習をすること。授業中の携帯電話の操作は禁止。私語は慎むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	1年次の「医療事務」が基礎となるので必ず、1年次のテキストの復習をし、疑問点を抽出しておくこと。
オフィスアワー	火曜日、木曜日　10:00～11:30、相談により随時
評価方法	定期試験　50%、小テスト　30%、授業態度　20%
教科書	医科診療報酬点数表（医学通信社）、ビジュアル速解診療報酬完全攻略マニュアル（医学通信社）、保険診療　基本法令テキストブック（社会保険研究所）、受験対策と予想問題集（医学通信社）
参考書	印刷資料など
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 20年以上の病院業務、レセプト請求業務、社会人教育業務などの経験を活かし、より実践的知識の運用など、社会で求められている考え方などの教育を行い、社会で活躍し、貢献できる人材育成をめざす。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　診療報酬請求事務Ⅳ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
清水　春代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療事務・医療秘書の実務に必要な、専門的かつ実践的な知識とスキルを習得し、「診療報酬能力認定試験」合格を目指す。 【到達目標】 診療報酬算定の根拠である、「診療報酬点数表」を引きこなすことができる。 カルテを読み、治療の内容や流れを理解して、点数算定をすることができる。 困難な問題に対して、自主的な調べ学習で、問題解決をすることができる。
授業の概要	医療事務者、医療秘書等、医療機関の事務職に求められる能力として、制度関連知識、医学関連知識、診療報酬請求事務がある。診療報酬請求事務能力認定試験は、これらの能力を問う全国レベルの試験として認知度、信用度が高く、全国合格率も30%前後の難易度の高い試験である。本授業は、より資質の高い病院勤務者となる為に、この試験の合格を目指しながら、医学関連知識、診療報酬請求事務の実践的知識を体系的に学ぶ。授業は診療報酬能力認定試験の過去問題集と医科診療報酬点数表を中心に行う。1年次に習得した医療事務の基礎知識を、更に深め、実践的で高度な内容となる。医科診療報酬点数表をひきこなし、自らの調べ学習で問題解決をしながら、診療報酬を算定し、レセプト作成をする。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	1．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	2．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	3．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 4．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	5．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回	オリエンテーション。医科診療報酬点数表の引き方（告示、通知、通則、点数、点数表における用語の意味等） 【キーワード】オリエンテーション、医科診療報酬点数表の引き方（告示、通知、通則、点数、点数表における用語の意味） 【授業概要】本授業の目標、受講上の注意点、評価方法。点数表の引き方を身に付ける。 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、受験対策と予想問題集（カルテの読解術、レセプト作成術、略語） 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の実技を進めておくこと。
	第２回	レセプト作成上の留意点（診療実日数、傷病名等、上書部分の留意点、請求方法） 【キーワード】診療実日数、傷病名、上書きの留意点、請求方法 【授業概要】カルテのぢっか医術、レセプト作成術、略語の学習。問題集オリジナル実技1号のレセプト作成を通して総合的、樹種的、実践的な学びを体得する 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp407~429 問題集オリジナル実技1号 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の実技を進めておくこと。
	第３回	点数の算定（病床区分と許可病床）、診察料（初診料、再診料、外来診療料） 【キーワード】病床数と許可病床数、初診料、再診料、外来診療科 【授業概要】過去問題集オリジナル実技2号のレセプト作成を通して総合的、自主的、実践的な学びを体得する 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp22~25 オリジナル実技2号 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の実技を進めておくこと。
	第４回	医学管理（実務や試験に出やすい医学管理料を中心に、対象疾患、算定の留意点等を実践的に学ぶ。） 【キーワード】実務や試験に出やすい医学管理、対象疾患、算定の留意点 【授業概要】過去問題集オリジナル実技3号のレセプト作成を通して総合的、自主的に、実践的な学びを体得する 【教科書ページ・参考文献】テキストp89~111　問題集オリジナル実技3号、医科診療報酬点数表 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集の実技を進めておくこと。

	第５回	在宅患者診療・指導料（実務や試験に出やすい医学管理料を中心に、対象疾患、算定の留意点等を実践的に学ぶ。） 【キーワード】実務や試験に出やすい在宅患者診療・指導料、対象疾患、算定の留意点 【授業概要】過去問題集オリジナル実技4号のレセプト作成を通して総合的、自主的、実践的な学びを体得する 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、過去問題集オリジナル実技4号、テキストｐ112~140 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集実技を進めておくこと。
	第６回	在宅療養指導管理料（実務や試験に出やすい医学管理料を中心に、対象疾患、算定の留意点等を実践的に学ぶ。） 【キーワード】実務や試験に出やすい在宅療養指導管理料、対象疾患、算定の留意点 【授業概要】過去問題集オリジナル実技5号のレセプト作成を通して総合的、自主的、実践的な学びを体得する 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp112~140 問題集オリジナル実技5号 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集実技を進めておくこと。
	第７回	投薬料（薬剤料、調剤料、処方料、調剤技術基本料、処方箋料、加算） 【キーワード】薬剤料、調剤料、処方料、調剤技術基本料、処方箋料、加算 【授業概要】過去問題集オリジナル実技6号のレセプト作成を通して総合的、自主的、実践的な学びを体得する 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp225~236 問題集オリジナル実技6号 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集実技を進めておくこと。
	第８回	注射料（通則、薬剤料、主な注射料、特定保険医療材料料、無菌製剤処理料） 【キーワード】通則、薬剤料、、主な注射料、特定保険医療材料料、、無菌製剤処理料 【授業概要】過去問題集オリジナル実技7号のレセプト作成を通して総合的、自主的、実践的な学びを体得する 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp237~249 問題集オリジナル実技7号 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集実技を進めておくこと。
	第９回	処置（主な処置料ー創傷処置、熱傷処置等） 【キーワード】主な処置料、創傷処置、熱傷処置 【授業概要】過去問題集40回入院レセプト作成を通して総合的、自主的、実践的な学びを体得する。 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp270~290 問題集40回実技（入院） 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集実技を進めておくこと。
	第１０回	手術料（同一手術野に2以上の手術、指の手術、対称器官に対する手術等） 【キーワード】同一手術野に2つ以上の手術、指の手術、対称器官に対する手術 【授業概要】過去問題集実技41回（入院）のレセプト作成を通して総合的、自主的、実践的な学びを体得する 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp291~377 問題集41回実技（入院） 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集実技を進めておくこと。
	第１１回	輸血料（保存血液輸血） 【キーワード】保存血液輸血、輸血管理料 【授業概要】過去問題集41回（外来）のレセプト作成を通して総合的、自主的、実践的な学びを体得する 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp378~384 問題集41回実技（外来） 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集実技を進めておくこと。
	第１２回	麻酔料（マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔等）、神経ブロック料 【キーワード】マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身、神経ブロック 【授業概要】過去問題集42回（入院）のレセプト作成を通して総合的、自主的、実践的な学びを体得する 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp385~394 問題集42回実技（入院） 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集実技を進めておくこと。
	第１３回	検体検査（通則の加算、検体検査判断料、検体検査管理加算、診断穿刺・検体採取料） 【キーワード】通則の加算、検体検査判断料、検体検査管理加算、診断穿刺・検体採取料 【授業概要】過去問題集実技42回（外来）のレセプト作成を通して総合的、自主的、実践的な学びを体得する 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp141~169 問題集42回（外来） 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集実技を進めておくこと。
	第１４回	生体検査（逓減算定、対称器官の生体検査、薬剤料、麻酔を行った場合） 【キーワード】逓減算定、対称器官の生体検査、薬剤料、麻酔を使用した場合 【授業概要】過去問題集実技43回（外来）のレセプト作成を通して総合的、自主的、実践的な学びを体得する43 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp170~191 問題集43回実技（外来） 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集実技を進めておくこと。
	第１５回	病理診断（病理組織標本作製料、術中迅速病理組織標本作製料、病理診断料と病理判断料、病理診断管理加算等） 【キーワード】病理組織標本作製料、術中迅速病理組織標本作製料、病理診断料と病理判断料、病理診断管理加算 【授業概要】過去問題集実技43回（入院）のレセプト作成を通して総合的、自主的、実践的な学びを体得する 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp400~402 問題集43回実技（入院） 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集実技を進めておくこと。
	第１６回	画像診断（画像診断管理加算、エックス線診断料、2方向撮影、一連につき、読影、アナログ撮影とデジタル撮影等） 【キーワード】画像診断管理加算、エックス線診断、2方向撮影、一連につき、読影、アナログ撮影、デジタル撮影 【授業概要】過去問題集実技44回（外来）のレセプト作成を通して総合的、自主的、実践的な学びを体得する 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp192~215 問題集44回実技（外来） 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題実技を進めておくこと。

	第１７回	画像診断（核医学診断料、コンピューター断層撮影診断料、同一月のＣＴ撮影とＭＲＩ撮影等） 【キーワード】核医学撮影診断料、コンピューター断層撮影診断料、同一月にＣＴ撮影とMRI撮影 【授業概要】過去問題集実技44回（入院）のレセプト作成を通して総合的、自主的、実践的な学びを体得する 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp216~224 問題集44回実技（入院） 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集実技を進めておくこと。
	第１８回	リハビリテーション料（心大血管リハビリテーション料、脳血管リハビリテーション料、廃用症候群リハビリテーション料、運動器リハビリテーション料、呼吸器リハビリテーション料等） 【キーワード】心大血管リハビリテーション料、、脳血管疾患リハビリテーション料、廃用症候群リハビリテーション、運動器リハビリテーション料、呼吸器リハビリテーション料 【授業概要】過去問題集実技45回（外来）のレセプト作成を通して総合的、自主的、実践的な学びを体得する 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp250~259 問題集45回実技（外来） 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集実技を進めておくこと。
	第１９回	精神科専門療法（入院精神療法、通院・在宅精神療法等）、放射線治療（体外照射等） 【キーワード】入院精神療法、通院・在宅精神療法、体外照射 【授業概要】過去問題集実技45回（入院）のレセプト作成を通して総合的、自主的、実践的な学びを体得する 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp260~269 問題集45回実技（入院） 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集実技を進めておくこと。
	第２０回	入院基本料（一般病棟入院基本料、有床診療所入院基本料、入院90日超、ペナルティ等）入院基本料等加算（一般病棟入院基本料に対する加算） 【キーワード】一般病棟入院基本料、有床診療所入院基本料、入院90日超え、ペナルティ、入院基本料加算 【授業概要】過去問題集実技46回（外来）のレセプト作成を通して総合的、自主的、実践的な学びを体得する 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp34~74 問題集46回実技（外来） 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集実技を進めておくこと。
	第２１回	入院時食事療養費（入院時食事療養Ⅰ、Ⅱ、特別食加算、標準負担額） 【キーワード】入院時食事療養費Ⅰ・Ⅱ、特別食加算、標準負担金 【授業概要】過去問題集実技46回（入院）のレセプト作成を通して総合的、自主的、実践的な学びを体得する 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp403~406 問題集46回実技（入院） 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集実技を進めておくこと。
	第２２回	特定入院料（救命救急入院料、特定集中治療室管理料、回復期リハビリテーション病棟入院料等） 【キーワード】救命救急入院料、特定集中治療室管理料、回復期リハビリテーション病棟入院料 【授業概要】過去問題集47回（外来）のレセプト作成を通して総合的、自主的、実践的な学びを体得する 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp75~84 問題集47回実技（外来） 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集実技を進めておくこと。
	第２３回	短期滞在手術基本料 1、短期滞在手術基本料　2、短期滞在手術基本料　3 【キーワード】短手１、短手２、短手３ 【授業概要】過去問題集実技47回（入院）のレセプト作成を通して総合的、自主的、実践的な学びを体得する 【教科書ページ・参考文献】医科診療報酬点数表、テキストp85~88 問題集47回実技（入院） 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集実技を進めておくこと。
	第２４回	総まとめ（総復習問題を使用して、総まとめと弱点補強） 【キーワード】総まとめ、弱点補強 【授業概要】総復習問題を使用して総まとめと弱点補強 【教科書ページ・参考文献】総復習問題（プリント）医科診療報酬点数表、テキスト 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集実技を残さず行うこと。
	第２５回	医療の世界を知る。 【キーワード】医療の世界をしる。 【授業概要】病院経営などを含めた論文等を読み、グループ討論。グループ発表。 【教科書ページ・参考文献】論文のプリント 【課題・予習・復習・授業準備】本日の論文についての考察
	第２６回	医療の世界を知る。 【キーワード】病院事務職員定着率 【授業概要】病院事務職の抱える問題点などをも含めた論文などを読み、グループ討論。グループ発表。 【教科書ページ・参考文献】論文プリント 【課題・予習・復習・授業準備】本日の論文についての考察
	第２７回	医療の世界を知る。 【キーワード】病院における事務職員の役割 【授業概要】病院事務職の役割などを含む論文などを読み、グループ討論。グループ発表。 【教科書ページ・参考文献】論文プリント 【課題・予習・復習・授業準備】本日の論文についての考察
	第２８回	社会と病院 【キーワード】これからの病院経営に活躍する事務職員 【授業概要】社会動向の中での病院事務職の役割や課題を探そう（グループ学習） 【教科書ページ・参考文献】論文プリント 【課題・予習・復習・授業準備】本日の論文についての考察
	第２９回	社会と病院 【キーワード】病院経営と事務職員 【授業概要】前回探した課題についてグループ学習 【教科書ページ・参考文献】プリント 【課題・予習・復習・授業準備】発表準備
	第３０回	研究発表

	【キーワード】グループ発表 【授業概要】グループ発表、講評 【教科書ページ・参考文献】プリント、各自資料 【課題・予習・復習・授業準備】振り返りと考察
受講生に関わる情報および受講のルール	診療報酬点数表、テキストは毎回持参すること。授業時の演習問題が仕上がらない場合は、必ず、次回までに仕上げること。過去問題集は、予習うを兼ねて、各自、先取り学習をすること。授業中の携帯電話の操作は禁止。私語は慎むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	1年次の「医療事務」が基礎となるので必ず、1年次のテキストの復習をし、疑問点を抽出しておくこと。授業で残った演習問題は、必ず仕上げておくこと。
オフィスアワー	火曜日、木曜日　10:00～11:30、相談により随時
評価方法	定期試験　50%、小テスト　30%、授業態度　20%
教科書	医科診療報酬点数表（医学通信社）、ビジュアル速解　診療報酬完全攻略マニュアル（医学通信社）、保険診療基本法令テキストブック（社会保険研究所）、受験対策と予想問題集（医学通信社）
参考書	印刷資料など
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 20年以上の病院業務、レセプト請求業務、社会人教育業務などの経験を活かし、より実践的な思考、知識運用などの伝達を含め、社会で活躍し、貢献できる人材育成指導をめざす。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　調剤事務Ⅰ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
清水　春代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療従事者としての心構えと幅広い知識の習得を目指す。 医療保険制度及び調剤報酬の基礎知識を習得する。 保険薬局の業務の流れを理解し、実践力を習得する。 【到達目標】 1）保険薬局の役割、保険調剤を理解し、医療従事者として相応しい立ち振る舞いを身に付ける。 2）医療保険制度、医薬品関連法規及び薬剤の基礎知識を習得し、定められた事項を遵守できる。 3）処方箋を理解し、調剤レセプトの作成ができる。
授業の概要	保険薬局・保険調剤・医療保険制度・医薬品関連法規・薬剤等の基礎知識を習得し、調剤報酬の点数算定を習得する。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　オリエンテーション　講義の進め方，評価法，レポート課題など、医療現場と保険薬局、調剤事務とは 【キーワード】オリエンテーション、医療保障制度 【授業概要】授業の目標、評価方法、受講上の注意点、医療保障制度 【教科書ページ・参考文献】1年次の医療事務テキスト1 【課題・予習・復習・授業準備】1年次の医療保障制度の復習 第２回　処方箋の基礎知識、薬剤の基礎知識 【キーワード】処方箋、薬価基準表 【授業概要】処方箋の様式、処方箋の記載内容、薬価基準表の記載内容 【教科書ページ・参考文献】テキストp6~12 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習 第３回　薬剤の基礎知識、算定の基礎知識、算定に必要な用語 【キーワード】薬価、薬効、一般名、受付1回、1剤 【授業概要】薬価表の見方を学ぶ。処方欄の記載内容。服用時点の略称。算定に必要な用語 【教科書ページ・参考文献】テキストp13~21、トレーニングブック 【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックで処方箋の服用時点を判断する練習。 第４回　算定に必要な用語、調剤基本料 【キーワード】1調剤、調剤基本料、1回の受付 【授業概要】1剤と1調剤の違い。調剤基本料は、処方箋を受け付けたことへの費用である。基本点数、加算算定の単位を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】テキストp21~31、トレーニングブック 【課題・予習・復習・授業準備】レポート集第1回（次回提出） 第５回　調剤基本料、薬剤料 【キーワード】調剤基本料の演習、 【授業概要】トレーニングブックで調剤基本料の算定練習。薬剤料の点数換算と算定の単位 【教科書ページ・参考文献】トレーニングブック、テキストp32~38 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習。 第６回　薬剤料の算定 【キーワード】1剤、固形剤、液剤、 【授業概要】1剤とは、固形剤、液剤別に服用時点が同じ、投与日数が同じものをいう。1剤ごとの薬剤料の計算練習をトレーニングブックで学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】テキスト32~39、トレーニングブック
【課題・予習・復習・授業準備】第2回学科レポート問１

第７回　調剤料、特定保険医療材料料
【キーワード】調剤料、処方箋受付1回につき、
【授業概要】内服薬の調剤料、頓服薬の調剤料、外用薬の調剤料、内服用滴剤の調剤料、注射薬の調剤料について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】テキストp40~46,トレーニングブック
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックで調剤料の算定練習

第８回　調剤料の加算
【キーワード】麻・向加算、自家製剤加算、計量混合加算、嚥下困難者加算、一包化加算
【授業概要】調剤料の書く加算について学び、算定練習。
【教科書ページ・参考文献】テキストp47~54,トレーニングブック
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックで調剤料と調剤料の加算の算定練習

第９回　無菌製剤処理加算、加算の重複
【キーワード】無菌製剤処理加算、在宅患者調剤加算、時間外・休日・深夜加算、夜間・休日加算
【授業概要】各加算の定義と算定の仕方。加算が重複した場合の算定方法などを学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】テキストp55~58、トレーニングブック
【課題・予習・復習・授業準備】テキストとトレーニングブックで本日の復習

第１０回　調剤料の加算の重複
【キーワード】自家製剤加算、嚥下困難者用製剤加算
【授業概要】加算の重複についての注意点を実践的に学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】テキストｐ58~61
【課題・予習・復習・授業準備】第2回学科レポート

第１１回　薬学管理料
【キーワード】薬剤服用暦管理指導料
【授業概要】薬剤服用暦管理指導料の算定方法を中心に薬学管理料算定時のキーワードを学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】テキストｐ62~67,トレーニングブック
【課題・予習・復習・授業準備】第2回学科レポート問5

第１２回　調剤報酬算定のまとめ
【キーワード】会計表
【授業概要】会計表の書き方を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】テキストｐ68~74、トレーニングブック
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブックで会計表作成の練習

第１３回　レセプトの書き方
【キーワード】上書き、処方欄、点数欄、摘要欄、その他欄
【授業概要】レセプトの基礎知識、レセプトの記載方法を実践的に学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】テキストｐ78~95,トレーニング1号～
【課題・予習・復習・授業準備】レポート実技　1~3号（次回提出）

第１４回　レセプトの点検
【キーワード】点検
【授業概要】上書きの点検、内容の点検のポイントと点検の練習
【教科書ページ・参考文献】テキストｐ96~102、トレーニングブック24~28号
【課題・予習・復習・授業準備】トレーニングブック24~28号

第１５回　薬の基礎知識
【キーワード】医薬品
【授業概要】医薬品の定義、種類、先発医薬品と後発医薬品、医薬品の開発、医薬品の法令について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】テキストｐ103~108
【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習

第１６回　薬物治療の概要
【キーワード】薬物治療
【授業概要】薬を用いて病気を治療することを薬物治療という。薬物治療の分類、薬物治療と患者の状態について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】テキストｐ109~111
【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習

第１７回　薬の作用と適用
【キーワード】薬理作用、主作用、副作用、血中濃度
【授業概要】薬が体に影響を与える変化を薬理作用という。薬る作用の仕組み、主作用、副作用について学び更に、薬効に影響を及ぼす要因、薬の体内動態、薬の適用について学び、薬剤師の言葉を理解できる知識を養う。
【教科書ページ・参考文献】テキストｐ111~119
【課題・予習・復習・授業準備】代3回学科レポート問2~4

第１８回　接遇マナー
【キーワード】ＰＳ，選ばれる薬局
【授業概要】第一印象のサービスマナー、ことばのサービスマナー、プラスαのサービスマナーについて学び、患者から選ばれる薬局を知る。
【教科書ページ・参考文献】テキストｐ121~125
【課題・予習・復習・授業準備】笑顔の練習と自分の振り返り

第１９回　実務演習
【キーワード】レセプト作成
【授業概要】トレーニングブックを使用して実践的にレセプト作成の練習。
【教科書ページ・参考文献】トレーニングブック1~4号
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集第1回

第２０回　実務演習
【キーワード】レセプト作成
【授業概要】トレーニングブックを使用して実践的にレセプト作成の練習
【教科書ページ・参考文献】トレーニングブック5~8号
【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集第2回

	第２１回　実務演習 【キーワード】レセプト作成 【授業概要】トレーニングブックを使用して実践的にレセプト作成 【教科書ページ・参考文献】トレーニングブック9~12号 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集第3回 第２２回　実務演習 【キーワード】レセプト作成 【授業概要】トレーニングブックを使用して実践的にレセプト作成 【教科書ページ・参考文献】トレーニングブック13~16号 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集第3回 第２３回　実務演習 【キーワード】レセプト作成 【授業概要】トレーニングブックを使用して実践的にレセプト作成 【教科書ページ・参考文献】トレーニングブック17~20号 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集第4回 第２４回　実務演習 【キーワード】レセプト作成 【授業概要】トレーニングブックを使用して実践的にレセプト作成 【教科書ページ・参考文献】トレーニングブック21~24号 【課題・予習・復習・授業準備】過去問題集第5回 第２５回　実務演習 【キーワード】レセプト点検 【授業概要】トレーニングブックを使用して実践的にレセプト点検 【教科書ページ・参考文献】トレーニングブック25~28号 【課題・予習・復習・授業準備】 第２６回　総まとめ 【キーワード】総まとめ 【授業概要】総復習問題を使用して総まとめ 【教科書ページ・参考文献】プリント、テキスト一式 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習 第２７回　総まとめ 【キーワード】総まとめ 【授業概要】総復習問題を使用して総まとめ 【教科書ページ・参考文献】プリント、テキスト一式 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習 第２８回　事例検討 【キーワード】薬局の経営者検事務職員になろう。 【授業概要】グループごとに薬局の施設基準などを設定し、処方箋作成と算定、レセプト作成などを考えよう。 【教科書ページ・参考文献】テキスト一式、各自必要資料 【課題・予習・復習・授業準備】施設基準の復習。 第２９回　事例検討 【キーワード】薬局の経営者検事務職員になろう。 【授業概要】グループ発表準備 【教科書ページ・参考文献】テキスト一式、各自必要資料 【課題・予習・復習・授業準備】発表準備 第３０回　事例発表 【キーワード】事例発表 【授業概要】発表と講評 【教科書ページ・参考文献】発表資料 【課題・予習・復習・授業準備】本日のまとめ
受講生に関わる情報および受講のルール	「調剤事務管理士」取得を目指す。検定試験は奇数月の第4土曜日に行う。初回受験11月をめざす。 レポート課題提出期限を守ること。期限過ぎたものは受け付けない。私語を慎み授業に集中すること。電卓持参。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	希望に応じて検定試験前に、試験対策講座を開く。
オフィスアワー	火曜日午前中
評価方法	定期試験40%　小課題40%　講義での取り組み姿勢と意欲20%
教科書	「医療保障制度」、「調剤薬局事務講座　算定とレセプト」「調剤薬局事務講座　サポートブック」「調剤薬局事務講座トレーニングブック」「薬価表」「学習レポート集」「調剤報酬明細書」（以上ソラスト）
参考書	調剤事務管理士技能認定試験　調剤試験問題集（ソラスト）
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 調剤薬局奈レセプト業務や、社会人教育の経験を活かして、基本的な考え方と実践的な知識の伝達をすることで社会で活躍できるように指導を行う。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート

	■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医療秘書実務Ⅰ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
三澤　文子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 医療秘書認定試験取得必須項目の「秘書検定３級」の合格を目指す。医療秘書に求められる業務を理解し、実践に繋げられる。医療秘書に求められる接遇や文書の取り扱い・作成・スケジュール管理などの基本的技能を習得する。ホスピタルコンシェルジュの知識及び技能を習得する。　日本医師会認定　医療秘書の認定に必要な技能検定種目「秘書技能検定試験３級」の合格を目指す～秘書検定は社会（職場）で感じが良いと言われる人柄の育成を目指している。社会人としての基本的マナー（職場常識）が学べる検定試験である。 〔到達目標〕 1)医療秘書に求められる業務を理解し、実践に繋げることができる。 2)医療秘書に求められる接遇や文書の取り扱い・作成・スケジュール管理の基本的技能を習得できる。 3)ホスピタリティを実践できる。 4)ホスピタルコンシェルジュの業務を理解できる。 5)秘書業務の基本的知識及び技能を習得している。 6)秘書技能検定試験３級の合格基準を上回っている。
授業の概要	医療機関で求められる人材に必要な知識及び技能を習得する科目である。医療秘書及びホスピタルコンシェルジュとしての資質を養う。ホスピタリティの精神は、言動に心(気持ち）が伴わないと相手には伝わらないものである。演習を通して患者心理に寄り添った対応を学ぶ。意欲的な気持ちで演習に参加することが重要な科目である。 また、日本医師会認定　医療秘書の認定に必要な技能検定種目「秘書技能検定試験３級」の合格を目指す。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回	オリエンテーション～秘書技能検定試験とは / 秘書の心構え 【key words】 秘書技能検定試験とは　取得目的　試験範囲　合格基準　/ 職業人としての自覚と心構え 補佐役としての心得 【授業概要】 秘書技能検定試験の概要、取得目的等の説明をする。 社会人・職業人として求められる基本資質、出社から退社までの日常のマナーを学ぶ。上司の補佐役・人間関係のパイプ役とは、上司の身の回りの世話や私的事務の補佐の事例、秘書としての立場を心得ての言動、上司がミスをした時の対応方法などを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P1～P31 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：プリント教材「01必要とされる資質」　教科書P18～P54「第1章　必要とされる資質」復習 ～次回小テスト実施。
	第２回	秘書の機能と役割 【key words】 秘書の機能とさまざまな役割　上司と秘書の関係 【授業概要】 小テスト「必要とされる資質」実施。 定型業務内容、非定型業務内容について、分野別の秘書の種類を学ぶ。上司と秘書の機能と役割の違いを学び秘書の職務範囲を心得る。上司を理解し良好な関係を築くための知識を学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
教科書P56～P72
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：プリント教材「02職務知識」　教科書P55～P84「第2章　職務知識」復習～次回小テスト実施。

第３回　企業の基礎知識

【key words】
企業の形態と組織　さまざまな企業活動
【授業概要】
小テスト「職務知識」実施。
企業形態、会社の種類、企業に関する基礎用語、企業の社会的責任、企業組織、ライン部門とスタッフ部門について学ぶ。経営管理（マネジメント）、人事労務管理、会計財務、マーケティングの基礎を学ぶと共に、新聞などでよく目にするビジネス用語とその意味を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P86～P105
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：プリント教材「03一般知識」　ビジネス用語を調べ覚えてくる　教科書P85～P112「第3章一般知識」復習～次回小テスト実施。

第４回　職場での話し方（聞き方）

【key words】
人間関係と話し方　敬語と言葉遣いの基本　話し方・聞き方の応用
【授業概要】
小テスト「一般知識」実施。
人間関係をスムーズにするあいさつと話し方を学ぶことにより良い人間関係を構築するための実践力を養う。敬語の役割を知った上で敬語の種類や使い方を習得する。情報伝達の仕方、報告・依頼・断り・説明の仕方、指示・注意・忠告の受け方を具体的に学び実践力を養う。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P114～P143
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：教科書P122～P131「敬語と言葉遣いの基本」を覚えてくる～次回小テスト実施。プリント教材「04マナー接遇」

第５回　接遇

【key words】
接遇の基本　接遇の要領とマナー
【授業概要】
小テスト「敬語と言葉遣いの基本」実施。
接遇の心構え、アポイントメントと日程調整、接遇用語、人や社会の呼び方を学ぶ。職場でのマナーや立ち居振る舞い、受付から見送りまで（受付→来客取次ぎ→案内→茶菓接待→紹介→見送り）の要領とマナーについて学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P151～P169
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：プリント教材「04マナー接遇」　教科書P113～P184「第4章　マナー・接遇」復習～次回小テスト実施。

第６回　会議

【key words】
会議と秘書の業務
【授業概要】
小テスト「マナー・接遇」実施。
会議の目的と種類、会議の準備～会議中～会議後の仕事について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P186～P194
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：プリント教材「05技能」

第７回　文書の取り扱い

【key words】
受信・発信業務と関連知識　郵便の知識
【授業概要】
ビジネス文書の受信・発信取り扱い方、「秘」扱い文書の取り扱い方、その他の文書の取り扱い方、用紙のサイズを学ぶ。
はがきと封書の知識、郵便小包と特殊取り扱い郵便物の知識、大量郵便物の発送方法、郵便に関する一般知識を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P215～P229
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：教科書P185～P256「第5章　技能」予習・復習～次回小テスト実施。プリント教材「05技能」

第８回　日程管理・オフィス管理

【key words】
日程管理とオフィス管理
【授業概要】
小テスト「技能」実施。
日程管理～予定表種類と予定表作成するときの留意点、オフィス管理～事務用品・オフィス機器の知識、環境整備の知識、オフィスレイアウトを学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P244～P256
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：プリント教材「05技能」　過去試験問題　対策問題

第９回　検定受験指導

【key words】

【授業概要】

過去試験問題の解説　対策問題解説
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：過去試験問題　対策問題

第１０回　検定受験指導
【key words】

【授業概要】
過去試験問題の解説　対策問題解説
【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】
検定合格のための勉強をしっかりすること。

第１１回　ホスピタルコンシェルジュとは / 接遇
【key words】
サービスとは　CS　IS　PS / NG TPO 敬語　クッション言葉　５W1H
【授業概要】
サービスの概念、医療機関としてのサービスを説明。ホスピタルコンシェルジュの役割・求められる知識及び技能について説明。接遇の基本技術及び会話、状況に合わせた接遇、電話での応対の基本知識について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
ﾃｷｽﾄⅠP1～P74
【課題・予習・復習・授業準備指示】
ﾃｷｽﾄⅠP1～P74を復習すること。課題：ﾃｷｽﾄⅤ

第１２回　患者保護と医療の質 / 保険医療機関
【key words】
個人情報保護法　カルテ・ﾚｾﾌﾟﾄ開示　EBM　ｸﾘﾃｨｶﾙﾊﾟｽ　ｾｶﾝﾄﾞｵﾋﾟﾆｵﾝ　ジェネリック医薬品　病院機能評価　/ 保険診療　二重指定制度　療養担当規則
【授業概要】
安全管理、患者の権利、医療の質、選べる医療、医療機関の質について学ぶ。
保険診療とは、二重指定制度、療養担当規則について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
ﾃｷｽﾄⅡP47～P84
【課題・予習・復習・授業準備指示】
ﾃｷｽﾄⅡP47～P84を復習すること。課題：ﾃｷｽﾄⅤ・第１回レポート

第１３回　公費負担医療制度　医療用語　/ 診療報酬　診療報酬請求
【key words】
社会福祉的医療、賠償的医療、治療研究医療　/ DPC 返戻ﾚｾﾌﾟﾄ　査定ﾚｾﾌﾟﾄ　算定漏れﾚｾﾌﾟﾄ　保留ﾚｾﾌﾟﾄ
【授業概要】
公費負担医療制度の種類、高負担医療制度の仕組み、主な公費、その他の助成制度について学ぶ。医療用語について解説。診療報酬体制、施設基準、出来高算定と包括算定について学ぶ。診療の流れ、診療報酬請求上の問題、患者負担金徴収上の問題について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
ﾃｷｽﾄⅢP37～P92　ﾃｷｽﾄⅣP1～P26
【課題・予習・復習・授業準備指示】
ﾃｷｽﾄⅢP37～P92　ﾃｷｽﾄⅣP1～P26を復習すること。課題：ﾃｷｽﾄⅤ・第２回レポート

第１４回　自賠責保険　/ 介護保険
【key words】
自賠責保険　任意保険　加害者請求　被害者請求　第三者行為の届出 / 第一号保険者　第二号保険者　要介護認定　サービス（居宅・支援・施設・地域密着型）
【授業概要】
自賠責保険の概要、自賠責保険治療費の請求、窓口の対応について学ぶ。
介護保険の仕組み、介護保険サービス提供の流れ、介護保険サービスの種類、医療保険との関連について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
ﾃｷｽﾄⅣP57～P74
【課題・予習・復習・授業準備指示】
ﾃｷｽﾄⅣP57～P74を復習すること。課題：ﾃｷｽﾄⅤ・第２回レポート　過去試験問題

第１５回　ホスピタルコンシェルジュ検定問題
【key words】
接遇
【授業概要】
過去試験問題解説
【教科書ページ・参考文献】
ﾃｷｽﾄⅠ～Ⅴ　第1回レポート第2回レポート
【課題・予習・復習・授業準備指示】
定期試験対策の勉強をしっかりすること。　課題：間違えた問題のやり直し

第１６回　職場でのマナーとコミュニケーション
【key words】
身だしなみ、あいさつ、職場でのコミュニケーション
【授業概要】
身だしなみの注意点、あいさつのポイント、聞き方、話し方、敬語の基本、時と場合に応じた言葉遣いについて学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P48～P54
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書P48～P54を復習すること。

第１７回　接遇(一般的な基礎知識、医療機関での応対、環境整備)
【key words】

		接遇の一般的基礎知識、医療機関での応対、環境整備 【授業概要】 接遇とは、接遇における注意点、一般的な接遇の流れ、接遇と環境整備について学ぶ。一般のお客様に対して、患者に対して、クレームへの対応について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書Ｐ55～P62 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書Ｐ55～P62を復習すること。
	第１８回	受付業務 【key words】 受付業務の基本と特徴、一般的な業務の流れ、受付窓口での業務、学会会場における受付、慶弔関係における受付 【授業概要】 受付業務の基本と特徴について学ぶ。アポイントのある場合とアポイントのない来客の受付の業務の流れについて学ぶ。初診患者の対応、患者家族への対応について学ぶ。学会会場について学ぶ。慶事の場合、弔事の場合における受付について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P62～P71 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P62～P71を復習すること。
	第１９回	電話応対 【key words】 電話応対の基本と特徴、電話の受け方とかけ方 【授業概要】 電話の特性、電話応対の注意点について学ぶ。電話の受け方の流れと注意点、かけ方の流れと注意点について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P72～P79 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P72～P79を復習すること。電話応対実技試験対策の勉強をしっかりすること。
	第２０回	電話応対模擬テスト 【key words】 【授業概要】 様々な状況設定がある中からロールプレイングを行う。 【教科書ページ・参考文献】 使用なし 【課題・予習・復習・授業準備指示】
	第２１回	スケジュール管理(スケジュール、出張管理) 【key words】 スケジュール管理の特徴、医療秘書がスケジュールを管理する範囲、スケジュール表の種類、スケジュール作成にあたっての注意点、アポイントメントの取り方と受け方、出張管理 【授業概要】 スケジュール管理の特徴を学ぶ。院長秘書・医局秘書が管理するスケジュール範囲を学ぶ。年間・月間・週間スケジュール表の例について学ぶ。スケジュール立案に関する注意点、スケジュール記入に関する注意点について学ぶ。アポイントメントの取り方と受け方のポイント、仮予約から確定までの流れ、アポイントメントの変更と調整について学ぶ。国内・国外出張（準備から後処理まで）、出張業務の内容と注意点（国内・国外）について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P80～P90 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P80～P90を復習すること。
	第２２回	会議(会議の準備、議事録の作成) 【key words】 会議準備、会議種類、会議開催の流れ、 【授業概要】 会議の準備について学ぶ。院内会議と院外会議の種類について学ぶ。会議の事前準備、会議中の対応、事後処理について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P91～P98 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P91～P98を復習すること。
	第２３回	文書作成 【key words】 文書とは、一般ビジネス文書、医療文書の作成 【授業概要】 文書の役割文書作成の基本について学ぶ。社外文書、社内文書、社交文書封筒の取り扱いについて学ぶ。医療文書の作成について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P99～P111 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P99～P111を復習すること。
	第２４回	文書作成演習～漢数字の書き方、数字の書き方、領収書 【key words】 【授業概要】 正しい漢数字及び数字の書き方の演習を行う。領収書作成の演習を行う。 【教科書ページ・参考文献】 使用なし 【課題・予習・復習・授業準備指示】
	第２５回	文書作成演習～グラフ、公印

	【key words】 【授業概要】 グラフ作成の演習を行う。公印の種類と押印の仕方について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 使用なし 【課題・予習・復習・授業準備指示】 第２６回　文書作成演習～社交文書 【key words】 【授業概要】 挨拶状作成の演習を行う。 【教科書ページ・参考文献】 使用なし 【課題・予習・復習・授業準備指示】 第２７回　医療文書演習～診断書・紹介状 【key words】 【授業概要】 診断書・紹介状作成の演習を行う。 【教科書ページ・参考文献】 使用なし 【課題・予習・復習・授業準備指示】 第２８回　通信業務 【key words】 国内郵便、宅配便、国際郵便、E-mail 【授業概要】 国内郵便の種類、秘扱い文書の発信、宅配便について学ぶ。国際郵便の種類、国際郵便の宛名の書き方について学ぶ。E-mailの特徴、送信の留意点、受信の留意点について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P112～P122 【課題・予習・復習・授業準備指示】 第２９回　文書管理(ファイリング、医療情報の管理) 【key words】 ファイリング、医療情報の管理 【授業概要】 職場における文書の整理とは、紙ベースのデータのファイリング、電子的データのファイリングについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P123～P129 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P123～P129を復習すること。 第３０回　まとめ 【key words】 【授業概要】 医療秘書実務の振り返りとして、ポイント練習問題実施及び解説。 【教科書ページ・参考文献】 使用なし 【課題・予習・復習・授業準備指示】 定期試験対策の勉強をしっかりすること。
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講のルール〕 ・教科書該当箇所の予習を必修とする。授業時に次回の授業に該当する箇所を指示する。時間外学習の課題あり。 ・欠席するとその回の内容を自力で補うのは困難なため、やむを得ない場合以外は欠席しないこと。 ・個人ワーク及びグループワークは主体的に参加すること。(評価に含む) 個人ワーク及びグループワークを行う際、必要のない私語、講義中の私語は慎むこと。 ・予習・復習は怠らないこと。 ・授業中に生じた疑問はそのままにせず、調べる、質問するなどの行動をすること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	教科書該当箇所の予習を必須とする。授業時に次回の授業に該当する箇所を指示する。また、時間外学習の課題あり。
オフィスアワー	授業前30分終了後10分　それ以外の時間帯についてはアポイントメントを取っていただきたい。
評価方法	定期試験60%　小テスト20%　課題10%　その他10%（学習の取り組みなど）　これらに検定結果も考慮する。
教科書	公益財団法人　実務技能検定協会「秘書検定　集中講義　3級　改訂版」早稲田教育出版　最新版 日本医師会監修　「医療秘書４－医療秘書概論・実務　医療情報処理学　医療関連法規概論」　メジカルフレンド社　最新版 小林三曜子「ビジネスノート」小林三曜子　最新版 「ホスピタルコンシェルジュ養成講座一式」　株式会社ソラスト
参考書	公益財団法人　実務技能検定協会「秘書検定3級　パーフェクトマスター」早稲田教育出版　最新版 株式会社ｳｲﾈｯﾄ　秘書教育研究会「秘書ハンドブック」株式会社ｳｲﾈｯﾄ　最新版
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニン	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している

グ	具体的な実務経験の内容 総合病院の秘書室勤務。役員秘書として一般企業勤務。 医療機関及び一般企業での実務経験をもとに、秘書の基盤となる心構え及び基本的な知識技能について講じます。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医療秘書実務Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
三澤　文子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 医療秘書に求められる業務を理解し、実践に繋げられる。医療秘書に求められる接遇や文書の取り扱い・作成・スケジュール管理などの基本的技能を習得する。また、ホスピタルコンシェルジュの業務を理解し、必要とされる知識及び技能を習得する。日本医師会認定　医療秘書の認定に必要な技能検定種目「秘書技能検定試験３級」の合格を目指す～秘書検定は社会（職場）で感じが良いと言われる人柄の育成を目指している。社会人としての基本的マナー（職場常識）が学べる検定試験である。 〔到達目標〕 1)医療秘書に求められる業務を理解し、実践に繋げることができる。 2)医療秘書に求められる接遇や文書の取り扱い・作成・スケジュール管理の基本的技能を習得できる。 3)ホスピタリティを実践できる。 4)ホスピタルコンシェルジュの業務を理解できる。 5)秘書業務の基本的知識及び技能を習得している。 6)秘書技能検定試験３級の合格基準を上回っている。
授業の概要	医療機関で求められる人材に必要な知識及び技能を習得する科目である。医療秘書としての資質を養う。ホスピタリティの精神は、言動に心(気持ち）が伴わないと相手には伝わらないものである。演習を通して患者心理に寄り添った対応を学ぶ。意欲的な気持ちで演習に参加することが重要な科目である。日本医師会認定　医療秘書の認定に必要な技能検定種目「秘書技能検定試験３級」の合格を目指す。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回	秘書の心構え / 要求される資質 【key words】 機密を守る　仕事を処理する際の心得 / 秘書に求められる基本能力　要求される人柄と身だしなみ 【授業概要】 機密事項例、機密事項を守るための基本的な心得、指示の受け方などを学ぶ。求められる四つの基本能力、望まれる人柄や性格、ふさわしい身だしなみを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P32～P54 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P55～P84を熟読しておくこと。課題：プリント教材「01必要とされる資質」　教科書P18～P54「第1章　必要とされる資質」復習
	第２回	職務上の心得と仕事の進め方 【key words】 職務上の心得　仕事の進め方の要領 【授業概要】 職務遂行上の心構え、職務上の基本的な心得を学ぶ。仕事の進め方の要領、効率的な仕事の進め方を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P73～P84 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P85～P112を熟読しておくこと。課題：プリント教材「02職務知識」　教科書P55～P84「第2章　職務知識」復習

	第３回	社会常識 【key words】 基本用語を身につける 【授業概要】 社会常識として知っておきたい用語（経済・財政・金融関係）、常識としてのカタカナ語を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P106～P112 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P113～P150を熟読しておくこと。課題：プリント教材「03一般知識」　教科書P85～P112「第3章　一般知識」復習　ビジネス用語を調べ覚えてくる。
	第４回	電話応対 【key words】 電話のマナーと応対の基本 【授業概要】 電話のかけ方・受け方の基本及び取り次ぎの要領を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P144～P150 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P151～P184を熟読しておくこと。課題：教科書P113～P150「第4章　マナー・接遇」復習。プリント教材「04マナー接遇」
	第５回	交際 【key words】 慶事と弔事への対応　贈答の習わしと食事のマナー 【授業概要】 慶事の種類と秘書の対応、弔事の知識とマナー、贈答の習わし、食事のマナーを学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P170～P184 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P186～P214を熟読しておくこと。課題：教科書P151～P184「第4章　マナー・接遇」復習。プリント教材「04マナー接遇」
	第６回	文書の作成 【key words】 社内文書　社外文書　メモの取り方・グラフの作り方 【授業概要】 社内文書作成上の基礎知識、社内文書の種類と形式、社外文書と慣用表現・敬語表現、メモの種類と取り方の留意点、グラフの作り方を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P195～P214 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書P215～P243を熟読しておくこと。課題：教科書P185～P214「第5章　技能」復習。　プリント教材「05技能」
	第７回	資料管理 【key words】 ファイリングと各種資料管理 【授業概要】 ファイル用具の種類、バーチカル・ファイリングの用具と整理法、書類の整理法、名刺の整理と分類法、カタログ・雑誌・新聞・雑誌切り抜きの整理法を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P230～P243 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：プリント教材「05技能」　教科書P215～P243「第5章　技能」復習。過去試験問題　検定対策問題
	第８回	検定受験指導 【key words】 【授業概要】 過去試験問題の解説　検定対策問題 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：過去試験問題　検定対策問題
	第９回	検定受験指導 【key words】 【授業概要】 過去試験問題の解説　検定対策問題の解説 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：過去試験問題　検定対策問題
	第１０回	検定受験指導 【key words】 【授業概要】 過去試験問題の解説　検定対策問題の解説 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 検定合格に向けての勉強をしっかりすること。
	第１１回	法律に基づく医療　/ 医療機関の組織等

【key words】
医療法規　定義　開設・廃止　管理者　法定人員　診療科　施設基準　義務　/ 診療部門　看護部門　コメディカル部門　事務部門　病棟区分　救急医療体制
【授業概要】
医療機関の役割、医療機関の種類、医療広告と院内掲示、指導・監査、医師の責務について学ぶ。
医療機関の組織図、各部門、診療施設、救急医療体制について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
ﾃｷｽﾄⅡP1～P46
【課題・予習・復習・授業準備指示】
ﾃｷｽﾄⅡP1～P46を復習すること。課題：ﾃｷｽﾄⅤ・第１回レポート

第１２回　医療保障制度　医療保険制度　後期高齢者医療制度　/ 保険給付
【key words】
医療保険　後期高齢者医療制度　前期高齢者医療　/ 現物給付　現金給付　高額療養費　保険外併用療養費
【授業概要】
医療保障制度の体系、医療保険の仕組み、医療保険の種類、被保険者と被扶養者について学ぶ。
後期高齢者医療制度の事業内容、後期高齢者医療制度、前期医療制度について学ぶ。
給付の種類、給付対象外の制限、高額療養費、保険外併用療養費について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
ﾃｷｽﾄⅢP1～P35
【課題・予習・復習・授業準備指示】
ﾃｷｽﾄⅢP1～P35を復習すること。課題：テキストⅤ・第２回レポート

第１３回　調剤報酬　/ 労災保険
【key words】
誘導禁止　薬歴　疑義照会　薬剤監査　/ 業務災害　通勤災害
【授業概要】
保険調剤の仕組み、院内処方の処方箋、調剤報酬算定の概要、保険医療機関と保険薬局の関連について学ぶ。
労災保険制度の概要、労災保険の診療費、保険給付に必要な請求書、文書料について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
ﾃｷｽﾄⅣP27～P56
【課題・予習・復習・授業準備指示】
ﾃｷｽﾄⅣP27～P56を復習すること。課題：ﾃｷｽﾄⅤ・第２回レポート

第１４回　損益管理と医事統計　/ これからの医療
【key words】
医業収益　医業費用　医業外収益　医業外費用　損益管理　医事統計項目　/ オーダリングシステム　電子カルテ　ﾚｾﾌﾟﾄオンライン請求　地域連携ｸﾘﾃｨｶﾙﾊﾟｽ　特定健康診査　特定保健指導
【授業概要】
損益管理と医事統計について学ぶ。
医療のIT化、地域連携、予防医療について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
ﾃｷｽﾄⅣP75～P116
【課題・予習・復習・授業準備指示】
ﾃｷｽﾄⅣP75～P116を復習すること。課題：テキストⅤ・第２回レポート　過去試験問題

第１５回　ホスピタルコンシェルジュ検定問題
【key words】
知識
【授業概要】
過去試験問題解説。
【教科書ページ・参考文献】
ﾃｷｽﾄⅠ～Ⅴ　第１回レポート第２回レポート
【課題・予習・復習・授業準備指示】
定期試験対策勉強をしっかりやること。課題：間違えた問題のやり直し

第１６回　職場でのマナーとコミュニケーション演習～身だしなみ・挨拶・言葉遣い
【key words】

【授業概要】
身だしなみチェックシートを作成し、自己評価する。挨拶のロールプレイングを行う。敬語練習問題実施。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P48～P54
【課題・予習・復習・授業準備指示】

第１７回　接遇演習～接遇の流れ・席次・クレーム対応
【key words】

【授業概要】
席次、クレーム対応の事例を演習する。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P55～P61
【課題・予習・復習・授業準備指示】

第１８回　受付業務演習～一般的な受付業務の流れ・学会受付・慶弔受付及び業務
【key words】

【授業概要】
受付・取り次ぎ・案内・茶華の接待、見送りロールプレイングを行う。また、祝儀袋・不祝儀袋の書き方を演習する。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P62～P71
【課題・予習・復習・授業準備指示】

第１９回　電話応対演習～ケース別電話の受け方

【key words】

【授業概要】
様々な状況がある中からロールプレイングを行う。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P72～P79
【課題・予習・復習・授業準備指示】
電話応対実技テストの勉強をしっかりすること。

第２０回　電話応対実技テスト
【key words】

【授業概要】
様々な状況がある中から電話応対実技テストを行う。
【教科書ページ・参考文献】
使用なし
【課題・予習・復習・授業準備指示】

第２１回　スケジュール管理演習～スケジュール表作成・出張業務
【key words】

【授業概要】
出張計画書作成の演習を行う。ケース別スケジュール表作成の演習を行う。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P80～P89
【課題・予習・復習・授業準備指示】

第２２回　会議演習～会場設営・議事録作成
【key words】

【授業概要】
会議設営演習を行う。会議案内書作成の演習を行う。議事録作成の演習を行う。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P91～P98
【課題・予習・復習・授業準備指示】

第２３回　文書作成演習～社内文書・社外文書の基本
【key words】

【授業概要】
社内文書及び社外文書作成の演習を行う。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P99～P111
【課題・予習・復習・授業準備指示】

第２４回　文書作成演習～箇条書きの要領・社内文書(案内文・定例文・報告書)
【key words】

【授業概要】
箇条書きの書き方の演習を行う。社内文書（案内文・定例文・報告文）作成の演習を行う。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P99～P111
【課題・予習・復習・授業準備指示】

第２５回　文書作成演習～社外文書の決まり文句と注意点、標題のポイント、
【key words】

【授業概要】
社外文書の決まり文句と注意点を学ぶ。標題のポイントを学び、標題作成の演習を行う。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P99～P111
【課題・予習・復習・授業準備指示】

第２６回　文書作成演習～はがき・封筒の書き方
【key words】

【授業概要】
はがき・封筒の書き方の演習を行う。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P99～P111
【課題・予習・復習・授業準備指示】

第２７回　医療文書作成演習～リビングウイル
【key words】

【授業概要】
リビングウイルの書き方の演習を行う。
【教科書ページ・参考文献】
使用なし
【課題・予習・復習・授業準備指示】

第２８回　通信業務演習～E-mail・国際郵便
【key words】

【授業概要】
E-mailの書き方の演習を行う。国際郵便の宛名の演習を行う。
【教科書ページ・参考文献】
教科書P112～P122
【課題・予習・復習・授業準備指示】

	第２９回　　文書管理演習～ファイリング 【key words】 【授業概要】 ファイリング演習を行う。名刺整理演習を行う。 【教科書ページ・参考文献】 教科書P123P129 【課題・予習・復習・授業準備指示】 定期試験対策の勉強をしっかりすること。 第３０回　　定期試験対策 【key words】 【授業概要】 定期試験模擬テストを実施及び解説。 【教科書ページ・参考文献】 使用なし 【課題・予習・復習・授業準備指示】
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講のルール〕 ・教科書該当箇所の予習を必須とする。授業時に次回の授業に該当する箇所を指示する。時間外学習の課題あり。 ・欠席するとその回の内容を自力で補うのは困難なため、やむを得ない場合以外は欠席しないこと。 ・個人ワーク及びグループワークは主体的に参加すること。（評価に含む）個人ワーク及びグループワークを行う際に必要ない私語、講義中の私語は慎むこと。 ・予習・復習を怠らないこと。 ・授業中に生じた疑問はそのままにせず、調べる、質問するなどの行動に移すこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	教科書該当箇所の予習を必須とする。授業時に次回の授業に該当する箇所を指示する。また、時間外学習の課題あり。
オフィスアワー	授業終了後30分　それ以外の時間帯についてはアポイントを取っていただきたい。
評価方法	定期試験60%　小テスト20%　課題10%　その他10%（学習の取り組みなど）　これらに検定結果も考慮する。
教科書	公益財団法人　実務技能検定協会「秘書検定　集中講義　3級　改訂版」早稲田教育出版　最新版 日本医師会監修　「医療秘書４－医療秘書概論・実務　医療情報処理学　医療関連法規概論」　メジカルフレンド社　最新版 小林三曜子「ビジネスノート」小林三曜子　最新版 「ホスピタルコンシェルジュ養成講座一式」　株式会社ソラスト
参考書	公益財団法人　実務技能検定協会「秘書検定3級　パーフェクトマスター」早稲田教育出版　最新版 株式会社ｳｲﾈｯﾄ　秘書教育研究会「秘書ハンドブック」株式会社ｳｲﾈｯﾄ　最新版
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 総合病院の秘書室勤務。役員秘書として一般企業勤務。 医療機関及び一般企業での実務経験をもとに、秘書の基盤となる心構え、基本的な知識技能について講じます。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　診療情報管理Ⅰ（法令・諸規則）　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	2単位(30)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
須田　光明			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	診療情報管理を実施するための基礎として診療情報の重要性を理解し、診療情報を適切に取り扱い責任ある情報管理を行う能力を身につける。			
授業の概要	診療情報管理の意義と役割について系統的に学習するとともに、診療情報管理に関わる法令や諸規則を含め、診療情報の記録方法が機能的にどのような構成やルールをとっているかについて学ぶ。			
■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係 ◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項				
授業の到達目標	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
授業計画	第１回　前期オリエンテーション　〔授業の進め方、評価等授業概要に基づいた概要説明及び学習方法等について伝達〕・診療情報管理士とは 第２回　(1) 診療情報管理の意義と役割　①用語の定義　②診療記録の価値 第３回　(1) 診療情報管理の意義と役割　③診療情報管理の役割　(2) 診療情報管理の歴史　①診療記録のルーツ 第４回　(2) 診療情報管理の歴史　②諸外国における診療情報管理　③わが国における診療情報管理 第５回　(3) 診療情報管理と法規等　①診療記録の記載と保存についての法規　②診療記録の電子化に関する法規 第６回　(3) 診療情報管理と法規等　③診療記録の提示に関する法規　④医療事故にともなう法的責任 第７回　(3) 診療情報管理と法規等　⑤診療情報の守秘に関する法規　⑥個人情報の保護に関する法律 第８回　(3) 診療情報管理と法規等　⑦医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス 第９回　(3) 診療情報管理と法規等　⑧個人情報保護法と厚生労働省のガイダンスに基づく病院の対応 第１０回　(3) 診療情報管理と法規等　⑨診療情報の提供等に関する指針 第１１回　(4) 診療記録の記載方式　①POS　②フォーカスチャーティング 第１２回　(4) 診療記録の記載方式　③クリニカル・パス 第１３回　(5) 診療情報の記載　①診療記録の記載方法　②診療録の基本的な記載事項 第１４回　(5) 診療情報の記載　③診療記録の種類 第１５回　総括			
受講生に関わる情報および受講のルール	私語は慎み、真摯な態度で授業に臨むこと。知識向上に向け、予習、復習を励行すること。			
毎回の授業に関する	コメントカード			

質問や学習の進捗状況の確認方法	
授業外時間にかかわる情報	予習として次回授業の該当部分を一読し、不明な用語などを調べ、調べた用語をノートにまとめる。 また、予習の段階で質問があれば、予めノートに記述しておくこと。
オフィスアワー	授業終了後30分
評価方法	レポート提出、科目試験 60点～100点を合格とし単位を認定する。59点以下は不合格とし、単位を与えない。
教科書	診療情報管理士テキスト　診療情報管理Ⅳ
参考書	「診療情報学」日本診療情報管理学会編集　医学書院　2015 「診療情報の管理」最新版　岩崎榮監修　医学書院　2005 「診療情報管理士業務指針」日本診療情報管理学会
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　登録販売者Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
水野　さゆり・近藤　喜與子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	[授業の目的] 登録販売者試験合格 [到達目標] 登録販売者の役割は、必要な情報を購入者にわかりやすく伝え、医薬品の適切な選択、使用に役立てもらうことである。 近年、自分自身の健康に対する関心が高まる中、生活者のセルフメディケーションを適切に支援できるよう、医薬品販売の専門家としての幅広い知識と態度を身につける。
授業の概要	・第３章後半では、婦人薬、生薬製剤、一般検査薬等についてその種類、作用等を学ぶ。 ・第４章では、医薬品販売に関わる法律について学ぶ。 ・第５章では、適正使用情報（添付文章など）と安全対策について学ぶ。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回　婦人薬　内服アレルギー用薬（鼻炎用内服薬を含む） 第２回　鼻に用いる薬　眼科用薬 第３回　皮膚に用いる薬 第４回　皮膚に用いる薬　歯や口中に用いる薬 第５回　禁煙補助剤　滋養強壮保健薬 第６回　漢方処方製剤　生薬製剤 第７回　公衆衛生用薬　一般用検査薬 第８回　医薬品医療機器等法の目的　医薬品の定義と範囲 第９回　一般用医薬品のリスク区分　容器、添付文章等への記載事項　医薬部外品、化粧品等 第１０回　医薬品販売業の許可の種類と許可行為の範囲 第１１回　リスク区分に応じた販売従事者　情報提供及び陳列等 第１２回　医薬品販売に関する法令遵守 第１３回　医薬品の適正使用情報（添付文書の読み方） 第１４回　医薬品の適正使用情報（製品表示の読み方他）、医薬品の安全対策 第１５回　医薬品の副作用情報による健康被害の救済　一般用医薬品の安全対策　医薬品適正使用のための啓発活動

受講生に関わる情報および受講のルール	私語を慎むこと。授業で配布する資料をよく整理して保管し、自習に役立てて下さい。 質問は、授業中にせずにコメントカードに書いて下さい。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	授業回数に対し、内容の範囲が広いので、予習・復習必須です。 毎回授業の冒頭でミニテストを行う。　自主的に過去問に取り組むこと。
オフィスアワー	授業終了後30分
評価方法	原則として定期試験70%　小テスト30%　それに宿題提出と出席を参考にします
教科書	登録販売者試験テキスト＆要点整理
参考書	登録販売者試験対策問題集　全国登録販売者試験過去問正解
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　介護総合演習Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	介護福祉・福祉総合・介護福祉士実践コース選択
担当教員			
矢嶋　栄司・土屋　昭雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 生活支援実習の意義と目的を理解し、期待される学習効果や介護福祉士の活動の場である介護施設を理解する。また、その介護施設を利用する利用者や介護過程の展開を実践することで総合的な学習の理解を目指す。 〔到達目標〕 ①多職種協同の実践を踏まえ、介護技術の確認等を行うことで理解を深めることができる。 ②一連の介護過程の展開すべてを継続的に実施することが、どのようなものかを理解できる。
授業の概要	介護総合演習では、学生が介護実習等に望むための環境を調整することで、必要な知識等を習得することを目的とする科目である。開講される1コマ1コマが重要な意味を持っている。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回	ガイダンス　実習生紹介票の作成（書き方・内容説明・下書き） 【key words】 介護実習・実習生紹介票 【授業概要】 ・授業の進め方、評価等について ・実習生紹介票作成に伴う記載方法説明 ・下書き作成：指導、確認 【教科書ページ・参考文献】 実習生紹介票配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 誤字、脱字、内容の再確認
	第２回	実習目標作成（書き方・内容説明・下書き） 【key words】 実習目標・施設種別 【授業概要】 ・実習目標設定についての概説 ・下書き作成：指導、確認 【教科書ページ・参考文献】 実習目標記入用紙配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 誤字、脱字、内容の再確認
	第３回	実習目標作成（清書・仕上げ） 【key words】 実習目標・施設種別・事前学習 【授業概要】 ・実習目標の確認 ・実習目標清書(個別対応) 【教科書ページ・参考文献】 配布用紙使用 【課題・予習・復習・授業準備指示】 巡回担当教員への挨拶・実習目標(写し)の提出・事前学習の励行
	第４回	生活支援実習Ⅱ－②課題テスト

【key words】
介護福祉士・介護実習・専門知識・専門技術
【授業概要】
・課題テスト実施
【教科書ページ・参考文献】
プリント配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
実習・国家試験に向けた自主学習の励行

第５回　生活支援実習記録物の配布・確認
【key words】
介護実習・実習記録・モチベーション・介護過程
【授業概要】
・実習関係書類の配布、確認
・各書類の記載方法説明
・記録を書くうえでの留意点
【教科書ページ・参考文献】
実習関係書類配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
記録用紙の内容の確認および関連項目箇所の教科書の再確認

第６回　実習準備　実習へ望む姿勢、実習への不安と対策、電話のかけ方、身だしなみ
【key words】
実習態度・事前準備・マナー
【授業概要】
・実習を行うに当たっての留意点および諸伝達
【教科書ページ・参考文献】
p2～p3 , p16～p19 , p26～p29 , p30～p33ほか
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認

第７回　生活支援実習Ⅱ-②事前指導
【key words】
事前指導・実習態度・取り組み姿勢・モチベーション・健康管理
【授業概要】
・生活支援実習事前指導
（学長訓話・各教員からの諸注意・代表学生挨拶・諸連絡ほか）
【教科書ページ・参考文献】
各教員からの伝達事項
【課題・予習・復習・授業準備指示】
メモを取ることの励行

第８回　生活支援実習Ⅱ－②帰学日指導（情報共有や課題、問題点等の確認）全体
【key words】
実習態度・実習状況・進捗状況・課題・介護過程
【授業概要】
・帰学日指導の実施
（各教員からの全体に向けた連絡・チェックシート作成　ほか）
【教科書ページ・参考文献】
実習記録
【課題・予習・復習・授業準備指示】
指導内容の理解

第９回　生活支援実習Ⅱ－②帰学日指導（中間反省会の実施および記録物等の確認）個別
【key words】
実習態度・実習状況・進捗状況・課題・介護過程
【授業概要】
・帰学日指導の実施
（巡回担当教員による個別指導・中間反省会についての助言、指導）
【教科書ページ・参考文献】
実習記録
【課題・予習・復習・授業準備指示】
指導内容の理解

第１０回　生活支援実習Ⅱ－②帰学日指導（情報共有や課題、問題点等の確認）全体
【key words】
実習態度・実習状況・進捗状況・課題・介護過程・積極性
【授業概要】
・帰学日指導の実施
（各教員からの全体に向けた連絡・チェックシート作成　ほか）
【教科書ページ・参考文献】
実習記録
【課題・予習・復習・授業準備指示】
指導内容の理解・指摘、伝達事項の励行

第１１回　生活支援実習Ⅱ－②帰学日指導（最終反省会の実施および記録等の確認）個別
【key words】
実習態度・実習状況・進捗状況・課題・介護過程・積極性
【授業概要】
・帰学日指導の実施
（巡回担当教員による個別指導・最終反省会についての助言、指導）
【教科書ページ・参考文献】
実習記録
【課題・予習・復習・授業準備指示】
指導内容の理解・指摘、伝達事項の励行

第１２回　生活支援実習Ⅱ-②の振り返り（個別作業）
【key words】
介護実習・介護過程・実習態度・取り組み姿勢・振り返り・考察/省察・事例報告書

【授業概要】
・実習の振り返り
・事例報告書作成準備に向けた諸連絡
【教科書ページ・参考文献】
実習記録・用紙配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
実習記録の見直し

第１３回　生活支援実習Ⅱ-②の振り返り（グループ作業）
【key words】
介護実習・介護過程・振り返り・考察/省察
【授業概要】
・実習の振り返り
（巡回担当教員ごとに集まっての情報共有・考察、省察）
【教科書ページ・参考文献】
実習記録
【課題・予習・復習・授業準備指示】
他者からの意見を聞いての再考察

第１４回　生活支援実習Ⅱ-②の振り返り（グループ発表、質疑応答）
【key words】
介護実習・介護過程・振り返り・考察/省察
【授業概要】
・実習の振り返り
（巡回担当教員ごとのグループ発表）
【教科書ページ・参考文献】
実習記録
【課題・予習・復習・授業準備指示】
他者からの意見を聞いての再考察

第１５回　生活支援実習Ⅰ－②課題テスト
【key words】
介護福祉士・介護実習・専門知識・専門技術
【授業概要】
・課題テスト実施
【教科書ページ・参考文献】
プリント配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】
実習・国家試験に向けた自主学習の励行

第１６回　事例報告書の作成（説明）
【key words】
介護過程・事例報告書・実習記録・考察
【授業概要】
実習報告書作成について
（記載方法・書式・留意点・提出期限・進め方等）
【教科書ページ・参考文献】
プリント配布・実習記録(介護過程)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
巡回担当教員と連絡を取り合い計画的に進めていくことを伝達

第１７回　事例報告書の作成（説明、個別作業）
【key words】
介護過程・事例報告書・実習記録・考察
【授業概要】
・実習報告書作成
・個別対応(助言指導)
【教科書ページ・参考文献】
実習記録(介護過程)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
巡回担当教員と連絡を取り合い計画的に進めていくことを伝達

第１８回　事例報告書の作成（確認、個別作業）
【key words】
介護過程・事例報告書・実習記録・考察
【授業概要】
・実習報告書作成
・個別対応(助言指導)
【教科書ページ・参考文献】
実習記録(介護過程)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
巡回担当教員と連絡を取り合い計画的に進めていくことを伝達

第１９回　事例報告書の作成（確認、個別作業）
【key words】
介護過程・事例報告書・実習記録・考察
【授業概要】
・実習報告書作成
・個別対応(助言指導)
【教科書ページ・参考文献】
実習記録(介護過程)
【課題・予習・復習・授業準備指示】
巡回担当教員と連絡を取り合い計画的に進めていくことを伝達

第２０回　事例報告書提出・事例報告会の運営について（説明）
【key words】
介護過程・事例報告書・事例報告会・学生主体・委員
【授業概要】
・事例報告書の提出について

		・事例報告会の開催、形式等について 【教科書ページ・参考文献】 プリント配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事例報告書の見直し・引用参考文献の確認
	第２１回	事例報告会運営について（実行委員選出） 【key words】 事例報告会・学生主体・委員 【授業概要】 ・事例報告会についての概説 （意義、目的・進行ほか） ・実行委員選出 【教科書ページ・参考文献】 口頭説明による 【課題・予習・復習・授業準備指示】 主体的な取り組み・参加の励行
	第２２回	事例報告会運営について（運営のあり方） 【key words】 事例報告会・学生主体・委員 【授業概要】 ・事例報告会についての概説 （運営・準備ほか） 【教科書ページ・参考文献】 板書にて説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 主体的な取り組み・参加の励行
	第２３回	事例報告会運営につい（グループ作業） 【key words】 事例報告会・学生主体・委員 【授業概要】 ・事例報告会についての概説 （グループ作業） 【教科書ページ・参考文献】 適宜、助言・指導 【課題・予習・復習・授業準備指示】 主体的な取り組み・参加の励行
	第２４回	要旨作成について（説明） 【key words】 介護過程・事例報告書・要旨・実習記録・考察 【授業概要】 ・要旨作成についての概説 （記載方法・書式・提出期限等） 【教科書ページ・参考文献】 プリント配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事例報告書の再確認(熟読)
	第２５回	要旨作成について（確認、個別作業） 【key words】 介護過程・事例報告書・要旨・実習記録・考察 【授業概要】 ・要旨作成 ・個別対応(助言指導) 【教科書ページ・参考文献】 事例報告書・実習記録 【課題・予習・復習・授業準備指示】 事例報告書の再確認
	第２６回	要旨の確認 【key words】 介護過程・事例報告書・要旨・実習記録・考察 【授業概要】 ・授業担当者による内容確認 【教科書ページ・参考文献】 要旨・事例報告書 【課題・予習・復習・授業準備指示】 巡回担当教員による最終確認依頼
	第２７回	実習のまとめ（個別作業） 【key words】 介護実習・実習態度・介護過程・専門職・振り返り 【授業概要】 ・施設実習・居宅実習の総括 【教科書ページ・参考文献】 用紙配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習に対する考察・省察の励行
	第２８回	実習のまとめ（グループ作業） 【key words】 介護実習・実習態度・介護過程・専門職・振り返り 【授業概要】 ・施設実習・居宅実習の総括 ・新たな課題の明確化 【教科書ページ・参考文献】

	用紙配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 実習に対する考察・省察の励行 第２９回　実習のまとめ（グループ発表、質疑応答、諸伝達） 【key words】 介護実習・実習態度・介護過程・専門職・振り返り・情報共有 【授業概要】 ・施設実習・居宅実習の総括 ・今後の取り組みにつて （ボランティア活動等） 【教科書ページ・参考文献】 用紙配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ボランティア活動の励行 第３０回　授業総括 【key words】 介護実習・介護過程・専門職/専門性・振り返り・PDCA 【授業概要】 ・授業総括 （介護実習・専門職/専門性　ほか） 【教科書ページ・参考文献】 ・適宜、テキスト・参考書該当ページを示し説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストおよび参考書の熟読
受講生に関わる情報および受講のルール	介護総合演習は生活支援実習と対となる科目である。よって、科目に対する姿勢・態度や提出物等が重要な意味があることを理解しておくこと。 生活支援実習期間中の帰学日指導は、介護総合演習の出席となる。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	生活支援実習に係る事前学習をすすめておくこと。
オフィスアワー	授業時に指示する。
評価方法	授業に臨む参加態度20%、提出物　40%、課題テスト40%
教科書	新・介護福祉士養成講座　「介護総合演習・介護実習」　中央法規
参考書	介護実習で困らないためのQ&A　－実習生としての心得50　中央法規
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　生活支援技術Ⅲ（栄養・調理）　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	2単位(60)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
平石　仁恵			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 　食生活支援は人間の尊厳として深く関わる行為であり、この支援を通して尊厳ある自己表現のゴールをめざす。 【到達目標】 　高齢者には長い生活暦があり、長い人生の中で培ってきた食習慣や嗜好、価値観、食文化や生活環境がある。 　これらを理解し尊重することが自己実現に向けた食生活支援にとって重要である。
授業の概要	介護現場での高齢者、障害者に必要な知識・技術を基礎から専門的なレベルまで心のケア、経済面なども考慮しつつ指導していく。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回	オリエンテーション　講義の進め方、評価法
	第２回	調理の基本　五大栄養素　手指の汚れ検査
	第３回	軟食の献立　講義と実習
	第４回	骨粗鬆症の献立　〃
	第５回	介護食（咀しゃく困難　嚥下困難）の献立　〃
	第６回	病人食（糖尿病）の献立　〃
	第７回	病人食（高血圧）の献立　〃
	第８回	減塩食の献立　〃
	第９回	健康食の献立　〃
	第１０回	行事食の献立　〃
	第１１回	季節に合った献立　〃
	第１２回	間食三品　〃
	第１３回	講義内容のまとめ小テスト　講義
	第１４回	各班で話し合った介護食　実習
	第１５回	まとめ　ノート提出

受講生に関わる情報および受講のルール	授業中の私語は厳禁 実習中エプロン、三角巾、ハンドタオル必ず用意。 長つめ・マニキュア・アクセサリー禁止。髪は束ねる。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する。
オフィスアワー	授業終了後30分
評価方法	ノート提出 50%、小テスト 20%、実習態度（出席・身支度）30%
教科書	生活支援のための調理実習（建帛社） 1,900円＋税　新食品成分表（東京法令） 760円
参考書	-
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　生活支援技術Ⅳ（被覆・住居）　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
辻　志帆・山岸　裕美子			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 人間の生活について家庭生活を中心として考察し、生活の向上、人と物、環境等々を学び、介護場面に活用できるようにする。 【到達目標】 生活支援とは介護福祉士の仕事と家政学を理解する。家族の変容を理解する。生活と経済、家計の構造を理解する。食生活・衣生活・住生活等の健康管理と安全性を理解する。
授業の概要	生活支援のための衣食住・家庭経済・生活文化について学ぶ。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　ガイダンス：「生活を科学する」とは？（「生活科学チェックテスト」） 【key words】 日常生活の支援　衣・食・住・家庭経済　生活経営　生活文化　基礎教養 【授業概要】 「生活科学チェックテスト」を行い、正解を解説しながら生活を科学的にとらえる姿勢について説明する。 【教科書ページ・参考文献】 目次 配布資料：「生活科学チェックテスト」 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：「生活科学チェックテスト」で解説された事項の確認をしておくこと。 第２回　「生活を支援する」とは？ 【key words】 日常生活　福祉施設利用者　衣・食・住・経済（金銭）　家庭 【授業概要】 第１回に引きつづき、「生活科学チェックテスト」の解説を行うが、福祉施設利用者の生活支援のための方途を科学的な根拠をあげながら詳説する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料：「生活科学チェックテスト」 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：「生活科学チェックテスト」で解説された事項を自分の目で見て確かめておくこと。 第３回　生活経営：家族・家庭生活の現状 【key words】 家族　家庭　世帯　家族の現状　世帯の変化　家族の意義と機能　家族の変容　家族と法律 【授業概要】 家族に関する基礎用語を解説し、現代家族が抱える問題や家族の法律に言及する。 【教科書ページ・参考文献】 18～31ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 予習：教科書を読んでおくこと。 第４回　生活経営：家庭管理　家庭経済（家計）　消費者問題　生活時間と家事労働　社会的ネットワーク　生活福祉情報 【key words】

家族の生活　家庭経済・消費生活　家事労働　生活設計
【授業概要】
より良く賢い家庭生活を営むための方途について家族周期・生活時間・家庭経済等の視点から解説する。
【教科書ページ・参考文献】
36～49ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでおくこと。
復習：教科書を読んで、基礎事項を覚え理解する。

第５回　家庭生活の経営：ライフコースの作成（人生前半）　人生設計
【key words】
ライフコース　生活設計　生活周期　家族周期
【授業概要】
第４回の講義の内容をふまえ、卒業してから死亡するまでの自分自身の「ライフコース」を書いてみる（90歳以上の生存を想定）。
介護労働（家勤あり）に従事しながらどのように家庭生活を行うかについても考える。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料：ワークシート
32～35ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：人生の先輩（両親・祖父母）に、今までの生活における経験についてインタビューし、ライフコース作成の参考にする。

第６回　家庭生活の経営：ライフコースの作成（人生後半）
【key words】
ライフコース　家庭経済　高齢期の過ごし方　高齢者の人生
【授業概要】
第５回に引きつづき、ライフコースを作成する。その際、子どもの教育期～独立期・高齢期の状態について、家庭経済・時間・健康の観点を重視しながら考え、施設利用者の人生を考える。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料：ワークシート
32～35ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：ライフコースを仕上げる。

第７回　被服生活：被服の役割と機能　「装うこと」をとおしての生活支援の方法
【key words】
被服の役割　物理的機能（保健衛生上の機能）　精神的機能（社会生活上の機能）　美的機能　装い　ファッション　ファッション・コーディネート　TPO
【授業概要】
衣服の役割・機能を概説するが、特に美的機能における服飾による自己表現を支援に活かす方途を実例をあげて説明する。
【教科書ページ・参考文献】
100～103ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：実習やボランティア先などで福祉施設利用者と衣服について会話を交わしてみる。

第８回　被服生活：縫製の基礎（実践）①　並縫い　まつり縫い
【key words】
縫製用具の知識科学
【授業概要】
福祉施設利用者の衣生活支援に必要な裁縫の基礎技能を修得する。グループに分かれ、アドバイスをし合いながら進める。
【教科書ページ・参考文献】
配布プリント：手縫いの基礎（縫い方）図示
124～125ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：進度が遅れている場合は、とりもどすべく製作する。

第９回　被服生活：縫製の基礎（実践）②　ボタンつけ　スナップつけ
【key words】
福祉施設利用者とともに作る手工芸品
【授業概要】
福祉施設利用者の衣生活支援に必要な裁縫の基礎技能を修得する。グループに分かれ、アドバイスをし合いながら進める。自己評価・相互評価表を添付して作品を提出すること。
【教科書ページ・参考文献】
配布プリント：手縫いの基礎（縫い方）図示
124～127ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：手縫いでできる簡単な作品を調べ、支援に活かす方法を考える。
復習：進度が遅れている場合は、とりもどすべく製作する。

第１０回　被服生活：被服の素材；繊維の観察　繊維の種類と特徴①　（天然繊維）
【key words】
布・糸・繊維　天然繊維（綿・麻・毛・絹）
【授業概要】
繊維を取り出し、観察する。各種繊維の性質によって作られる布の性能が異なることを解説する。また、主要な天然繊維の特徴について説明する。
【教科書ページ・参考文献】
104ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでおくこと。
復習：綿・麻・絹・羊毛の製品に触れ、確認する。

第１１回　被服生活：被服の素材；繊維の種類と特徴②　（合成繊維）
【key words】
合成繊維（ポリエステル・ナイロン・アクリル・レーヨン・ポリウレタン）
【授業概要】

合成繊維はどのように作られるか及び各種繊維の性能について解説する。
【教科書ページ・参考文献】
104ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでおくこと。
復習：身のまわりの合成繊維でできている製品を確認する。

第１２回　被服生活：被服の素材；布の種類　布の加工と新素材
【key words】
織物　編物　不織布　タオル　特殊加工
【授業概要】
様々な布の製法や性質について説明する。介護の現場で用いられている布製品の特殊加工についても触れる。
【教科書ページ・参考文献】
105～107ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでおくこと。
復習：身近にある布製品を観察する。

第１３回　被服生活：紙オムツの観察（被服素材の知識をもとに）
【key words】
不織布　高分子吸水ポリマー　ポリウレタン　ギャザー
【授業概要】
紙おむつを分解し、素材及び構成について検討する。さらに高分子吸水ポリマーの性能に関する実験を行い、おむつ交換について考える。
【教科書ページ・参考文献】
配布プリント：ワークシート
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：紙おむつの性能と被服の素材の関係について科学的に理解すること。

第１４回　被服生活：被服の選択（サイズ等）　下着・寝具・靴
【key words】
体型　JIS規格とサイズ表示　ユニバーサルデザイン　グリーンファッション　下着・寝具・靴
【授業概要】
加齢・発達・老化による体型の変化とともに、各種衣料のサイズ表示の見方について説明する。
【教科書ページ・参考文献】
10～11ページ、108～115ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでおくこと。

第１５回　被服生活：下着・寝具・靴
【key words】
品質表示　取扱絵表示　繊成表示　等
【授業概要】
各種表示の見方について説明する。
【教科書ページ・参考文献】
109～122ページ、120～124ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでおくこと。
予習：身辺の表示に関心を持ち、調べる。

第１６回　被服生活：被服と皮膚衛生　　被服の管理（取り扱い絵表示・組成表示等）
【key words】
皮膚の生理　皮膚の汚れ　被服を汚染する細菌
【授業概要】
衣服の洗濯が何故必要かや、どのような種類の汚れがあるかについて解説する。
【教科書ページ・参考文献】
112ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
課題：自分で洗濯をしてみる。その際、使用した洗剤・柔軟仕上げ剤の表示を見て成分などとメモしておくこと。

第１７回　被服生活：被服の管理（洗濯〈湿式・乾式〉と品質表示）
【key words】
湿式洗濯　乾式洗濯　ウェットクリーニング　品質表示
【授業概要】
家庭での湿式洗濯について手順・洗浄条件について正しい方法を解説する。また乾式洗濯（ドライクリーニング）とはどのようなものかについても説明する。
【教科書ページ・参考文献】
116～119ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでおくこと。
課題：手順どおり洗濯をしてみる。洗濯機の洗浄やすすぎ時間が合理的に設定されているかを確認する。

第１８回　被服生活：被服の管理（漂白・しみ抜き・アイロンかけ・収納と保管）
【key words】
漂白剤（塩素系・酸素系・還元型）　しみ抜き　アイロンかけ　防虫剤　たたみ方
【授業概要】
被服の管理に欠かせない以下の項目について概説する。
漂白剤の正しい使用方法・しみ抜きの原理と方法・アイロンかけ（霧吹きとスチームの原理）・防虫剤の正しい使用方法・福祉施設利用者のための衣類のたたみ方
【教科書ページ・参考文献】
120～123ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：教科書を読んでおくこと。

第１９回　被服生活・住生活：洗剤の成分

【key words】
界面活性剤　各種配合剤　酵素　蛍光増漂白剤　合成洗剤　石けん
【授業概要】
洗剤には被服用洗剤と住まいの洗剤などがある。合成洗剤と石けんについて説明するが、特に洗濯用合成洗剤の成分及び有効な使用方法について詳説する。
【教科書ページ・参考文献】
配布プリント：洗濯の科学
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：各自の生活において、酵素や蛍光増白剤の入った洗剤を正しく使っているか確認する。

第２０回　被服生活・住生活：界面活性剤の作用と洗浄理論

【key words】
界面活性剤　浸透　乳化　分散　再付着（汚染）防止
【授業概要】
汚れ落としのメカニズムについて解説する。
【教科書ページ・参考文献】
配布プリント：洗濯の科学
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：配布資料とノートを確認し、汚れのメカニズム（界面活性剤の作用）を理解すること。
学んだ汚れ落としの理論を活用しながら、洗濯だけでなく清掃活動を行う。

第２１回　住生活：住まいの役割と機能　住生活と生活空間　快適な室内空間　維持管理

【key words】
住まいの役割　ファミリーサイクル・生活行為と生活空間　動線　ゾーニング　光　温度・湿度　音　点検・修理　掃除
【授業概要】
家族の暮らしや地域と住居の関係を概説する。生活行為に伴う生活空間の問題や収納の工夫、さらに快適な室内環境に必要な光（採光・照明）・温度（暖冷房・通風・換気）・音（騒音）、加えて維持管理などについても詳説する。
【教科書ページ・参考文献】
130～140ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：130～148ページ
予習：教科書を読んでおくこと。

第２２回　住生活：住生活と安全　住まいと地域生活　高齢者・障がい者の住居（自立のための住環境・地域環境）

【key words】
バリアフリー建築　福祉機器　防犯・防災　暮らしやすいまちづくり　ユニバーサルデザイン
【授業概要】
高齢者・障がい者が暮らしやすい住環境整備について、福祉機器をはじめ、高さ・空間などの視点から説明する。
【教科書ページ・参考文献】
152～168ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
予習：どのような福祉用具があるか、インターネットで調べておくこと。
予習：教科書を読んでおくこと。

第２３回　生活文化の知識①：春夏秋冬の自然

【key words】
草花　作物　生き物　風物
【授業概要】
四季の植物や生き物・風物を確認し、それらを福祉の現場での支援に活用する方途について説明する。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料：ワークシート
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：季節ごとの自然の所産について図書館で調べ確認しておくこと（図鑑・雑誌）。

第２４回　生活文化の知識②：春夏秋冬の行事

【key words】
年中行事　行事食　しきたり
【授業概要】
年中行事の意味や行事食などについて、その由来・機縁を概説し、福祉施設においてこれらをどのように支援やレクリエーションに活用し得るかについて考える。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料：ワークシート
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：年中行事や行事食、さらに地域特有の料理を調べておくこと（事典・図鑑・雑誌）。

第２５回　生活文化の知識③：日本の文様・色彩

【key words】
幾何学文様　謎解き文様　古典文様　色彩感情
【授業概要】
日本における独自の色彩の美意識を説明する。また、日本の伝統文様とそれらにこめられている意味を詳しく解説する。
【教科書ページ・参考文献】
配布資料：「日本の伝統文様」
【課題・予習・復習・授業準備指示】
復習：身辺にある生活用品に使われている伝統文様を探すこと。

第２６回　介護を必要とする人の生活を豊かにするためのプロジェクト～生活文化に基づく働きかけ～（主旨説明）

【key words】
イベント　日々の生活の中の働きかけ　生活文化
【授業概要】
介護を必要とする人に対して生活文化に基づく何らかの働きかけをし、精神を活性化させるための工夫を考える（グループ活動）。
【教科書ページ・参考文献】

	配布資料：プロジェクト内容記入用紙 【課題・予習・復習・授業準備指示】 復習：グループ内で出されたアイディアの妥当性について、最新の情報を調べておくこと（インターネット・雑誌など）。 第２７回　介護を必要とする人の生活を豊かにするためのプロジェクト～生活文化に基づく働きかけ～（調べと計画） 【key words】 イベント　日々の生活の中の働きかけ　生活文化 【授業概要】 介護を必要とする人に対して生活文化に基づく何らかの働きかけをし、精神を活性化させるための工夫を考える（グループ活動）。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料：プロジェクト内容記入用紙 【課題・予習・復習・授業準備指示】 第２８回　介護を必要とする人の生活を豊かにするためのプロジェクト～生活文化に基づく働きかけ～（中間発表） 【key words】 イベント　日々の生活の中の働きかけ　生活文化 【授業概要】 中間発表を行い、他グループの工夫を参考にする。また、質疑応答を行い、内容を深める（グループ活動）。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料：プロジェクト内容記入用紙　中間発表聴き取り用ワークシート 【課題・予習・復習・授業準備指示】 第２９回　介護を必要とする人の生活を豊かにするためのプロジェクト～生活文化に基づく働きかけ～（仕上げ） 【key words】 イベント　日々の生活の中の働きかけ　生活文化 【授業概要】 第28回で実施し中間発表の成果をふまえながら仕上げる。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料：プロジェクト内容記入用紙 【課題・予習・復習・授業準備指示】 第３０回　介護を必要とする人の生活を豊かにするためのプロジェクト～生活文化に基づく働きかけ～（発表） 【key words】 イベント　日々の生活の中の働きかけ　生活文化 【授業概要】 出来上がったプロジェクトを発表し合う。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料：プロジェクト内容記入用紙 【課題・予習・復習・授業準備指示】 課題：発表を聴いての所見を書き、提出すること。
受講生に関わる情報および受講のルール	講義中の迷惑な行為は慎む。（私語や携帯電話の使用等）　グループ学習時は、協力して行う。　教材は大切に使用し、生理、整頓を心がける。　調理をする時は、腕時計はつけないこと。長い爪は禁止。長い髪は束ねること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	日常生活に関する事象を取り扱うので、各自、買い物・洗濯・掃除等を行っていること。
オフィスアワー	授業時に提示する。
評価方法	授業態度：20%　　筆記試験・課題等：80%
教科書	新版　福祉のための家政学　－自立した生活者を目指して－
参考書	講義の中で適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 高齢者施設にて介護職員として6年間従事した実務経験あり。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　介護過程の展開Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	介護福祉士国家試験受験資格を得るための指定必須科目
担当教員			
白井　幸久・清水　久二雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 ・1年次で学んだ介護過程まのアセスメント～介護計画の作成を事例を用いて行えるようにするための演習が中心の授業　になります。単に計画を作成するだけではなく、作成した介護計画が論理的で、科学的根拠に基づくもので他者に説 　明することができることを目的にしています。そのため様々な知識や技術を総動員し、さらにその計画がチームで運営　するためにどのような工夫や配慮なども含め実現可能性が高い介護計画の作成ができるようになる為の学習を行いま 　す。 〔到達目標〕 ①主観的情報・客観的情報の収集や整理ができる。 ②ＩＣＦの概念図を用いて情報の統合をし根拠に基づいて生活課題やニーズの抽出ができる。 ③生活課題、ニーズに合わせて適正目標設定と具体的な介護内容を計画する事ができる。 ④様々な可能性に着目した創造的な介護計画を作成することができる。
授業の概要	①様々な事例を用意し個人ワーク・グループワークなど演習方式で授業をすすめていく。 ②学生の学習の進捗状況はアセスメントシート、統合用紙、介護計画書を提出してもらい確認する。 ③根拠に基づくという事を重視するため時々それぞれの考え方、導き出した理由を述べてもらう機会をつくる。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　　科目のガイダンス（授業の進め方、演習について） 〈キーワード〉　介護過程　事例 〈テキスト〉　2回目以降に使用する事例、シートの配布 〈授業概要〉 ・授業のガイダンスを行う。授業は演習が中心であること、授業以外の時間の使い方が重要である事と、積極　的なオフィスアワーの活用、調べ学習のポイントについても再度触れる。 〈復習・次回授業で準備すること〉 　配布した事例概要を次回の授業までに熟読しておくこと。 第２回　　介護過程の実践的展開①　（口頭からの主訴が少ない利用者の事例　主観的な情報収集） 〈キーワード〉　意思の認識　意思の表明　スピリチュアリティ　主観的情報 〈テキスト〉　2回目以降に使用する事例、シートの配布 〈授業概要〉 ・意思の表明が先天的、身体的に困難である場合の支援方法や、対人関係トラブル後の再構築の支援、主観的　な情報する場合の支援について、様々な状態とそれによる言動の意味について考えていき、学びを深めてい　く。 〈復習・次回授業で準備すること〉 　授業で調べたものをまとめておくこと。 第３回　　介護過程の実践的展開②　（口頭からの主訴が少ない利用者の事例　客観的な情報収集） 〈キーワード〉　客観的な情報収集　ナラティブリポート 〈テキスト〉　2回目以降に使用する事例、シートの配布 〈授業概要〉 ・前回の授業で行った主観的な情報収集の整理をもと 〈復習・次回授業で準備すること〉 　授業で配布した資料のまとめを行う事。また主観的、客観的な情報収集の内容を比較し観察する事。

第４回　介護過程の実践的展開③　（口頭からの主訴が少ない利用者の事例　情報の統合）
〈キーワード〉　情報の統合　現状　自己像
〈テキスト〉　2回目以降に使用する事例、シートの配布
〈授業概要〉
・これまで生きていく中で培ってきた自己像に対して、現状とのギャップはどうかについて焦点をあててい
く。そのギャップが生じている要因について情報と情報がどのように関連しているのか、様々なパッケージ
ジング、ナンバーリングを行っていき、情報の統合で必要な事は何かを学んでいく。
〈復習・次回授業で準備すること〉
授業で実施した情報同士の関連図を仕上げること。

第５回　介護過程の実践的展開④　（口頭からの主訴が少ない利用者の事例　目標設定とサービス内容）
〈キーワード〉　ゴール設定　目標を創造　Win-Win　Win-Rose
〈テキスト〉　2回目以降に使用する事例、シートの配布
〈授業概要〉
・これまで生きていく中で培ってきた自己像に対して、現状とのギャップはどうかについて焦点をあててい
く。そのギャップが生じている要因について情報と情報がどのように関連しているのか、様々なパッケージ
ジング、ナンバーリングを行っていき、情報の統合で必要な事は何かを学んでいく。
〈復習・次回授業で準備すること〉
今回の授業で検討した目標設定とニーズや解決すべき課題との間に辻褄が合っているように検討してくるこ
と。

第６回　介護過程の実践的展開⑤　（口頭からの主訴が少ない利用者の事例　実施状況と振り返り）
〈キーワード〉　計画内容　手順書
〈テキスト〉　2回目以降に使用する事例、シートの配布
〈授業概要〉
・手順を進めていく為に必要な「担当者」に対しての情報共有についてと、役割分担について触れる。また頻
度・時間・タイミングについてどのような配慮や進め方がよいのかについて学ぶ
〈復習・次回授業で準備すること〉
次回の授業終了時に作成した介護計画書は提出してもらう予定であるため、体裁を整えておくように

第７回　第2～6回の事例のまとめ　（記録の整理、思考の整合性の確認）
〈キーワード〉　整合性　計画の見立て　いくつもの予測
〈テキスト〉　2回目以降に使用する事例、シートの配布
〈授業概要〉
・これまでまとめたものを小グループで発表しあう。グループ討議では質問のみとする。その後計画実施時の
様々な想定を行い計画書の中身について検討する。残った時間は個別に分かれ、修正や、調べる内容など
あったら各自で作業を行う。
〈復習・次回授業で準備すること〉
小グループで話し合った内容とこれまでの計画書作成について配布した「振り返りカード」を記載し演習内
容を総括しておくこと。

第８回　介護過程の実践的展開①　（障害者が地域で生活を継続するための事例　主観的な情報収集）
〈キーワード〉　意思の認識の変容　意思の表明の変容　主観的情報の変容
〈テキスト〉　8回目以降に使用する事例、シートの配布
〈授業概要〉
・8回の授業より障害のある人が地域社会で主体的に生活するための支援について学習していく。障害がある
人の意思の表明の確認のためにどのような配慮が必要であるかを事例を通して、段階的にワークを行いなが
ら学習していく。
〈復習・次回授業で準備すること〉
・意思の確認するために言動の確認方法について個人でまとめておくように。

第９回　介護過程の実践的展開②　（障害者が地域で生活を継続するための事例　客観的な情報収集）
〈キーワード〉　ストレングス　パワーレス
〈テキスト〉　8回目以降に使用する事例、シートの配布
〈授業概要〉
・前回の意思の認識・表明や主観的な情報については、携る関係の線が増えれば増える程、主観的な情報は変
容する場合がある事を学ぶ。その上で「サポーター」と呼ばれる人の重要性や役割を学びながら、地域で生
活する事について考えていく。
〈復習・次回授業で準備すること〉
ストレングス　パワーレスの状態について個人で事例から検討するように。

第１０回　介護過程の実践的展開③　（障害者が地域で生活を継続するための事例　情報の統合）
〈キーワード〉　情報の統合　ストレングス　エンパワーメント
〈テキスト〉　8回目以降に使用する事例、シートの配布
〈授業概要〉
・前回のストレングス・エンパワーメントの視点から、様々な生活の可能性についてグループディスカッショ
ンを通して学習する。
〈復習・次回授業で準備すること〉
今回の授業でまとめた様々な可能性について個人でまとめておくように。

第１１回　介護過程の実践的展開④　（障害者が地域で生活を継続するための事例　目標設定とサービス内容）

	〈キーワード〉　ストレングス　エンパワーメント　自助　互助　ソーシャルアクション 〈テキスト〉　8回目以降に使用する事例、シートの配布 〈授業概要〉 ・前回に実施した情報の統合において、自助・互助でニーズや課題がクリアできるのか、また今後共助・公助 の必要がないのかを考えながら学ぶ。 〈復習・次回授業で準備すること〉 今回の授業でまとめた様々な可能性について個人でまとめておくように。 第１２回　介護過程の実践的展開⑤　（障害者が地域で生活を継続するための事例　実施状況と振り返り） 〈キーワード〉　ストレングス　エンパワーメント　自助　互助　ソーシャルアクション 〈テキスト〉　8回目以降に使用する事例、シートの配布 〈授業概要〉 ・計画と具体的内容においては環境・人的などの様々な「資源」についてどのように計画書に記載するという 工夫についてや、自助グループなど多数の住民などに開示する必要がある場合の情報の取り扱いについて学 習する。 〈復習・次回授業で準備すること〉 次回の授業終了時に作成した介護計画書は提出してもらう予定であるため、体裁を整えておくように。 第１３回　第8～12回の事例のまとめ　（記録の整理、思考の整合性の確認） 〈キーワード〉　ストレングス　エンパワーメント　自助　互助　ソーシャルアクション 〈テキスト〉　8回目以降に使用する事例、シートの配布 〈授業概要〉 ・これまでまとめたものを小グループで発表しあう。グループ討議では質問のみとする。その後計画実施時の 様々な想定を行い計画書の中身について検討する。残った時間は個別に分かれ、修正や、調べる内容など あったら各自で作業を行う。 〈復習・次回授業で準備すること〉 小グループで話し合った内容とこれまでの計画書作成について配布した「振り返りカード」を記載し演習内 容を総括しておくこと　次回コミュニケーション技術のテキストを使用することを授業の中でアナウンスす る。 第１４回　ケースカンファレンス体験　（2つの事例を用いて） 〈キーワード〉　共感的理解　シナジー 〈テキスト〉　コミュニケーション技術　P248～257 〈授業概要〉 ・これまでの2つの事例についてカンファレンスの体験を実施する。　小項目を具体的に抽出し、そのテーマ で話し合いを行う。時間を設定し互いのカンファレンスを傍聴してもらいながら学ぶ。 〈復習・次回授業で準備すること〉 今回の話し合いの内容を整理し、他職種との共感的理解と、創造的な会議の開催について必要な事をまとめ て、次回の授業に持ち寄る。 第１５回　まとめ　（カンファレンスを通じて） 〈キーワード〉　共感的理解　シナジー 〈テキスト〉　コミュニケーション技術　P248～257 〈授業概要〉 ・前回の授業の課題を持ち寄り全体でカンファレンスを開催、その後、「共感的理解」にふれていく。 〈復習・次回授業で準備すること〉 2つの事例を通じて学生自身の思考のパターン、特徴などについて自己覚知するように振り返ること
受講生に関わる情報および受講のルール	・段階的に授業を進めている為欠席、早退、遅刻しないように努める ・調べ学習を行う事が多くなるため必要なテキスト、用語辞典などを用意すること。（授業の中でも適宜紹介する。） ・演習が中心となり個人によって学習の進捗が違ってくる事が考えられるため分からないところはそのままにせず質問し てくること。 ・個人ワーク、グループワークなど行う際に必要ない私語、講義中の私語は慎むこと。（評価方法にも含まれます）
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード　授業で配布するワークシートの回収の添削　ディスカッション　発表
授業外時間にかかわる情報	授業で行った演習は
オフィスアワー	初回授業時に時間表を配布し説明する。
評価方法	授業で行った演習の提出　80%　　演習時の取り組み　20%
教科書	介護福祉士養成テキスト　2　「介護の基本／介護過程」　　日本介護福祉士養成施設協会
参考書	印刷資料など
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 老人保健施設で5年弱　介護職員・レクリエーションワーカー、特別養護老人ホームで、19年間、

	介護職員、短期入所生活介護の担当、介護長、施設介護支援専門員に従事する。 施設利用者のアセスメント、介護計画作成、介護計画の実施と具体的方法の検討、評価、サービス担当者会議の開催のマネジメント、利用者、家族への説明などを10年ほど行ってきた。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　生活支援技術Ⅴ（総合）　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・選択
担当教員			
矢嶋　栄司・辻　志帆			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【 授業の目的】 尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ること も含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する学習とする。 【到達目標】 安全で的確な介助の技法を身につける。 利用者の状態・状況に応じた介助の留意点が理解出来る。
授業の概要	この授業では、介護福祉士が利用者及びその家族等への生活を支援するために修得しておかなければならない、個人の尊厳を保持し、その人らしい生活とは何かを学ぶ。「起きる」、「食事を摂る」、「身じたくを整える」、「入浴」、「睡眠」等の一連の活動の中身を細かく見ていくと、一つ一つの活動が、その人らしい「生活」を形成していることが理解できる。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回	科目オリエンテーション 【key words】 【授業概要】 授業概要説明、科目オリエンテーション、身だしなみについて、アイスブレーク 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業で行ったことを確認し、ボランティア等で繰り返し復習すること
	第２回	利用者の状態に応じた介護技術① 【key words】 アセスメント、介護の手順、留意点 【授業概要】 事例を用いて、声かけ、介護技術の方法を検討する（個人ワーク、ＧＷ） 【教科書ページ・参考文献】 資料配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 添削等を行い、グループごとで課題を提出すること
	第３回	利用者の状態に応じた介護技術② 【key words】 アセスメント、介護の手順、留意点 【授業概要】 事例をもとに検討した内容について、グループで実践し、確認、修正を行う。

【教科書ページ・参考文献】
資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】

授業で行った内容について、確認しボランティア等で繰り返し実践すること

第４回　利用者の状態に応じた介護技術③
【key words】
良い点、課題反省点
【授業概要】
グループごとに検討、修正した内容を全体の前で発表を行い、振り返りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】

授業で行った内容について、確認しボランティア等で繰り返し実践すること

第５回　バイタルサインの測定
【key words】
脈拍、呼吸、血圧、動脈血酸素飽和度、体温

【授業概要】
バイタルサインとは、バイタルサインの基礎知識

【教科書ページ・参考文献】
資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】

授業で行った内容について、確認しボランティアや実習等で実践すること

第６回　バイタルサインの測定
【key words】
体温計、血圧計、パルスオキシメーター

【授業概要】
バイタルサインの測定の実際、グループごとの演習

【教科書ページ・参考文献】
資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】

授業で行った内容について、確認しボランティアや実習等で実践すること

第７回　終末期のプロセス
【key words】
ターミナルケア、ホスピス、リビングウィル

【授業概要】
終末期ケアの意味、終末期ケアの考え方

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・Ⅱ　Ｐ233～238

【課題・予習・復習・授業準備指示】

授業で行った内容についてボランティア等で確認すること

第８回　終末期における介護職の役割
【key words】
トータルペイン、死の受容
【授業概要】
終末期ケアの介護職の役割、生活支援、苦痛を和らげる支援、家族支援

【教科書ページ・参考文献】
Ｐ238～243
【課題・予習・復習・授業準備指示】

授業で行った内容についてボランティア等で確認すること

第９回　終末期における介護技術
【key words】
エンゼルケア、危篤時の対応
【授業概要】
終末期におけるアセスメントの視点、終末期における介護、危篤時の介護の実際

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ238～243

【課題・予習・復習・授業準備指示】

授業で行った内容についてボランティア等で確認すること

第１０回　終末期における家族に対する支援
【key words】
グリーフワーク、グリーフケア
【授業概要】
家族へのケア、遺族ケア(グリーフケア）、死の受容までのプロセス

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ243～Ｐ244

【課題・予習・復習・授業準備指示】

授業で行った内容についてボランティア等で確認すること

第１１回　終末期の介護まとめ
【key words】

【授業概要】
終末期の意義と介護の役割り、終末期における介護技術の範囲の確認テスト

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

事前に伝達してある出題範囲の復習をしておくこと

第１２回　緊急時の対応の知識と技術
【key words】
心筋梗塞、脳卒中、窒息、熱中症、アナフィラキシー

【授業概要】
想定される事故、予防の視点、応急手当の基礎知識

【教科書ページ・参考文献】
資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】

外部講師を予定しているので、事前に疑問、質問などをまとめ積極的な姿勢で臨むこと

第１３回　緊急時の対応の知識と技術②
【key words】
心肺蘇生、ＡＥＤ、気道異物の除去
【授業概要】
救命処置の流れ、救命処置の手順、ＡＥＤの使用手順

【教科書ページ・参考文献】
資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】

外部講師を予定しているので、事前に疑問、質問などをまとめ積極的な姿勢で臨むこと

第１４回　緊急時の対応まとめ
【key words】
胸骨圧迫、人工呼吸、ＡＥＤ、気道異物の除去

【授業概要】
救命処置の実際、心肺蘇生、人口呼吸、ＡＥＤの使用手順、演習

【教科書ページ・参考文献】
資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】

外部講師を予定しているので、事前に疑問、質問などをまとめ積極的な姿勢で臨むこと

第１５回　障害に応じた生活支援技術・視覚障害に応じた介護
【key words】
ガイドヘルプ、白杖、盲導犬、点字、視覚障害者誘導用ブロック

【授業概要】
視覚障害に応じたコミュニケーション方法の理解、移動の支援、身の回りの支援

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

授業で学んだ内容について、ボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと。

第１６回　障害に応じた生活支援技術・聴覚・言語障害に応じた介護
【key words】
難聴、手話、指文字、補聴器
【授業概要】

聴覚障害の理解、言語障害とのコミュニケーション方法、

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

授業で学んだ内容について、ボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと。

第１７回　障害に応じた生活支援技術まとめ
【key words】

【授業概要】
障害に応じた介護、支援の方法の確認テスト

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

事前に伝達してある出題範囲の復習をしておくこと

第１８回　安心で快適な生活の場づくり・住まいの場における工夫・留意点
【key words】
居住環境、ＩＣＦの視点でのアセスメント、環境

【授業概要】
住居の役割、居住環境と介護、居住環境のアセスメント、バリアフリー、ユニバーサルデザイン

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ181～188

【課題・予習・復習・授業準備指示】

授業で学んだ内容について、ボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと。

第１９回　安心で快適な生活の場づくり・集団生活における住まいの理論
【key words】
集団の場合の居住環境
【授業概要】
施設における生活の工夫と支援、集団生活への配慮

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ193～197

【課題・予習・復習・授業準備指示】

授業で学んだ内容について、ボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと。

第２０回　安心で快適な生活の場づくり・在宅生活を続けるための環境整備
【key words】
住宅の場合の居住環境
【授業概要】
在宅における生活の工夫と支援、住宅改修やバリアフリー化

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ189～193

【課題・予習・復習・授業準備指示】

授業で学んだ内容について、ボランティア等で確認し、繰り返し復習を行うこと。

第２１回　家庭生活にかかわる基本知識
【key words】
家事、掃除、ゴミ捨て、衣類の洗濯、管理、

【授業概要】
家事の意義、家事支援とは、家事支援に関するアセスメント

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ199～202

【課題・予習・復習・授業準備指示】

授業で学んだ内容について、繰り返し復習を行うこと。

第２２回　家庭生活の理解
【key words】
家事、掃除、ゴミ捨て、衣類の洗濯、管理、

【授業概要】
食生活の基本知識、被服生活の基本知識、被服の洗濯、保管、布の種類と特徴

【教科書ページ・参考文献】

介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ203～210

【課題・予習・復習・授業準備指示】

授業で学んだ内容について、繰り返し復習を行うこと。

第２３回　家庭生活の営み
【key words】
食中毒、悪徳商法、クーリングオフ
【授業概要】
調理の支援、洗濯の支援、衛生管理、家庭生活の営み、生活設計

【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術/生活支援技術Ⅰ・ⅡＰ210～213

【課題・予習・復習・授業準備指示】

授業で学んだ内容について、繰り返し復習を行うこと。

第２４回　自立に向けた家事の介護まとめ
【key words】

【授業概要】
家庭生活の理解、家事の支援の範囲における確認テスト

【教科書ページ・参考文献】

【課題・予習・復習・授業準備指示】

授業で学んだ内容について、繰り返し復習を行うこと。

第２５回　総合生活支援技術　生活の理解・自立にむけた居住環境の整備
【key words】
生活、自立、生活支援技術
【授業概要】
生活を理解する視点、高齢者や障害者に対する生活支援のあり方、在宅および施設における生活の場作りについて、復習を行う
【教科書ページ・参考文献】
資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】

試験対策等、重要なポイントをしっかり押さえて復習すること。

第２６回　総合生活支援技術　自立に向けた身じたくの介護・自立に向けた移動の介護
【key words】
移動、移乗、ボディーメカニクス、身じたく、整容、口腔ケア、更衣

【授業概要】
身支度の意義と目的、整容、口腔ケア、更衣、移動の意義と目的、体位変換、安楽な体位、車いす、補講の介護について復習を行う。

【教科書ページ・参考文献】
資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】

試験対策等、重要なポイントをしっかり押さえて復習すること。

第２７回　総合生活支援技術　自立に向けた食事の介護・自立に向けた入浴・清潔保持の介護
【key words】
食事、食行動、咀嚼、嚥下、誤嚥、清潔行為、入浴、清拭、感染予防

【授業概要】
食事の意義と目的、食事における介護技術、入浴・清潔保持の意義と目的、入浴介助、部分浴介助、清潔保持について復習を行う
【教科書ページ・参考文献】
資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】

試験対策等、重要なポイントをしっかり押さえて復習すること。

第２８回　総合生活支援技術　自立に向けた家事の介護・自立に向けた排泄の介護
【key words】
排泄行動、尿意、便意、失禁、尊厳の保持、ポータブルトイレ、おむつ、家事、衣類、洗濯、掃除
【授業概要】
家事の支援の意義と目的、調理、洗濯、掃除、排泄の意義と目的、排泄介助の基本、福祉用具を使用した介助等の復習を行う
【教科書ページ・参考文献】
資料配布
【課題・予習・復習・授業準備指示】

試験対策等、重要なポイントをしっかり押さえて復習すること。

	第２９回　総合生活支援技術　自立に向けた睡眠の介護・終末期の介護 【key words】 睡眠と覚醒、サーガディアンリズム、レム睡眠、ノンレム睡眠、メラトニン、睡眠障害、ターミナルケア、グリーフケア 【授業概要】 睡眠の意義と目的、睡眠における介護技術、終末期における介護の意義、終末期における介護技術について復習を行う。 【教科書ページ・参考文献】 資料配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 試験対策等、重要なポイントをしっかり押さえて復習すること。 第３０回　総合生活支援技術のまとめ 【key words】 【授業概要】 生活支援技術の全範囲より確認テストを行う。 【教科書ページ・参考文献】 資料配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 苦手科目を重点的に復習しておくこと
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 ・演習時は、学校指定のジャージを着用すること。(学校指定ポロシャツ以外に親睦スポーツ大会でのクラスTシャツは許可する。) 〔受講のルール〕 ・他の受講生の迷惑となる行為（私語、携帯電話の使用）は厳禁。 ・遅刻、欠席、早退の場合は、理由を申し出ること。 ・身だしなみを整え、爪は短く、長い髪は束ねること。（体育保健委員が講義を始める前に身だしなみのチェックを行う。） ・上履きの後は踏まないこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	毎回の講義・演習内容を主に復習を重ねること。
オフィスアワー	授業時に指示する。
評価方法	平常点20%、レポート・小テスト20%、定期試験60% ※出欠状況や授業態度も含み総合的に評価する。
教科書	介護福祉士養成テキスト3　コミュニケーション技術／生活支援技術Ⅰ・Ⅱ
参考書	必要時、資料を配布し、参考文献は授業時に適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 高齢者施設にて6年間介護職員として従事した実務経験あり。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　介護過程の展開Ⅲ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	介護福祉士国家試験受験資格を得るための指定必須科目
担当教員			
白井　幸久・清水　久二雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 ・介護過程のⅢでは介護計画の実施から評価までについてを学びます。これで介護過程の一連のサイクルを学んだ事にな　りますが、実習による実践のみではなく、介護過程の学びをより深めるためにアセスメントツールを調べ活用したり、 　地域での生活支援など利用者本人を生活の中心に置き、職種連携、社会資源の活用などを根拠に基づき知識、技術を統 　合し思考ができるようになり、それらを具現化できるスキルを身につける事を目的としています。 〔到達目標〕 ①利用者本人・家族及びそれらを取り巻く環境に配慮しつつ個別援助計画を立案する事ができる。 ②他職種連携を目指した個別援助計画を立案する事ができる。 ③サービスの評価後再アセスメントし介護計画を再立案する事ができる。 ④自立支援の為のサービス内容と社会資源の活用の視点を身につける事ができる。
授業の概要	・１年次で学んだ介護過程の展開を実習の事例や様々な事例を通じて実践する。また介護過程を展開するにあたり家族・　他職種・地域・様々な社会資源も統合し根拠に基づき自立支援、ニーズの充足、生活課題の解決など目標とした具体的　で実行可能性の高いサービス内容を計画し、さらにサービス内容を的確に評価再アセスメント、再計画できるマネジメ　ント力を高められるように個人ワーク、グループワークなど演習を中心として授業を展開していく。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　　科目のガイダンス(1年次の振り返り　個別援助計画の記載) 〈キーワード〉　介護計画　実施　評価　再アセスメント 〈テキスト〉　テキスト　P209～ 〈授業概要〉 ・授業の全般的な概要について説明を行う。また復習として1年次まで行った計画立案までの内容の振り返り 　を行う。 〈復習・次回授業まで準備すること〉 　アセスメント・計画立案までの復習をしておくこと。2回授業で行うP225～230の予習を行うように。 第２回　　介護計画の評価(実施状況と評価のまとめ方と再アセスメント) 〈キーワード〉　実施　叙述体　要約体　説明体　評価　再アセスメント 〈テキスト〉　テキスト　P225～230 〈授業概要〉 ・介護計画の実施時、評価時など、それぞれの状況にあった記録の方法を学ぶ。またそのために必要な観察、 　記録によって次の再アセスメントに活かされる事も同時に学ぶ。 〈復習・次回授業まで準備すること〉 　P225～230を復習しておくこと。3回の授業で行う、P230～235までを予習するように。 第３回　　情報収集(全体像を捉える) 〈キーワード〉　情報収集　全体像　実施　評価 〈テキスト〉　テキスト　P230～235 〈授業概要〉 ・実施・評価・再アセスメントする上で、大切な情報収集の視点は何かについて学んでいく。短い事例を比

較、検討するようにし、充分な情報収集によって実施時の観察ポイント、評価の視点が広がる事を体験を通
じて学んでいく。
〈復習・次回授業まで準備すること〉
P230～235までを復習するように。

第４回　情報の解釈と統合(情報の整理の解釈　ICFの概念図を用いて)
〈キーワード〉　ICF　良循環　悪循環
〈テキスト〉　テキスト　P230～235、　P187～197
〈授業概要〉
・前回の授業で行った実施・評価の項目の視点が増えることにふれたものをもとに、それぞれの実施・評価の
着目するポイントはどのように影響を及ぼすのかについて、ICFの概念図を用いて様々な影響を考えてい
く。
〈復習・次回授業まで準備すること〉
配布するICFの概念図を使用して、どのように影響が及ぶのか考えみること。その上で実施状況のポイント
を整理する事。

第５回　情報の解釈と統合(生活機能と背景因子の関連)
〈キーワード〉　ICF　生活機能　背景因子
〈テキスト〉　テキスト　P187～197
〈授業概要〉
・前回の授業に続き、特に生活機能と背景因子という上下の階層同士が関係しあうことを中心に考えた上で、
実施・評価のポイントで記述する際の様々な条件や状況についてどのような事に着目したら良いかを学ぶ。
〈復習・次回授業まで準備すること〉
P187～197の復習しておくこと。

第６回　介護計画の立案(目的とサービス内容)
〈キーワード〉　計画　内容　具体的な内容
〈テキスト〉　テキスト　P216～220
〈授業概要〉
・これまでの実施、評価などの視点を通じて、計画表作成について必要な記載方法について学ぶ。
〈復習・次回授業まで準備すること〉
P216～220までの復習をしておくこと。

第７回　介護計画の評価　(実施状況と評価のまとめ方と再アセスメント)
〈キーワード〉　実施　評価　再アセスメント
〈テキスト〉　テキスト　P216～220
〈授業概要〉
・実施・評価の記述の方法の総まとめとして、実施・評価は単独で存在しているのではなく、アセスメントや
計画と深く結びついている事を学ぶ。そのため、実施・評価のポイントが不明瞭である場合は必ず１つ前の
作業をしっかり確認する方法を学ぶ
〈復習・次回授業まで準備すること〉
次回アセスメントシート、統合シート、介護計画シートの記載の確認を行うため、シートを確認し、記述の
方法が困難であるところや不安な部分を整理しておくこと。

第８回　実習前の総括(アセスメントシート、統合シート、介護計画シートの記載の確認)
〈キーワード〉　実習　シート
〈テキスト〉　実習フォーマット
〈授業概要〉
・実習前の総括として、改めてアセスメントシート、統合シート、介護計画シートの記載の確認を行うため、
小グループに分かれてシートの使用の仕方を確認する。短文事例を用意し、記載する際の困り事を抽出しそ
の後全体へ共有する。
〈復習・次回授業まで準備すること〉
実習前に改めてテキスト全般を確認するように指示する。また実習時はテキストを持参するように指示。実
習後は必ずコピーをとって、次回の授業の折には必ず持参するように指示

第９回　実習の振り返り　①　(情報収集を振り返り)
〈キーワード〉　情報収集　アセスメントシート
〈テキスト〉　テキスト全般
〈授業概要〉
・実習で使用したアセスメントシートの記述に対して、グループ毎で記載方法や内容を確認しあう。また不特
定多数の困り事は、全体で内容を共有する。
〈復習・次回授業まで準備すること〉
9回授業で行ったグループ討議の内容を整理するように。次回はICFのが概念図であるため、内容を確認す
るように。

第１０回　実習の振り返り　②　(ICFの概念図で情報を振り返り)
〈キーワード〉　ICF　心身機能・身体構造　活動　参加　環境因子　個人因子
〈テキスト〉　テキスト全般
〈授業概要〉
・実習で使用したICFの概念図の記述に対して、グループ毎で記載方法や内容を確認しあう。特にそれぞれの
項目に対する情報収集が出来ているのかをグループの仲間うちにプレゼンテーションする。また不特定多数
の困り事は、全体で内容を共有する。その際は黒板に板書しながら行う。

〈復習・次回授業まで準備すること〉
10回授業でのグループ討議の内容について参考になるものは活用する。またICFの概念図での項目に該当す
る内容が記載されているかの指摘された箇所は改めてその内容が反映されているのか、を確認して欲しい。

第１１回　実習の振り返り　③　(ICFの概念図で情報の統合化を振り返り)
〈キーワード〉　ICF　生活機能　背景因子
〈テキスト〉　テキスト全般
〈授業概要〉
・実習で使用したICFの概念図の記述に対して、グループ毎で記載方法や内容を確認しあう。特にどのように
情報同士が深く関わりあっているのかをグループの仲間うちにプレゼンテーションする。また不特定多数の
困り事は、全体で内容を共有する。その際は黒板に板書しながら行う。
〈復習・次回授業まで準備すること〉
10回授業でのグループ討議の内容について参考になるものは活用する。またICFの概念図での関連が指摘さ
れた箇所は改めてその内容が反映されているのか、を確認して欲しい。

第１２回　実習の振り返り　④　(ニーズや生活課題と目標の振り返り)
〈キーワード〉　ニーズ　生活課題
〈テキスト〉　テキスト全般
〈授業概要〉
・10回授業、11回授業でICFの概念図を用いた情報の統合を実施したもので、ニーズや生活課の抽出が出来
ているのかをグループワークを中心に確認し合い学びを深めていく。
〈復習・次回授業まで準備すること〉
11回授業で指摘された内容が統合用紙や計画書に反映されているのか確認する。

第１３回　実習の振り返り　⑤　(サービス内容を振り返る)
〈キーワード〉　計画書　具体的内容　手順
〈テキスト〉　テキスト全般
〈授業概要〉
・介護計画書の中の計画を実施をどのように行ったのかをグループの中で互いに共有しあい学びを深めてい
く。
〈復習・次回授業まで準備すること〉
13回の授業の中で出たグループ冬季の内容について振り返る。特に仲間の発表で参考になったものを箇条
書きで書き出しておくこと。

第１４回　実習の振り返り　⑥(実施状況と評価を振り返る)
〈キーワード〉　実施状況　評価
〈テキスト〉　テキスト全般
〈授業概要〉
・実施状況と評価の記録の方法が適当かグループの中で共有する。特に評価の記載では説明体となる根拠が
シート内に記載されているのかを確認する。
〈復習・次回授業まで準備すること〉
実施状況・評価において指摘されたところは修正して欲しい。

第１５回　前期のまとめ
〈キーワード〉　介護過程　再アセスメント　再計画
〈テキスト〉　テキスト全般
〈授業概要〉
・14回授業を基に各グループで再アセスメント・再計画する内容について確認を行いながら、再アセスメン
ト・再計画に必要な事について学ぶ。
〈復習・次回授業まで準備すること〉
夏休みの間に実習のまとめを作成するように。

第１６回　後期のガイダンス　(介護過程の4つのサイクルを振り返る)
〈キーワード〉　アセスメントシート　アセスメントツール
〈テキスト〉　テキスト全般
〈授業概要〉
・これまでの介護過程の全体像として4つのサイクルについて確認を行う。その後、関心のあるアセスメント
シートの調べを関心のあるシートを選ぶように指示する。
〈復習・次回授業まで準備すること〉
次回の授業までに世の中にある興味のあるアセスメントシートを1つ選んでおく。

第１７回　アセスメントツール種類と特徴の調べ学習
〈キーワード〉　アセスメントシート　アセスメントツール
〈テキスト〉　テキスト全般　選んだアセスメントシート
〈授業概要〉
・アセスメントツールを共通して選んだ者同士でチームをつくる。その後アセスメントツールの活用方法につ
いて調べ学習を行う。次回発表する報告書とパワーポイントづくりをグループ毎で行う。
〈復習・次回授業まで準備すること〉
チームごとでアセスメントツールの特性について調べ学習をすすめて欲しい。
＊選んだアセスメントシートが決まった場合には報告

第１８回　アセスメントツールと事例の選定　(調べ学習の報告書　作成)
〈キーワード〉　アセスメントシート　アセスメントツール　活用法　メリットとデメリット
〈テキスト〉　テキスト全般　選んだアセスメントシート
〈授業概要〉
・前回構成したチームで授業終了までに報告書を作成し提出。その後アセスメントツールの活用方法について

	調べ学習を行う。次回発表する報告書とパワーポイントづくりをグループ毎で行う。 〈復習・次回授業まで準備すること〉 次回授業時には各グループ毎で発表してもらうため、パワーポイントを仕上げておくこと。(チーム内で個 人が、分担箇所は明記) 第１９回　アセスメントツールの紹介　（各グループ毎の発表） 〈キーワード〉　アセスメントツール　特徴 〈テキスト〉　テキスト全般　選んだアセスメントシート 〈授業概要〉 ・各グループ毎にアセスメントツールについて説明。その後はフロアから質問を通じて互いに学びを深めてい く。 〈復習・次回授業まで準備すること〉 フロアからの質問、指摘事項については追加しておき、次回の授業で説明する。 第２０回　アセスメントツールの活用①　（各グループ毎事例を使用して） 〈キーワード〉　アセスメントツール　活用　実践 〈テキスト〉　テキスト全般　選んだアセスメントシート 〈授業概要〉 ・調べたシートを実際に事例を用いて作成してみる。作成しながら学びを深めていく。 〈復習・次回授業まで準備すること〉 次回は発表用資料の作成に入るため、それまで各自シートへの記載を進めておくこと。 第２１回　アセスメントツールの活用②　（各グループ毎事例発表準備） 〈キーワード〉　アセスメントツール　活用　実践 〈テキスト〉　テキスト全般　選んだアセスメントシート 〈授業概要〉 ・20回の授業で、調べたシートを実際に事例を用いて作成してみたものを、今度は発表にまとめる。特にメ リット・デメリットやきをつけるべき事は何かなどについてまとめていく。報告書を提出 〈復習・次回授業まで準備すること〉 次回発表を行うため、次回の授業までに発表用原稿を作成しておくように。(チーム内で個人が、分担箇所 は明記) 第２２回　アセスメントツールの活用の発表　（各グループ毎事例を使用したもの） 〈キーワード〉　アセスメントツール　活用　実践 〈テキスト〉　テキスト全般　選んだアセスメントシート 〈授業概要〉 ・これまでグループでまとめた内容を発表しもらい、学びを共有する。フロアからの質問を通じて学びを深め ていく。 〈復習・次回授業まで準備すること〉 フロアからの質問、指摘事項については追加しておき、次回の授業で説明する。 第２３回　アセスメントツールの活用　グループ間学習 〈キーワード〉　グループ間学習 〈テキスト〉　テキスト全般　選んだアセスメントシート 〈授業概要〉 ・グループ内を3つに分け、自分たちが調べたアセスメントツール以外のものを他のグループのところに行っ て相互学習よする。 相互学習シートにそれぞれ学んだ内容を記載しながら学びを深めていく。 〈復習・次回授業まで準備すること〉 次回は他のグループから学んだものを、再び自分のチームで振り返るため、改めてまとめておくように。 第２４回　アセスメントツールの活用　まとめ 〈キーワード〉　アセスメントツール　事例　活用　まとめ 〈テキスト〉　テキスト全般　選んだアセスメントシート 〈授業概要〉 ・アセスメントツール調べ学習の総括として、前回学んだ内容の共有をグループ毎で実施。その後調べ学習を 通して、アセスメントツールを使う効果、使い方の注意について話し合いまとめる。 〈復習・次回授業まで準備すること〉 今回のグループで総括したものを個人でもまとめておくように。 第２５回　在宅生活を支えるための支援 ①　（包括的自立支援プログラムについて） 〈キーワード〉　在宅支援　包括的自立支援プログラム 〈テキスト〉　テキスト全般 〈授業概要〉 ・在宅復帰を目指す支援について、現状最も多くの特養・老健で使用している包括的自立支援プログラムの シートを活用し介護計画書を作成する為、シートの説明を行う。 〈復習・次回授業まで準備すること〉 配布したシートの内容を確認するように。 第２６回　在宅生活を支えるための支援②　（ストレングスアセスメント） 〈キーワード〉　ストレングス　在宅支援 〈テキスト〉　テキスト全般 〈授業概要〉 ・在宅生活を支援するためのストレングスとなる利用者の心的エネルギー・個人因子・環境因子・保障されて いる生活機能全般のストレングスに気付くための支援とは何かについて学ぶ 〈復習・次回授業まで準備すること〉 配布したストレングスシートを次回の授業までにまとめておくように指示する。 第２７回　在宅生活を支えるための支援③　（在宅生活を支えるフォーマル・インフォーマルサービスのアセスメント） 〈キーワード〉　在宅生活　フォーマルサービス　インフォーマルサービス

	〈テキスト〉　テキスト全般 〈授業概要〉 ・地域の中には様々な資源が存在しているが、その資源について、その資源を活用する、維持する、開発する ことについて学ぶ 〈復習・次回授業まで準備すること〉 配布した社会資源アセスメントシートを仕上げておくように指示する。 第２８回　在宅生活を支えるための支援④　（介護計画の作成） 〈キーワード〉　計画　在宅復帰　在宅の継続 〈テキスト〉　テキスト全般 〈授業概要〉 ・在宅復帰を果たす事もさる事ながら、どのように在宅生活を継続していくのかも重要である。在宅生活につ いてグループで検討し、どのような在宅復帰とこれからの在宅の生活を築いていくかについて学ぶ 〈復習・次回授業まで準備すること〉 29回の授業ではカンファレンスを開催するため、介護計画書を作成しておくこと。 第２９回　在宅生活を支えるための支援 のまとめ （作成したもの使って意見交換会） 〈キーワード〉　カンファレンス　在宅生活　継続　復帰 〈テキスト〉　テキスト全般 〈授業概要〉 ・前回作成した介護計画書を用いて、どのような在宅生活を支援していくのか、話し合う。それぞれの相違点 はどこかを明らかにするように話し合う。 〈復習・次回授業まで準備すること〉 29回の授業で話し合った内容を整理すること。 第３０回　介護過程の総括・まとめ 〈キーワード〉　自然科学　専門性　人間修行 〈テキスト〉　テキスト全般 〈授業概要〉 ・2年間の学びの集大成として、黒澤の「生活支援学」より介護から生活支援へについて、配布資料を使用し 2年間の学びを総括する。 〈復習・次回授業まで準備すること〉 2年間の学びを総括するために、テキスト・配布資料に目を通して欲しい。
受講生に関わる情報および受講のルール	・段階的に授業を進めている為欠席、早退、遅刻しないように努めること。 ・調べ学習を行う事が多くなるため必要なテキスト、用語辞典などを用意すること。（授業の中でも適宜紹介） ・演習が中心となり個人によって学習の進捗が違ってくる事が考えられるため分からないところはそのままにせず質問し　てくること。 ・個人ワーク、グループワークなど行う際に必要ない私語、講義中の私語は慎むこと。（評価方法にも含まれます）
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード　アセスメントシート　介護計画書　実施状況表　授業時配布資料を適宜回収し添削指導
授業外時間にかかわる情報	・介護過程は他科目で得た知識、技術を統合する思考過程のトレーニングとも言えるため日々の予習・復習を通してスキ ルとして身につけること。 ・実習と深く関係するため理解できない事がある場合はいつでも個別及び複数人で申し出てそれらの解消に努めること。
オフィスアワー	初回授業時予定表を配布し説明する。
評価方法	授業時の課題　60%　演習の取り組み　40%
教科書	介護福祉士養成テキスト　2　「介護の基本/介護過程」　日本介護福祉士養成施設協会
参考書	講義の中で適宜印刷物を用意するが、分からない語句などを調べるテキストや用語辞典、辞書が必要。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 老人保健施設で5年弱　介護職員・レクリエーションワーカー、特別養護老人ホームで、19年間、介護職員、短期入所生活介護の担当、介護長、施設介護支援専門員に従事する。 施設利用者のアセスメント、介護計画作成、介護計画の実施と具体的方法の検討、評価、サービス担当者会議の開催のマネジメント、利用者、家族への説明などを10年ほど行ってきた。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医療的ケアⅡ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
赤田　実千代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療職との連携の下で医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を修得することを目的とする。 【到達目標】 ・医療的ケアを受ける利用者や家族の気持ちを理解し、医療的ケアとは何か、医療的ケアを安全に適切に実施するための具体的な手技と、多職種との連携について学ぶ。 ・介護福祉士として必要な医療的ケアの基礎知識と技術と態度を修得する。 ・救急蘇生法を適切に実施できる。
授業の概要	医療的ケアを実施するにあたり、なぜ介護福祉士は行うことになったのか、その歴史的背景を理解することが必要となる。医療的ニーズを理解し、専門職としての倫理を学ぶ。喀痰吸引・経管栄養の基礎的知識・実施手順を説明し、演習により体験を通して医療的ケアの方法を学ぶ。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	1．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	2．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	3．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 4．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	5．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順①必要物品 第２回　高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順②清潔保持 第３回　高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順③喀痰吸引の技術と留意点 第４回　食事と消化の重要性 第５回　経管栄養 第６回　経管栄養による問題 第７回　経管栄養を必要とする利用者の日常生活におけるケア 第８回　高齢者及び障害児・者の経管栄養実地手順　：　清潔と消毒 第９回　高齢者及び障害児・者の経管栄養実地手順　：　経管栄養の技術と留意点 第１０回　子どもの医療的ケア　／　喀痰吸引 第１１回　リスクマネジメント 第１２回　救急蘇生法

	第１３回　　救急蘇生法演習 第１４回　　喀痰吸引（１）　：　口腔内演習見学 第１５回　　喀痰吸引（１）　：　口腔内演習実践 第１６回　　喀痰吸引（１）　：　口腔内演習評価 第１７回　　喀痰吸引（２）　：　鼻腔内演習見学 第１８回　　喀痰吸引（２）　：　鼻腔内演習実践 第１９回　　喀痰吸引（２）　：　鼻腔内演習評価 第２０回　　喀痰吸引（３）　：　気管カニューレ内演習見学 第２１回　　喀痰吸引（３）　：　気管カニューレ内演習実践 第２２回　　喀痰吸引（３）　：　気管カニューレ内演習評価 第２３回　　喀痰吸引記録と報告 第２４回　　経管栄養（１）　：　胃ろう又は腸ろう演習見学 第２５回　　経管栄養（１）　：　胃ろう又は腸ろう演習実践 第２６回　　経管栄養（１）　：　胃ろう又は腸ろう演習評価 第２７回　　経管栄養（２）　：　経鼻演習見学 第２８回　　経管栄養（２）　：　経鼻演習実践 第２９回　　経管栄養（２）　：　経鼻演習評価 第３０回　　経管栄養記録と報告
受講生に関わる情報および受講のルール	私語や携帯電話の使用といった迷惑行為は慎むこと。演習等は、学校指定のジャージを必ず着用すること。本講義内容は生命の安全に関わることを理解し真剣・積極的に取り組むこと
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する。
オフィスアワー	授業終了後３０分。 金曜日１０：３０～１２：４０
評価方法	定期試験（確認テスト）４０％、実技試験３０％、演習への取り組み３０％
教科書	柊崎京子・荏原順子　編著　：　介護福祉士養成課程・介護職等のための医療的ケア、建帛社
参考書	印刷資料等。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院の病棟看護、前期高齢者保健指導、企業内健康管理室の看護師など看護師の実務経験を活かし、医療的ケアに必要な知識・技術・倫理について講じます。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医療的ケアⅢ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・必修
担当教員			
赤田　実千代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療職との連携の下で医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を修得することを目的とする。 【到達目標】 介護福祉士として必要な医療的ケアの基礎知識と技術と態度を学ぶ。 救急蘇生法を適切に実施できる。
授業の概要	医療的ケアを実施するにあたり、なぜ介護福祉士は行うことになったのか、その歴史的背景を理解することが必要となる。医療的ニーズを理解し、専門職としての倫理を学ぶ。喀痰吸引・経管栄養の基礎的知識・実施手順を説明し、演習により体験を通して医療的ケアの方法を学ぶ。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順①必要物品 第２回　高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順②清潔保持 第３回　高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順③喀痰吸引の技術と留意点 第４回　消化機能 第５回　経管栄養剤 第６回　経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応 第７回　高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順　：　必要物品 第８回　高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順　：　清潔保持 第９回　高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順　：　喀痰吸引の技術と留意点 第１０回　子どもの医療的ケア　／　経管栄養 第１１回　リスクマネジメントのプロセス 第１２回　応急手当

	第１３回　　救急蘇生法演習 第１４回　　喀痰吸引（１）　：　口腔内演習見学 第１５回　　喀痰吸引（１）　：　口腔内演習実践
受講生に関わる情報および受講のルール	私語や携帯電話の使用といった迷惑行為は慎むこと。演習等は、学校指定のジャージを必ず着用すること。本講義内容は生命の安全に関わることを理解し真剣・積極的に取り組むこと
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する。
オフィスアワー	授業終了後３０分。 金曜日１０：３０～１２：４０
評価方法	定期テスト（確認テスト）の結果により評価。
教科書	柊崎京子・荏原順子　編著　：　介護福祉士養成課程・介護職等のための医療的ケア、建帛社
参考書	印刷資料等。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院の病棟看護、前期高齢者保健指導、企業内健康管理室の看護師など看護師の実務経験を活かし、医療的ケアに必要な知識・技術・倫理について講じます。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医療的ケアⅣ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・選択
担当教員			
赤田　実千代			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療職との連携の下で医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を修得することを目的とする。 【到達目標】 介護福祉士として必要な医療的ケアの知識・技術と態度を学ぶ。
授業の概要	医療的ケアを実施するにあたり、なぜ介護福祉士は行うことになったのか、その歴史的背景を理解することが必要となる。医療的ニーズを理解し、専門職としての倫理を学ぶ。喀痰吸引・経管栄養の基礎的知識・実施手順を説明し、演習により体験を通して医療的ケアの方法を学ぶ。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　喀痰吸引（１）　：　口腔内演習評価 第２回　喀痰吸引（２）　：　鼻腔内演習見学 第３回　喀痰吸引（２）　：　鼻腔内演習実践 第４回　喀痰吸引（２）　：　鼻腔内演習評価 第５回　喀痰吸引（３）　：　気管カニューレ内演習見学 第６回　喀痰吸引（３）　：　気管カニューレ内演習実践 第７回　喀痰吸引（３）　：　気管カニューレ内演習評価 第８回　喀痰吸引記録と報告 第９回　経管栄養（１）　：　胃ろう又は腸ろう演習見学 第１０回　経管栄養（１）　：　胃ろう又は腸ろう演習実践 第１１回　経管栄養（１）　：　胃ろう又は腸ろう演習評価 第１２回　経管栄養（２）　：　経鼻演習見学

	第１３回　　経管栄養（２）　：　経鼻演習実践 第１４回　　経管栄養（２）　：　経鼻演習評価 第１５回　　経管栄養記録と報告
受講生に関わる情報および受講のルール	私語や携帯電話の使用といった迷惑行為は慎むこと。演習等は、学校指定のジャージを必ず着用すること。本講義内容は生命の安全に関わることを理解し真剣・積極的に取り組むこと
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード
授業外時間にかかわる情報	授業時に指示する。
オフィスアワー	授業終了後３０分 金曜日１０：３０～１２：４０
評価方法	実技試験５０％、演習への取り組み５０％
教科書	柊崎京子・荏原順子　編著　：　介護福祉士養成課程・介護職等のための医療的ケア、建帛社
参考書	印刷資料等。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 大学病院の病棟看護、前期高齢者保健指導、企業内健康管理室の看護師など看護師の実務経験を活かし、医療的ケアに必要な知識・技術・倫理について講じます。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　介護福祉特講Ⅰ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	介護福祉・福祉総合・介護福祉士実践コース・選択
担当教員			
清水　久二雄・辻　志帆			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 　対人援助職である介護福祉士においては様々な知識・技術の習得はもとより、専門職としての適切な判断・対応が求められる。本講では、国家資格である介護福祉士に必要とされる知識の習得を主たる目的とする。 【到達目標】 　①介護福祉士指定科目の概要をつかむことができる。 　②介護福祉士指定科目の基礎と学生自身が弱点を理解することができる。 ③介護福祉士国家試験に合格できる実力を身につける。
授業の概要	介護福祉士に求められる幅広い知識の習得に向け、施策・制度、介護・福祉・医学領域など国家試験指定科目に準じた内容の概説を行っていく。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回	オリエンテーション(授業概要説明・介護福祉士国家資格および国家試験について等) 〈キーワード〉　知識　意識　無意識 〈テキスト〉　ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思うテキスト持込み可 〈授業概要〉 ・授業の全般的な概要について説明を行う。特に1年次に学んだ知識や技術とは何か。知っている事と知らな　い事、分かることが楽しくなる事とは何かについて事例を用いて実施する。 〈復習・次回授業まで準備すること〉 　第1回の授業で考えた事を改めて、自らの生活で振返って実施して欲しい。
	第２回	人間の尊厳と自立(人間の尊厳と自立・介護における尊厳の保持、自立支援) 〈キーワード〉　尊厳　自己決定　多面的理解　社会　システム　理念 〈テキスト〉　配布資料(1問1答) ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思う　テキスト持込み可 〈授業概要〉 ・〈復習・次回授業まで準備すること〉 「人間の尊厳と自立」に関連した領域の語句、文節、概念などについて1問1答の問題に対して、正答とその　根拠について解答する。その後その答えで分からないところを調べる。 〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉 ・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。
	第３回	介護の基本(介護福祉士を取り巻く状況・介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ・尊厳を支える介護・自立に向けた介護) 〈キーワード〉　尊厳　自己決定　多面的理解　社会　システム　理念 〈テキスト〉　配布資料(1問1答) ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思う　テキスト持込み可 〈授業概要〉 ・前回配布資料の「人間の尊厳と自立」1問1答の答えとその根拠についてランダムに発表し答え合わせす 　る。疑問に思った事をグループで振り返る。次回の介護を必要とする人の理解・介護サービス・介護実践に　おける連携・介護従事者の倫理に関する1問1答とその根拠の問題を実施する。 〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉 ・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。
	第４回	介護の基本(介護を必要とする人の理解・介護サービス・介護実践における連携・介護従事者の倫

理)
〈キーワード〉　尊厳　自立　倫理綱領　しくみ
〈テキスト〉　配布資料(1問1答) ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思う　テキスト持込み可
〈授業概要〉
・前回配布資料の「介護の基本」1問1答の答えとその根拠についてランダムに発表し答え合わせする。疑問　に思った事をグループで振り返る。次回の介護における安全の確保とリスクマネジメント・介護従事者の安　全に関する1問1答とその根拠の問題を実施する。
〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉
・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。

第５回　介護の基本(介護における安全の確保とリスクマネジメント・介護従事者の安全)
〈キーワード〉　リスクマネジメント　セーフティマネジメント　ハインリッヒの法則　指針マニュアル
〈テキスト〉　配布資料(1問1答) ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思う　テキスト持込み可
〈授業概要〉
・前回配布資料の「介護の基本」1問1答の答えとその根拠についてランダムに発表し答え合わせする。疑問　に思った事をグループで振り返る。次回の人間関係の形成・コミュニケーションの基礎に関する1問1答と　その根拠の問題を実施する。
〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉
・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。

第６回　人間関係とコミュニケーション(人間関係の形成・コミュニケーションの基礎)
〈キーワード〉　コミュニケーション　バーバル　双方向　傾聴　共感
〈テキスト〉　配布資料(1問1答) ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思う　テキスト持込み可
〈授業概要〉
・前回配布資料の「人間関係とコミュニケーション」1問1答の答えとその根拠についてランダムに発表し答　え合わせする。疑問　に思った事をグループで振り返る。次回の介護におけるコミュニケーションの基本・　介護場面における利用者、家族とのコミュニケーション・介護におけるチームのコミュニケーションに関す　る1問1答と　その根拠の問題を実施する。
〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉
・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。

第７回　コミュニケーション技術(介護におけるコミュニケーションの基本・介護場面における利用者、家族とのコミュニケーション・介護におけ　るチームのコミュニケーション)
〈キーワード〉　コミュニケーション　態度　準言語　姿勢　家族
〈テキスト〉　配布資料(1問1答) ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思う　テキスト持込み可
〈授業概要〉
・前回配布資料の「コミュニケーション技術」1問1答の答えとその根拠についてランダムに発表し答え合わ　せする。疑問　に思った事をグループで振り返る。次回の社会の理解　生活と福祉・社会保障制度に関す　る1問1答と　その根拠の問題を実施する。
〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉
・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。

第８回　社会の理解(生活と福祉・社会保障制度)
〈キーワード〉　家族　地域　ライフスタイル　社会保障　セーフティネット
〈テキスト〉　配布資料(1問1答) ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思う　テキスト持込み可
〈授業概要〉
・前回配布資料の「社会の理解」1問1答の答えとその根拠についてランダムに発表し答え合わせする。疑問　に思った事をグループで振り返る。次回の社会の理解介護保険制度に関する1問1答とその　根拠の問題を　実施する。
〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉
・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。

第９回　社会の理解(介護保険制度)
〈キーワード〉　介護保険　国　都道府県　広域　地域
〈テキスト〉　配布資料(1問1答) ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思う　テキスト持込み可
〈授業概要〉
・前回配布資料の「社会の理解」1問1答の答えとその根拠についてランダムに発表し答え合わせする。疑問　に思った事をグループで振り返る。次回の社会の理解障害者自立支援制度に関する1問1答とその根拠の問　題を実施する。
〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉
・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。

第１０回　社会の理解(障害者自立支援制度)
〈キーワード〉　障害者総合支援法　児童福祉法　自立支援
〈テキスト〉　配布資料(1問1答) ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思う　テキスト持込み可
〈授業概要〉
・前回配布資料の「社会の理解」1問1答の答えとその根拠についてランダムに発表し答え合わせする。疑問　に思った事をグループで振り返る。次回の社会の理解「介護実践に関する諸制度」に関する1問1答とその根拠の問　題を実施する。
〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉
・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。

第１１回　社会の理解(介護実践に関連する諸制度)
〈キーワード〉　成年後見制度　健康21　生活扶助　介護扶助
〈テキスト〉　配布資料(1問1答) ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思う　テキスト持込み可
〈授業概要〉
・前回配布資料の「社会の理解」1問1答の答えとその根拠についてランダムに発表し答え合わせする。疑問　に思った事をグループで振り返る。次回の発達と老化「人間の成長と発達の基礎的理解・老年期の発達と成　熟」に関する1問1答とその根拠の問　題を実施する。
〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉

・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。

第１２回　発達と老化の理解(人間の成長と発達の基礎的理解・老年期の発達と成熟)
〈キーワード〉　発達段階　発達課題　老年期の発達課題
〈テキスト〉　配布資料(1問1答) ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思う　テキスト持込み可
〈授業概要〉
・前回配布資料の「発達と老化の理解」の1問1答の答えとその根拠についてランダムに発表し答え合わせす　る。疑問　に思った事をグループで振り返る。次回の発達と老化「老化に伴うこころとからだの変化と日常　生活・高齢者と健康」に関する1問1答とその根拠の問題を実施する。
〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉
・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。

第１３回　発達と老化の理解(老化に伴うこころとからだの変化と日常生活・高齢者と健康)
〈キーワード〉　防衛反応　回復力　適応力　疾病と生活　高齢者に多い病気
〈テキスト〉　配布資料(1問1答) ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思う　テキスト持込み可
〈授業概要〉
・前回配布資料の「発達と老化の理解」の1問1答の答えとその根拠についてランダムに発表し答え合わせす　る。疑問　に思った事をグループで振り返る。次回の認知症の理解から「認知症を取り巻く状況・医学的側　面から見た認知症の基礎」に関する1問1答とその根拠の問題を実施する。
〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉
・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。

第１４回　認知症の理解(認知症を取り巻く状況・医学的側面から見た認知症の基礎)
〈キーワード〉　記憶障害　見当識障害　失語　失行　失認　せん妄　症状の特徴
〈テキスト〉　配布資料(1問1答) ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思う　テキスト持込み可
〈授業概要〉
・前回配布資料の「発達と老化の理解」の1問1答の答えとその根拠についてランダムに発表し答え合わせす　る。疑問　に思った事をグループで振り返る。次回の認知症の理解から「認知症を取り巻く状況・医学的側　面から見た認知症の基礎」に関する1問1答とその根拠の問題を実施する。
〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉
・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。

第１５回　前期総括(前期授業のまとめ・重要事項の再確認)
〈キーワード〉
〈テキスト〉　配布資料(1問1答) ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思う　テキスト持込み可
〈授業概要〉
・前期で行った、1問1答の問題から選び、再度その問題を解く。
〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉
・後期までに解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。

第１６回　オリエンテーション(授業概要説明ほか)
〈キーワード〉　前期の振り返り
〈テキスト〉　ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思うテキスト持込み可
〈授業概要〉
・15回の授業で行った1問1答の解答とその根拠について、ランダムに発表し答え合わせする。。疑問に思っ　た事をグループで振り返る。次回の認知症の理解から「(認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活・　連携と協働・家族への支援」に関する1問1答とその根拠の問題を実施する。
〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉
・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。

第１７回　認知症の理解(認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活・連携と協働・家族への支援)
〈キーワード〉　行動・心理症状　不安　孤独　環境　家族　レスパイト
〈テキスト〉　ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思うテキスト持込み可
〈授業概要〉
・前回の授業で行った1問1答の解答とその根拠について、ランダムに発表し答え合わせする。。疑問に思っ　た事をグループで振り返る。次回の生活支援技術から「生活支援・自立に向けた居住環境の整備・自立に向　けた身じたくの介護」に関する1問1答とその根拠の問題を実施する。
〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉
・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。

第１８回　生活支援技術(生活支援・自立に向けた居住環境の整備・自立に向けた身じたくの介護)
〈キーワード〉　アイデンティティ・整容　口腔清潔　生活習慣　馴染みの生活空間づくり
〈テキスト〉　ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思うテキスト持込み可
〈授業概要〉
・前回の授業で行った1問1答の解答とその根拠について、ランダムに発表し答え合わせする。。疑問に思っ　た事をグループで振り返る。次回の生活支援技術から「自立に向けた移動の介護・自立に向けた食事の介
　護」に関する1問1答とその根拠の問題を実施する。
〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉
・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。

第１９回　生活支援技術(自立に向けた移動の介護・自立に向けた食事の介護)
〈キーワード〉　歩行介助　安楽な体位保持　体位変換　食事の姿勢　自助具　脱水　咀嚼嚥下機能
〈テキスト〉　ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思うテキスト持込み可
〈授業概要〉
・前回の授業で行った1問1答の解答とその根拠について、ランダムに発表し答え合わせする。。疑問に思っ　た事をグループで振り返る。次回の生活支援技術から「自立に向けた入浴、清潔保

持の介護・自立に向けた　排泄の介護」に関する1問1答とその根拠の問題を実施する。
〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉
・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。

第２０回　生活支援技術(自立に向けた入浴、清潔保持の介護・自立に向けた排泄の介護)
〈キーワード〉　入浴　シャワー浴　静水圧　安楽　生理的メカニズム　座位姿勢
〈テキスト〉　ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思うテキスト持込み可
〈授業概要〉
・前回の授業で行った1問1答の解答とその根拠について、ランダムに発表し答え合わせする。。疑問に思っ　た事をグループで振り返る。次回の生活支援技術から「自立に向けた家事の介護・自立に向けた睡眠の介
　護」に関する1問1答とその根拠の問題を実施する。
〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉
・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。

第２１回　生活支援技術(自立に向けた家事の介護・自立に向けた睡眠の介護)
〈キーワード〉　調理　洗濯　掃除　裁縫　買い物　安眠　レム睡眠　ノンレム睡眠　生活リズム
〈テキスト〉　ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思うテキスト持込み可
〈授業概要〉
・前回の授業で行った1問1答の解答とその根拠について、ランダムに発表し答え合わせする。。疑問に思っ　た事をグループで振り返る。次回の介護過程から「アセスメント」に関する1問1答とその根拠の問題を実　施する。
〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉
・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。

第２２回　介護過程(介護過程の意義・介護過程の展開)
〈キーワード〉　アセスメント　情報収集　解釈　関連付け　統合化
〈テキスト〉　ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思うテキスト持込み可
〈授業概要〉
・前回の授業で行った1問1答の解答とその根拠について、ランダムに発表し答え合わせする。。疑問に思っ　た事をグループで振り返る。次回の介護過程から「チームアプローチ・多職種協働」に関する1問1答とそ　の根拠の問題を実施する。
〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉
・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。

第２３回　介護過程(介護過程の実践的展開・介護過程とチームアプローチ)
〈キーワード〉　ケースカンファレンス　ケアプラン　介護計画　サービス担当者会議
〈テキスト〉　ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思うテキスト持込み可
〈授業概要〉
・前回の授業で行った1問1答の解答とその根拠について、ランダムに発表し答え合わせする。。疑問に思っ　た事をグループで振り返る。次回の障害の理解から「障害の基礎的理解・障害の医学的側面の基礎的理解」　に関する1問1答とそ　の根拠の問題を実施する。
〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉
・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。

第２４回　障害の理解(障害の基礎的理解・障害の医学的側面の基礎的理解)
〈キーワード〉　ICIDH　ICF　ノーマライゼーション　インクルージョン　国際障害者年
〈テキスト〉　ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思うテキスト持込み可
〈授業概要〉
・前回の授業で行った1問1答の解答とその根拠について、ランダムに発表し答え合わせする。。疑問に思っ　た事をグループで振り返る。次回の障害の理解から「連携と協働・家族への支援」に関する1問1答とそ　の根拠の問題を実施する。
〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉
・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。

第２５回　障害の理解(連携と協働・家族への支援)
〈キーワード〉　家族　レスパイト　地域
〈テキスト〉　ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思うテキスト持込み可
〈授業概要〉
・前回の授業で行った1問1答の解答とその根拠について、ランダムに発表し答え合わせする。。疑問に思っ　た事をグループで振り返る。次回のこころとからだのしくみから「こころのしくみの理解・からだのしくみ　の理解」に関する1問1答とその根拠の問題を実施する。
〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉
・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。

第２６回　こころとからだのしくみ(こころのしくみの理解・からだのしくみの理解)
〈キーワード〉　思考　学習　記憶　感情　動機づけ　適応のしくみ　ボディメカニクス　恒常のしくみ
〈テキスト〉　ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思うテキスト持込み可
〈授業概要〉
・前回の授業で行った1問1答の解答とその根拠について、ランダムに発表し答え合わせする。。疑問に思っ　た事をグループで振り返る。次回のこころとからだのしくみから「身じたくに関連したこころとからだのし　くみ・移動に関連したこころとからだのしくみ」に関する1問1答とその根拠の問題を実施する。
〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉
・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。

第２７回　こころとからだのしくみ(身じたくに関連したこころとからだのしくみ・移動に関連したこころとからだのしくみ)
〈キーワード〉　口腔清潔　整髪　洗面　重心移動　筋力　骨格　立位　座位
〈テキスト〉　ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思うテキスト持込み可

	〈授業概要〉 ・前回の授業で行った1問1答の解答とその根拠について、ランダムに発表し答え合わせする。。疑問に思っ　た事をグループで振り返る。次回のこころとからだのしくみから「食事に関連したこころとからだのしく 　み・入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみ」に関する1問1答とその根拠の問題を実施する。 〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉 ・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。 第２８回　こころとからだのしくみ(食事に関連したこころとからだのしくみ・入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみ) 〈キーワード〉 咀嚼運動　嚥下　脱水　リラックス　皮膚の汚れ　発汗 〈テキスト〉　ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思うテキスト持込み可 〈授業概要〉 ・前回の授業で行った1問1答の解答とその根拠について、ランダムに発表し答え合わせする。。疑問に思っ　た事をグループで振り返る。次回のこころとからだのしくみから「排泄に関連したこころとからだのしく　　み・睡眠に関連したこころとからだのしくみ・死にゆく人のこころとからだのしくみ)」に関する1問1答と　その根拠の問題を実施する。 〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉 ・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。 第２９回　こころとからだのしくみ(排泄に関連したこころとからだのしくみ・睡眠に関連したこころとからだのしくみ・死にゆく人のこころとからだのしくみ) 〈キーワード〉 排泄　睡眠に関連した身体の器官　生物額的な死　死後の身体的変化 〈テキスト〉　ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思うテキスト持込み可 〈授業概要〉 ・前回の授業で行った1問1答の解答とその根拠について、ランダムに発表し答え合わせする。。疑問に思っ　た事をグループで振り返る。次回のこころとからだのしくみから「排泄に関連したこころとからだのしく　　み・睡眠に関連したこころとからだのしくみ・死にゆく人のこころとからだのしくみ)」に関する1問1答と　その根拠の問題を実施する。 〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉 ・解答できなかった答えと根拠を調べ、発表できるようにしてくること。 第３０回　授業総括(授業のまとめ・重要事項の再確認) 〈キーワード〉 〈テキスト〉　配布資料(1問1答) ワークブック上下　介護福祉養護辞典　福祉六法　*個人で必要だと思う　テキスト持込み可 〈授業概要〉 ・これまでの配布資料から抽出した問題にて学びの総括を行う。 〈復習・予習・次回授業までに準備すること〉 ・言葉、意味の理解が及ばなかったところは別用紙に書くなどして改めて振り返ること。
受講生に関わる情報および受講のルール	国家資格取得を目指す者として、真摯な態度で授業に臨むことは当然のことである。常に主体的な取り組みを心掛け行動すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	社会情勢、法制度改正の把握という観点から、新聞には目を通し情報収集に努めること。また、適宜、過去問題等も解き常に自身の理解度の把握に努めること。
オフィスアワー	初回の授業時それぞれの教員より時間等連絡する。
評価方法	実力試験結果による。
教科書	介護福祉士受験ワークブック上・下（中央法規）　介護福祉用語辞典（中央法規）
参考書	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 ・高齢者施設にて介護職員として6年間従事した実務経験あり ・老人保健施設で5年弱　介護職員・レクリエーションワーカー、特別養護老人ホームで、19年間、介護職員、短期　入所生活介護の担当、介護長、施設介護支援専門員に従事する。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　介護福祉特講Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	介護福祉・福祉総合・介護福祉士実践コース・選択
担当教員			
土屋　昭雄・矢嶋　栄司・岩﨑　文明			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 ①介護福祉士指定科目の概要をつかむ事ができる。 ②介護福祉士指定科目の基礎と学生自身が弱点を理解する事ができる。 ③介護福祉士国家試験に合格できる実力を身につける事ができる。
授業の概要	介護福祉特講Ⅱでは介護福祉士指定科目の広い範囲を概説的に指導し、介護福祉士指定科目の広い分野の学びを堅実なものにするための講座である。介護福祉士国家試験の学習支援ではあるが、同時に必要な知識を得て、これらの知を地域や専門職となってから還元できるようになる為に単に知っているだけではなく、知識を深化して身につけられように調べ学習、問題作成などによって主体的に学びを深めていく。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

授業の到達目標	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画

第１回　オリエンテーション
【key words】
介護福祉士国家資格・介護福祉士国家試験・専門職
【授業概要】
授業の進め方・介護福祉士国家試験・大学にて実施予定の模試・学習方法等について
【教科書ページ・参考文献】
介護福祉士国家試験問題解説2019・各科目のテキスト
【課題・予習・復習・授業準備指示】
オリエンテーションの内容の理解

第２回　人間の尊厳と自立
【key words】
尊厳・朝日訴訟・被密保持・自立支援
【授業概要】
・人間の尊厳と自立
・介護における尊厳の保持、自立支援
【教科書ページ・参考文献】
p1～p12
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認

第３回　人間関係とコミュニケーション
【key words】
コミュニケーション・自己覚知・信頼関係(ラポール)・質問
【授業概要】
・人間関係の形成
・コミュニケーションの基礎
【教科書ページ・参考文献】
p13～p24
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認

第４回　社会の理解①
【key words】
NGO/NPO・合計特殊出生率・高齢化率・少子高齢化
【授業概要】

		・生活と福祉 【教科書ページ・参考文献】 p25～p30 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認
	第５回	社会の理解② 【key words】 社会保障・社会保険・社会福祉法 【授業概要】 ・社会保障制度 【教科書ページ・参考文献】 p31～p40 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認
	第６回	社会の理解③ 【key words】 社会保険・年金保険・雇用保険・医療保険 【授業概要】 ・社会保障制度 ・日本の社会保障制度のしくみの基礎的理解 【教科書ページ・参考文献】 p40～p50 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認
	第７回	社会の理解④ 【key words】 介護保険制度・住所地特例・介護保険施設・特定疾病 【授業概要】 ・介護保険制度 ・制度創設の背景及び目的 ・制度のしくみの基礎的理解　ほか 【教科書ページ・参考文献】 p51～p62 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認
	第８回	社会の理解⑤ 【key words】 高齢者住まい法・介護支援専門員・人員基準 【授業概要】 ・介護保険制度 ・制度のしくみの基礎的理解 ・制度における組織、団体の機能と役割 【教科書ページ・参考文献】 p64～p78 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認
	第９回	社会の理解⑥ 【key words】 障害者基本法・障害者総合支援法・自立支援システム 【授業概要】 ・障害者自立支援制度 ・制度創設の背景及び目的 ・制度のしくみの基礎的理解　ほか 【教科書ページ・参考文献】 pp79～p90 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認
	第１０回	社会の理解⑦ 【key words】 障害者差別解消法・障害者総合支援法・合理的配慮 【授業概要】 ・障害者自立支援制度 ・制度における組織、団体の機能と役割 【教科書ページ・参考文献】 p91～p102 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認
	第１１回	社会の理解⑧ 【key words】 日常生活自立支援事業・障害者虐待防止法・健康日本21・病院/診療所・生活保護法 【授業概要】 ・介護実践に関連する諸制度 【教科書ページ・参考文献】 p103～p122 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認
	第１２回	介護の基本① 【key words】 国民生活基礎調査・高齢者虐待・尊厳・自立・ICF 【授業概要】 ・介護福祉士を取り巻く状況

・尊厳を支える介護
・自立に向けた介護
【教科書ページ・参考文献】
p123～p135
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認

第１３回　介護の基本②
【key words】
エコマップ・介護サービス・老人福祉施設・ユニットケア
【授業概要】
・介護を必要とする人の理解
・介護サービス
【教科書ページ・参考文献】
p136～p146
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認

第１４回　介護の基本③
【key words】
地域連携・介護予防、日常生活支援総合事業・身体拘束・個人情報保護法
【授業概要】
・介護実践における連携
・介護従事者の倫理
【教科書ページ・参考文献】
p147～p157
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認

第１５回　介護の基本④
【key words】
リスクマネジメント・事故防止/安全対策・感染予防・労働基準法
【授業概要】
・介護における安全の確保とリスクマネジメント
・介護従事者の安全
【教科書ページ・参考文献】
p158～p170
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認

第１６回　コミュニケーション技術①
【key words】
バイステックの7原則・SOLER・言語的コミュニケーション/非言語的コミュニケーション
【授業概要】
・介護におけるコミュニケーションの基本
・介護場面における利用者、家族とのコミュニケーション
【教科書ページ・参考文献】
p171～p180
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認

第１７回　コミュニケーション技術②
【key words】
介護記録・報告・ヒヤリハット・スーパービジョン
【授業概要】
・介護場面における利用者、家族とのコミュニケーション
・介護におけるチームのコミュニケーション
【教科書ページ・参考文献】
p181～p192
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認

第１８回　生活支援技術①
【key words】
安全性・住環境・口腔ケア
【授業概要】
・自立に向けた居住環境の整備
・自立に向けた身じたくの介護
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備指示】
p193～p206
授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認

第１９回　生活支援技術②
【key words】
移動/移乗・視覚障害
【授業概要】
・自立に向けた身じたくの介護
・自立に向けた移動の介護
【教科書ページ・参考文献】
p207～p225
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認

第２０回　生活支援技術③
【key words】
アセスメント・嚥下機能・クロックポジション・バイタルサイン
【授業概要】
・自立に向けた食事の介護

	・自立に向けた入浴、清潔保持の介護 【教科書ページ・参考文献】 p226～p240 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認
	第２１回　生活支援技術④ 【key words】 プライバシー・尿路感染症・失禁 【授業概要】 ・自立に向けた排泄の介護 【教科書ページ・参考文献】 p241～p252 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認
	第２２回　生活支援技術⑤ 【key words】 生活習慣病・繊維・クーリングオフ 【授業概要】 ・自立に向けた家事の介護 【教科書ページ・参考文献】 p253～p268 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認
	第２３回　生活支援技術⑥ 【key words】 交感神経/副交感神経・概日リズム・終末期・リビングウィル 【授業概要】 ・自立に向けた睡眠の介護 ・終末期の介護 【教科書ページ・参考文献】 p269～p278 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認
	第２４回　介護過程 【key words】 介護過程・アセスメント・課題/目標・介護計画・評価 【授業概要】 ・介護過程の意義 ・介護過程の展開 【教科書ページ・参考文献】 p279～p290 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認
	第２５回　発達と老化の理解① 【key words】 心理社会的発達理論・老年期・発達課題 【授業概要】 ・人間の成長と発達の基礎的理解 ・老年期の発達と成熟 【教科書ページ・参考文献】 p291～p300 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認
	第２６回　発達と老化の理解② 【key words】 老年症候群・老化・適応機制(防衛機制) 【授業概要】 ・老化に伴うこころとからだの変化と日常生活 【教科書ページ・参考文献】 p301～p309 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認
	第２７回　発達と老化の理解③ 【key words】 動脈硬化・脳血管疾患・肺炎・誤嚥 【授業概要】 ・高齢者と健康 【教科書ページ・参考文献】 p310～p325 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認
	第２８回　認知症の理解① 【key words】 認知症・パーソンセンタードケア・中核症状/BPSD・若年性認知症 【授業概要】 ・認知症を取り巻く状況 ・医学的側面から見た認知症の基礎 【教科書ページ・参考文献】 p328～p342 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認

	第２９回　認知症の理解② 【key words】 リアリティオリエンテーション・回想法・自己決定・認知症高齢者の日常生活自立度判定基準 【授業概要】 ・医学的側面から見た認知症の基礎 ・認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ・連携と協働 【教科書ページ・参考文献】 p343～p354 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認 第３０回　障害の理解 【key words】 ICIDH/ICF・ノーマライゼーション・チームアプローチ・レスパイトケア 【授業概要】 ・障害の基礎的理解 ・障害の医学的側面の基礎的知識 ・連携と協働 ・家族への支援 【教科書ページ・参考文献】 p355～p402 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの復習および科目テキスト該当箇所の再確認
受講生に関わる情報および受講のルール	介護福祉士の指定科目の範囲は広く、浅いままの認識で終わってしまう傾向にある。まず分からない事はしっかりと調べるが、分かった場合でも口頭で説明できるなど知識の深化を目的としている。予習、復習を基本とし、更にはその内容を他者に説明できるように意欲的に履修すること。　授業で配布した資料についてはファイルなどに綴っておくこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	他の科目を積極的に履修し、疑問や質問はその場でしっかりと解決するように普段の授業から臨んで欲しい。また指定科目は横断的に本を広げたり、調べたりの習慣を身につけること。　毎日の積み重ねが大切である。
オフィスアワー	初回の授業時それぞれの教員より時間を提示し、活用の仕方についてアナウンスする。
評価方法	試験（模擬試験を含む）60%、授業中の課題及び提出物、授業への取り組み40%を総合して評価する。
教科書	介護福祉士受験ワークブック上・下（中央法規）　介護福祉用語辞典（中央法規）
参考書	毎回の授業の終わりには次回の授業についてアナウンスをするので必要と思われるものは個人で準備してもよい。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク ■アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医療秘書特講　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	医療事務・秘書コース・必修
担当教員			
清水　春代・土屋　昭雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 日本医師会認定医療秘書取得に必要な「３つの資格」の対象検定となる、「10．日本話しことば協会　話ことばとコミュニケーション検定」の3級以上合格を目指す。また、このことで社会人に求められる会話能力の向上を図る。更に、日本医師会認定医療秘書認定試験の合格を目指す。 〔到達目標〕 ①日本話しことば協会　話しことばとコミュニケーション検定3級以上に合格する。 ②「話す」「聞く」力を養い、社会生活に必要なコミュニケーション能力を高める。医療秘書認定試験に合格しうる学力をつける。
授業の概要	日本話しことば協会　話しことばとコミュニケーション検定3級以上合格をめざす。医師会認定医療秘書認定試験に合格できる学力をつけるための学習を行う。医療秘書認定に必要な3つの資格の取得をめざす。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回	前期オリエンテーション　目的、目標、履修上の注意点、評価方法等を説明 【キーワード】オリエンテーション 【授業概要】授業の目的、目標、履修上の注意点、評価方法などの説明。1年間の授業計画の説明。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備】取得済の資格証明書の準備
	第２回	医療秘書認定に必要な3つの資格 【キーワード】3つの資格 【授業概要】医師会認定医療秘書認定に必要な3つの資格の確認と、各人が取得済みの資格、これからめざす資格の確認。 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備】
	第３回	話しことばについて 【キーワード】4つの言語活動、パブリックスピーキング 【授業概要】話しことばの特徴、概論。話しことばと書き言葉。パブリックスピーキング 【教科書ページ・参考文献】テキストｐ１～８、ＣＤ（イントロダクション） 【課題・予習・復習・授業準備】問題集ｐ1~2
	第４回	あいさつ、受け答え、自己紹介 【キーワード】あいさつ、会話のキャッチボール、自己紹介 【授業概要】まずあいさつからはじめよう。受け答えをタイミングよく。自己紹介 【教科書ページ・参考文献】テキストp9~18、ＣＤ 【課題・予習・復習・授業準備】問題集ｐ3~8
	第５回	話しことばと音声 【キーワード】母音、子音、ポーズ、イントネーション、プロミネンス、アクセント 【授業概要】話しことばはおんせいによることばの表現。発声と発音。音声表現の技術。 【教科書ページ・参考文献】テキストp19~32、ＣＤ 【課題・予習・復習・授業準備】問題集p9~14
	第６回	話す・聞く

【キーワード】良い話し方、良い聞き方
【授業概要】話しの種類、聞くことの意味、話す時のポイント、聞く時のポイント、良い話し方、良い聞き方、話す訓練
【教科書ページ・参考文献】テキストp35~46、ＣＤ（朗読から学ぶ）
【課題・予習・復習・授業準備】問題集p15~22

第７回　ことばの選び方・表現の方法
【キーワード】同音語、類音語、主語、術語、修飾語、慣用句、四字熟語
【授業概要】わかりやすい表現、正しく話す、豊かな表現を身につける。
【教科書ページ・参考文献】テキストp50~60
【課題・予習・復習・授業準備】問題集p23~28

第８回　話しことばと敬語
【キーワード】尊敬語、謙譲語、丁寧語、美化語
【授業概要】敬語とは。敬語表現。
【教科書ページ・参考文献】テキストp67~78
【課題・予習・復習・授業準備】問題集p29~34

第９回　話しことばの実際
【キーワード】電話、自己分析
【授業概要】電話をかける。自己ＰＲ
【教科書ページ・参考文献】テキストp79~104、ＣＤ（電話ロールプレイング）
【課題・予習・復習・授業準備】問題集ｐ35~40

第１０回　リスニングテスト
【キーワード】リスニングテスト
【授業概要】教材７章リスニングテストと練習問題
【教科書ページ・参考文献】ＣＤ教材
【課題・予習・復習・授業準備】問題集

第１１回　模擬試験
【キーワード】リスニングテスト
【授業概要】検定試験に備えて模擬試験、解答解説
【教科書ページ・参考文献】ＣＤ，問題集p87~92
【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習

第１２回　模擬試験
【キーワード】筆記試験
【授業概要】検定試験対策、解答解説
【教科書ページ・参考文献】問題集p67~86
【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習

第１３回　話しことばとコミュニケーション検定
【キーワード】検定試験
【授業概要】筆記試験
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備】

第１４回　話しことばとコミュニケーション検定
【キーワード】検定試験
【授業概要】スピーキング試験、リスニング試験
【教科書ページ・参考文献】
【課題・予習・復習・授業準備】

第１５回　前期まとめ、後期にむけて
【キーワード】取得済み資格再確認、取得予定資格再確認
【授業概要】各人、今後の抱負と予定作成、後期授業予定内容と準備について。
【教科書ページ・参考文献】医療秘書講座１～４
【課題・予習・復習・授業準備】医療秘書講座テキストの復習を進めておくこと。

第１６回　後期オリエンテーション　後期の授業スケジュールを確認
【キーワード】オリエンテーション
【授業概要】後期授業の目標、医療秘書検定試験の詳細、取得済み資格の確認、取得予定資格の確認、グループ編成
【教科書ページ・参考文献】医療秘書講座1~4
【課題・予習・復習・授業準備】医療秘書講座1 p2~149まで復習しておくこと。

第１７回　健康とは、疾病とは
【キーワード】健康、疾病
【授業概要】各グループごとにテキストのまとめと発表。次回各グループの担当範囲指定。
【教科書ページ・参考文献】テキスト1 p2~149
【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習とテキストＩ ｐ150~263の復習

第１８回　患者論と医の倫理
【キーワード】セルフケア、メディカルケア、終末期、医療倫理、いのち、生殖補助医療など
【授業概要】各グループごとに、テキストのまとめと発表。次回各グループごとの担当範囲指定
【教科書ページ・参考文献】テキスト1 p150~263
【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習とテキスト2 ｐ2~123の復習

第１９回　からだの構造と機能
【キーワード】ヒトの身体。生命活動。働き活動。再生、修復、主の保存、老化
【授業概要】各グループごとにテキストのまとめと発表。次回各グループごとの担当範囲指定
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p2~123
【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習とテキスト2 p124~232の復習

第２０回　臨床検査と薬の知識
【キーワード】臨床検査、医薬品、薬の作用
【授業概要】各グループごとにテキストのまとめと発表。次回各グループごとの担当範囲指定。
【教科書ページ・参考文献】テキスト2 p124~232
【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習とテキスト3 p2~121の復習

第２１回　医療にかかわる用語
【キーワード】診察、公衆衛生、保健・福祉、介護、身体の表現

	【授業概要】各グループごとにテキストのまとめと発表。次回各グループごとの担当範囲指定。 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p2~121 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習とテキスト3 p122~194復習 第２２回　コミュニケーション論 【キーワード】コミュニケーション、人間関係、チーム 【授業概要】各グループごとにテキストのまとめと発表。次回各グループごとの担当範囲指定。 【教科書ページ・参考文献】テキスト3 p122~194 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習とテキスト4 p2~131復習 第２３回　医療秘書概論 【キーワード】医療秘書、チーム医療、接遇、文書管理など 【授業概要】各グループごとにテキストのまとめと発表。次回各グループごとの担当範囲指定。 【教科書ページ・参考文献】テキスト4 p2~131 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習とテキスト4 p132~221復習 第２４回　医療情報処理学 【キーワード】医療情報、診療録、レセプト、インターネット、情報、情報化時代 【授業概要】各グループごとにテキストのまとめと発表。次回各グループごとの担当範囲指定。 【教科書ページ・参考文献】テキスト4 p132~221 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習とテキスト4 p222~310復習 第２５回　医療関係法規概論 【キーワード】医療法、医師法、地域保険法、感染症法など 【授業概要】各グループごとにテキストのまとめと発表。次回各グループごとの担当範囲指定 【教科書ページ・参考文献】テキスト4 p222~310 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習 第２６回　医療秘書認定にむけて 【キーワード】医療秘書認定に必要な3つの資格 【授業概要】取得済み資格、資格証の再確認。 【教科書ページ・参考文献】各自資格証 【課題・予習・復習・授業準備】テキスト医療秘書講座の復習をすすめること 第２７回　医療秘書認定試験対策 【キーワード】過去問題 【授業概要】医療秘書認定試験過去問題に取り組み、解答作成（解答がないため） 【教科書ページ・参考文献】過去問題集 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習 第２８回　医療秘書認定試験対策 【キーワード】過去問題 【授業概要】医療秘書認定試験過去問題集に取り組み解答作成（解答がないため） 【教科書ページ・参考文献】過去問題集 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習 第２９回　グループで作成した問題でクイズ大会　グループ対抗戦 【キーワード】予想問題クイズ大会 【授業概要】各グループごとに医療秘書認定試験予想問題作成し、クイズ大会をする。 【教科書ページ・参考文献】テキスト一式 【課題・予習・復習・授業準備】本日の復習 第３０回　総まとめ　今後の受験について 【キーワード】医療秘書認定試験詳細、学習の振り返り 【授業概要】2年間の医療秘書資格取得に向けた取り組みや思いについて作文 【教科書ページ・参考文献】各自 【課題・予習・復習・授業準備】認定試験に向けて復習
受講生に関わる情報および受講のルール	話しことばとコミュニケーション検定3級以上合格を目指して意欲的に参加すること。 医療秘書認定に必要な3つの資格取得にはげむこと。 医療秘書認定試験合格のための復習を確実に行うこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	授業内での学習だけでなく自己学習に励み、１回の受験で合格できるように努力すること。3つの資格取得に励むこと。 医療秘書認定試験合格のために、2年間の授業の復習を行うこと。
オフィスアワー	火曜日・金曜日の午前中
評価方法	①過去問題等から選出した問題で試験を実施し評価する。（100点満点）
教科書	話しことばとコミュニケーション（日本話しことば協会）、医療秘書講座1~4（メディカルフレンド社）
参考書	話しことばとコミュニケーション問題集（日本話しことば協会）
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 20年以上の病院業務、社会人教育業務などの経験を活かし、医療秘書として求められている能力などの教育を行い、医療秘書として社会でし、貢献活躍できる人材教育をめざす。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク

	□アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　生活支援実習Ⅰ－②　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・選択
担当教員			
矢嶋　栄司			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 暮らしの場を広く知り、介護サービスを利用しているさまざまな利用者の個々の生活リズムや個性を理解し、個別ケアを行うことで、総合的な学習の習得を目指す。多職種との連携を通じて、チームの一員としての介護福祉士の役割について理解する。 〔到達目標〕 ①居宅での介護がどのようなものなのか理解できる。 ②居宅介護サービス利用者の個々の生活リズムが理解できる。 ③居宅介護における個別ケアがどのようなものか理解できる。 ④介護技術の確認を理解できる。
授業の概要	－

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回 ■実習履修資格者 「群馬医療福祉大学短期大学部生活支援実習ガイドライン」を参照 ■実習時期及び実習日数・時間 ２年次　平成３１年８月１９日（月）～９月１３日（金）までの期間に【４日間／３２時間】 ・訪問介護１日間 ・通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護の３種別の施設のうち１施設で３日間 ■実習上の注意 「群馬医療福祉大学短期大学部生活支援実習ガイドライン」を参照 ■評価方法 「群馬医療福祉大学短期大学部生活支援実習ガイドライン」を参照 第２回 第３回 第４回 第５回
受講生に関わる情報および受講のルール	－
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	－
オフィスアワー	－
評価方法	実習巡回指導教員50%、実習施設指導者20%、介護総合演習Ⅱ担当教員30%
教科書	－
参考書	－

実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　生活支援実習Ⅱ－②　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	4単位(200)	介護福祉コース・福祉総合コース・介護福祉士実践コース・選択
担当教員			
矢嶋　栄司			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 個々の生活リズムや個性を理解し、個別ケアを行うことで、利用者ごとの介護過程を展開し、専門的・計画的に介護サービスを提供できる実践力を習得することを目指す。 〔到達目標〕 ①一つひとつの情報のもつ意味を解釈し、情報同士の関連づけができる。 ②専門知識や技術を統合し、介護計画（介護の目標、具体的な援助内容・方法）が立案できる。 ③援助内容が適切であったかの評価、計画を修正する必要があるかの判断ができる。 ④介護サービスを計画的に提供するしくみが理解できる。
授業の概要	－

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回 ■実習履修資格者 「群馬医療福祉大学短期大学部生活支援実習ガイドライン」を参照 ■実習時期及び実習日数・時間 ２年次　平成３１年６月３日（月）～７月６日（土）までの期間に【２５日以上かつ２００時間以上とする】 ■実習上の注意 「群馬医療福祉大学短期大学部生活支援実習ガイドライン」を参照 ■評価方法 「群馬医療福祉大学短期大学部生活支援実習ガイドライン」を参照 第２回 第３回 第４回 第５回
受講生に関わる情報および受講のルール	－
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	－
オフィスアワー	－
評価方法	実習巡回指導教員50%、実習施設指導者20%、介護総合演習Ⅱ担当教員30%
教科書	－
参考書	－
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニン	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している

グ	具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医療・福祉・教育の基礎　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2単位(30)	介護福祉・医療事務秘書・福祉総合コース必修
担当教員			
土屋　昭雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 　介護や医療、社会福祉の学びは、関連性の深いものとなっている。これらの分野で専門職として活動しようとする者は、まずそれらがどう関連しているかを理解し他職種連携・チームケアの意義を把握しておかなければならない。そこで、本科目においては、制度概要および関連施設、各専門職等に関する基礎知識を身に付ける事を目的とする。 【到達目標】 自身が目指す専門職の役割、仕事内容のみならず、関連領域に関する知識についても習得し他職種連携・チームケアの意義を理解する。また、本科目での学びを通じ医療、福祉専門職者としての素養を身につけることを目標とする。
授業の概要	他職種連携・チームケアを考慮し、関連職種、関連領域に関する知識の習得は極めて大切なこととなる。こうしたことを含め、介護福祉士、医療事務職、社会福祉士として把握しておくべき基本的事項について概説していく。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　　オリエンテーション〔授業の進め方、評価等授業概要に基づいた概要説明及び学習方法等について伝達〕 【key words】 社会保険(医療保険・介護保険)・専門職 【授業概要】 ・授業の進め方、評価、学生の目指す専門職とは等についての概説 ・社会保険についての概説 【教科書ページ・参考文献】 板書による説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業での板書事項の際確認および諸文献により社会保険についての把握に努めること 第２回　　医療保険制度のしくみ 【key words】 医療保険・フリーアクセス・病院/診療所 【授業概要】 ・医療保険制度のしくみ ・日本の医療保険の特徴 【教科書ページ・参考文献】 板書による説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容についての再確認を励行し把握に努めること 第３回　　保険診療のしくみ・医療保険制度の体系 【key words】 保険診療/自由診療・健康保険/国民健康保険/後期高齢者医療制度 【授業概要】 ・保険診療のしくみ ・医療保険制度の概要 【教科書ページ・参考文献】 板書による説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】

	授業内容についての再確認を励行し把握に努めること 第４回　介護保険制度の概要 【key words】 介護保険制度・契約制度・保険給付・特定疾病 【授業概要】 ・介護保険制度創設の背景と目的 ・介護保険制度の動向 ・介護保険制度のしくみ 【教科書ページ・参考文献】 板書による説明・資料配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容についての再確認を励行し把握に努めること 第５回　介護提供現場の基本的理解①　特別養護老人ホーム 【key words】 介護保険施設・介護老人福祉施設/特別養護老人ホーム・ユニットケア 【授業概要】 ・特別養護老人ホームの概要 ・人員、設備基準および職員配置 ・特別養護老人ホームの重点化 【教科書ページ・参考文献】 板書による説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容についての再確認を励行し把握に努めること 第６回　介護提供現場の基本的理解②　介護老人保健施設 【key words】 介護保険施設・介護老人保健施設・在宅復帰・リハビリテーション 【授業概要】 ・介護老人保健施設の概要 ・基準および職員配置 ・介護老人保健施設の役割 【教科書ページ・参考文献】 板書による説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容についての再確認を励行し把握に努めること 第７回　障害者総合支援法の基本的理解 【key words】 障害者総合支援法・障害者自立支援法・自立支援給付・地域生活支援事業 【授業概要】 ・障害者総合支援法の概要 ・障害者総合支援法の対象者 【教科書ページ・参考文献】 板書による説明・資料配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容についての再確認を励行し把握に努めること 第８回　介護提供現場の基本的理解③　障害者支援施設 【key words】 障害者総合支援法・障害者支援施設・施設入所支援/生活介護 【授業概要】 ・障害者支援施設の概要 ・専門職の配置および役割 【教科書ページ・参考文献】 板書による説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容についての再確認を励行し把握に努めること 第９回　医療・福祉専門職の理解①　社会福祉士 【key words】 社会福祉士及び介護福祉士法・ソーシャルワーカー・相談援助・倫理綱領 【授業概要】 ・社会福祉士の定義および業務、役割 ・社会福祉士の活躍の場 ・倫理綱領について 【教科書ページ・参考文献】 板書による説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容についての再確認を励行し把握に努めること 第１０回　医療・福祉専門職の理解②　精神保健福祉士 【key words】 精神保健福祉士法・ソーシャルワーカー・相談援助 【授業概要】 ・精神保健福祉士の定義および業務、役割 ・精神保健福祉士の活躍の場 ・社会福祉士との違い 【教科書ページ・参考文献】 板書による説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容についての再確認を励行し把握に努めること 第１１回　医療・福祉専門職の理解③　看護師 【key words】 保健師助産師看護師法・看護師/准看護師・看護過程・倫理綱領 【授業概要】 ・看護師の定義および業務、役割

	・看護師の行う看護 ・看護師の活躍の場 ・看護師の倫理綱領 【教科書ページ・参考文献】 板書による説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容についての再確認を励行し把握に努めること 第１２回　医療・福祉専門職の理解④　理学療法士 【key words】 理学療法士及び作業療法士法・運動療法・物理療法 【授業概要】 ・理学療法士の定義および業務、役割 ・理学療法士の活躍の場 【教科書ページ・参考文献】 板書による説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容についての再確認を励行し把握に努めること 第１３回　医療・福祉専門職の理解⑤　作業療法士 【key words】 理学療法士及び作業療法士法・基本的動作能力・応用的動作能力・社会的適応能力 【授業概要】 ・作業療法士の定義および業務、役割 ・作業療法士の活躍の場 【教科書ページ・参考文献】 板書による説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容についての再確認を励行し把握に努めること 第１４回　医療・福祉専門職の理解⑥　保育士 【key words】 児童福祉法・保育所保育指針・保育士 【授業概要】 ・保育士の定義および業務、役割 ・保育所保育指針概説 【教科書ページ・参考文献】 板書による説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容についての再確認を励行し把握に努めること 第１５回　総括・確認テスト 【key words】 対人援助職・多職種連携・社会保険制度 【授業概要】 ・医療保険制度および介護保険制度に関する理解、再確認 ・対人援助職に求められる事柄 【教科書ページ・参考文献】 ノートおよび配布資料 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業内容についての再確認を励行し把握に努めること・各専門職の倫理綱領等も確認しておくこと
受講生に関わる情報および受講のルール	私語は慎み、真摯な態度で授業に臨むこと。知識向上に向け、予習、復習を励行すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	諸制度、医療・福祉専門職などに関する実状、動向を把握する意味で常に新聞等にも注意を払い知識を深めること。
オフィスアワー	月曜日〔14：20～17：30〕及び昼休み〔12：00～12：30〕
評価方法	定期試験〔80%〕・確認テスト〔20%〕
教科書	印刷資料を使用する。
参考書	福祉小六法、用語辞典、その他については、授業内で適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ■ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　チームケア入門Ⅰ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	1単位(15)	選択
担当教員			
柳澤　充			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 他学部・学科との学生間の交流を通して、多職種の連携の必要性について気づくことできる。包括的視点で対象者を捉え、多職種による円滑なケアが展開できるための基礎的知識・技術・態度について学び多職種連携のあり方を修得する。 【到達目標】 １）自己の職種について他者に伝えることができる。 ２）他職種の基本的な役割について述べることができる。 ３）ケアチームとして一連の取り組みのまとめ、報告、自己の評価ができる。 ４）他職種との連携について関心が持てる。
授業の概要	保健医療福祉の動向に伴い、多様なニーズを必要とする対象者が増加しており保健医療福祉教育専門職に求められることも多様化している。対象者のケアの目標を達成するためには、多職種間の連携が不可欠となる。保健医療福祉教育職種が連携を取り合うことの意義・必要性と多様なチームケアの在り方について学習する。群馬医療福祉大学の福祉・医療総合大学の特色を生かし、3学部・短期大学１学科合同チームによる、講義、演習を通して「チームケア」について学ぶ。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回	チームケアを担う人々を理解する。自己の職種役割についてまとめる。 【key words】 チームケア　職種理解 【授業概要】 チームケアを担う人々を理解する。自己の職種役割についてまとめる。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料　ワークシート 【課題・予習・復習・授業準備指示】 指定日時までにワークシートを完成させ担当教員に提出すること。
	第２回	チームケア・チーム医療を担う人々を理解する。簡単な事例をとおして、チームケアにおける自職種・多職種の役割について各学部のグループで、討議する。 【key words】 他職種理解　多職種 【授業概要】 簡単な事例をとおして、チームケアにおける自職種・多職種の役割について各学部のグループで討議する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料、ワークシート 【課題・予習・復習・授業準備指示】 指定日時までにワークシートを完成させ担当教員に提出すること。合同討議に向け自主学習を進めること。
	第３回	チームケアにおける多職種の役割、連携方法についての合同討議。 【key words】 多職種の役割、連携方法 【授業概要】 指定された班に分かれ、自分が目指す職種について述べ、他学部学生が目指す職種について理解し、全学部で行動討議を行う。 【教科書ページ・参考文献】

	配布資料、ワークシート 【課題・予習・復習・授業準備指示】 積極的な態度で臨むこと。 第４回　チームケアにおける多職種の役割、連携方法についての合同討議、報告準備。 【key words】 多職種の役割、連携方法 【授業概要】 指定された班に分かれ、チームケアにおける多職種の役割、連携方法について全学部で討議する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料、ワークシート 【課題・予習・復習・授業準備指示】 積極的な態度で臨むこと。 第５回　チームケアにおける多職種の役割、連携方法についての合同討議・報告会① 【key words】 多職種の役割、連携方法 【授業概要】 指定された班に分かれ、チームケアにおける多職種の役割、連携方法について全学部で討議されたことを踏まえ、各班で発表する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料、ワークシート 【課題・予習・復習・授業準備指示】 積極的な態度で臨むこと。 第６回　チームケアにおける多職種の役割、連携方法についての合同討議・報告会② 【key words】 多職種の役割、連携方法 【授業概要】 代表発表班を選出し、全体報告会で発表する。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料、ワークシート 【課題・予習・復習・授業準備指示】 積極的な態度で臨むこと。 第７回　学習成果をリフレクションする。一連の学習過程を評価・考察し自己の課題に気付くことができる。 【key words】 チームケア、多職種の役割、連携方法 【授業概要】 各学部ごとに合同討議や報告会を振り返り、改めてチームケアについて考える。 【教科書ページ・参考文献】 配布資料、ワークシート 【課題・予習・復習・授業準備指示】 積極的な態度で臨むこと。
受講生に関わる情報および受講のルール	0
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	課題に積極的に取り組む
オフィスアワー	月曜日8時20分～10時30分　水曜日8時20分～10時30分
評価方法	①グループワークでの取り組み50%　②ポートフォリオ評価50%
教科書	資料配布
参考書	1. 鷹野和美著：チームケア論　ぱる出版，2008. 2. 小松秀樹：地域包括ケアの課題と未来、ロハス・メディカル、2015
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 病院、在宅介護支援センターにおけるソーシャルワーカーとして、チームケアに取り組んできた経験がある。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　障害の理解　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	4単位(60)	介護福祉士国家試験受験資格を得るための指定必須科目
担当教員			
清水　久二雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 障害という生活しづらさは、歴史的な背景や社会の仕組みや制度の変化によって概念が変化しており、「障害とは何か」について考える必要があります。そのための基本としてまず、様々な障害の分類について医学的な側面と社会的な側面から学んでいきます。今後の社会の仕組みや、技術革新による変化の中で、人の生活の多様性を了解し共生社会を築くために介護福祉士が果たす役割はなにか、そしてそのために何が必要かを学び、その結果、建設的で創造的な思考を身につける事を目的としています。 〔到達目標〕 ①障害のある人の生活しづらさを歴史的な変遷による様々な概念やそれらの変化を理解する事ができる。 ②障害のある人の生活しづらさはどのようなものがあるのか医学的・社会的な基礎理解ができる。 ③①と②を理解した上で、多様性の了解・共生社会を実現のための創造的な社会を築くために支援者として出来る事は何　かを思考し、ディスカッション・ワーク・レポートなどに具現化する事ができる。　④発展的、創造的な思考によってイノベーションやアクセシビリティなど、これからの「障害」について考え、どのよう　に取り組んでいくのかの道筋を立てることができる。
授業の概要	・講義が中心となりますが、到達目標でも触れたように、たくさんの「生活しづらさ」の知識を得た後には必ず、それら　を活用し、どのように考えるかなどの思考を深めるために、視覚的な教材を使用したり、グループディスカッションな　どの演習も行います。 ・また本授業ば共生社会、多様性を学ぶ場でもあるので、互いの価値の違いに気付くこと、共生社会を築くため創造的な　学習の機会となる事を目標としているため個別、グループで行うものなど学習の効果が高いと思われる演習の方法を実　施していきます。 ・上記の内容を可能とするためには小テストや小レポートなどを適時に実施し、学生の学習の進捗を確認していきます。　このようにして身につけた知識を単に知っているだけとせず、知識を駆使し、豊かな思考性を身につけられるような学　習を行っていきます。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	1．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	2．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	3．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 4．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	5．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　ガイダンス　障害の基礎的理解 〈キーワード〉］　障害　障碍　障がい 〈授業概要〉 ・授業概要を用いて科目履修の目的・達成目標・履修上のルール・評価について解説する。 ・科目のスタートとして障害、障碍、障がい　など言葉の理解について、グループディスカッション形式で相互 学習していく。 〈復習・予習〉 今回の障害の言葉について触れた内容を振り返る事。　次回P127～129を予習すること。 第２回　「障害とは何か」 〈キーワード〉　障害　基準　規範意識　権利　レッテル　ラベル 〈テキスト〉　P127～129 〈授業概要〉 ・障害とは何かについてグループを討議をすすめながら考えてていく。これまでの障害に対する思考のパラダ イムをに触れ、それらを考える上で上記のキーワードと関連させながら4改めて障害とは何かを

考えていく
・考える上での条件について個人としてまず考えたのち、共通認識している仲間や意見が異なる仲間との意見
交換を通じ相互学習を行う。
〈復習・予習〉
P127～129を復習すること。ワークブックP127～129の表1を予習しておくこと。

第３回　障害福祉の歴史と基本理念①ノーマライゼーションとリハビリテーションとは
〈キーワード〉　障害の定義　ノーマライゼーション　リハビリテーション
〈テキスト〉　テキストP127～129　ワークブックP127～129の表1
〈授業概要〉
・障害の定義は、根拠となる法律によって様々分かれている事を知る。またこのように法律が整備されている
事と、人権や権利についてグループ討議を行いながら学んでいく。その後代表的な概念である、ノーマライ
ゼーションとリハビリテーションについて学んでいく。
〈復習・予習〉
ワークブックP127～129の表1を復習しておくこと。　P136～137を予習しておくこと。

第４回　障害福祉の歴史と基本理念②インクルージョン　ストレングス、エンパワメントとは
〈キーワード〉　インクルージョン　ストレングス　エンパワメント
〈テキスト〉　P136～137　パワーポイント配布資料
〈授業概要〉
・前回の授業からノーマライゼーション・リハビリテーションと上記のキーワードの概念について障害の施策
の歴史を振り返りながら、概念がどのように変化してきたのかを学ぶ。またそれらをイメージしやすくする
ために自身の事を例に挙げ個人ワークとグループ学習で思考していく。
〈復習・予習〉
P136～137　パワーポイント資料の復習をすること。　次回のP139～143を予習しておくこと。

第５回　障害の受容について　(心理的な配慮の支援とは)
〈キーワード〉　障害受容　直面化　フィードバッグ
〈テキスト〉　P139～143　パワーポイント配布資料
〈授業概要〉
・障害のある人の障害を知覚・認識が先天的・後天的によってどのような心理的な支援が必要なのか、配慮す
る事は何かについてDVDを視聴しグループ討議、その後全体討議で考えていく。
〈復習・予習〉
P139～143の復習をすること。　P151～155を予習しておくこと。

第６回　視覚障害のある人の生活　(視覚障害とは)
〈キーワード〉　視覚　視力　視野　ブラインディズム　バーバリズム
〈テキスト〉　P151～155　パワーポイント配布資料
〈授業概要〉
・視覚障害における「視力」、「視野」などの視覚の機能についてまず理解し、その上で視覚障害になった場　合にはどのような生活しづらさが生じるのかを考え、討議しながら学ぶ。
〈復習・予習〉
P151～155を復習しておくこと。　P155～158の予習をしておくこと。

第７回　聴覚・言語障害のある人の生活　(聴覚・言語障害とは)
〈キーワード〉　ろう　中途失聴　難聴　言語障害　構音障害と失語
〈テキスト〉　P155～158　パワーポイント配布資料
〈授業概要〉
・聴覚の機能についてまず理解し、その上で聴覚障害になった場合にはどのような生活しづらさが生じるのか　を考え、討議しながら学ぶ。また聴覚の障害によって言語発達への影響についても考えていく。
〈復習・予習〉
P155～158の復習をしておくこと。　「重複障害」とは何かについて調べてくるように

第８回　重複障害のある人の生活　(重複障害とは)
〈キーワード〉　全盲ろう　全盲難聴　弱視ろう　弱視難聴
〈テキスト〉　パワーポイント配布資料
〈授業概要〉
・視覚・聴覚の両方に障害のある状態の分類について学び、生活しづらさとコミュニケーションを含めた生活
支援について学んでいく。
〈復習・予習〉
今回の配布資料と前回の調べた内容をまとめて整理するように。P171～175を予習しておくこと。

第９回　知的障害のある人の生活　(知的障害とは)
〈キーワード〉　知能指数　日常生活能力　精神発達　トライ＆エラー
〈テキスト〉　パワーポイント配布資料
〈授業概要〉
・知的障害の定義を踏まえつつ日常生活能力や発達の支援やサポートについて考えていく。さらに、生活の支
援について社会環境としての支援やサポート体制など、グループ討議を通して考えていく。
〈復習・予習〉
P171～175を復習しておくこと。　P158～161　パワーポイント資料予習しておくこと。

第１０回　肢体不自由（運動機能障害）のある人の生活　①　(運動機能障害とは)
〈キーワード〉　運動機能障害　麻痺　脊椎損傷　脳性麻痺
〈テキスト〉　パワーポイント配布資料
〈授業概要〉
・肢体不自由(運動機能障害)について理解し、その障害によって起こりうる様々原因について学ぶ。その中　でも様々な麻痺の状態やその上で生活のしづらさはどのようなものかをグループ討議を通じて考えていく。

〈復習・予習〉
P158～161　　パワーポイント資料復習しておくこと。

第１１回　肢体不自由（運動機能障害）のある人の生活　②　（損傷レベルによる様々な障害 ）
〈キーワード〉　運動機能障害　感覚・知覚麻痺　感覚統合
〈テキスト〉　　パワーポイント配布資料
〈授業概要〉
・前回の授業を前提とし、肢体不自由(運動機能障害)のある人の生活活動における移動や感覚について、更
に肢体不自由児の発達支援における感覚と刺激、またそれらを支える様々な感覚について体験的な小グルー
プ学習を行い、必要な支援を考えていく。
〈復習・予習〉
ワークブックP137～139を復習しておくこと。P181～185を予習しておくこと。

第１２回　精神障害のある人の生活①　　（精神障害とは）
〈キーワード〉　精神障害　内因性　外因性　心因性　統合失調症 寛解
〈テキスト〉　　P181～185　パワーポイント配布資料
〈授業概要〉
・精神障害の定義、疾患と特性について原因となる上記キーワードによる分類について学ぶ。統合失調症のあ
る
人のDVD視聴後に統合失調症のある人へのサポートについて学ぶ。
〈復習・予習〉
P181～185を復習しておくこと。　精神障害のある人が地域で生活している実態について調べてくる。

第１３回　精神障害のある人の生活②　　（在宅生活の支援を考える。）
〈キーワード〉　地域での生活　　薬物療法　　ピアサポート
〈テキスト〉　　P181～185
〈授業概要〉
・精神障害のある人の在宅生活で調べた内容を発表する。その後同じテーマ同士でチームを構成しグループデ
ィスカッションを行う。その後在宅生活のサポートに必要な医事的支援、ピアサポートについて考えてい
く。
〈復習・予習〉
P181～185を復習しておくこと。　P186～191を予習しておくこと。

第１４回　高次脳機能障害のある人の生活①　（高次脳機能障害とは何か。）
〈キーワード〉　高次脳機能　記憶障害　　注意障害　　遂行機能障害　　社会的行動障害
〈テキスト〉　　P186～191　パワーポイント配布資料
〈授業概要〉
・後天的に脳を損傷した事により器質性精神障害である高次脳機能障害はどのような状態になるのかについて
学ぶ。本人を中心として、周囲がどのように生活を支援していくのかについて学ぶ
〈復習・予習〉
P186～191を予習しておくこと。　　ワークブック　P149～151を予習しておくこと。

第１５回　高次脳機能障害のある人の生活②　（高次脳機能障害と類似症状の疾患と対応方法について）
〈キーワード〉　高次脳機能　記憶障害　　注意障害　　遂行機能障害　　社会的行動障害
〈テキスト〉　　P186～191　パワーポイント配布資料
〈授業概要〉
・高次脳機能障害がある場合上記のキーワードに出現した場合毎の生活しづらさについてグループ討議を通し
て考える。また精神障害のある人にとって周囲への障害受容につていどのような支援が望ましいのかを考え
ていく。
〈復習・予習〉
ワークブック　P149～151を復習しておくこと。　　前期の授業の振り返りを行い、覚える言葉はしっかり
と覚えて欲しい。

第１６回　後期ガイダンス　　重症心身障害のある人の生活
〈キーワード〉　医療的ケア　スヌーズレン
〈テキスト〉　　パワーポイント配布資料
〈授業概要〉
・重症心身障害のある人の状況を知り、生命と生活を守るために必要な視点は何かについて学ぶ。また感覚刺　激や精神活動が活発になるための支援にはどんなものがあるのかについて創造的な支援方法を検討してい　　く。
〈復習・予習〉
配布資料を確認する事。P176～179の予習を行っておくこと。

第１７回　発達障害のある人の生活①　　（広汎性発達障害とは何か）
〈キーワード〉　広汎性発達障害　ICD-10 自閉症スペクトラム障害 DSM5
〈テキスト〉　　パワーポイント配布資料
〈授業概要〉
・発達障害とはどのような状態であり、発達の家庭上の課題や生活しづらさについて考える。
〈復習・予習〉
配布資料を確認する事。P176～179の予習を行っておくこと。

第１８回　発達障害のある人の生活②　　（ＡＤＨＤ、ＬＤとは）
〈キーワード〉　ＡＤＨＤ　ＬＤ　学習障害　注意欠陥他動性障害
〈テキスト〉　　P179～180パワーポイント配布資料
〈授業概要〉
・発達障害ＡＤＨＤ　ＬＤについて学び、学習や社会で、どのような支援が必要かについて学ぶ。また社会　的な技能について考え、地域や集団がどのようにサポートすることが望ましいかを考える機会をつくる
〈復習・予習〉

		P179～180のふりかえりと支援方法についての学びを個人として整理する。P161～163の予習
	第１９回	内部障害のある人の生活①　（心臓機能障害とは） 〈キーワード〉　心臓機能障害　狭心症　心筋梗塞　心不全 〈テキスト〉　P179～180　パワーポイント配布資料 〈授業概要〉 ・内部障害のうち心臓機能障害について学ぶ。その前提として心臓の機能について触れ、その上で心臓機能に障害がある場合にはどのような生活しづらさがあるのかと生活上の支援に必要かについて考えていく。 〈復習・予習〉 P161～163の復習を振り返るように。
	第２０回	内部障害のある人の生活②　（腎機能障害　膀胱、直腸機能障害、小腸機能障害のある人の生活） 〈キーワード〉　腎機能障害　膀胱、直腸機能障害　小腸機能障害 〈テキスト〉　P164～166　パワーポイント配布資料 〈授業概要〉 ・内部障害のうちに腎機能障害、膀胱、直腸機能障害、小腸機能障害ついて学ぶ。それぞれの内蔵機能につい て触れ、その上で特に栄養補給と排出するというイン・アウトに関する障害がある場合、どのような生活し づらさがあるのかと生活上の支援に必要かについて考えていく。 〈復習・予習〉 P164～166の復習を行うこと。
	第２１回	内部障害のある人の生活③　（呼吸機能障害、肝臓機能障害、免疫機能障害のある人の暮らし 〈キーワード〉　呼吸機能障害　肝臓機能障害　ヒト免疫不全ウィルス(HIV)による免疫機能障害　〈テキスト〉　P166～169　パワーポイント配布資料 〈授業概要〉 ・内部障害のうちについて呼吸機能障害、肝臓機能障害、ヒト免疫不全ウィルス(HIV)による免疫機能障害触 れ、その上でこれらの障害がある場合の生命維持や誤解・偏見などによる生活しづらさがあるのかを中心に 生活上の支援に必要かについて考えていく。 〈復習・予習〉 P166～169の復習を行うこと。
	第２２回	難病のある人の暮らし①　（難病とは） 〈キーワード〉　難病対策　難病の定義 〈テキスト〉　P166～169　パワーポイント配布資料 〈授業概要〉 ・難病とは何かについて学ぶ。またこれまでのわが国の難病対策と難病のある人の生活について代表的な2つの難病を取り上げ、難病のある人の生活への支援には何が必要なのかについて学ぶ 〈復習・予習〉 P166～169の復習を行うこと。
	第２３回	難病のある人の暮らし②　（代表的な指定難病について） 〈キーワード〉　難病対策　難病の定義　ALS　パーキンソン病 〈テキスト〉　P166～169　パワーポイント配布資料 〈授業概要〉 ・難病とは何かについて学ぶ。またこれまでのわが国の難病対策と難病のある人の生活について代表的な2つの難病を取り上げ、難病のある人の生活への支援には何が必要なのかについて学ぶ 〈復習・予習〉 P166～169の復習を行うこと。次回授業までに指定難病を3つ調べてくる。
	第２４回	難病のある人の暮らし③　（難病のある人の生活支援） 〈キーワード〉　難病情報センター　指定難病 〈テキスト〉　P166～169　パワーポイント配布資料 ・前回のつづきとして、「難病情報センター」より指定難病についての調べ学習したものを、発表シートにま とめて発表する。その後都道府県などの指定病院の支援と介護福祉士としての生活支援のつながりについて グループで検討していく。 〈復習・予習〉 P166～169の復習を行うこと。発表シートのまとめ作業を行うこと。自助グループ・家族会について調べる
	第２５回	障害のある人の家族の支援とは何か①　（自助グループとは　家族会調べ学習） 〈キーワード〉　自助　互助　ピア　家族会 〈テキスト〉　P197～200　パワーポイント配布資料 〈授業概要〉 ・障害者当事者の会、家族会が発足する背景について学ぶ。家族会など各種団体の活動内容や目的、それぞれの活動について2～3人のグループで調べ学習、発表用の資料を作成。 〈復習・予習〉 P197～200の復習を行うこと。調べた内容を次回発表できるようにまとめる。
	第２６回	障害のある人の家族の支援とは何か②　（家族会についての発表・ソーシャルアクションについて） 〈キーワード〉　自助　互助　ピア　家族会 〈テキスト〉　P197～200　パワーポイント配布資料 〈授業概要〉 ・前回調べた障害者当事者の会など各種団体の活動内容や目的、それぞれの活動について調べたものをポスターセッションする。それぞれのグループの発表と調べ学習したものをグループでふりかえる。 〈復習・予習〉 P197～200の復習を行うこと。調べた内容を次回発表できるようにまとめる。
	第２７回	他職種との協働と連携について①（様々な職種との連携について考える） 〈キーワード〉　チームケア　他職種　ゴール設定　共有化 〈テキスト〉　P197～200　パワーポイント配布資料

	〈授業概要〉 ・障害による生活しづらさを支援するために様々な社会資源の活用や他職種と連携の必要性について学ぶ。ま 　た、情報の共有化を行う上で立場の違い、考え方のパラダイムが違う事を了解し、発展的、創造的チームづ 　くりに必要な事は何かについて考える。 〈復習・予習〉 　P197～200の復習を行うこと。調べた内容を次回発表できるようにまとめる。 第２８回　他職種との協働と連携について②（チームアプローチについて・行政・NPO法人） 〈キーワード〉　共生社会　多様性　イノベーション 〈テキスト〉　P197～200　パワーポイント配布資料 〈授業概要〉 ・障害による生活しづらさを支援するために様々な社会資源インフォーマルサービス活用やイノベーションに 　ついて学生間の協同学習を行い、新たなサービスを創造していく。また創造したものを発表し今後のサービ 　スの創造を模索する。 〈復習・予習〉 　P197～200の復習を行うこと。調べた内容の整理。次回の授業でこれまでの振り返りを行うので、総復習しておくこと。 第２９回　障害の理解　まとめ　① 〈テキスト〉　配布資料・テキスト・用語辞典・ワークブック上下 〈授業概要〉 これまでの授業のふりかえりを行う。用語の整理などをおこなう。 〈復習・予習〉 　次回の授業でこれまでの振り返りを行うので、総復習しておくこと。 第３０回　障害の理解　まとめ　① 〈テキスト〉　配布資料・テキスト・用語辞典・ワークブック上下 〈授業概要〉 これまでの授業のふりかえりを行う。用語の整理などをおこなう。また授業後半で、これまでの学びを振り返るためレポートにまとめる。 〈復習・予習〉
受講生に関わる情報および受講のルール	・豊かな思考の能力を伸ばすために、用語・概念などテキストに出てくる言葉と言葉の意味をしっかり覚えるために予 　習、復習に取り組んで欲しい。 ・共生社会、多様な価値の尊厳を保持できることを目的としているため、自身の考え方を積極的に述べるのと同時に、他　者の言葉は共感的理解を深めるためにしっかりと聴いて欲しい。（私語は慎む） ・最新の情報について情報を積極的にキャッチして欲しい。 ・社会と同様に、ひとりひとりがどのような態度で授業に臨むのかは、必ず周囲に影響を及ぼします。共生・多様性を学　ぶ場でもあるため、居眠り・指示がない時の携帯端末の使用は厳に慎むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード・授業時確認評価小テスト・レポート
授業外時間にかかわる情報	・「こころとからだのしくみ」や「社会と制度の理解」などといった他の教科との関係が深いため、「障害の理解」のテ　キストのみでなく他のテキストも確認すること ・図書館には視覚教材、その他の書籍がたくさんあります。様々な自らの視座を広めるためにもたくさんの書籍や資料、　また月刊紙に触れて欲しい。 ・介護分野のテキストのみならず、他領域のテキストなど、興味・関心があるものに触れて欲しい。
オフィスアワー	授業時適宜紹介する。
評価方法	定期試験　70%　小テスト、提出物　20%　授業の参加状況（グループ学習の取り組み 、態度）10%
教科書	日本介護福祉士養成施設協会　介護福祉士養成テキスト　5　「障害の理解」
参考書	授業時適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 老人保健施設で5年弱　介護職員・レクリエーションワーカー、特別養護老人ホームで、19年間、介護職員、短期入所生活介護の担当、介護長、施設介護支援専門員に従事する。 　高齢者施設であり認知症、内部障害のある利用者の支援をはじめ、老人保健施設では身体障害のある人（運動機能障害、高次脳機能障害、視覚障害、聴覚など）、また特別養護老人ホームでは精神障害、知的障害などの支援を行った。また障害のある人の就業の支援も同法人で支援してきた。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　高齢者に対する支援と介護保険制度　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	4単位(60)	福祉総合コース必修
担当教員			
土屋　昭雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 　高齢化の進展に伴い、高齢者保健福祉施策が果たすべき役割は増大している。そこで、本科目においては、少子高齢化の背景・実状を明らかにしたうえで、そうした状況に対応すべき法制度やサービス、さらには専門職者として仕事をするうえで必要となる知識、技術方法論の習得し理解することを目的とする。 【到達目標】 　高齢者福祉の実態を把握し、介護保険制度や高齢者関係法規、さらには、関連する諸施策等について学び、福祉専門職として必要な知識を習得するとともに、国家試験合格水準到達を目標とする。 ・わが国の高齢者を取り巻く実状について理解している。 ・介護保険制度等ついての説明ができる。 ・関連法制、施策等について理解している。 ・介護福祉士または社会福祉士に求められる知識を習得し説明することができる。 ・社会福祉士国家試験過去問題・模擬問題等において正答を導きだすことができる。
授業の概要	社会福祉士・介護福祉士として把握しておくべき高齢者に関する事柄、高齢者関係法制を中心に概説していく。また、高齢者福祉を取り巻く現況、動向についても言及していく。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	1．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	2．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	3．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 4．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	5．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　　オリエンテーション　〔授業の進め方、評価等授業概要に基づいた概要説明及び学習方法等について伝達〕、“高齢者”とは 【key words】 社会保険制度(介護保険)・措置/契約制度・高齢者・社会福祉士 【授業概要】 ・授業の進め方、評価方法等についての概説 ・社会福祉士国家試験についての概説 ・「はじめに」における重要語句解説 【教科書ページ・参考文献】 「はじめに」 【課題・予習・復習・授業準備指示】 第1章の熟読 第２回　　高齢者の特性〔高齢者の身体的・精神的理解他〕 【key words】 前期高齢者/後期高齢者・恒常性・老化・精神機能 【授業概要】 ・高齢者の社会的理解 ・高齢者の身体的理解 ・高齢者の精神的理解ほか 【教科書ページ・参考文献】 p1～p27 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当頁の再確認・第2章の熟読 第３回　　少子高齢社会〔少子高齢社会と社会的問題、高齢者を取り巻く諸問題〕

【key words】
少子高齢社会・高齢化率・合計特殊出生率・家族構成・高齢者虐待
【授業概要】
・少子高齢社会と社会問題
・高齢者を取り巻く諸問題(健康・介護・経済・生活意識面)
【教科書ページ・参考文献】
p29～p60
【課題・予習・復習・授業準備指示】
重要語句の意味の把握に努めること。第3章の熟読

第４回　高齢者保健福祉の変遷
【key words】
老人福祉法・措置制度・ゴールドプラン
【授業概要】
・高齢者保健福祉の起源と生成
・高齢者保健福祉制度の発展
【教科書ページ・参考文献】
p61～p86
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当頁の再確認・第4章の熟読

第５回　高齢者支援の関係法規①〔老人福祉法〕
【key words】
老人福祉法・老人の日/老人週間・措置・老人福祉施設
【授業概要】
・老人福祉法の構成および総則の主な内容
・福祉の措置
・老人福祉計画ほか
【教科書ページ・参考文献】
p96～p100
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当頁の再確認・第4章の熟読

第６回　高齢者支援の関係法規②〔高齢者の医療に関する法律他〕
【key words】
高齢者医療確保法・老人保健法・後期高齢者医療制度
【授業概要】
・高齢者の医療の確保に関する法律成立の背景
・高齢者の医療の確保に関する法律の内容
・動向および課題
【教科書ページ・参考文献】
p101～ｐ109
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当頁の再確認・第4章の熟読・後期高齢者医療制度の概要把握に努めること

第７回　高齢者支援の関係法規③〔高齢者虐待防止法〕
【key words】
高齢者虐待防止法・切迫性/非代替性/一時性・養介護施設
【授業概要】
・高齢者虐待防止法成立の背景
・高齢者虐待防止法の枠組みおよび特徴
・高齢者虐待防止法と虐待対応の実際　ほか
【教科書ページ・参考文献】
p110～ｐ118
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当頁の再確認・第4章および第5章の熟読

第８回　介護保険制度の基本的枠組み
【key words】
介護保険・措置制度/契約制度・特別徴収/普通徴収・保険者/被保険者
【授業概要】
・介護保険制度の目的と理念
・保険財政
・保険者と被保険者　ほか
【教科書ページ・参考文献】
ｐ127～p151
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当頁の再確認・第6章の熟読

第９回　介護保険制度の仕組み①〔要介護認定の仕組みとプロセス、保険給付〕
【key words】
特定疾病・介護認定審査会・介護給付/予防給付
【授業概要】

・要介護認定の仕組みとプロセス
・保険給付
【教科書ページ・参考文献】
p153～p163
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当頁の再確認・第6章の熟読

第１０回　介護保険制度の仕組み②〔介護報酬、地域支援事業〕
【key words】
介護報酬・地域支援事業・地域包括支援センター
【授業概要】
・介護報酬
・地域支援事業
【教科書ページ・参考文献】
p164～p176
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当頁の再確認・第6章の熟読

第１１回　介護保険制度の仕組み③〔介護保険事業計画、サービスの質を確保するための仕組み〕
【key words】
市町村介護保険事業計画・都道府県介護保険事業支援計画・介護サービス情報・運営適性化委員会・介護保険審査会
【授業概要】
・介護保険事業計画
・サービスの質を確保するための仕組み
【教科書ページ・参考文献】
p177～p183
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当頁の再確認・第7章の熟読

第１２回　介護保険サービス体系①〔介護保険サービスにおける専門職者の役割、居宅サービス〕
【key words】
介護支援専門員・サービス担当者会議・主任介護支援専門員・居宅サービス計画・居宅介護支援
【授業概要】
・介護保険制度における専門職の役割
・居宅サービス
【教科書ページ・参考文献】
p185～p200
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当頁の再確認・第7章の熟読

第１３回　介護保険サービス体系②〔施設サービス、介護予防サービス、地域密着型サービス〕
【key words】
施設サービス計画・介護保険施設・介護予防サービス・地域密着型サービス
【授業概要】
・施設サービス
・介護予防サービス
・地域密着型サービス
【教科書ページ・参考文献】
p201～p211
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当頁の再確認・第8章の熟読

第１４回　高齢者を支援する組織と役割①〔行政機関の役割、国民健康保険団体連合会等の役割他〕
【key words】
国民健康保険団体連合会・介護医療院・苦情処理
【授業概要】
・行政機関の役割
・指定サービス事業者、国民健康保険団体連合会の役割
【教科書ページ・参考文献】
p213～p224
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当頁の再確認・第8章の熟読

第１５回　前期総括・確認テスト
【key words】
少子高齢化・老人福祉法・高齢者医療確保法・高齢者虐待防止法・介護保険制度
【授業概要】
・前期重要箇所の再確認
・重要事項に関する確認テスト
【教科書ページ・参考文献】
前期授業該当ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
前期授業該当頁の再確認・確認テストの見直し

第１６回　オリエンテーション〔前期試験に関する事項についての伝達、前期の振り返りおよび後期授業について〕
【key words】
少子高齢化・老人福祉法・高齢者医療確保法・高齢者虐待防止法・介護保険制度
【授業概要】
・前期試験に関する総括
・重要事項の再確認

・後期授業の進め方　ほか
【教科書ページ・参考文献】
前期授業該当ページ
【課題・予習・復習・授業準備指示】
第8章(p225～)の熟読

第１７回　高齢者を支援する組織と役割②〔地域包括支援センターの組織体系と役割、社会福祉協議会、ボランティア団体他〕
【key words】
地域包括支援センター・包括的支援事業・社会福祉協議会・特定非営利活動促進法・NPO
【授業概要】
・地域包括支援センターの組織体系と役割
・社会福祉協議会
・ボランティア団体、非営利民間活動
【教科書ページ・参考文献】
p225～p247
【課題・予習・復習・授業準備指示】
第9章の熟読

第１８回　高齢者支援の方法〔高齢者支援方法、介護保険法における連携およびその実際〕
【key words】
アセスメント・自己覚知・スーパービジョン・地域ケア会議・ケアマネジメント
【授業概要】
・高齢者支援の方法
・介護保険法における連携と実際
【教科書ページ・参考文献】
p249～p285
【課題・予習・復習・授業準備指示】
第9章の再確認・第10章の熟読

第１９回　高齢者を支援する専門職の役割〔多職種連携、専門職の倫理他〕
【key words】
社会福祉士・名称独占・チームアプローチ・倫理綱領
【授業概要】
・専門職の役割と実際
・専門職による協働(多職種連携)
・専門職の倫理
【教科書ページ・参考文献】
p287～p302
【課題・予習・復習・授業準備指示】
第10章の再確認・第11章の熟読

第２０回　介護の概念・対象①〔介護の概念と範囲、介護の理念〕
【key words】
介護・求められる介護福祉士像・相談援助・尊厳・ストレングス・エンパワメント
【授業概要】
・介護の概念と範囲
・介護の理念
【教科書ページ・参考文献】
p303～p324
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当頁の再確認・第11章の熟読

第２１回　介護の概念・対象②〔介護の対象、介護予防の概念他〕
【key words】
ICF・キーパーソン・第三者評価・キャリアパス
【授業概要】
・介護の対象
・介護予防の概念
・介護人材確保対策について
【教科書ページ・参考文献】
p325～p348
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当頁の再確認・第12章の熟読

第２２回　介護過程①〔介護過程の概要〕
【key words】
介護過程・アセスメント・課題解決型アプローチ・自己決定
【授業概要】
・介護過程の概要
【教科書ページ・参考文献】
p349～p359
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当頁の再確認・第12章の熟読

第２３回　介護過程②〔介護過程の展開技法〕
【key words】
視点・アセスメント
【授業概要】
・介護過程の展開技法
【教科書ページ・参考文献】
p360～p370
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当頁の再確認・第13章の熟読

第２４回　介護各論Ⅰ①〔自立に向けた介護、家事における自立支援〕
【key words】
自立支援・自己決定・生命活動
【授業概要】

	・自立に向けた介護 ・家事における自立支援 【教科書ページ・参考文献】 p371～p380 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当頁の再確認・第13章の熟読 第２５回　介護各論Ⅰ②〔身支度・移動・睡眠の介護、食事・口腔衛生の介護他〕 【key words】 ボディメカニクス・トランスファー・羞恥心/自尊心 【授業概要】 ・身支度、移動、睡眠の介護 ・食事、口腔衛生の介護 ・入浴、清潔、排泄の介護 【教科書ページ・参考文献】 p381～p404 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当頁の再確認・第14章の熟読 第２６回　介護各論Ⅱ①〔認知症ケア〕 【key words】 認知症・アルツハイマー型認知症・パーソンセンタードケア・オレンジプラン 【授業概要】 ・認知症ケア 【教科書ページ・参考文献】 p405～p433 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当頁の再確認・第14章の熟読 第２７回　認知症サポーター養成講座 【key words】 認知症サポーター・認知症サポーター養成研修 【授業概要】 ・認知症サポーター養成講座 (認知症の理解ほか) 【教科書ページ・参考文献】 認知症サポーター養成講座指定テキスト 【課題・予習・復習・授業準備指示】 指定テキストの再確認 第２８回　介護各論Ⅱ②〔終末期ケア〕 【key words】 終末期・緩和ケア・フォーマルサポート/インフォーマルサポート・グリーフケア 【授業概要】 ・終末期ケア 【教科書ページ・参考文献】 p434～p445 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当頁の再確認・第14章の熟読 第２９回　介護各論Ⅱ③〔住環境〕 【key words】 バリアフリー・住宅改修・ユニバーサルデザイン 【授業概要】 ・住環境 ・高齢者福祉の課題 【教科書ページ・参考文献】 p446～p461 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストの再確認 第３０回　授業総括・確認テスト 【key words】 介護保険制度・法制・認知症 【授業概要】 ・介護保険制度を中心とした重要箇所の再確認 ・重要事項に関する確認テスト 【教科書ページ・参考文献】 前後期該当ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストの再確認・社会福祉士国家試験過去問題への取り組み
受講生に関わる情報および受講のルール	私語は慎み、真摯な態度で授業に臨むこと。知識向上に向け、予習、復習を励行すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	頻繁に改正される各法律の内容の把握に努めること。社会福祉士国家試験の指定科目であることを認識し、新聞等にも目を向け常に高齢者福祉の動向に関心を持つこと。
オフィスアワー	月曜日〔14：20～17：30〕及び昼休み〔12：00～12：30〕
評価方法	定期試験〔80%〕・確認テスト〔20%〕
教科書	社会福祉士養成講座編集委員会編『高齢者に対する支援と介護保険制度』中央法規出版
参考書	福祉小六法、その他については、授業内で適宜紹介する。
実務経験のある教員	

による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク ■アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　社会と制度の理解　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	4単位(60)	介護福祉・福祉総合・介護福祉士実践コース必修
担当教員			
土屋　昭雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 　まずは、各単位〔個人、家族、近隣、地域、社会〕ごとの「人間」の捉え方についての理解を深め、そのうえで、わが国の社会保障制度の基本的な考え方、しくみ、変遷などについて学習する。とくに、近年大きく変化している介護保険制度や障害者自立支援制度等については、介護実践に不可欠な観点であり基礎的知識を習得する必要がある。 【到達目標】 福祉専門職者として業務を遂行していくうえで不可欠な法制度の目的・意義、しくみ等の概要を理解している。必要に応じ、先述の制度等の概要を考慮した利用者支援ができる。
授業の概要	介護福祉士として把握しておくべき事柄、福祉関係法制を中心に概説していく。また、福祉を取り巻く現況、動向についても言及していく。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　　前期オリエンテーション　〔授業の進め方、評価等授業概要に基づいた概要説明及び学習方法等について伝達〕・“福祉”とは 【key words】 介護福祉士国家資格・法制・社会福祉士及び介護福祉士法 【授業概要】 ・授業の進め方・評価・社会福祉士国家試験・本科目の位置付け等について概説 ・福祉とは 【教科書ページ・参考文献】 はじめに 【課題・予習・復習・授業準備指示】 第1章の熟読 第２回　　生活と福祉①　〔家族、地域社会、社会・組織〕 【key words】 生活・シャドーワーク/アンペイドワーク・ワークライフバランス・インフォームドコンセント・アソシエーション・ 【授業概要】 ・生活とは ・家族とは ・地域社会と個人 ・人と社会、組織 【教科書ページ・参考文献】 p1～p38 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・重要語句の把握 第３回　　生活と福祉②　〔ライフサイクルの変化、生活支援と福祉〕 【key words】 ライフスタイル・少子高齢化・合計特殊出生率・高齢化率・公的扶助・措置制度/契約制度・ 【授業概要】 ・現代におけるライフスタイルの変化 ・生活の支援と福祉の体系 【教科書ページ・参考文献】 p39～p68 【課題・予習・復習・授業準備指示】

		授業該当ページの再確認・第2章の熟読
	第４回	社会保障①　〔社会保障の基本的な考え方、日本の社会保障制度の発達〕 【key words】 社会保障・日本国憲法・福祉六法 【授業概要】 ・社会保障の役割と意義 ・社会保障の目的と機能 ・社会保障の範囲と対象 ・社会保障の歴史 ・戦後社会と社会保障基盤整備 ・福祉施策の充実　ほか 【教科書ページ・参考文献】 p69～p95 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第2章の熟読
	第５回	社会保障②　〔社会保障制度のしくみ〈年金〉〕 【key words】 社会保険・」社会扶助・被用者年金 【授業概要】 ・社会保障のしくみ ・年金保険　ほか 【教科書ページ・参考文献】 p96～p107 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第2章の熟読
	第６回	社会保障③　〔社会保障制度のしくみ〈医療〉〕 【key words】 全国健康保険協会・後期高齢者医療制度 【授業概要】 ・医療保険 【教科書ページ・参考文献】 p108～p112 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第2章の熟読
	第７回	社会保障④　〔社会保障制度のしくみ〈介護・労働者関係の社会保険〉、現代社会と社会保障制度〕 【key words】 少子高齢化・社会保障給付費・社会保障関係費 【授業概要】 ・労働者関連の社会保険 ・少子高齢化の進行と社会保障 ・財政問題と社会保障　ほか 【教科書ページ・参考文献】 p112～p128 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第3章の熟読
	第 8 回	介護保険制度①　〔介護保険制度創設の目的、同制度のしくみ〕 【key words】 介護保険・保険者/被保険者・特定疾病・ 【授業概要】 ・介護保険制度の創設と目的 ・介護保険制度のしくみの概要 ・利用手続き　ほか 【教科書ページ・参考文献】 p129～p148 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第3章の熟読
	第９回	介護保険制度②　〔介護保険制度のしくみ〕 【key words】 介護保険給付・地域包括支援センター・地域包括ケアシステム・介護サービス情報 【授業概要】 ・利用者負担 ・介護保険給付 ・介護サービス内容 ・介護サービス情報 【教科書ページ・参考文献】 p148～p176 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第3章の熟読
	第１０回	介護保険制度③　〔介護保険制度にかかわる組織およびその役割〕 【key words】 介護保険審査会・介護認定審査会・地域紙炎事業・地域包括支援センター・国民健康保険団体連合会・苦情対応 【授業概要】 ・国、都道府県、市町村の役割 ・指定サービス事業者の役割 ・国民健康保険団体連合会の役割 【教科書ページ・参考文献】 p177～p192 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第3章の熟読

	第１１回　　介護保険制度④　〔介護保険制度における専門職の役割、同制度改正の流れ・変遷〕 【key words】 介護福祉士・介護支援専門員・主任介護支援専門員・2015年問題・ 【授業概要】 ・介護福祉士の役割 ・介護支援専門員の役割 ・介護保険法改正の流れおよび内容　ほか 【教科書ページ・参考文献】 p193～p217 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第4章の熟読 第１２回　　障害者自立支援制度①　〔障害者の自立、障害者自立支援制度創設の目的と動向〕 【key words】 自立・障害者自立支援制度・障害者総合支援法 【授業概要】 ・障害者の自立と障害者自立支援制度の目的 ・障害者福祉施策の動向 【教科書ページ・参考文献】 p219～p237 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第4章の熟読 第１３回　　障害者自立支援制度②　〔障害者自立支援制度のしくみ〕 【key words】 自立支援給付・地域生活支援事業・障害者総合支援法・応能負担 【授業概要】 ・障害者自立支援制度の概要 ・障害者総合支援法における障害者の定義 ・利用手続き ・介護保険制度と障害者自立支援制度の関係 【教科書ページ・参考文献】 p238～p255 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第4章の熟読 第１４回　　障害者自立支援制度③　〔障害者自立支援制度にかかわる組織およびその役割、障害者福祉施策のゆくえ〕 【key words】 国民健康保険団体連合会・運営適性化委員会・成年後見制度 【授業概要】 ・国、都道府県、市町村の基本的役割 ・指定サービス事業者の役割 ・その他の機関　ほか 【教科書ページ・参考文献】 p256～p272 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第5章の熟読 第１５回　　前期総括〔重要事項の再確認〕 【key words】 少子高齢化・社会保障・社会保険 【授業概要】 ・法制度を中心とした重要事項の確認 【教科書ページ・参考文献】 該当ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テスト及び教科書の再確認 第１６回　　オリエンテーション　〔前期試験に関する事項についての伝達、前期の振り返りおよび後期授業について〕 【key words】 社会保険制度 【授業概要】 ・前期試験総括および重要事項の確認 ・後期授業の進め方等について 【教科書ページ・参考文献】 前期事項該当ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 前期授業該当箇所および第5章の熟読 第１７回　　介護実践に関わる諸制度①　〔人々の権利を擁護する諸制度<高齢者虐待防止法>〕 【key words】 日常生活自立支援事業・成年後見制度・高齢者虐待防止法 【授業概要】 ・サービスの利用にかかわる諸制度 ・高齢者虐待防止法　ほか 【教科書ページ・参考文献】 p273～p283 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第5章の熟読 第１８回　　介護実践に関わる諸制度②　〔人々の権利を擁護する諸制度<児童虐待防止法・障害者虐待防止法他>〕 【key words】 障害者虐待防止法・児童虐待防止法・DV防止法・障害者雇用率・個人情報保護 【授業概要】 ・障害者虐待防止法

		・児童虐待防止法 ・DV防止法 ・個人情報保護に関する制度　ほか 【教科書ページ・参考文献】 p284～p303 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第5章の熟読
	第１９回	介護実践に関わる諸制度③　〔保健医療にかかわる諸施策〕 【key words】 健康寿命・一次予防/二次予防/三次予防・特定健診/特定保健指導・精神障害 【授業概要】 ・健康日本21 ・生活習慣病予防のための施策 ・感染症、結核対策 ・精神保健対策　ほか 【教科書ページ・参考文献】 p304～p315 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第5章の熟読
	第２０回	介護実践に関わる諸制度④　〔医療にかかわる法と諸施策〕 【key words】 業・病院/診療所・業務独占/名称独占 【授業概要】 ・医療関係者に関する法制度 ・保健医療提供の施設に関する法制度 ・医療行為(業務独占と名称独占) 【教科書ページ・参考文献】 p316～p324 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第5章の熟読
	第２１回	介護実践に関わる諸制度⑤　〔生活を支える諸制度<生活保護制度：原理・原則他>〕 【key words】 生活保護制度・基本原理・基本原則・福祉事務所・申請 【授業概要】 ・生活保護制度 ・生活保護の原理、原則 ・生活保護の手続き 【教科書ページ・参考文献】 p325～p328 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第5章の熟読
	第２２回	介護実践に関わる諸制度⑥　〔生活を支える諸制度<生活保護制度：扶助の種類、被保護者の権利・義務他>〕 【key words】 審査請求前置主義・生活保護法改正 【授業概要】 ・扶助の種類および内容、支給方法 ・被保護者の権利、義務 ・不服申立て制度 ・制度の動向 【教科書ページ・参考文献】 p328～p332 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第5章の熟読
	第２３回	介護実践に関わる諸制度⑦　〔生活を支える諸制度<生活福祉資金貸付制度、その他の生活を支える制度>〕 【key words】 生活困窮者自立支援法・生活福祉資金貸付制度・災害救助法 【授業概要】 ・生活困窮者自立支援法 ・生活福祉資金貸付制度 ・その他の生活を支える制度 【教科書ページ・参考文献】 p332～p340 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第5章の熟読
	第２４回	介護実践に関わる諸制度⑧　〔高齢者・障害者の住生活を支援する諸制度〕 【key words】 特別養護老人ホーム・認知対応型共同生活介護・有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅・障害者支援施設・住宅改修 【授業概要】 ・ケアを必要とする高齢者の生活の場 ・ケアを必要とする障害者の生活の場 ・住環境整備　ほか 【教科書ページ・参考文献】 p341～p351 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・第5章の熟読
	第２５回	社会保険制度復習〔年金・医療〕 【key words】 国民年金・厚生年金・国民健康保険・健康保険・後期高齢者医療制度 【授業概要】

	・年金制度の概要 ・医療保険制度の概要 【教科書ページ・参考文献】 確認事項該当ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認 第２６回　　社会保険制度復習〔介護・雇用・労災〕 【key words】 介護保険・雇用保険・労働者災害補償保険 【授業概要】 ・介護保険制度の概要 ・雇用保険の概要 ・労働者災害補償保険の概要 【教科書ページ・参考文献】 確認事項該当ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認 第２７回　　確認テスト〔復習〕および解答解説　〔前期授業内容分〕 【key words】 介護保険制度 【授業概要】 ・確認テスト(前期授業内容分) ・解答解説 【教科書ページ・参考文献】 プリント配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テストの見直し・該当ページの再確認 第２８回　　確認テスト〔復習〕および解答解説　〔後期授業内容分〕 【key words】 生活保護制度・社会保障制度 【授業概要】 ・確認テスト(後期授業内容分) ・解答解説 【教科書ページ・参考文献】 プリント配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テストの見直し・該当ページの再確認 第２９回　　後期総括　〔重要事項の再確認〕 【key words】 高齢者虐待防止法・障害者虐待防止法・児童虐待防止法・DV防止法 【授業概要】 ・虐待防止法の要点確認　ほか 【教科書ページ・参考文献】 確認事項該当ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の再確認・熟読 第３０回　　授業総括　〔制度の要点概説〕 【key words】 介護保険法改正 【授業概要】 ・これまでの介護保険法改正について 【教科書ページ・参考文献】 確認事項該当ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の再確認・熟読・介護保険関係書籍の内容確認
受講生に関わる情報および受講のルール	私語は慎み、真摯な態度で授業に臨むこと。知識向上に向け、予習、復習を励行すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	本科目においては、日頃から新聞に目を通し、社会情勢、法・制度改正等に関する情報、状況把握に努めることが極めて大切なこととなる。知識を深めるためにも努力は怠らないこと。
オフィスアワー	月曜日〔14：20～17：30〕及び昼休み〔12：00～12：30〕
評価方法	定期試験〔80%〕・確認テスト〔20%〕
教科書	介護福祉士養成講座編集委員会編『社会と制度の理解』中央法規出版
参考書	福祉小六法、その他については、授業内で適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク

	■アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　ボランティア活動Ⅰ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	2単位(60)	必修
担当教員			
土屋　昭雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 　福祉専門職については、専門的知識、技術、価値観を修得することが極めて重要となる。こうしたことは、机上の学習に加え、現場での体験を通じ身に付け、備わっていくものである。本科目においては、施設等の現場での活動を通じ上記事項の修得、さらには、福祉専門職になるにあたって必要となるコミュニケーション能力を高めることを目的とする。 【到達目標】 ①本学におけるボランティア活動について理解する。 　②各自の計画に基づき目的意識を持ち積極的に活動する。 　③活動に対する考察・省察を行い、更なる自己研鑽に努める。
授業の概要	ボランティア活動Ⅰは、本学園の建学の精神を身につけるうえでの重要な科目として位置づけられている。活動の　意義・目的、これまでの本学園の取り組み、経緯等を理解したうえでボランティア活動の展開を図る。そこで、授業においては、講義はもとより、演習、グループワーク、事前・事後指導を行い進めていく。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	1．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	2．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	3．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 4．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	5．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　　前期オリエンテーション・ボランティアとは 【key words】 ボランティア活動・対人援助・自己実現・人間学 【授業概要】 ・授業の進め方、評価について ・ボランティアとは ・本学におけるボランティア活動について 【教科書ページ・参考文献】 ボランティア活動ハンドブック：巻頭言，p1～p3 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ボランティア活動ハンドブックの熟読 第２回　　本学におけるボランティア活動(ボランティア活動に向けた準備) 【key words】 ボランティア活動・継続ボランティア・依頼ボランティア・行事ボランティア・コミュニケーション能力・教育実践 【授業概要】 ・ボランティア活動の意義、目的 ・ボランティア活動の種類および原則 【教科書ページ・参考文献】 ボランティア活動ハンドブック：p4～p9 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・継続ボランティア活動先の検討 第３回　　ボランティア活動を始めるにあたって〔事務手続き・実施概要説明等〕① 【key words】 ボランティア活動・継続ボランティア・依頼ボランティア・地域連携センター・ボランティア委員会 【授業概要】 ・継続ボランティア開始手続き ・依頼ボランティア手続き

・これまでの活動およびガイドラインについての概説
【教科書ページ・参考文献】
板書にて説明
【課題・予習・復習・授業準備指示】
継続ボランティア活動先の検討・早期取り組みを指示

第４回　ボランティア活動を始めるにあたって〔事務手続き・実施概要説明等〕②
【key words】
継続ボランティア・依頼ボランティア・地域連携センター・・ボランティア活動記録簿
【授業概要】
・ボランティア活動に伴う諸手続き
（継続ボランティア・依頼ボランティア・関係書類の記載方法等）
【教科書ページ・参考文献】
ボランティア活動ハンドブック：p12～p19
【課題・予習・復習・授業準備指示】
継続ボランティア活動先の検討・早期取り組みを指示

第５回　ボランティア活動を始めるにあたって〔留意事項等〕③
【key words】
自己実現・連絡・責任
【授業概要】
・ボランティア活動実施上の留意事項
・ボランティア活動についてのグループワーク　ほか
【教科書ページ・参考文献】
ボランティア活動ハンドブック：p19～p21
【課題・予習・復習・授業準備指示】
ボランティア活動ハンドブックの熟読・教科書第1章および第2章の熟読

第６回　ボランティア概説①
【key words】
ボランティア・主体性・自発性・社会性・創造性・自己成長・NPO・問題解決・CSR(企業の社会的責任)
【授業概要】
・ボランティアとは何か
・ボランティア活動の現状と課題
【教科書ページ・参考文献】
教科書p1～p27
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認・教科書第3章および第4章の熟読

第７回　ボランティア概説②
【key words】
生涯学習・インフォーマルサービス・特定非営利活動促進法・阪神、淡路大震災・
【授業概要】
・ボランティアと現代社会
【教科書ページ・参考文献】
教科書p28～p44
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認・教科書第4章の熟読

第８回　ボランティア概説③
【key words】
コーディネート・企業社会貢献・NPO・ワークショップ
【授業概要】
・日本におけるボランティアの普及、推進の歩み
【教科書ページ・参考文献】
教科書p51～p71
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認・教科書第5章の熟読

第９回　ボランティア概説④
【key words】
問題解決力・自己実現・ソーシャルアクション・社会連帯意識
【授業概要】
・人と人とのかかわり　－児童・障害者・高齢者－
【教科書ページ・参考文献】
教科書p77～p91
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認・教科書第6章の熟読

第１０回　ボランティア概説⑤
【key words】
社会福祉協議会・地域社会・ネットワーク・ボランティアセンター・ソーシャルインクルージョン
【授業概要】
・地域社会のボランティア
【教科書ページ・参考文献】
教科書p92～p106
【課題・予習・復習・授業準備指示】
授業該当ページの再確認・教科書第7章の熟読

第１１回　ボランティア概説⑥
【key words】
環境・リサイクル・地球温暖化・持続可能な社会
【授業概要】
・環境とボランティア
【教科書ページ・参考文献】
教科書p107～p122
【課題・予習・復習・授業準備指示】

		授業該当ページの再確認・教科書第8章の熟読
	第１２回	ボランティア概説⑦ 【key words】 災害ボランティア・立場・役割 【授業概要】 ・災害ボランティア 【教科書ページ・参考文献】 教科書p123～p138 【課題・予習・復習・授業準備指示】 授業該当ページの再確認・継続ボランティア活動状況のまとめ
	第１３回	継続ボランティア活動個別発表① 【key words】 継続ボランティア・自己成長・モチベーション・コミュニケーション能力・積極性 【授業概要】 学生による個別発表(活動先種別・活動内容・学び・反省点・課題等) 【教科書ページ・参考文献】 学生による発表 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ボランティア活動の継続
	第１４回	継続ボランティア活動個別発表② 【key words】 継続ボランティア・自己成長・モチベーション・コミュニケーション能力・積極性 【授業概要】 学生による個別発表(活動先種別・活動内容・学び・反省点・課題等) 【教科書ページ・参考文献】 学生による発表 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ボランティア活動の励行
	第１５回	前期振り返り及びまとめ・行事ボランティアについての伝達 【key words】 継続ボランティア・依頼ボランティア・行事ボランティア 【授業概要】 ・前期総括(重要事項の再確認) ・障害者フライングディスク大会および障害者グラウンドゴルフ大会ボランティアについて 【教科書ページ・参考文献】 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ボランティア活動の励行・教科書等の再確認
	第１６回	後期オリエンテーション 【key words】 ボランティア活動・対人援助・自己実現・人間学・行事ボランティア 【授業概要】 ・後期授業の内容および進め方等について ・障害者フライングディスク大会および障害者グラウンドゴルフ大会ボランティアについての概要説明 【教科書ページ・参考文献】 プリント配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ボランティア活動の励行
	第１７回	行事ボランティア実施について 【key words】 ボランティア活動・対人援助・自己実現・人間学・行事ボランティア 【授業概要】 ・障害者フライングディスク大会および障害者グラウンドゴルフ大会ボランティアについて 〔留意事項・調整作業・諸連絡等〕 【教科書ページ・参考文献】 プリントによる説明 【課題・予習・復習・授業準備指示】 態度・取り組み姿勢・競技者(障害者)対応の徹底
	第１８回	グループ活動の実施に伴うグループ分けおよび作製物の検討 【key words】 グループワーク・意義/目的・参加度・協調性・情報共有・役割分担 【授業概要】 ・グループ活動の実施に伴うグループ分けおよび作製物の検討 【教科書ページ・参考文献】 適宜助言 【課題・予習・復習・授業準備指示】 協調性・計画性・効率性の考慮
	第１９回	グループにおける作業プロセスの明確化 【key words】 グループワーク・意義/目的・参加度・協調性・情報共有・役割分担 【授業概要】 ・グループワークによっての作業工程・必要物品・役割分担等の検討 【教科書ページ・参考文献】 適宜助言 【課題・予習・復習・授業準備指示】 協調性・計画性・効率性の考慮
	第２０回	行事ボランティア振り返り 【key words】 ボランティア活動・対人援助・自己実現・人間学・行事ボランティア・考察/省察 【授業概要】 ・障害者フライングディスク大会および障害者グラウンドゴルフ大会ボランティアの振り返り

	（考察・省察） 【教科書ページ・参考文献】 用紙配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 参加態度、取り組み姿勢、自身の言動についての再考
	第２１回　活動計画に基づいたグループワーク① 【key words】 グループワーク・意義/目的・参加度・協調性・情報共有・役割分担・安全面への配慮 【授業概要】 ・施設に提供する物品の作成 【教科書ページ・参考文献】 適宜助言 【課題・予習・復習・授業準備指示】 協調性・計画性・効率性の考慮
	第２２回　活動計画に基づいたグループワーク② 【key words】 グループワーク・意義/目的・参加度・協調性・情報共有・役割分担・安全面への配慮 【授業概要】 ・施設に提供する物品の作成 【教科書ページ・参考文献】 適宜助言 【課題・予習・復習・授業準備指示】 協調性・計画性・効率性の考慮
	第２３回　活動計画に基づいたグループワーク③ 【key words】 グループワーク・意義/目的・参加度・協調性・情報共有・役割分担・安全面への配慮 【授業概要】 ・施設に提供する物品の作成 【教科書ページ・参考文献】 適宜助言 【課題・予習・復習・授業準備指示】 協調性・計画性・効率性の考慮
	第２４回　活動計画に基づいたグループワーク④ 【key words】 グループワーク・意義/目的・参加度・協調性・情報共有・役割分担・安全面への配慮 【授業概要】 ・施設に提供する物品の作成 ・進捗状況の確認 【教科書ページ・参考文献】 適宜助言 【課題・予習・復習・授業準備指示】 協調性・計画性・効率性の考慮
	第２５回　活動計画に基づいたグループワーク⑤ 【key words】 グループワーク・意義/目的・参加度・協調性・情報共有・役割分担・安全面への配慮 【授業概要】 ・施設に提供する物品の作成 【教科書ページ・参考文献】 適宜助言 【課題・予習・復習・授業準備指示】 協調性・計画性・効率性の考慮
	第２６回　活動計画に基づいたグループワーク⑥ 【key words】 グループワーク・意義/目的・参加度・協調性・情報共有・役割分担・安全面への配慮 【授業概要】 ・施設に提供する物品の作成 【教科書ページ・参考文献】 適宜助言 【課題・予習・復習・授業準備指示】 協調性・計画性・効率性の考慮
	第２７回　グループワーク振り返り 【key words】 グループワーク・意義/目的・参加度・協調性・情報共有・役割分担・安全面への配慮・考察/省察 【授業概要】 ・グループワーク振り返り（考察・省察） 【教科書ページ・参考文献】 用紙配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 グループワークの意義・目的の再確認
	第２８回　製作物に関するグループ発表 【key words】 グループワーク・意義/目的・参加度・協調性・情報共有・役割分担・安全面への配慮 【授業概要】 ・製作物に関するグループ発表 （作製物・作業段階における考察、省察等について） 【教科書ページ・参考文献】 グループ発表による 【課題・予習・復習・授業準備指示】 グループワークを通じての自身の振り返りの励行
	第２９回　年間を通じてのボランティア活動に対するふりかえり

	【key words】 ボランティア活動・継続ボランティア・依頼ボランティア・行事ボランティア・コミュニケーション能力・教育実践 【授業概要】 ・年間を通じてのボランティア活動に対するふりかえり 【教科書ページ・参考文献】 用紙配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ボランティア活動の励行 第３０回　　授業総括 【key words】 ボランティア活動・対人援助・自己実現・人間学・ボランティア活動・継続ボランティア・依頼ボランティア・行事ボランティア・コミュニケーション能力・教育実践 【授業概要】 ・授業総括 ・ボランティア活動記録簿の確認　ほか 【教科書ページ・参考文献】 プリント配布 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ボランティア活動の励行
受講生に関わる情報および受講のルール	いうまでもなく、誠意、責任をもって真剣に活動すること。また、ボランティア活動を通じて知り得た個人及び施設等の情報については、絶対に漏らさないこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	継続・依頼・行事各ボランティアに対する事前学習を行い、積極的に参加すること。
オフィスアワー	月曜日〔14：20～17：30〕及び昼休み〔12：00～12：30〕
評価方法	レポート〔70%〕、ボランティア活動状況〔30%〕
教科書	ボランティア活動ハンドブック　/　柴田謙治・原田正樹・名賀亨編　『ボランティア論　～「広がり」から「深まり」へ～』　みらい
参考書	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　コミュニケーション技術　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	4単位(60)	介護福祉士国家試験受験資格を得るための指定必須科目
担当教員			
清水　久二雄			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	〔授業の目的〕 ・「人は社会的動物」と言われるように、我々は常に誰かと直接的及び間接的な携りの中で生活しています。そのためコ　ミュニケーションに関わる障害が出現する事は、多くの生活のしづらさに直面することが考えられます。しかし一方で 　コミュニケーションの方法は言語的なものに留まらす、多岐に渡ります。本講義はコミュニケーションの基礎を講義と 　演習をベースとして体験的に学び、コミュニケーションの技法やコミュニケーション障害のアセスメントに基づいたコ　ミュニケーションの支援方法や今後の未来型のコミュニケーションの可能性について創造的に学んでいくことを目的と 　しています。 〔到達目標〕 ①コミュニケーションとは何かについて基礎的な理解ができる。 ②コミュニケーションの支援の方法を知識として理解し、且つその知識を実践する事ができる。 ③コミュニケーションに関わる障害をアセスメントし根拠に基づいたかかわりの支援ができる。 ④複数のメンバーと協働できるための、チームのメンバーとしてのスキルを体現することができる。 ⑤様々な利用者の状況に応じて最適なコミュニケーションが行えるように支援方法を創造することができる。
授業の概要	・授業は講義形式で行うが、グループディスカッション、ワークシート作成、視覚教材、作業、ロールプレイなどの演習 　も合わせて行う。 ・実習ではプロセスレコードが課題となっているので本講義でトレーニングすることを予定している。 ・自らの考え方もしっかり示しつつも、他者の考え方やしっかり聴くことも学びの一環であると認識しているため、それ 　らをしっかりと受け止めること

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	1．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	2．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	3．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 4．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	5．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　ガイダンス　コミュニケーションとは何か　（コミュニケーションの送受と雑音） 〈キーワード〉　コミュニケーション　チャンネル　メッセージ　送受信　雑音 〈テキスト〉　テキスト　P2～10 〈授業概要〉 ・コミュニケーション技術とは何を学ぶ科目を授業概要とテキストを使用して説明する。初回の授業ではメッ 　セージを送受信している事について、コミュニケーションを分割し演習を通して日常的なメッセージの送受 　について学ぶ。 〈復習・予習〉　テキストP2～10の復習を行うこと。次回P10～28までの予習を行うこと。 第２回　コミュニケーションの基本　（自己覚知、ジョハリの窓） 〈キーワード〉　ジョハリの窓　自己覚知 〈テキスト〉　テキスト　P10～15 〈授業概要〉 ・前回のメッセージの送受を受けて、自分自身がどのように相手にメッセージを送っているのかについて、

		ジョハリの窓を引用し、コミュニケーションエラーが生じるおそれがある事を体験を通じて学ぶ。そのため に自らの態度や感情に気付くことの意義について学ぶ。 〈復習・予習〉　P10～15までの復習を行うこと。　次回 P15～27の予習を行うこと。
	第３回	コミュニケーションの裁断　（自己開示と自己顕示とは） 〈キーワード〉　自己顕示　自己呈示 〈テキスト〉　テキスト　P15～27 〈授業概要〉 ・前回の授業を通して、他者を共感的に理解をするために自己開示、自己呈示が必要な場面があるが、そのポ　イントは何かについて、演習を通じて学ぶ。 〈復習・予習〉　次回 P15～27の復習を行うこと。　次回P28～37を予習しておくこと。
	第４回	介護におけるコミュニケーションの役割①　（ＳＯＬＡＲとは） 〈キーワード〉　関係の構築　関心　SOLAR 〈テキスト〉　テキスト　P15～27 〈授業概要〉 ・前回の学びから、支援者として利用者・家族とのかかわりの中で関係を構築する上で、望ましい基本的な態 度の姿勢である、ＳＯＬＡＲという基本的スタンスの考え方を体験を通じて学ぶ。 〈復習・予習〉　次回 P15～27の復習を行うこと。　次回P28～37を予習しておくこと。
	第５回	介護におけるコミュニケーションの役割②　（関心と3つの段階） 〈キーワード〉　関心　他者の関心　自己の関心 〈テキスト〉　テキスト　P41～50 〈授業概要〉 ・支援者と利用者の良好な関係構築のためには他者の関心に関心を寄せることが重要であることと、そのため には自分自身が抱く関心を知覚する必要があるが、それらを体験を通して学び、その前提で様々な状況で求 められる支援者の態度についてふりかえりながら学びを深めていく。 〈復習・予習〉　P41～50の復習をしておくこと。　次回　P52～60の復習を行うこと。
	第６回	話しを聴く技法とは①　（傾聴とは） 〈キーワード〉　聴く　傾聴　3段階　良い聞き手　情景化 〈テキスト〉　テキスト　P52～60 〈授業概要〉 ・コミュニケーション技術においては良い聴き手となる事が求められる。傾聴には3つの段階が存在している 事を演習をつうじながら学ぶ。さらには相手の話をよりきめ細かく了解するために「情景化」する事を学 ぶ。 〈復習・予習〉　P52～60の復習を行うこと。次回　P61～64の予習を行うこと。
	第７回	話しを聴く技法とは②　（傾聴の3つの段階） 〈キーワード〉　傾聴の3つの段階　察する　共鳴　共感 〈テキスト〉　テキスト　P61～64 〈授業概要〉 ・　前回授業の振り返りである傾聴の3つの段階を演習をつうじながら学ぶ。その基で「察する」とは「共 鳴」とは　「共感」とはそれぞれの違いについてディスカッションを通じて学ぶ。 〈復習・予習〉　P61～64の復習を行うこと。　次回　P93～104の復習を行うこと。
	第８回	話しを聴く技法とは③　（バイスティックの7つの原則とは） 〈キーワード〉　バイスティックの7つの原則 〈テキスト〉　テキスト　P93～104 〈授業概要〉 ・ソーシャルワーカーが相談・助言でクライエントとの信頼関係構築に用いる「バイスティックの7つの原 則」に触れ、関係構築する上で大切な支援方法について学ぶ。 〈復習・予習〉　P93～104の復習を行うこと。P64～71の予習を行うこと。
	第９回	話しを聴く技法とは④　（共感　第1次共感と第2次共感） 〈キーワード〉　第一次共感　第二次共感 〈テキスト〉　テキスト　P64～71 〈授業概要〉 ・前回の授業で学んだバイスティックの7つの原則にある「意図的な感情表出」、「統制された情緒的関与」 の支援を良好にするために共感とは何かについて演習を通じて学んでいく。 〈復習・予習〉　P64～71の復習を行うこと。
	第１０回	利用者の納得と同意を得る技法①　（明確化、焦点化、要約、直面化　とは） 〈キーワード〉　明確化　焦点化　要約　直面化　リフレーミング 〈テキスト〉　テキスト　P72～77 〈授業概要〉 ・前回の共感の学びから、利用者自身が自らの意思や思いに気付くためのサポートとして、納得と同意を得る　ための技法である「明確化」、「焦点化」、「要約化」、「直面化」について演習を通して学ぶ。 〈復習・予習〉　P72～77の復習を行うこと。　日常の場面のやりとりを抽出し「明確化」、「焦点化」、 「要約化」、「直面化」を次回までに書き出しておくこと
	第１１回	利用者の納得と同意を得る技法②　（明確化、焦点化、要約、直面化　の演習） 〈キーワード〉　明確化　焦点化　要約　直面化 〈テキスト〉　テキスト　P77～80 〈授業概要〉 ・前回授業で行った「明確化」・「焦点化」・「要約化」・「直面化」について個人で考えたものを仲間と共 有し、これらが日常生活の中で行われる様々な場面とその活用の方法について考えていく。 〈復習・予習〉　P77～80までの復習を行うこと。今回の授業で行った演習を振り返りを行うこと。

第１２回　質問紙をつくって見よう。①　（会話の半構造化、非構造化）
〈キーワード〉　質問　会話の半構造化　非構造化
〈テキスト〉　テキスト　P81～88
〈授業概要〉
・利用者の思いを引き出したり、自己決定、自身の状態の知覚など、効果的な質問の技法は重要であるが、そ
れらを含めて、質問する意義・役割・種類について学ぶ。また質問の内容をどのように組み立てのかについ
て演習を通じて学ぶ
〈復習・予習〉 P77～80までの復習を行うこと。今回の授業で行った演習を振り返りを行うこと。

第１３回　質問紙をつくって見よう。②　インタビュー演習
〈キーワード〉　質問　会話の半構造化　非構造化
〈テキスト〉　テキスト　P81～88
〈授業概要〉
・利用者の思いを引き出したり、自己決定、自身の状態の知覚など、効果的な質問の技法は重要であるが、そ
れらを含めて、質問する意義・役割・種類について学ぶ。また質問の内容をどのように組み立てのかについ
て演習を通じて学ぶ
〈復習・予習〉 P77～80までの復習を行うこと。今回の授業で行った演習を振り返りを行うこと。

第１４回　プロセスレコード　演習①
〈キーワード〉　プロセスレコード　主観　客観　間主観　叙述
〈テキスト〉　「人間関係とコミュニケーション」（建帛社）　P123～128
〈授業概要〉
・身近な人からインタビューを行ったものを基に、プロセスレコードの意義・目的について学ぶ。さらにプロ
セスレコードをどのように活用するのかを演習を通じて学ぶ。配布したプロセスレコードのワークシートに
作成してみる。
〈復習・予習〉 「人間関係とコミュニケーション」（建帛社） P123～128　配布したワークシートを作成す
る。過程叙述体による記載のまとめ。

第１５回　プロセスレコード　演習②
〈キーワード〉　プロセスレコード　叙述体　バーバル　ノンバーバル　考察
〈テキスト〉　「人間関係とコミュニケーション」（建帛社）　P123～128
〈授業概要〉
・前回の授業で配布したロセスレコードのワークシートを使用する。特に過程叙述体で書かれている間の自分
と他者の間のノンバーバル部分の状態を振り返って観察したことをまとめたり、それらの記述全般をみてど　のように考察できたかなどについて演習を行う。
〈復習・予習〉 「人間関係とコミュニケーション」（建帛社） P123～128　配布したワークシートを作成す
る。過程叙述体による記載のまとめ。

第１６回　後期ガイダンス　実習のプロセスレコードの振り返り
〈キーワード〉　プロセスレコード　考察
〈テキスト〉　「人間関係とコミュニケーション」（建帛社）　P123～128
〈授業概要〉
・後期の授業の進め方について説明する。その後、実習で行ったプロセスレコードの振り返りをグループワー
クを通して学ぶ。
〈復習・予習〉 「人間関係とコミュニケーション」（建帛社） P123～128　実習で行ったプロセスレコー
ドの振り返りを行う。

第１７回　複数の利用者がいる場面でのコミュニケーション①　（メイポール、ラウンドロビン）
〈キーワード〉　意欲　メイポール　ラウンドロビン
〈テキスト〉　テキスト　P105～112
〈授業概要〉
・利用者の意欲を引き出す技法について学ぶ。その後演習として複数の利用者がいる場面でのコミュニケー
ション技法のメイポール、ラウンドロビンのように発言する機会が均等にあったり、グループでの影響力が
特定の誰かに集中しないように運営するための方法について演習を通して学んでいく。
〈復習・予習〉 P105～112の復習を行うこと。　次回　P113～120の予習を行うこと。

第１８回　複数の利用者がいる場面でのコミュニケーション②　（ホットシート、フリーフローティング）
〈キーワード〉　意向　意向の違い　ホットシート　エンプティチェア　フリーフローティング
〈テキスト〉　テキスト　P105～112
〈授業概要〉
・利用者と家族の意向を調整する技法について学ぶ。その後演習として複数の利用者がいる場面でのコミュニ
ケーション技法のホットシート・フリーフローティングを演習を通して学んでいく。
〈復習・予習〉 P113～120の復習を行うこと。　次回　P136～140の予習を行うこと。

第１９回　コミュニケーション障害の理解とアセスメント
〈キーワード〉　コミュニケーションの過程　コミュニケーションの障害　原因　理解する視点
〈テキスト〉　テキスト　P136～140
〈授業概要〉
・コミュニケーション障害の定義・原因・理解について学ぶ。またコミュニケーションの障害を理解するため
の視点としてどのようなものがあるのかについて考え、それらに対してどのような支援が必要

なのかを学
ぶ。
〈復習・予習〉 P136～140の復習を行うこと。　　次回　P140～147の予習を行うこと。

第２０回　吃音のある人とのコミュニケーション
〈キーワード〉　脳の機能　吃音　アセスメント
〈テキスト〉　テキスト　P140～147
〈授業概要〉
・コミュニケーションの障害についての分類において、脳の損傷によるものとそうでないものとに大きく大別
できる事を学ぶ。また分類上難しい吃音のある人とのコミュニケーションを取り上げ、コミュニケーション
の障害について考えていく。
〈復習・予習〉 P140～147の復習を行うこと。　次回　P148～152　　P152～153　156～157の予習を行うこと。

第２１回　先天性脳損傷型①　成長・発達を支えるコミュニケーション①（肢体不自由児コミュニケーション学習について）
〈キーワード〉　肢体不自由児　　コミュニケーション学習　　言語発達　　発育
〈テキスト〉　テキスト　P148～152　　P152～153　　156～157
〈授業概要〉
・先天性脳損傷型として肢体不自由児が学校教育に取り入れているコミュニケーション学習を通して成長・発
達を支えるコミュニケーションについて学ぶ
〈復習・予習〉 P152～153　　156～157の復習を行うこと。　次回　P187～191の予習を行うこと。

第２２回　先天性脳損傷型②　成長・発達を支えるコミュニケーション②（知的障害児シンボルコミュニケーションを考える）
〈キーワード〉　シンボルコミュニケーション　　エコラリア　　クレーン現象
〈テキスト〉　テキスト　P187～191
〈授業概要〉
・先天性脳損傷型として肢体不自由児が学校教育に取り入れているコミュニケーション学習を通して成長・発
達を支えるコミュニケーションについて学ぶ。特に今回は知的障害のある人へのシンボルコミュニケーショ　ン学習・伝達などを通して伝わりやすさや、言語を使用できる機会を演習の中から学ぶ。
〈復習・予習〉 P152～153　　156～157の復習を行うこと。　次回　P187～191の予習を行うこと。

第２３回　先天性脳損傷型③　成長・発達を支えるコミュニケーション③（発達障害児　社会的適応力について考える）
〈キーワード〉　シンボルコミュニケーション　　エコラリア　　クレーン現象
〈テキスト〉　テキスト　P187～191
〈授業概要〉
・先天性脳損傷型として肢体不自由児が学校教育に取り入れているコミュニケーション学習を通して成長・発
達を支えるコミュニケーションについて学ぶ。特に今回は知的障害のある人へのシンボルコミュニケーショ　ン学習・伝達などを通して伝わりやすさや、言語を使用できる機会を演習の中から学ぶ。
〈復習・予習〉 P152～153　　156～157の復習を行うこと。　次回　P187～191の予習を行うこと。

第２４回　非脳損傷型①　　豊かなコミュニケーション①（視力障害のある人のコミュニケーションを考える
〈キーワード〉　非脳損傷型　ロービジョン　カラーユニバーサルデザイン
〈テキスト〉　テキスト　P148～152　P153～154　P157～159　P179～181
〈授業概要〉
・非脳損傷型のタイプの場合は機能低下によるコミュニケーションしづらさの出現も考えられるが、周囲の環
境を整える支援の学びのために、ロービジョンやカラーユニバーサルデザインの視点に考えるためにそれら　に配慮したポスターづくりの演習を行う。
〈復習・予習〉 P153～154　P157～159　P179～181の復習を行うこと。　次回 P182～187を予習してお
くこと。

第２５回　非脳損傷型②　　豊かなコミュニケーション②（聴力障害のある人とのコミュニケーションを考える
〈キーワード〉　第一言語　　情緒的発達　　思考
〈テキスト〉　テキスト　P148～152　P153～154　P157～159　P179～181
〈授業概要〉
・非脳損傷型として聴力障害のある人とのコミュニケーションについて第一言語の課題、手話のユニバーサル
化などについて討議しながら学んでいく。
〈復習・予習〉 P153～154　P157～159　P179～181の復習を行うこと。　次回 P182～187を予習してお
くこと。

第２６回　後天性脳損傷型（認知症）①　認知症のある人とのコミュニケーションを考える。
〈キーワード〉　ケアパートナー　スピリチュアリティ　孤独　不安　葛藤
〈テキスト〉　テキスト　P148～152　P154～156　P158～159　P171～175
クリスティーンブライデン　講演DVD
〈授業概要〉
・認知症のある人とのコミュニケーションについて、当事者であるクリスティーン・ブライデンの講演DVDか
ら当事者がどのような心境で生活しどのようなサポートを望んでいるのかについて思いを抽出しワークシー
トにまとめる。その後ワークシートの内容を仲間と共有し学びを深めていく。
〈復習・予習〉 P153～154　P157～159　P179～181の復習を行うこと。　次回 P182～187を予習し

	てお くこと。 第２７回　後天性脳損傷型（認知症）②　認知症のある人とのコミュニケーションの実践　（バリデーション） 〈キーワード〉　バリデーションケア　14のテクニック　4つのステージ 〈テキスト〉　テキスト　P148～152　P154～156　P158～159　P171～175 〈授業概要〉 ・前回の認知症のある当事者の心理的な了解をベースに、ナオミ・フェイルが提唱したバリデーション・ケア による認知症のある人とのコミュニケーションについて演習しながら学ぶ。 〈復習・予習〉 事例に対応する具体的なコミュニケーション方法についての課題を次回の授業までに仕上げてくること 第２８回　後天性脳損傷型　（高次脳機能障害）とのコミュニケーションの実践 〈キーワード〉　遂行機能　社会的行動障害　感情コントロール　失語・失認・失行 〈テキスト〉　テキスト　P148～152　P154～156　P158～159　P161～164 〈授業概要〉 ・後天性脳損傷型として高次脳機能障害のある人とのコミュニケーションの実践を学ぶ。特に環境の構造化、 具体的な伝達の配慮などについての支援内容の検討をグループ学習で行う。 〈復習・予習〉 P161～164　の復習を行うこと。次回行うP242～257を予習すること。 第２９回　報告・連絡・相談　（インシデントレポートとアクシデントレポート） 〈キーワード〉　報告　連絡　相談　インシデント　アクシデント　ハインリッヒの法則 〈テキスト〉　テキスト　P242～257 〈授業概要〉 ・チームのコミュニケーションをテーマでその基本となる　報告・連絡・相談の意義・目的について学び、具 体的な伝達方法、どのようにチーム内でのコミュニケーションを実践するのが望ましいかを演習を通して学 ぶ。 〈復習・予習〉 次回行うP242～257を予習すること。　次回　P200～235を予習すること。 第３０回　チームのコミュニケーション・会議の進め方について 〈キーワード〉　情報共有　会議　シナジー　相互依存関係 〈テキスト〉　テキスト　P200～235 〈授業概要〉 ・チームのコミュニケーションとしてどのように会議をすすめるのがよいか、会議の進め方・情報の共有方法 について学ぶ。また1年間の授業のまとめとして、学生自身が成長したことと、今後の課題について振り返 る。 〈復習・予習〉 学生個々人の自らの能力を知覚し、自身の対人援助の強みは何か、配布したシートに書き起 こして欲しい。
受講生に関わる情報および受講のルール	・挨拶や態度などの普段の取り組みが大切であると考えているため、まず人の言葉に耳を傾けるという姿勢がコミュニ ケーションの基本である発声した言葉を大切にし耳を傾けるトレーニングのために口頭での指示は原則1回とする。 ・声量のない人や発声されない声をとらえるトレーニングのために必要以上に大きな声で授業はしないため私語を慎むこ　と ・非言語的コミュニケーションを大切にするため、様々な所作を行動にあらわすように机、椅子の整頓や消しゴムのカス など授業終了後には毎回実施すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	シャトルカード、ワークシート、レポート
授業外時間にかかわる情報	・介護実習ではプロセスレコードの作成があるため、コミュニケーションの内容を日常的に記録することが望ましい。 またそうすることによって自らのコミュニケーションを可視化する事ができる。 ・授業で行った内容は即時にフィードバックすることにより、そのスキルは向上する。そのため仲間同士でロールプレイ　する事やボランティア活動や実習などの実践で学びの成果は大きくんると考えられる。 ・AI、モバイル端末など様々ツールの活用によりコミュニケーションの新たな可能性や広がりも考えられる一方でアクセ　シビリティなどの課題も出現するため、常にそれらについて考えて欲しい。
オフィスアワー	初回授業時に予定表を配布し
評価方法	定期試験　70%　授業の態度（グループワークの取り組みなど）20%　授業時の課題等　10%
教科書	「新・介護福祉士養成講座　コミュニケーション技術」　中央法規
参考書	介護福祉士養成テキスト　3　「コミュニケーション技術」　日本介護福祉士養成施設協会
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 老人保健施設で5年弱　介護職員・レクリエーションワーカー、特別養護老人ホームで、19年間、介護職員、短期入所生活介護の担当、介護長、施設介護支援専門員に従事する。 高齢者施設であり認知症、内部障害のある利用者の支援をはじめ、老人保健施設では身体障害のある人(運動機能障害、高次脳機能障害、視覚障害、聴覚など)、また特別養護老人ホームでは精神障害、知的障害などの支援を行った。また障害のある人の就業の支援も同法人で支援してきた。

	アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　手話　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1単位(30)	介護福祉コース・
担当教員			
2019年度休講			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	■授業の目的 １．視覚言語である「手話」の基本を習得することで、コミュニケーション、伝えることの大切さを身につける。 ２．聴覚障害者の生活・歴史・福祉などを学ぶことにより、外見ではわかりにくい聴覚障害の抱える問題について考え、認識する。 ■到達目標 ・聴覚障害者とのコミュニケーションのしかた、日常生活程度の手話を身につける。 ・聴覚障害の種類、個人に合ったコミュニケーションで接することができる。 ・聞こえない障害を理解し、状況に応じた支援ができる。
授業の概要	講義　聴覚障害の基礎知識、障害に起因する諸問題、聴覚障害者の生活とコミュニケーション・聴覚障害者の福祉制度や社会資源の利用。 実技　聴覚障害者とコミュニケーションしながら、手話の基礎知識、聴覚障害者とのコミュニケーション方法を学ぶ。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回　講義：ガイダンス・手話を学ぶにあたって 実技：（テキスト第１・２講座）　イメージ表現・指文字 第２回　講義：耳のしくみ（耳の働き、聞こえのしくみ） 実技：（テキスト第３講座）自己紹介（あいさつ・名前） 第３回　講義：ろう者（聞こえない人）とのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ 実技：（テキスト第４・５講座）家族の紹介・数字の表現 第４回　講義：聞こえない人の生活１「DVDわたしの大切な家族」 実技：（テキスト第６講座）趣味について話しましょう 第５回　講義：聞こえない人の生活２「DVDわたしの大切な家族」 実技：（テキスト第７講座）仕事について話しましょう 第６回　講義：手話の基礎知識 実技（テキスト第８講座） 住所の紹介 第７回　講義：聴覚障害の基礎知識　（聴力検査・身体障害者等級） 実技：（テキスト第９・１０講座）自己紹介まとめ、時制①（時間の表現・一日のことを話す。） 第８回　講義：ことばの発達と獲得 実技：（テキスト第１１講座）時制②（１ヶ月のことを話す。曜日の表現） 第９回　講義：補聴器・人工内耳 実技：（テキスト第１２講座）時制③（一年のことを話す。四季、年中行事） 第１０回　体験学習（ろう者との交流による会話実践）

	第１１回　講義：聴覚障害者とバリアフリー 実技：（テキスト第１３講座）パーティのことを話しましょう。（数に関する会話の実践） 第１２回　講義：高齢聴覚障害者の介護と社会資源 実技：（テキスト第１４講座）旅行のことを話しましょう。（これまでの疑問詞のまとめ） 第１３回　講義：聴覚障害者の福祉制度 実技：（テキスト第１５講座）病院のことを話しましょう。（手話の強弱、表情） 第１４回　講義：手話の広がり（サークル・手話言語条例） 実技：（テキスト第１７講座）職場のことを話しましょう。（いろいろな方法で伝えましょう） 第１５回　実技：手話で話そう（個人発表）
受講生に関わる情報および受講のルール	・ろう講師は視覚から情報を得るため、受講生は手や顔が見やすいように服装（そでの長さ）、髪型に注意する。 ・実技は、ろう講師と視線を合わせてから会話する。 ・各自復習をすること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	・ＮＨＫ（ＥＴＶ）「手話ニュース８４５」「ろうを生きる難聴を生きる」「みんなの手話」 ・各地域に手話サークルがある。（役所または社会福祉協議会へ問い合せ）
オフィスアワー	授業終了10分間
評価方法	筆記試験５０％　実技試験（読み取り・手話表現）５０％
教科書	手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう　一般財団法人全日本ろうあ連盟
参考書	わたしたちの手話学習辞典Ｉ　一般財団法人全日本ろうあ連盟
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　デンタルアテンダント　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2単位(60)	医療事務・秘書コース・
担当教員			
2019年度休講			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】　歯科基礎知識と共に診療の流れを理解し、検定取得を目的とする 【到達目標】　歯科基礎知識、診療の流れ、使用器具機材の名称、使用方法を理解し、デンタルアテンダント検定を取得し実務をスムーズに行えることを目標とする。また、滅菌、消毒、感染、スタンダードプレコーション（標準予防対策）の知識を得ることで自己防衛を理解する
授業の概要	教科書とパワーポイント画像により、たくさんの症例画像で学習し、実際の材料にて実習を行い、「アクティブ・ラーニング（能動的学修）」を通じ、コメディカルとしてのコミュニケーションも学びながら医療に携わる人格形成を体得していく。（２コマ続き授業です。また、習熟度状況により内容変更もあります）

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP）との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回	オリエンテーション・第１章受付の接遇とマナー・第２章紹介状等の宛名及び休診、休暇のお知らせの書き方
	第２回	第３章守秘義務について・第６章保険証の種類と歯科診療録１号用紙
	第３回	第４章感染と不潔域/清潔域・第５章廃棄金属や医療廃棄物の処理・第９章ユニット（診療台）まわり
	第４回	第10章準備、清掃について
	第５回	第７章歯牙、口腔の基礎知識・第８章齲蝕（虫歯）の進行と症状、治療方法第１４章バキュームテクニック・模擬試験対策
	第６回	第1回模擬試験
	第７回	第２２章印象採得から石膏模型の作製まで
	第８回	アルジネート練和・石膏注入実習①
	第９回	アルジネート練和・石膏注入実習②
	第１０回	石膏模型テスト（提出①）
	第１１回	第１１章クリニック内で使用する主な消毒液・第１２章診療の流れと診療室内での注意点
	第１２回	第１８章齲蝕や欠損部位の処置と補綴物の種類、各部の名称・第１９章歯内療法（根の治療）・第２１章切削器具とバーの種類
	第１３回	第１７章光重合CR充填・第２４章よく使用されるセメントについて・第２５章仮封用セメント、樹脂等
	第１４回	セメント実習

	第１５回　　アルジネート練和・石膏注入実習③ 第１６回　　セメント実習 第１７回　　アルジネート練和・石膏注入実習④ 第１８回　　石膏模型テスト（提出②） 第１９回　　第１５章歯石除去・第２６章ブラッシング、予防・第２７章齲蝕、歯周病検査の基本 第２０回　　第１５章歯石除去・第２６章ブラッシング、予防・第２７章齲蝕、歯周病検査の基本 第２１回　　第２回模擬試験 第２２回　　第１６章浸潤麻酔・第２０章外科処置・第２８章AED 第２３回　　第１３章歯科で用いるレントゲンについて・第２３章技工指示書の確認と使用単語、略語について 第２４回　　第２９章インストルメントと薬剤 第２５回　　第３０章診療内容別準備 第２６回　　第３０章診療内容別準備 第２７回　　総括・試験対策 第２８回　　総括・試験対策 第２９回　　修了試験 第３０回　　修了試験
受講生に関わる情報および受講のルール	講義、実習、試験を通して歯科診療の基本を理解し、就職につなげられるよう学習します。歯科に特化した内容が多いですが、コメディカルとしても通じる部分もあり全出席を原則とします。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	復習の定着化
オフィスアワー	授業時間前後、休憩時間
評価方法	検定の取得
教科書	院内業務マニュアルⅡ　歯科クリニック　デンタルアテンダンメインテキスト
参考書	最新歯科衛生士教本　歯科診療補助　他、授業内にて紹介
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ☐実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ☐協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ☐ディスカッション・ディベート ☐グループワーク ☐プレゼンテーション ☐実習、フィールドワーク ☐アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　医療関係法規概論　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年次	4単位(60)	必修
担当教員			
柳澤　充			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療秘書が医師の補佐役として、日常的な業務を遂行していくための医療関係法規を理解することを目的とする。 【到達目標】 医療関係法規の分類について理解し、説明することができる。保健医療提供体制に関する法規、保健衛生対策に関連する法規、医薬品・医療機器等に関連する法規、保険・福祉に関連する法規、雇用・労働に関連する法規、生活衛生・環境保全に関連する法規、について理解し、説明することができる。各法規について、自主的に学び、他者に説明することができる。
授業の概要	医療関係法規とは何か、保健医療提供体制に関する法規、保健衛生対策に関連する法規、医薬品・医療機器等に関連する法規、保険・福祉に関連する法規、雇用・労働に関連する法規、生活衛生・環境保全に関連する法規、について学ぶ。適宜、学生による調べ学習の発表を行い、学生同士の相互理解を促していく。学習内容は、診療情報管理士にも必要な知識である。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画

第１回　オリエンテーション

【key words】
医療関係法規
【授業概要】
講義の受け方、予習・復習の仕方について説明する。評価方法について説明する。

【教科書ページ・参考文献】
テキスト目次
【課題・予習・復習・授業準備指示】

テキスト目次に目を通し、講義のイメージを持つこと

第２回　医療関係法規とは何か、医療秘書がなぜ法律や制度を学ぶ必要があるのか、医療秘書と法律とのかかわり

【key words】
医療関係法規、医療秘書と医療関係法規の関係性

【授業概要】
医療秘書は、医療関係法規を十分に理解し、その改正の動向を常に把握し、医師や医療関係機関内の各部門の情報を提供することも重要な役割であることを学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
テキストP222～P223（第1章医療関係法規とは）

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第３回　医療関係法規とは、法規の概念、医療関係法規について

【key words】

		法規の概念、医療法規 【授業概要】 法規の概念について学ぶ。医療法規の分類について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 テキストP223～P227（第1章医療関係法規とは） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
	第４回	保健医療福祉に関連する行政のしくみ 【key words】 厚生労働省、地方公共団体、保健所、市町村保健センター 【授業概要】 保健医療福祉に関連する行政機関として厚生労働省、地方公共団体、保健所、市町村保健センターがあることを知り、その役割を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 テキストP227～P228（第1章医療関係法規とは） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
	第５回	わが国の保健医療福祉行政の動向 【key words】 保健医療福祉の連携・一本化、地方分権、保健医療福祉行政 【授業概要】 保健医療福祉の連携・一本化について学ぶ。地方分権と保健医療福祉行政について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 テキストP229（第1章医療関係法規とは） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
	第６回	第2章保健医療提供体制に関連する法規、医療法 【key words】 医療法 【授業概要】 医療法における、医療提供の理念、定義、病院などの構造設備、病院などの管理、病床の種別と人員、諸記録、医療の安全確保、医療計画、地域医療連携推進法人などについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P230～P237（第1章医療関係法規とは） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
	第７回	医薬品、医療機器などの品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 【key words】 薬局、医薬品の販売業 【授業概要】 薬局、医薬品の販売業、について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 P237～P238（第1章医療関係法規とは） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
	第８回	臨床検査技師等に関する法律、地域保健法、災害時における保健医療に関係する主な法律 【key words】 臨床検査技師、地域保健法、保健所、地域保健センター、災害対策基本法、災害救助法 【授業概要】 臨床検査技師などに関する法律について学ぶ。地域保健法における保健所や地域保健センターの役割について学ぶ。災害対策基本法、災害救助法について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P239～P241（第1章医療関係法規とは） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

	第９回	保健医療提供の人材に関連する法規、医師法、歯科医師法、薬剤師法、保健師助産師看護師法、 【key words】 医師法、歯科医師法、薬剤師法、保健師助産師看護師法 【授業概要】 医師法、歯科医師法、薬剤師法、保健師助産師看護師法、それぞれに規定されている資格の任務と免許などについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P241～P244（第1章医療関係法規とは） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
	第１０回	医療関係者に関する法規、病院前救護体制の人材に関連する法規 【key words】 医療関係者に関する法規、病院前救護体制の人材に関連する法規 【授業概要】 医療関係者に関する法規としてどのような法律がありそれに基づいてどのような資格があるのかを学ぶ。病院前救護体制の人材に関連する法規について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P244～P250（第1章医療関係法規とは） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
	第１１回	第5章①保険・福祉に関連する法規、社会保険、医療保険 【key words】 社会保険の種類、医療保険 【授業概要】 社会保険の種類について学ぶ。医療保険に関する法律の概要を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P283～P289（第5章保険・福祉に関する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
	第１２回	雇用保険、労働者災害補償保険 【key words】 雇用保険、労働者災害補償保険 【授業概要】 雇用保険、労働者災害補償保険について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P284（第5章保険・福祉に関する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
	第１３回	医療保険に関する法律、健康保険法、国民健康保険法 【key words】 医療保険に関する法律、健康保険法、国民健康保険法 【授業概要】 健康保険法、国民健康保険法について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P284～P288（第5章保険・福祉に関する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
	第１４回	高齢者の医療の確保に関する法律 【key words】 高齢者の医療の確保に関する法律 【授業概要】 高齢者の医療の確保に関する法律について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P288～P289（第5章保険・福祉に関する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

	第１５回	介護保険法 【key words】 介護保険法 【授業概要】 介護保険法について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P289～P292（第5章保険・福祉に関する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
	第１６回	第3章保健衛生対策に関連する法規、健康づくり・疾病予防活動に関連する法規、 ①【key words】 地域保健法、健康増進法、食育基本法、労働安全衛生法、学校保健安全法、高齢者の医療の確保に関する法律 【授業概要】 地域保健法、健康増進法、食育基本法、労働安全衛生法、学校保健安全法、高齢者の医療の確保に関する法律について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P252～P257　（第3章保健衛生対策に関連する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
	第１７回	①感染症対策に関連する法規／②がん、その他の疾病対策に関連する法規 ①【key words】 感染症法、予防接種法、新型インフルエンザ等対策特別措置法、検疫法、狂犬病予防法 【授業概要】 感染症法、予防接種法、新型インフルエンザ等対策特別措置法、検疫法、狂犬病予防法について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P257～P265　（第3章保健衛生対策に関連する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 ②【key words】 がん対策基本法、がん登録等の推進に関する法律、難病医療法、児童福祉法、歯科口腔保健推進法、臓器移植法、再生医療法、肝炎対策基本法、原爆被爆者援護法 【授業概要】 がん対策基本法、がん登録等の推進に関する法律、難病医療法、児童福祉法、歯科口腔保健推進法、臓器移植法、再生医療法、肝炎対策基本法、原爆被爆者援護法について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P265～P271　（第3章保健衛生対策に関連する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。
	第１８回	①精神保健対策に関連する法規／②女性の健康に関連する法規 ①【key words】 精神保健福祉法、心神喪失医療観察法、自殺対策基本法 【授業概要】 精神保健福祉法、心神喪失医療観察法、自殺対策基本法について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P271～P274　（第3章保健衛生対策に関連する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 ②【key words】 母子保健法、母体保護法、優生保護法、男女雇用機会均等法、死産の届出に関する規定 【授業概要】 母子保健法、母体保護法、男女雇用機会均等法、死産の届出に関する規定について具体的な内容を学ぶ。優生保護法について学び、差別と人権侵害について考える。 【教科書ページ・参考文献】 P274～P277 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習

し、次回の予習を行うこと。

第１９回　①第5章2社会福祉に関連する法規、生活保護法／②社会福祉法、児童福祉法、老人福祉法

①【key words】
生活保護、保護の種類、医療扶助
【授業概要】
生活保護法について具体的に学ぶ。保護の8つの扶助について学ぶ。医療扶助について学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
P292（第5章保険・福祉に関連する法規）

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

②【key words】
社会福祉法、児童福祉法、老人福祉法

【授業概要】
社会福祉法、児童福祉法、老人福祉法について具体的に学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
P292～294（第5章保険・福祉に関連する法規）

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第２０回　①障害者基本法、障害者総合支援法／②その他の社会福祉法規

①【key words】
障害者基本法、障害者総合支援法
【授業概要】
障害者基本法、障害者総合支援法について具体的な内容を学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
P294～P295（第5章保険・福祉に関連する法規）

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

②【key words】
各障害者福祉法、各虐待防止法、戦傷病者特別援護法

【授業概要】
各障害者福祉法、各虐待防止法、戦傷病者特別援護法について具体的な内容を学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
P295～P298（第5章保険・福祉に関連する法規）

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第２１回　①医薬品等に起因する補償制度、薬害訴訟／②環境問題に起因する補償制度、公害訴訟

①【key words】
医薬品等に起因する補償制度、薬害訴訟

【授業概要】
医薬品等に起因する補償制度、薬害訴訟について具体的な内容を学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
P298～P299　（第5章保険・福祉に関連する法規）

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

②【key words】
環境問題に起因する補償制度、公害訴訟

【授業概要】
環境問題に起因する補償制度、公害訴訟について具体的な内容を学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
P300（第5章保険・福祉に関連する法規）

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第２２回　①第4章医薬品・医療機器等に関連する法規、医薬品医療機器等法／

①【key words】
医薬品医療機器等法

	【授業概要】 医薬品医療機器等法について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P278～P280（第4章医薬品・医療機器等に関連する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 第２３回　麻薬及び向精神薬取締法、その他の薬事法規、 【key words】 麻薬及び向精神薬取締法、その他の薬事法規 【授業概要】 麻薬及び向精神薬取締法、その他の薬事法規について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P280～P282（第4章医薬品・医療機器等に関連する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 第２４回　第6章雇用・労働に関連する法規 【key words】 労働基準法、育児介護休業法、男女雇用機会均等法、公益通報者保護法 【授業概要】 労働基準法、育児介護休業法、男女雇用機会均等法、公益通報者保護法について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P301～P303（第6章雇用・労働に関連する法規） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 第２５回　第7章生活衛生・環境保全に関連する法規 【key words】 食品衛生に関連する法規、生活環境整備に関連する法規、環境保全に関連する法規、環境衛生関係営業に関連する法規 【授業概要】 食品衛生に関連する法規、生活環境整備に関連する法規、環境保全に関連する法規、環境衛生関係営業に関連する法規について具体的な内容を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P304～P307 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 第２６回　診療情報管理士と医療関係法規 診療情報管理士と医療関係法規の関係を理解する 【教科書ページ・参考文献】 診療情報管理Ⅲ 第２７回　医療資源 ①物的資源（「もの」）②人的資源（人）③財的資源（お金）④情報資源について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 診療情報管理Ⅲ 第２８回　医療の需要と供給 ①人口の推移②医療需要・医療供給③顕在需要と潜在需要 について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 診療情報管理Ⅲ 第２９回　個人情報の保護に関する法律と指針 個人情報の保護に関する法律と指針（ガイドライン）について学ぶ 【教科書ページ・参考文献】 診療情報管理Ⅲ 第３０回　まとめ 後期まとめ
受講生に関わる情報および受講のルール	・授業概要を確認し、該当範囲の予習をした上で講義に臨み、講義後は復習をすること。・ノートは板書を写すだけでは不十分であり、それ以外に口頭で解説したことなどをメモすること。講義の終了前10分間で「本日のまとめ」を記述し、ノートを提出すること。・医療事務・医療秘書を学ぶ者としてふさわしい態度で講義に臨むこと。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード

授業外時間にかかわる情報	予習として次回授業の該当部分を一読し、不明な用語などを調べ、調べた用語をノートにまとめる。また、予習の段階で質問があれば、予めノートに記述しておくこと。
オフィスアワー	月曜日8時20分～10時30分　水曜日8時20分～10時30分
評価方法	定期試験60%、課題への取り組み40%とする。課題は1回の講義に対して①用語調べ3点、②授業メモ3点、③「本日のまとめ」（講義まとめ）4点で計10点の配点であり、半期ごとに評価を算定する。
教科書	①日本医師会監修『医療秘書講座4　医療秘書概論・実務　医療情報処理学　医療関係法規概論』メヂカルフレンド社　最新版 ②日本病院会発行『診療情報管理士テキスト　診療情報管理Ⅲ専門1章～7章』指定した版
参考書	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 総合病院においてソーシャルワーカーとして勤務していた経験があり、医療関係法規について一定の理解を有している。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ■ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　社会福祉特講Ⅰ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1単位(30)	選択
担当教員			
柳澤　充			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 社会福祉士国家試験に向けた学習方法を自分なりに把握することを目的とする。また、編入後の学びが円滑に進むようにすることを目的とする。 【到達目標】 社会福祉士国家試験に向けて、自主的・主体的な学習方法を形成し、継続して学習する習慣を身につける。自身が作成した解説を用い、他者に説明することができる。月例テストを行うことで、学びが身についているのかを自身で判断できる。
授業の概要	ソーシャルワーカーが活躍する場と仕事内容を各々調べ他者に説明した後、既習科目を中心に学習していく。社会福祉士国家試験に合格するための基礎的学習方法と基礎的学力の向上を図るため、過去問を解いた上で、自身で解説を作成し他者に発表する。月に1回、月例テストを行う。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回	オリエンテーション（授業ガイダンス、国家試験の傾向と対策） 【key words】 社会福祉士国家試験、国試合格率、勉強方法、ソーシャルワーカーの職場 【授業概要】 授業の進め方について説明する。社会福祉士国家試験の概要や合格率などを説明する。ソーシャルワーカーの職場について第3回～第5回で発表するため、担当を決める。 【教科書ページ・参考文献】 『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ 【課題・予習・復習・授業準備指示】 テキストの該当ページを予め一読し、質問などがあればメモしておくこと。第3回～第5回で発表するためのパワーポイントの作成を始めること。
	第２回	学習目標、学習計画の立案 【key words】 学習目標、学習計画 【授業概要】 高校時代、大学前期の勉強方法を振り返り、国家試験の勉強のために自身がしなければならないこと、できること、を考え、1年次～2年次の学習計画を立案する。 【教科書ページ・参考文献】 配布プリントあり。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 次回までに発表用パワーポイントを用意すること。
	第３回	ソーシャルワーカーが活躍する場、仕事内容①調べ学習・発表　3回に分けて実施する（1回につき数人が発表。受講人数により1回あたりの発表人数、発表時間を決める） 【key words】 ソーシャルワーカーの職場

【授業概要】
調べ学習・発表　3回に分けて実施する（1回につき数人が発表。受講人数により1回あたりの発表人数、発表時間を決める）
【教科書ページ・参考文献】
発表用パワーポイントを受講人数＋教員分印刷し配布すること。

【課題・予習・復習・授業準備指示】

発表された職場について、自身で再度調べてみること。

第４回　ソーシャルワーカーが活躍する場、仕事内容①調べ学習・発表　3回に分けて実施する（1回につき数人が発表。受講人数により1回あたりの発表人数、発表時間を決める）
【key words】
ソーシャルワーカーの職場
【授業概要】
調べ学習・発表　3回に分けて実施する（1回につき数人が発表。受講人数により1回あたりの発表人数、発表時間を決める）
【教科書ページ・参考文献】
発表用パワーポイントを受講人数＋教員分印刷し配布すること。

【課題・予習・復習・授業準備指示】

発表された職場について、自身で再度調べてみること。

第５回　ソーシャルワーカーが活躍する場、仕事内容①調べ学習・発表　3回に分けて実施する（1回につき数人が発表。受講人数により1回あたりの発表人数、発表時間を決める）
【key words】
ソーシャルワーカーの職場
【授業概要】
調べ学習・発表　3回に分けて実施する（1回につき数人が発表。受講人数により1回あたりの発表人数、発表時間を決める）
【教科書ページ・参考文献】
発表用パワーポイントを受講人数＋教員分印刷し配布すること。

【課題・予習・復習・授業準備指示】

発表された職場について、自身で再度調べてみること。社会福祉士国家試験直近試験問題の「人体の構造及び疾病」をプリントアウトし、予め問題を解いておくこと。

第６回　人体の構造と機能及び疾病（7問）　2回に分けて実施する
【key words】
人体の構造と機能及び疾病
【授業概要】
「人体の構造と機能及び疾病」7問中前半3問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。

第７回　人体の構造と機能及び疾病（7問）　2回に分けて実施する
【key words】
人体の構造と機能及び疾病
【授業概要】
「人体の構造と機能及び疾病」7問中後半4問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。社会福祉士国家試験直近試験問題の「心理学理論と心理的支援」をプリントアウトし、予め問題を解いておくこと。

第８回　心理学理論と心理的支援（7問中）　2回に分けて実施する
【key words】
心理学理論と心理的支援
【授業概要】
「心理学理論と心理的支援」7問中前半3問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。「人体の構造と機能及び疾病」7問の解説を授業開始冒頭に提出すること。

第９回　心理学理論と心理的支援（7問中）　2回に分けて実施する
【key words】

心理学理論と心理的支援
【授業概要】
「心理学理論と心理的支援」7問中後半4問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。

第１０回　月例テスト①（人体の構造と機能及び疾病、心理学理論と心理的支援）
【key words】
月例テスト①
【授業概要】
「人体の構造と機能及び疾病」、「心理学理論と心理的支援」の過去2年分のテスト

【教科書ページ・参考文献】
テスト時間中は持ち込み禁止。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

「人体～」と「心理～」の2科目、直近とその前年度の2年分をプリントアウトし月例テストに臨むこと。「心理学理論と心理的支援」7問の解説を授業開始冒頭に提出すること。

第１１回　高齢者に対する支援と介護保険制度（10問）　2回に分けて実施する
【key words】
高齢者に対する支援と介護保険制度
【授業概要】
「高齢者に対する支援と介護保険制度」10問中前半5問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

社会福祉士国家試験直近試験問題の「高齢者に対する支援と介護保険制度」をプリントアウトし、予め問題を解いておくこと。解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。

第１２回　高齢者に対する支援と介護保険制度（10問）　2回に分けて実施する
【key words】
高齢者に対する支援と介護保険制度
【授業概要】
「高齢者に対する支援と介護保険制度」10問中後半5問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。

第１３回　相談援助の基盤と専門職（7問）　2回に分けて実施する
【key words】
相談援助の基盤と専門職
【授業概要】
「相談援助の基盤と専門職」7問中前半3問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

社会福祉士国家試験直近試験問題の「相談援助の基盤と専門職」をプリントアウトし、予め問題を解いておくこと。「高齢者に対する支援と介護保険制度」10問の解説を授業開始冒頭に提出すること。

第１４回　相談援助の基盤と専門職（7問）　2回に分けて実施する
【key words】
相談援助の基盤と専門職
【授業概要】
「相談援助の基盤と専門職」7問中後半4問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。

第１５回　月例テスト②（高齢者に対する支援と介護保険制度、相談援助の基盤と専門職）
【key words】
月例テスト②
【授業概要】

	「高齢者に対する支援と介護保険制度」、「相談援助の基盤と専門職」の過去2年分のテスト 【教科書ページ・参考文献】 テスト時間中は持ち込み禁止。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 「高齢～」と「相談～」の2科目、直近とその前年度の2年分をプリントアウトし月例テストに臨むこと。「相談援助の基盤と専門職」7問の解説を授業開始冒頭に提出すること。
受講生に関わる情報および受講のルール	〔受講生に関わる情報〕 本学学部への編入を考え、将来社会福祉士または精神保健福祉士の資格取得を目指す学生は受講することが望ましい。 〔受講のルール〕各回において、最新の国家試験該当科目をプリントアウトし持参すること。各回の該当科目のテキスト、ノート等を用意すること。各回の事前に最新の国試該当科目を解いておくこと。授業内で解答の解説作りを行う。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	各回の事前に最新の国試該当科目を解いておくこと。授業内で解答の解説作りを行う。授業内で作り終えない場合には、原則翌週までに提出すること。授業内容に該当する授業科目の教科書を事前に通読しておくこと。授業で学習した内容は、その日のうちにしっかりと理解するように努めること。学内模試が行われる場合には、参加すること。
オフィスアワー	月曜日8時20分～10時30分　水曜日8時20分～10時30分
評価方法	試験またはレポート40%、月例テスト・まとめテスト30%、課題への取り組み・提出物など30%
教科書	いとう総研資格取得支援センター 『見て覚える社会福祉士国試ナビ』（中央法規）最新版。最新の国家試験問題。該当科目のテキスト、ノート、用語辞典、参考書など該当科目問題の解説作りに活用できるもの全て
参考書	過去問題集など、適宜紹介する
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 障害者団体、病院、在宅介護支援センター、ホームレス支援施設などでソーシャルワーカーとしての実務経験があり、現在も社会福祉士事務所代表として成年後見受任事業などを行っている。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　社会保障　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	4単位(60)	選択
担当教員			
白石　憲一			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 福祉専門職に従事する者として求められる社会保障に関する知識を習得することを目的とする。 【到達目標】 日本の年金，医療保険，介護保険，雇用保険，労災保険の概要について正しく理解し、さらに諸外国の社会保障制度について整理できることを到達目標とする。
授業の概要	まず社会保障の全体像について学習し、年金・医療・介護・労働などの各保険制度の概要や現状、今後の課題について学習する。また現実のデータから社会保障の動向について整理を行う。問題演習を通じて具体的な事例を想定しながら、社会保障制度の概要について学習する。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回	科目オリエンテ-ション 【key words】 社会保障 【授業概要】 社会保障制度の範囲について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 2頁～323頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを通読する。
	第２回	国民年金（ 1) 【key words】 国民年金 【授業概要】 国民年金の概要について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 100頁～103頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを通読する。
	第３回	国民年金（ 2) 【key words】 国民年金 【授業概要】 国民年金の給付の種類について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 104頁～106頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを通読する。
	第４回	アメリカの社会問題 【key words】 アメリカ、健康格差 【授業概要】 アメリカの健康格差の実態について、具体例に基づき学習する。 【教科書ページ・参考文献】 312頁～315頁

【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第５回　アメリカの社会保障費用

【key words】
アメリカ、医療保険
【授業概要】
アメリカの医療保険の実態について、具体例に基づき学習する。
【教科書ページ・参考文献】
312頁～315頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第６回　厚生年金

【key words】
厚生年金
【授業概要】
厚生年金の概要について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
107頁～117頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第７回　医療保険

【key words】
医療保険、保険給付
【授業概要】
日本の医療保険の概要について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
128頁～161頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第８回　基本的人権と社会保障

【key words】
基本的人権、社会保障
【授業概要】
基本的人権と社会保障の関係について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
9頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第９回　社会保障の機能

【key words】
社会的セーフティネット機能、所得再分配機能
【授業概要】
社会保障の機能の種類について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
14頁～17頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第１０回　介護保険制度の概要

【key words】
介護保険
【授業概要】
日本の介護保険の概要について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
164頁～175頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第１１回　介護保険と給付

【key words】
介護保険、給付
【授業概要】
日本の介護保険の給付の種類について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
175頁～187頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第１２回　社会保障制度の体系

【key words】
国民年金、厚生年金、医療保険、介護保険
【授業概要】
社会保障の仕組みについて学習する。
【教科書ページ・参考文献】
42頁～49頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第１３回　社会保険の構造

【key words】
国民年金、厚生年金、医療保険、介護保険
【授業概要】
国民年金、厚生年金、医療保険、介護保険の関係について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
50頁～56頁

【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第１４回　雇用保険

【key words】
雇用保険
【授業概要】
雇用保険の概要について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
206頁～212頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第１５回　労働者災害補償保険

【key words】
労働者災害補償保険
【授業概要】
労働者災害補償保険の概要について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
213頁～215頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第１６回　諸外国の福祉

【key words】
社会保障の理念
【授業概要】
諸外国の福祉の実態と社会保障の理念について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
7頁～16頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第１７回　生活保護制度の原理原則

【key words】
生活保護、原理、原則
【授業概要】
生活保護制度の原理・原則について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
225頁～228頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第１８回　生活保護の種類と実施機関

【key words】
扶助、実施機関
【授業概要】
生活保護の扶助の種類と保護の実施機関について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
228頁～231頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第１９回　社会福祉士と社会保障

【key words】
社会保障、社会保険
【授業概要】
社会福祉士として必要とされる社会保障の知識について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
2頁～323頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第２０回　私たちの生活と社会保障

【key words】
ライフサイクル、社会保障
【授業概要】
ライフサイクルからみた社会保障制度について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
2頁～6頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第２１回　障害者総合支援法

【key words】
障害者総合支援法
【授業概要】
障害者総合支援法の概要について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
237頁～240頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第２２回　児童福祉に関する制度

【key words】
児童福祉、歴史
【授業概要】
児童福祉に関する制度の歴史について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
232頁～236頁

	【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを通読する。 第２３回　児童福祉の実施体制 【key words】 児童相談所、福祉事務所 【授業概要】 児童福祉の実施体制について、実例に基づいて学習する。 【教科書ページ・参考文献】 232頁～236頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを通読する。 第２４回　労働市場の変化と社会保障 【key words】 非正規雇用 【授業概要】 就業形態の実態について、統計資料に基づき学習する。 【教科書ページ・参考文献】 280頁～293頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを通読する。 第２５回　ワーキング・プア問題 【key words】 ワーキング・プア 【授業概要】 ワーキング・プアの実態について、統計資料に基づき学習する。 【教科書ページ・参考文献】 284頁～285頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを通読する。 第２６回　社会保障の歴史的展開 【key words】 イギリス、社会福祉施策 【授業概要】 イギリスの社会福祉施策の歴史について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 2頁～323頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを通読する。 第２７回　諸外国における社会保障制度 【key words】 欧米諸国、社会保障 【授業概要】 欧米諸国の社会保障制度の概要について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 2頁～323頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを通読する。 第２８回　社会福祉制度の概要 【key words】 社会福祉制度 【授業概要】 社会福祉制度の体系について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 2頁～323頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを通読する。 第２９回　障害者総合支援法 【key words】 訓練等給付 【授業概要】 障害者総合支援法の訓練等給付の概要について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 2頁～323頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを通読する。 第３０回　現代社会と社会保障 【key words】 社会保障 【授業概要】 福祉と社会保障の関係について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 2頁～323頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを通読する。
受講生に関わる情報および受講のルール	必要とされる予備知識は、日本の保険制度の全体の概要についての事前の知識である。社会保障は具体的な事例を想定しながら、制度を学習すると理解しやすい。復習する際には、各自で具体的な事例を想定しながら学習することを求める。 本講義では出席を重視する。また積極的に授業に参加すること。毎回小テストを実施する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状	コメントカード

況の確認方法	
授業外時間にかかわる情報	予習を毎回行い、質問があればコメントカードを活用すること。
オフィスアワー	木曜日4限
評価方法	試験（ 60%）、授業中の課題（ 40%）を総合して評価する。
教科書	社会福祉士養成講座編集委員会「社会保障」中央法規出版株式会社
参考書	いとう総研資格取得支援センター「見て覚える！社会福祉士国試ナビ」（中央法規）
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　福祉住環境　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	1単位(30)	選択
担当教員			
2019年度休講			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】高齢者・障害者が地域で安心・安全に生活し、社会参加ができる基盤となる住環境はどうあるべきか。身近な住宅のバリアフリーを通して住環境整備の方法を理解し、実際に問題解決を提案できる能力を養う。 【到達目標】①住環境整備がなされたときの利点を理解し、その必要性を説明することができる。②在宅生活において、疾患別・生活行為別に住環境整備の提案をおこなうことができる。③基本的な建築用語を理解でき、設計図面から簡単な情報を読み取ることができる。
授業の概要	高齢者や障害者をとりまく住環境の問題点を抽出し、医療・福祉・建築など多方面から解決方法をアプローチする。主に建築について基本的な知識を身につけ、バリアフリーの具体的な手法を理解する。福祉住環境コーディネーター検定試験２級に準拠し、資格習得に役立てる。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回	科目オリエンテーション、超高齢社会と日本の木造住宅の問題点、住環境整備の必要性
	第２回	高齢者の心身の特性、高齢者に多い疾患（脳血管障害）における住環境整備
	第３回	高齢者に多い疾患（廃用症候群、骨折、認知症）における住環境整備
	第４回	高齢者に多い疾患（関節リウマチ、パーキンソン病、糖尿病　他）における住環境整備、　到達確認テスト①配布
	第５回	到達確認テストの解答と解説、障害者の生活と住環境、障害別（肢体不自由）にみた住環境整備
	第６回	障害別（内部障害、視覚・聴覚障害　他）にみた住環境整備
	第７回	住宅建築の基礎知識①（建築図面の読み方）
	第８回	住宅建築の基礎知識②（住環境整備における留意事項）
	第９回	介護保険制度における住宅改修の進め方、バリアフリーとユニバーサルデザイン、到達確認テスト②配布
	第１０回	到達確認テストの解答と解説、住環境整備の共通基本技術①（段差の解消）
	第１１回	住環境整備の共通基本技術②（床材の選択、手すりの取付）
	第１２回	住環境整備の共通基本技術③（建具・スペース・冷暖房等への配慮　他）
	第１３回	外出（アプローチから玄関ホール、廊下）における住環境整備の手法
	第１４回	屋内移動・排泄（階段・トイレ・浴室）における住環境整備の手法、到達確認テスト③配布
	第１５回	到達確認テスト解説、入浴・更衣・調理・就寝（脱衣室・キッチン・寝室）における住環境整備の手法、まとめ

受講生に関わる情報および受講のルール	講義範囲はシラバスで明示するので、授業前に必ずテキストを読んでおくこと。　到達確認テストは、次の講義までにやってくること。テスト用紙は解答・解説後に回収し、返却しない。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	第４、９、１４回の講義終了後、住環境コーディネーター試験問題に準拠した到達確認テストを配布する。解答を授業で解説する。
オフィスアワー	授業のあと３０分は対応可能
評価方法	定期試験85%、到達確認テストの提出15%（全３回×5%）
教科書	東京商工会議所編・出版：福祉住環境コーディネーター検定試験2級公式テキスト　改訂4版
参考書	授業中に随時紹介する。
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　アロマセラピー　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	2単位(60)	選択
担当教員			
2019年度休講			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	－			
授業の概要	－			
■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係 ◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項				
授業の到達目標	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
授業計画	第１回 第２回 第３回 第４回 第５回			
受講生に関わる情報および受講のルール	－			
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード			
授業外時間にかかわる情報	－			
オフィスアワー	－			
評価方法	－			
教科書	－			
参考書	－			
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ☐実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 ☐協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ☐ディスカッション・ディベート ☐グループワーク ☐プレゼンテーション ☐実習、フィールドワーク ☐アクティブラーニングは実施していない			

講義科目名称：　社会理論と社会システム　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年次	2単位(30)	選択
担当教員			
白石　憲一			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 　人口構造の変化、経済の低成長、グローバル化、技術進歩などによって生じている現在の大きな社会変動や社会問題について、マクロ、ミクロ、メゾレベルから整理することにより、社会学のエッセンスを解説することを目的とする。 【到達目標】 　「社会を見る眼」を養い、社会問題の改善のための処方箋を模索する力を身につけることを到達目標とする。
授業の概要	個別的な問題領域について、統計資料や研究事例を紹介するとともに、社会学の理論的・抽象的な概念について整理する。授業では小テストを適宜実施して、学生の理解の確認も行っていく。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画	第１回　科目オリエンテ-ション 【key words】 社会学 【授業概要】 講義で扱う内容について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 2頁～237頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを通読する。 第２回　ジェンダー 【key words】 ジェンダー開発指数、ジェンダーエンパワメント指数 【授業概要】 ジェンダー開発指数、ジェンダーエンパワメント指数の解釈の方法について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 110頁、158頁、235頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 ジェンダー開発指数、ジェンダーエンパワメント指数の統計を調べる。 第３回　貧困問題 【key words】 貧困線、相対的貧困 【授業概要】 貧困の種類、健康格差について、統計数値を用いて学習する。 【教科書ページ・参考文献】 51頁～56頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 貧困率の統計について確認する。 第４回　格差 【key words】 ジニ係数

【授業概要】
不平等の指数について、統計数値を用いて学習する。
【教科書ページ・参考文献】
51頁～56頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
ジニ係数の統計について確認する。

第５回　福祉国家
【key words】
イギリス、アンデルセン
【授業概要】
イギリスの福祉の歴史とアンデルセンの福祉国家レジーム論について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
85頁～87頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
諸外国の社会保障制度について確認する。

第６回　虐待
【key words】
児童・障害者・高齢者虐待、DV
【授業概要】
虐待の種類と対応を中心に学習する。
【教科書ページ・参考文献】
220頁～223頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第７回　人口からみた社会変動
【key words】
合計特殊出生率、人口オーナス
【授業概要】
人口に関係する指標について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
72頁～85頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
人口統計について確認する。

第８回　社会集団と組織
【key words】
官僚、集団の類型
【授業概要】
集団の諸類型について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
164頁～175頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第９回　社会関係資本
【key words】
社会関係資本、パットナム
【授業概要】
社会関係資本の理論について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
187頁～197頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第１０回　社会問題と福祉
【key words】
社会問題、福祉
【授業概要】
社会問題と福祉の関係について、実例に基づいて学習する。
【教科書ページ・参考文献】
224頁～225頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第１１回　社会的ジレンマ
【key words】
囚人のジレンマ、社会的ジレンマ
【授業概要】
囚人のジレンマ、社会的ジレンマの具体例、社会的ジレンマ解消の方法について学習する。

【教科書ページ・参考文献】
176頁～186頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第１２回　児童虐待
【key words】
児童虐待
【授業概要】
現場での児童虐待の対応について学習する。
【教科書ページ・参考文献】
220頁～223頁
【課題・予習・復習・授業準備指示】
教科書の該当ページを通読する。

第１３回　生活の質

	【key words】 幸福感 【授業概要】 幸福感の決定要因について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 99頁～104頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 幸福感の統計について調べる。 第１４回　家族 【key words】 マードック、ウォーナー、オグバーン、パーソンズ 【授業概要】 家族の機能、制度としての家族について学習する。 【教科書ページ・参考文献】 105頁～119頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを通読する。 第１５回　日本社会と社会問題 【key words】 マルクス、オグバーン、ウェーバー、マートン 【授業概要】 日本の社会問題と社会学における思想とのかかわりについて学習する。 【教科書ページ・参考文献】 211頁～225頁 【課題・予習・復習・授業準備指示】 教科書の該当ページを通読する。
受講生に関わる情報および受講のルール	新聞、ニュースなどで最新の経済の情報について確認すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	予習を毎回行い、質問があればコメントカードを活用すること。
オフィスアワー	木曜日4限
評価方法	試験（80%）と授業中の課題（20%）によって評価
教科書	社会福祉士養成講座編集委員会「社会理論と社会システム」（中央法規出版株式会社）最新版
参考書	いとう総研資格取得支援センター「見て覚える！社会福祉士国試ナビ」（中央法規）
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　相談援助の理論と方法Ⅰ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	4単位(60)	選択
担当教員			
柳澤　充			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 個人、家族、小集団・組織、地域社会をクライエントシステムとしてとらえ、ソーシャルワークの展開過程に即して思考できることを目的とする。また、事例において適切な援助技術を想定できることを目的とする。 【到達目標】 ソーシャルワークの構成要素、構造と機能、展開過程について理解し、説明することができる。さらに、アウトリーチ、面接技術、記録の技術、交渉の技術などについて理解し、説明することができる。また、学びを活かして事例を適切に検討することができるようになる。
授業の概要	相談援助とは何かについて学ぶ。また、相談援助の構造と機能、相談援助関係、相談援助の展開過程、アウトリーチ、契約、面接技術、記録の技術、交渉の技術について学ぶ。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画

第１回　オリエンテーション

【key words】
講義の受け方
【授業概要】
講義の受け方、予習・復習について、評価方法、などについて説明をする。

【教科書ページ・参考文献】
目次
【課題・予習・復習・授業準備指示】

テキスト目次に目を通し、講義のイメージを持つこと

第２回　ソーシャルワーク、ソーシャルワーカーの役割、ソーシャルワークの定義

【key words】
ソーシャルワーク、ソーシャルワーカーの役割、ソーシャルワークの定義

【授業概要】
1年次の学習を踏まえソーシャルワークとは何かを言語化するところから始める。ソーシャルワークの役割やグローバル定義について改めて学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
テキストP2～P8　(第1章相談援助とは)

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第３回　ソーシャルワークの構成要素

【key words】
ソーシャルワークの目的、ソーシャルワークの価値、ソーシャルワークの知識、ソーシャルワークの方法・技能、ソーシャルワークへの権限の委任

【授業概要】

ソーシャルワークの構成要素は、価値を土台にして、その上に知識があり、それらをもとに方法・技能があり、これが目的に向かって進められることについて学ぶ。また、ソーシャルワークへの権限が委任されることで社会的な承認を得ることになるということについて学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
P9～P19 （第1章相談援助とは）
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第４回　ソーシャルワークの職場、所属組織

【key words】
仕事の分類、レジデンシャル・ソーシャルワーカー、コミュニティー・ソーシャルワーカー、所属する組織、
【授業概要】
ソーシャルワークの仕事の4つの側面について学ぶ。地域と施設のソーシャルワーカーの特徴を学ぶ。ソーシャルワーカーが所属する職能団体の役割と意義について学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
P20～P26（第1章相談援助とは）
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第５回　人と環境との関係、人についての見方、社会資源についての見方

【key words】
交互作用、社会生活機能、クライエント・システム、ホリスティックアプローチ、ストレングス、エンパワメント、社会資源、生態学アプローチ、ニーズ・社会資源調整論、非貨幣的ニーズ

【授業概要】
クライエントが資源を核とする環境との関係で問題が生じた場合、それを解決・援助することに向けて、ソーシャルワーカーはいくつかの視点で介入することとなる。その枠組みや考え方を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
P28 ～P37（第2章相談援助とは）
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第６回　ニーズ、社会生活ニーズ、サービスニーズ、

【key words】
ニーズ、社会生活ニーズ、サービスニーズ、社会福祉政策

【授業概要】
ソーシャルワークがとらえるニーズとは何かについて学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
P38～P43（第2章相談援助とは）
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第７回　ソーシャルワークの機能

【key words】
ミクロソーシャルワーク、メゾソーシャルワーク、マクロソーシャルワーク

【授業概要】
ソーシャルワークの過程からとらえた機能とソーシャルワークの枠組みからとらえる機能を知り、、ソーシャルーく機能から導き出されるソーシャルワーカーの役割について学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
P44～P51（第2章相談援助とは）
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第８回　人と環境の交互作用、人と環境、システム理論

【key words】
交互作用、人と状況、状況のなかの人、アフォーダンス、システム理論、ホロン、ホメオスタシス、自己組織化論、オートポイエーシス論、

【授業概要】
人と環境を一体的にとらえる理論がシステム理論であり、その概要を学ぶ。システム理論の歴史的発展段階を学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
P54～P62（第3章人と環境の交互作用）

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第９回　サイバネティックス、ソーシャルワーク理論

【key words】
サイバネティクス、システム理論
【授業概要】
システム理論によるソーシャルワークのあり方を学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
P62～P67（第3章人と環境の交互作用）

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第１０回　ソーシャルワークと社旗福利の3次元、援助関係の期間と質との交互作用
【key words】
ミクロ・レベル、メゾ・レベル、マクロ・レベル、環境との交互作用

【授業概要】
環境のミクロ・メゾ・マクロのレベルの定義について学ぶ。援助関係の期間と質とは何かについて学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
P70～P76（第4章相談援助における援助関係）

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第１１回　ソーシャルワーカーが準ずる原則、ソーシャルワーカーの技法
【key words】
個別性の尊重、非審判的態度、共感的理解、誠実な態度、真実性、自己決定、面接技術

【授業概要】
援助の原則を取り上げ、ソーシャルワーク全般において遵守される原則について学ぶ。面接技術を的確に活用することとはどのようなことかを学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
P77～P80（第4章相談援助における援助関係）

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第１２回　援助構造、援助関係の定義、援助者の機能・役割
【key words】
援助関係、アウトリーチワーカー、アドボケーター、エンパワメント、ファシリテーター、

【授業概要】
カデューシンの「関係の定義」を学ぶ。ジェネラリスト・ソーシャルワークにおけるソーシャルワークの役割について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
P81～P84（第4章相談援助における援助関係）

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第１３回　関係とは、パターナリズム、均等性と公平性、ラポール、自己覚知
【key words】
権威的ソーシャルワーカー、パターナリズム、均等性、ラポール、アタッチメント理論、転移、逆転移
【授業概要】
ソーシャルワーカーが権威的になることにより生じるパターナリズムについて学ぶ。援助関係で生じる転移、逆転移について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
P85～P88（第4章相談援助における援助関係）

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第１４回　援助関係を形成することの効用と限界、生活保護での援助関係、家族療法、グループ、地域
【key words】
効用と限界、生活保護、家族療法、グループ、地域

【授業概要】
援助関係を形成することによる効用と限界について学ぶ。生活保護、家族療法、グループ、地域での援助関係について学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
P89～P93
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第１５回　前期まとめ
【key words】
前期まとめ
【授業概要】
前期で学んだことを復習し、前期試験に備える。

【教科書ページ・参考文献】
P2～P93
【課題・予習・復習・授業準備指示】

前期で学んだことを復習しておくこと。前期試験に向けて試験勉強をすること。

第１６回　相談援助の展開過程の流れ、ケース発見、受理面接
【key words】
相談援助の展開過程、IFSW、well-being、ソーシャルワークの価値、ラポール、ケース発見、ワーカビリティー、ボランタリークライエント、インボランタリークライエント、インテーク

【授業概要】
ソーシャルワークには展開過程があることを学ぶ。ソーシャルワークを展開するためにはラポール形成が必要であることを学ぶ。展開過程の最初にケース発見があることを学ぶ。インボランタリークライエントである場合の介入の仕方について学ぶ。インテーク時の関わり方を学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
P96～P111（第6章相談援助の展開過程Ⅱ）

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第１７回　問題把握、ニーズ確定、アセスメント、目標設定
【key words】
主訴、ニーズ、アセスメント、バイオ、サイコ、ソーシャル、ターゲットの設定、

【授業概要】
主訴とニーズの違いについて学ぶ。人の理解をバイオ、サイコ、ソーシャルに分けて理解することを学ぶ。アセスメントを行った上で目標設定していく過程を学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
P112～P126（第6章相談援助の展開過程Ⅱ）

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第１８回　支援計画（プランニング）
【key words】
プランニング、支援の実施、ケース検討会、ケースカンファレンス

【授業概要】
アセスメントにより目標設定した上で、プランニングし、支援の実施に至る過程を学ぶ。プランニングする際に多職種でケースについて検討する会議が行われていることを学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
P127～P136（第6章相談援助の展開過程Ⅱ）

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第１９回　モニタリング、再アセスメント
【key words】
モニタリング、生活場面面接、ケア会議、再アセスメント、ストレングス、生活モデル

【授業概要】
支援が遂行されているかどうか確認するモニタリングの必要性について学ぶ。再アセスメントについて学ぶ。
【教科書ページ・参考文献】
P138～P145（第6章相談援助の展開過程Ⅱ）

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第２０回　終結、効果測定、評価、アフターケア、予防的対応、サービス開発
【key words】
支援の終結、効果測定、アカウンタビリティー、エビデンス、評価、スーパービジョン、アフターケア予防的対応、サービス開発、ネットワーク、ソーシャルアクション

【授業概要】
支援が終わるにあたって効果測定があることを学ぶ。スーパービジョンを実施する意味を学ぶ。生活課題が重大化することを未然に防ぐための予防的対応と社会資源の不備や不足が生じている時にソーシャルアクションが有効であることを学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
P146～P153（第6章相談援助の展開過程Ⅱ）

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第２１回　アウトリーチの必要性
【key words】
アウトリーチ、多問題家族
【授業概要】
アウトリーチの必要性、その対象、担う機能について学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
P156～P160（第7章相談援助のためのアウトリーチの技術）

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第２２回　アウトリーチの具体的方法と留意点
【key words】
クライエントレベルでの対応、システムレベルでの対応、アウトリーチを可能にする要因

【授業概要】
アウトリーチの具体的方法、その範囲、留意点について学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
P161～P165（第7章相談援助のためのアウトリーチの技術）

【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第２３回　契約の意義と目的、契約の方法と留意点
【key words】
契約、合意、自己決定権、モチベーション、目標設定

【授業概要】
措置から契約へと福祉サービスの供給方法が変化してきたことから、社会福祉における契約の意義と目的、方法と留意点について学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
P168～P179
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第２４回　アセスメントの特性、援助的関係、面接、アセスメントツール
【key words】
アセスメントの特性、動的なプロセス、問題対処力、バイステック原則、面接の目的、アセスメントツール
【授業概要】
ソーシャルワークのアセスメントの特性は統合的で多面的に問題をとらえることであることを学ぶ。アセスメントの際の留意点と16項目の内容を学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
P182～P200
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第２５回　情報統合化、分析
【key words】
情報の組織化、ライスサイクル心理学、

【授業概要】
アセスメントでは、適切な情報を得ること、それを組織化することが大切であることを学ぶ。また、アセスメントを高めるために必要なことが何かを学ぶ。

【教科書ページ・参考文献】
P201～P204
【課題・予習・復習・授業準備指示】

講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。

第２６回　介入の意義とターゲット、留意点
【key words】
介入、介入方法のレパートリー、直接的介入、間接的介入、ケースアドボカシー、コーズアドボカシー、シーボーム報告
【授業概要】

	介入の定義や介入のターゲットについて学ぶ。介入の方法には直接的介入と間接的介入があることを学び、介入の戦略、介入の技術、技法、介入の留意点について学ぶ。シーボーム報告における介入について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P206～P221 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 第２７回　経過観察（モニタリング）、再アセスメント、効果測定、評価の技術 【key words】 経過観察（モニタリング）、再アセスメント、効果測定、評価の技術 【授業概要】 相談援助の進捗をモニターし、定期的あるいは必要に応じて再アセスメントとプランニングの修正・強化、効果測定、終結へと向かう手続きについて学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P224～P248（第11章相談援助のための経過観察、再アセスメント、効果測定、評価の技術 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 第２８回　面接の目的、面接の展開、面接技術、面接の形態 【key words】 面接の目的、面接の展開、面接技術、面接の形態 【授業概要】 専門職として面接の意義、目的、構造、方法、技法等について理解を深め、面接を展開の仕方を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P250～PP268（第12章相談援助のための面接の技術） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 第２９回　記録の意義、記録の種類、記録の方法、記録の課題 【key words】 記録業務、記録の種類、情報開示、マッピング、倫理 【授業概要】 ソーシャルワーク記録を記録業務と位置付け、理論的枠組みを理解しその意義と機能を学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P270～P293（第13章相談援助のための記録の技術） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 講義前にテキスト該当部分を読み、用語調べ（評価対象）をしておくこと。授業終了後は復習し、次回の予習を行うこと。 第３０回　交渉の意義と目的、交渉の方法と留意点、後期まとめ 【key words】 交渉、帰属意識、自主的な運営、相互作用、チームワーク、交渉プロセス、プレゼンテーション 【授業概要】 多職種と連携して、多様化する当事者のニーズに応えるための交渉の技術について学ぶ。 【教科書ページ・参考文献】 P296～P315（第14章相談援助のための交渉の技術） 【課題・予習・復習・授業準備指示】 後期で学んだことを復習しておくこと。後期試験に向けて試験勉強をすること。
受講生に関わる情報および受講のルール	ノートは板書を写すだけでは不十分であり、それ以外に口頭で解説したことなどをメモすること。講義の終了前10分間で「本日のまとめ」を記述し、ノートを提出すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	予習として次回授業の該当部分を一読し、不明な用語などを調べ、調べた用語をノートにまとめる。また、予習の段階で質問があれば、予めノートに記述しておくこと。
オフィスアワー	月曜日8時20分～10時30分　水曜日8時20分～10時30分
評価方法	定期試験60%、課題への取り組み40%とする。課題は1回の講義に対して①用語調べ3点、②授業メモ3点、③「本日のまとめ」（講義まとめ）4点で計10点の配点であり、半期ごとに評価を算定する。
教科書	①社会福祉士養成講座編集委員会編集『新・社会福祉士養成講座7　相談援助の理論と方法Ⅰ』（中央法規）最新版、②社会福祉用語辞典（出版社は問わない）
参考書	適宜、紹介する

実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 障害者団体、病院、在宅介護支援センター、ホームレス支援施設などでソーシャルワーカーとしての実務経験があり、現在も社会福祉士事務所代表として成年後見受任事業などを行っている。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 ■ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　調剤事務Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	医療事務・秘書コース・選択
担当教員			
2019年度休講			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 医療従事者としての心構えを持つ。 保険薬局の収入に関わる重要な業務の担い手であることを認識し、プロ意識を持つ。 基礎知識を元に、更に応用力を習得する。 【到達目標】 1）保険薬局の業務の流れを理解し、実践できる。 2）医療保険制度、医薬品関連法規及び薬剤の知識を習得し、説明ができる。 3）調剤レセプトを理解し、点検ができる。
授業の概要	保険薬局・保険調剤・医療保険制度・医薬品関連法規・薬剤等の基礎知識を活かし、応用力を習得する。調剤報酬の点数算定を習得し、 レセプトの作成ができる。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。

授業計画	第１回　オリエンテーション　講義の進め方，評価法，レポート課題など、医療現場と保険薬局、調剤事務とは 第２回　保険薬局と保険調剤／医薬分業、保険薬局、保険薬剤師、登録販売者 第３回　医療保険制度／医療保険の種類／保険者／被保険者／被扶養者 第４回　医療保険制度／高額療養費制度／公費負担医療 第５回　医療保険制度／介護保険法／公害、労災保険医療他 第６回　処方箋の構成と読み方／処方箋の流れ 第７回　医薬品関連法規／医薬品の定義、特殊医薬品の取扱い規制 第８回　医薬品の名前と薬剤の剤形／内服用固形剤、錠剤、散剤他 第９回　調剤報酬の支払としくみについて／調剤報酬の流れ、節と算定式 第１０回　薬剤料Ⅰ／薬剤料の算定 第１１回　薬剤料Ⅱ／処方箋の見分け方／薬剤料算定の単位 第１２回　【点数算定】　調剤技術料Ⅰ 第１３回　調剤技術料Ⅱ　調剤基本料とその加算 第１４回　調剤技術料Ⅲ　調剤料 第１５回　調剤技術料Ⅳ　演習

	第１６回　　薬学管理料Ⅰ　薬剤服用歴管理指導料 第１７回　　薬学管理料Ⅱ　薬剤服用歴管理指導料の加算 第１８回　　薬学管理料Ⅲ　かかりつけ薬剤師指導料～ 第１９回　　薬学管理料Ⅳ　演習 第２０回　　特定保険医療材料／保険扱いとなる医療材料 第２１回　　総復習 第２２回　　レセプト記載要領 第２３回　　処方箋問題集Ⅰ（1～5） 第２４回　　処方箋問題集Ⅱ（6～10） 第２５回　　処方箋問題集Ⅲ（11～15） 第２６回　　処方箋問題集Ⅳ（16～20） 第２７回　　処方箋問題集Ⅴ（21～25） 第２８回　　処方箋問題集Ⅵ（26～30） 第２９回　　「調剤報酬請求事務専門士」2級対策試験 第３０回　　「調剤報酬請求事務専門誌」2級対策解説
受講生に関わる情報および受講のルール	「調剤報酬請求事務専門士」3級→2級→1級取得を目指す。※3級は全員取得。 但し、認定費用に含まれるのは2級までのため、1級受験の場合は、別途受験料が発生。￥5,500（優待価格） 当科目は、検定試験を期末テストとみなす。試験日は、別途告知する。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	検定試験前に、試験対策としてeラーニングを用いた復習を行う。
オフィスアワー	-
評価方法	定期試験40%　小課題40%　講義での取り組み姿勢と意欲20%
教科書	株式会社　日本医療総合支援評議会発行　「調剤報酬テキスト」第16版 〃　「処方箋問題集」第15版
参考書	-
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 □実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない

講義科目名称：　社会福祉特講Ⅱ　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年次	2単位(60)	選択
担当教員			
柳澤　充			
添付ファイル			

授業の目的・到達目標	【授業の目的】 社会福祉特講Ⅰの学びを踏まえ、社会福祉士国家試験に向けた学習方法を自分なりに把握することを目的とする。また、編入後の学びが円滑に進むようにすることを目的とする。 【到達目標】 社会福祉士国家試験に向けて、自主的・主体的な学習方法を形成し、継続して学習する習慣を身につける。自身が作成した解説を用い、他者に説明することができる。月例テストを行うことで、学びが身についているのかを自身で判断できる。
授業の概要	既習科目を中心に学習していく。社会福祉士国家試験に合格するための基礎的学習方法と基礎的学力の向上を図るため、過去問を解いた上で、自身で解説を作成し他者に発表する。月に1回、月例テストを行う。

■当科目の短期大学部ディプロマポリシー（DP)との関係
◎＝DP達成のために、特に重要な事項　○＝DP達成のために、重要な事項△＝DP達成のために、望ましい事項

	〈知識理解〉	〈汎用的技能〉	〈態度・志向性〉	〈統合的な学習経験と創造的思考力〉
授業の到達目標	１．介護・福祉・医療事務に関する知識を修得し、生活上の課題を多面的に考察できる。	２．人の思いを引き出し、分析した上で本人の望む生活の実現に貢献できる力を有している。	３．本学の仁の精神に則り、人の尊厳を踏まえた専門職としての職業倫理を身に付けている。 ４．地域や人の変化に対する知識を自ら学び、地域に還元する意欲を持っている。	５．多職種の専門性を理解し、自他の自己実現や生活上の課題解決のための方法を創造できる。
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

授業計画

第１回　オリエンテーション

【key words】
社会福祉士国家試験、国試合格率、勉強方法

【授業概要】
授業の進め方について説明する。社会福祉士国家試験の概要や合格率などを説明する。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ

【課題・予習・復習・授業準備指示】

テキストの該当ページを予め一読し、質問などがあればメモしておくこと。

第２回　人体の構造と機能及び疾病（7問）　2回に分けて実施する

【key words】
人体の構造と機能及び疾病
【授業概要】
「人体の構造と機能及び疾病」7問中前半3問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。

第３回　人体の構造と機能及び疾病（7問）　2回に分けて実施する

【key words】
人体の構造と機能及び疾病
【授業概要】
「人体の構造と機能及び疾病」7問中後半4問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。社会福祉士国家試験直近試験問題の「心理学理論と心理的支援」をプリントアウトし、予め問題を解いておくこと。

第４回　心理学理論と心理的支援（7問）　2回に分けて実施する
【key words】
心理学理論と心理的支援
【授業概要】
「心理学理論と心理的支援」7問中前半3問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。「人体の構造と機能及び疾病」7問の解説を授業開始冒頭に提出すること。

第５回　心理学理論と心理的支援（7問）　2回に分けて実施する
【key words】
心理学理論と心理的支援
【授業概要】
「心理学理論と心理的支援」7問中後半4問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。

第６回　月例テスト（人体の構造と機能及び疾病、心理学理論と心理的支援）
【key words】
月例テスト①
【授業概要】
「人体の構造と機能及び疾病」、「心理学理論と心理的支援」の過去2年分のテスト

【教科書ページ・参考文献】
テスト時間中は持ち込み禁止。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

「人体～」と「心理～」の2科目、直近とその前年度の2年分をプリントアウトし月例テストに臨むこと。「心理学理論と心理的支援」7問の解説を授業開始冒頭に提出すること。

第７回　高齢者に対する支援と介護保険制度（10問）　2回に分けて実施する
【key words】
高齢者に対する支援と介護保険制度
【授業概要】
「高齢者に対する支援と介護保険制度」10問中前半5問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

社会福祉士国家試験直近試験問題の「高齢者に対する支援と介護保険制度」をプリントアウトし、予め問題を解いておくこと。解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。

第８回　高齢者に対する支援と介護保険制度（10問）　2回に分けて実施する
【key words】
高齢者に対する支援と介護保険制度
【授業概要】
「高齢者に対する支援と介護保険制度」10問中後半5問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。

第９回　相談援助の基盤と専門職（7問）　2回に分けて実施する
【key words】
相談援助の基盤と専門職
【授業概要】
「相談援助の基盤と専門職」7問中前半3問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】

		『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 社会福祉士国家試験直近試験問題の「相談援助の基盤と専門職」をプリントアウトし、予め問題を解いておくこと。「高齢者に対する支援と介護保険制度」10問の解説を授業開始冒頭に提出すること。
	第１０回	相談援助の基盤と専門職（7問）　2回に分けて実施する 【key words】 相談援助の基盤と専門職 【授業概要】 「相談援助の基盤と専門職」7問中後半4問の答えの解説作りを行う。 【教科書ページ・参考文献】 『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。
	第１１回	月例テスト（高齢者に対する支援と介護保険制度、相談援助の基盤と専門職） 【key words】 月例テスト② 【授業概要】 「高齢者に対する支援と介護保険制度」、「相談援助の基盤と専門職」の過去2年分のテスト 【教科書ページ・参考文献】 テスト時間中は持ち込み禁止。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 「高齢～」と「相談～」の2科目、直近とその前年度の2年分をプリントアウトし月例テストに臨むこと。「相談援助の基盤と専門職」7問の解説を授業開始冒頭に提出すること。
	第１２回	障害者に対する支援と障害者自立支援制度（7問）　2回に分けて実施する 【key words】 障害者に対する支援と障害者自立支援制度 【授業概要】 「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」7問中前半3問の答えの解説作りを行う。 【教科書ページ・参考文献】 『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 社会福祉士国家試験直近試験問題の「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」をプリントアウトし、予め問題を解いておくこと。解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。
	第１３回	障害者に対する支援と障害者自立支援制度（7問）　2回に分けて実施する 【key words】 障害者に対する支援と障害者自立支援制度 【授業概要】 「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」7問中後半4問の答えの解説作りを行う。 【教科書ページ・参考文献】 『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。
	第１４回	月例テスト（障害者に対する支援と障害者自立支援制度） 【key words】 月例テスト② 【授業概要】 「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」の過去2年分のテスト 【教科書ページ・参考文献】 テスト時間中は持ち込み禁止。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」の直近とその前年度の2年分をプリントアウトし月例テストに臨むこと。「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」7問の解説を授業開始冒頭に提出すること。
	第１５回	まとめテスト（高齢者に対する支援と介護保険制度、相談援助の基盤と専門職、障害者に対する支援と障害者自立支援制度） 【key words】 まとめテスト 【授業概要】 まとめテスト（高齢者に対する支援と介護保険制度、相談援助の基盤と専門職、障害者に対する支援と障害者自立支援制度）の過去2年分のテスト

【教科書ページ・参考文献】
テスト時間中は持ち込み禁止。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

高齢者に対する支援と介護保険制度、相談援助の基盤と専門職、障害者に対する支援と障害者自立支援制度、直近2年分の問題を用意しまとめテストに臨むこと。

第１６回　社会保障（7問）　２回に分けて実施する
【key words】
社会保障
【授業概要】
「社会保障」7問中前半3問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

社会福祉士国家試験直近試験問題の「社会保障」をプリントアウトし、予め問題を解いておくこと。解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。

第１７回　社会保障（7問）　２回に分けて実施する
【key words】
社会保障
【授業概要】
「社会保障」7問中後半4問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。社会福祉士国家試験直近試験問題の「児童や家庭に対する支援と児童家庭福祉制度」をプリントアウトし、予め問題を解いておくこと。

第１８回　児童や家庭に対する支援と児童家庭福祉制度（7問）　2回に分けて実施する
【key words】
児童や家庭に対する支援と児童家庭福祉制度

【授業概要】
「児童や家庭に対する支援と児童家庭福祉制度」7問中前半3問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

社会福祉士国家試験直近試験問題の「児童や家庭に対する支援と児童家庭福祉制度」をプリントアウトし、予め問題を解いておくこと。解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。

第１９回　児童や家庭に対する支援と児童家庭福祉制度（7問）　2回に分けて実施する
【key words】
児童や家庭に対する支援と児童家庭福祉制度

【授業概要】
「児童や家庭に対する支援と児童家庭福祉制度」7問中後半4問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。

第２０回　月例テスト（社会保障、児童や家庭に対する支援と児童家庭福祉制度）
【key words】
月例テスト②
【授業概要】
「社会保障、児童や家庭に対する支援と児童家庭福祉制度」の過去2年分のテスト

【教科書ページ・参考文献】
テスト時間中は持ち込み禁止。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

社会保障」、「児童や家庭に対する支援と児童家庭福祉制度」の直近とその前年度の2年分をプリントアウトし月例テストに臨むこと。「児童や家庭に対する支援と児童家庭福祉制度」7問の解説を授業開始冒頭に提出すること。

第２１回　権利擁護と成年後見制度（7問）　2回に分けて実施する
【key words】
権利擁護と成年後見制度
【授業概要】

「権利擁護と成年後見制度」7問中前半3問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

社会福祉士国家試験直近試験問題の「権利擁護と成年後見制度」をプリントアウトし、予め問題を解いておくこと。解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。

第２２回　権利擁護と成年後見制度（7問）　2回に分けて実施する
【key words】
権利擁護と成年後見制度
【授業概要】
「権利擁護と成年後見制度」7問中後半4問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。社会福祉士国家試験直近試験問題の「相談援助の理論と方法」をプリントアウトし、予め問題を解いておくこと。

第２３回　相談援助の理論と方法Ⅰ（21問）　3回に分けて実施する
【key words】
相談援助の理論と方法
【授業概要】
「相談援助の理論と方法」21問中前半7問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

社会福祉士国家試験直近試験問題の「相談援助の理論と方法」をプリントアウトし、予め問題を解いておくこと。解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。

第２４回　相談援助の理論と方法Ⅰ（21問）　3回に分けて実施する
【key words】
相談援助の理論と方法
【授業概要】
「相談援助の理論と方法」21問中の中半7問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。

第２５回　相談援助の理論と方法Ⅰ（21問）　3回に分けて実施する
【key words】
相談援助の理論と方法
【授業概要】
「相談援助の理論と方法」21問中後半7問の答えの解説作りを行う。

【教科書ページ・参考文献】
『見て覚える社会福祉士国試ナビ』該当ページ、その他必要と思われるテキスト等を持参すること。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

解説書作りが授業中に終わらなかった場合には、次回までに仕上げてくること。

第２６回　月例テスト（権利擁護と成年後見制度、相談援助の理論と方法Ⅰ）
【key words】
月例テスト②
【授業概要】
「権利擁護と成年後見制度」、「相談援助の理論と方法」の過去2年分のテスト

【教科書ページ・参考文献】
テスト時間中は持ち込み禁止。
【課題・予習・復習・授業準備指示】

「権利擁護と成年後見制度」、「相談援助の理論と方法」の直近とその前年度の2年分をプリントアウトし月例テストに臨むこと。「相談援助の理論と方法」21問の解説を授業開始冒頭に提出すること。

第２７回　まとめテスト①（前期分）
【key words】
まとめテスト①（前期分）
【授業概要】
まとめテスト①（前期分）の過去2年分のテスト

	【教科書ページ・参考文献】 テスト時間中は持ち込み禁止。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 まとめテスト①（前期分）の直近とその前年度の2年分をプリントアウトしまとめテストに臨むこと。 第２８回　まとめテスト②（後期分） 【key words】 まとめテスト②（後期分） 【授業概要】 まとめテスト②（後期分）の過去2年分のテスト 【教科書ページ・参考文献】 テスト時間中は持ち込み禁止。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 まとめテスト②（後期分）の直近とその前年度の2年分をプリントアウトしまとめテストに臨むこと。 第２９回　まとめテスト③（一昨年の過去問（前期の科目）） 【key words】 まとめテスト③（2年前の前期分の過去問） 【授業概要】 まとめテスト③（2年前の前期分の過去問） 【教科書ページ・参考文献】 テスト時間中は持ち込み禁止。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 まとめテスト③（2年前の前期分の過去問）をプリントアウトしまとめテストに臨むこと。 第３０回　まとめテスト④（一昨年の過去問（後期の科目）） 【key words】 まとめテスト④（2年前の後期分の過去問） 【授業概要】 まとめテスト④（2年前の後期分の過去問） 【教科書ページ・参考文献】 テスト時間中は持ち込み禁止。 【課題・予習・復習・授業準備指示】 まとめテスト④（2年前の後期分の過去問）をプリントアウトしまとめテストに臨むこと。
受講生に関わる情報および受講のルール	各回において、最新の国家試験該当科目をプリントアウトし持参すること。各回の該当科目のテキスト、ノート等を用意すること。各回の事前に最新の国試該当科目を解いておくこと。授業内で解答の解説作りを行う。授業内で作り終えない場合には、原則翌週までに提出すること。
毎回の授業に関する質問や学習の進捗状況の確認方法	コメントカード
授業外時間にかかわる情報	各回の事前に最新の国試該当科目を解いておくこと。授業内容に該当する授業科目の教科書を事前に通読しておくこと。授業で学習した内容は、その日のうちにしっかりと理解するように努めること。学内模試が行われる場合には、参加すること。／実習による補講の関係で授業計画に変更が生じることがある。変更が生じた場合には、その都度連絡する。
オフィスアワー	月曜日8時20分～10時30分　水曜日8時20分～10時30分
評価方法	試験またはレポート40%、月例テスト・まとめテスト20%、課題への取り組み・提出物など40%
教科書	最新の国家試験問題。該当科目のテキスト、ノート、用語辞典、参考書など該当科目問題の解説作りに活用できるもの全て
参考書	「いとう総研資格取得支援センター 『見て覚える社会福祉士国試ナビ』（中央法規）」（1年次購入済）。別途、過去問題集などは授業にて適宜紹介する
実務経験のある教員による授業科目/アクティブ・ラーニング	授業担当教員 ■実務経験のある教員が担当している 具体的な実務経験の内容 障害者団体、病院、在宅介護支援センター、ホームレス支援施設などでソーシャルワーカーとしての実務経験があり、現在も社会福祉士事務所代表として成年後見受任事業などを行っている。 アクティブラーニング要素 □協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習 □ディスカッション・ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク □アクティブラーニングは実施していない